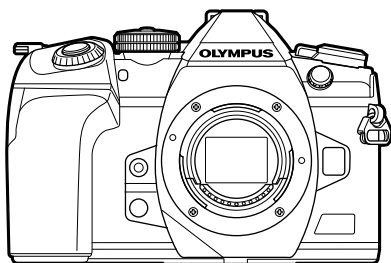


OLYMPUS

デジタルカメラ

E-M1 Mark III

取扱説明書



もくじ

機能目次

1. 準備する
2. 撮影する
3. 再生する
4. メニューの機能
5. 外部機器と接続する
6. ご注意
7. 資料
8. 安全にお使いいただくために
9. ファームアップによる追加・変更

Model No. : IM019

■オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

■「8. 安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。

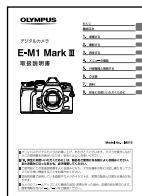
■ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。

■取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

■カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

本製品の説明書について

本製品では、付属の「取扱説明書」(本書)の他に、PDF版の取扱説明書や「機能活用ガイド」をご用意しています。あわせてご利用ください。



取扱説明書(本書およびPDF版)

カメラの使い方と機能について説明しています。PDF版は、当社ホームページの下記URLからダウンロードすることができます。
http://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/man/man_esystem.html#omd

- PDF版については、スマートフォン用アプリ OLYMPUS Image Share (OI.Share)から直接ダウンロードもできます。



機能活用ガイド

このカメラの機能をご活用いただくために、機能や設定についての情報を掲載しています。OI.Shareからもご利用いただけるようにスマートフォンなどの表示にも最適化されています。

<https://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/webmanual/index.html>



本書の表記について

本文中、以下の表記を使っています。

	実際に操作するときを確認していただきたいことを記載しています。
	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。

本製品の説明書について	2	■ 静止画を撮る	39
はじめにご確認ください	9	タッチパネルを使って撮る	41
機能目次	10	絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (Pプログラム撮影)	42
各部の名称	14	絞りを決めて撮影する (A絞り優先撮影)	44
1. 準備する	16	シャッター速度を決めて撮影する (Sシャッター優先撮影)	46
■ カメラと付属品を確認する	16	絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する (Mマニュアル撮影)	48
■ ストラップを取り付ける	17	バルブ/タイム撮影を行う (B長秒時撮影)	50
■ 電池を充電する/入れる	18	比較明合成撮影を行う (Bライブコンポジット撮影)	52
■ 外部電源を使う	20	■ 任意の設定をモードダイヤルに登録する (C1/C2/C3/C4カスタムモード)	54
USB接続機器を使う	20	残しておきたい設定内容を登録する (カスタム登録)	54
パワーバッテリーホルダー (HLD-9)を使う	22	カスタムモードを使う (C1/C2/C3/C4)	55
■ カードを入れる	24	■ ムービーを撮る	57
カードを2枚使用するときは	25	静止画撮影時にムービーを撮る	57
■ レンズを取り付ける	26	ムービーモードを使って撮る (M)	58
■ レンズを取り外す	28	タッチ操作で設定する (静音操作)	59
■ モニターを操作する	29	■ 撮影機能を設定する方法	60
■ 電源を入れる	30	ダイレクトボタンで設定する	61
カメラのスリープ動作について	30	ピントの合わせ方を設定する (AF方式)	62
■ 初期設定をする	31	画像の明るさを変えて撮影する (露出補正)	66
■ 言語の表示がおかしい/設定した言語が表示されないときは	33	ピント合わせの範囲を選ぶ (AFターゲットモード)	67
2. 撮影する	34	ピント合わせの位置を自分で決める (AFターゲット位置)	70
■ 撮影時の情報表示	34	拡大枠AF / 拡大AFを使う (スーパースポットAF)	71
■ 表示の切り換え	36	感度を変更する (ISO感度)	73
情報表示を切り換える	37	明るさを測る方法を選ぶ (測光)	75

露出を固定する(AEロック)	75	画像全体の色味を調整する (カラークリエイター)	106
連写する/セルフタイマーを使う	76	特定の色だけを残す (パートカラー)	107
セルフタイマーの待ち時間や枚数を設定 する(♡カスタムセルフタイマー)	78	鮮鋭さを微調整する (シャープネス)	108
シャッター動作時の振動を防いで撮影す る(低振動(♠)撮影)	78	明暗の差を微調整する (コントラスト)	108
シャッター音を立てずに撮影する (静音[♥]撮影)	79	色の鮮やかさを微調整する(彩度)	109
リリースタイムラグを防いで撮影する (プロキャブチャー撮影)	79	階調を微調整する(階調)	109
より解像度の高い静止画を撮影する (ハイレゾショット)	81	モノトーンにフィルター効果をつける (フィルター効果)	110
フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影)	82	モノトーンの調色をする(調色)	111
発光モードを設定する(フラッシュ) ..	84	i-Finishの効果を調整する(効果)	111
LVスーパーコンパネ/スーパーコンパネで 設定する	86	色の再現方法を設定する (カラー設定)	112
感度を変更する(ISO感度)	89	ハイライト部/シャドウ部の明るさを変 えて撮影する(ハイライト&シャドウ コントロール)	113
ピントの合わせ方を設定する (AF方式)	89	ボタン機能を割り当てる (ボタン機能)	114
ピント合わせの範囲や位置を 選ぶ(AFターゲット選択)	89		
明るさを測る方法を選ぶ (測光)	90		
顔優先AF / 瞳優先AFを使う (◎顔優先)	90		
画像の色合いを調整する (ホワイトバランス)	92		
ホワイトバランスを微調整する (ホワイトバランス補正)	94		
手ぶれを抑えて撮影する (手ぶれ補正)	95		
連写する/セルフタイマーを使う	96		
アスペクト比を設定する	96		
撮影データの記録方法を設定する (📷記録設定)	97		
静止画撮影で記録する画像サイズを 選択する(📷画質モード)	98		
ムービーの画質を設定する (📷画質モード)	99		
スローモーション/クイックモーション 撮影をする(スロー/クイック撮影) ..	102		
発光モードを設定する (フラッシュ)	103		
フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ補正)	103		
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	104		
		3. 再生する	124
		■ 再生時の情報表示	124
		再生画像情報	124
		情報表示を切り換える	125
		■ 撮った画像/ムービーを見る	126
		画像をすばやく探す(インデックス再生/ カレンダー再生)	127
		画像を拡大して見る (クロースアップ再生)	127
		画像を回転する(回転)	128
		ムービーを見る	128
		画像を保護する(プロテクト)	129
		画像をコピーする(1コマコピー)	129
		画像を消去する(1コマ消去)	130
		画像の転送予約をする(シェア予約)	130
		複数の画像を一括で処理する (プロテクト・選択コマコピー・ 選択コマ消去・選択コマシェア予約)	131
		プリント予約(DPOF)	132
		記録した画像に音声をつける(録音)	134
		■ タッチパネルを使って見る	135
		画像を選択する/プロテクトする	136

4. メニューの機能 137

■ メニューの基本操作	137
■ 撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2 を使う	139
カメラの設定を初期状態に戻す (リセット)	139
残しておきたい設定内容を登録する (カスタム登録)	140
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	140
静止画撮影で記録する画像サイズを選択する (画質モード)	140
被写体を拡大して記録する (デジタルテレコン)	141
一定時間ごとに自動的に撮影する (インターバル撮影設定)	142
条件を少しずつ変化させて撮影する (ブラケット撮影)	144
HDR (ハイダイナミックレンジ)撮影をする (HDR撮影)	150
複数の画像を重ね合わせて撮影する (多重露出撮影)	152
台形補正をする / 遠近感を強調する (デジタルシフト撮影)	154
低振動撮影 / 静音撮影を設定する (低振動[♦] / 静音[♥]撮影)	155
ハイレゾショットを設定する (ハイレゾショット)	156
明るい環境下でスローシャッター撮影をする (ライブND撮影)	157
■ 動画メニューを使う	159
静止画撮影の効果を使って撮影する (露モード(ムービー露出モード))	163
LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (フリッカーキャン)	164
ムービーの画質を設定する (画質モード)	165
フロント/リアダイヤルの機能を変える (ダイヤル機能)	166
録音の設定をする(ムービー録音)	167

■ 再生メニューを使う	168
縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する (回転再生)	168
撮影した画像を加工する(編集)	168
画像を合成する(画像合成)	170
ムービーから静止画を作る (静止画切り出し)	171
ムービーをトリミングする (トリミング)	172
全てのプロテクトを解除する (全プロテクト解除)	173
全ての転送予約を解除する (全シェア予約解除)	173
全ての画像をコピーする (全コマコピー)	173
■ セットアップメニューを使う	174
カードを初期化する (カードセットアップ)	175
全コマを消去する (カードセットアップ)	175
無線LAN接続のための設定をする (Wi-Fi/Bluetooth設定)	176
■ マイメニューを使う	177
■ カスタムメニューを使う	179
A1 AF/MF	179
A2 AF/MF	180
A3 AF/MF	181
A4 AF/MF	182
B1 ボタン/ダイヤル/レバー	183
B2 ボタン/ダイヤル/レバー	183
C1 レリーズ/連写/手ぶれ補正	184
C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正	184
D1 表示/音/接続	185
D2 表示/音/接続	186
D3 表示/音/接続	187
D4 表示/音/接続	188
E1 露出/ISO/BULB/測光	189
E2 露出/ISO/BULB/測光	190
E3 露出/ISO/BULB/測光	191
F フラッシュ	191
G 画質/WB/色	192

H1 記録/消去.....	193	連写時の速度や枚数の上限を設定する (L設定/H設定).....	218
H2 記録/消去.....	194	蛍光灯による明るさのちらつきを抑えて 撮影する(フリッカー低減).....	220
I EVF.....	194	操作画面の表示を選ぶ (Control表示).....	222
J1 その他.....	196	INFO ボタンによる情報表示の設定をする (Info表示設定).....	224
J2 その他.....	196	画像再生時の拡大倍率を設定する (再生拡大倍率設定).....	227
AFとMFを併用する(AF+MF).....	198	自分撮りに合わせた表示をする (自分撮りアシスト).....	227
AEL/AFL ボタンを使ってピント合わせや 測光を行う(AEL/AFLモード).....	199	カメラの画像をテレビで見る(HDMI).....	228
C-AF動作時のピント合わせの感度を 設定する(C-AF追従感度).....	201	USBケーブル接続時の動作を設定する (USB接続モード).....	229
C-AF動作時のピント合わせ開始位置を 設定する(C-AF中央スタート).....	202	ライブバルブ撮影時の表示の更新時間を 設定する(ライブBULB設定).....	230
C-AF動作時に中央優先でピント合わせを する(C-AF中央優先).....	203	ライブタイム撮影時の表示の更新時間を 設定する(ライブTIME設定).....	230
AF機能のホームポジションを設定する (Home登録).....	204	コンボジット撮影時のシャッター速度を 設定する(コンボジット撮影設定).....	231
AFターゲット選択設定時の操作方法を 設定する(選択画面設定).....	205	LED 照明による明るさのちらつきを抑えて 撮影する(フリッカーキャン).....	232
AFターゲットの循環方法を設定する (循環設定).....	206	露出の基準を微調整する (露出基準調整).....	233
AFターゲットをカスタマイズする (ターゲットモード設定).....	207	フラッシュ発光時のシャッター速度 (同調速度/低速制限).....	234
AFターゲットの設定を横位置/縦位置で 変える(縦位置/横位置切替).....	208	JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ (画質設定).....	234
オートフォーカス時のレンズの動作範囲を 設定する(AFリミッター).....	209	記録先カードを設定する (カードスロット設定).....	235
AFによるピント位置を微調整す る(AF微調節).....	210	レンズ情報を登録する (レンズ情報登録).....	237
マニュアルフォーカス時にピント合わせ を補助する(MFアシスト).....	213	ファインダー内表示のスタイルを選ぶ (EVF表示スタイル).....	238
ピントを操作しながら撮影する (BULB/TIME中MF).....	214	ファインダーの情報表示を設定する (Info表示設定).....	239
マルチセレクターを押したときの動作を 設定する(中央ボタン機能).....	215	ボタン長押し操作のときの操作時間を 設定する(ボタン長押し時間調整).....	239
マルチセレクターを動かしたときの動作を 設定する(方向キー機能).....	215	フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを 補正する(フィッシュアイ補正撮影).....	240
フロント/リアダイヤルの機能を変える (ダイヤル機能).....	216		
Fnレバーの機能を変える (Fnレバー機能).....	217		

5. 外部機器と接続する 242

Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いの ときのご注意	242
スマートフォンと接続する (Wi-Fi)	243
アプリのインストール	243
スマートフォンとの接続設定をする (Wi-Fi/Bluetooth設定)	244
電源オフ時の無線接続設定をする (バックグラウンド通信)	247
スマートフォンに画像を転送する	249
スマートフォンからリモート 撮影する	251
画像に位置情報をつける	252
スマートフォン接続の終了と停止	253
パソコンと接続する(Wi-Fi)	254
ソフトウェアのインストール	254
WindowsOSのパソコンで、 Wi-Fiでパソコンと接続するための 準備	255
接続するパソコンをカメラに登録する (新規ペアリング)	256
Wi-Fi接続の設定をする (Wi-Fi接続)	258
撮影しながらパソコンに画像を 転送する	266
アクセスポイントとの接続を 終了する	268
設定を変更する	270
パスワードを変更する (接続パスワード設定)	270
Wi-Fi/Bluetooth®設定を初期化する (Wi-Fi/Bluetooth設定リセット)	271

パソコンと接続する(USB)	272
接続できるパソコンについて	272
ソフトウェアのインストール	272
撮影しながらパソコンに画像を転送する (カメラコントロール)	273
カメラをパソコンに接続し高速にRAW編集 する(PC RAW)	274
パソコンに画像を取り込んで保存する (ストレージ/MTP)	275
USB外部電源を使う (USB PD)	276
外部モニター(テレビ)と接続する (HDMI)	277
カメラの画像やムービーをテレビで見る (HDMI)	278
テレビのリモコンで操作する (HDMIコントロール)	280

6. ご注意 281

電池/充電器についてのご注意	281
海外での使用について	282
カードについて	282
交換レンズについて	283
MFクラッチを搭載したレンズに ついて	284
別売品を使う	285
専用外部フラッシュ	285
ワイヤレスRCフラッシュ撮影	286
市販のフラッシュについて	288
主なアクセサリについて	289
システムチャート	290

7. 資料	292
■ カメラのお手入れと保管	292
カメラのお手入れ	292
カメラの保管	292
撮像素子のクリーニングとチェック	293
画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング	293
■ アフターサービス	293
■ こんなときは?	294
■ エラーコード	297
■ 機能と初期設定一覧	299
■ 画質設定と記録枚数/記録時間	314
■ 仕様	316
8. 安全にお使いいただくために	319
■ 安全にお使いいただくために	319
■ 使用上のご注意	322
■ その他のご注意	323
9. ファームアップによる追加・変更	326
索引	330

はじめにご確認ください

「8. 安全にお使いいただくために」をお読みください

誤った使い方をしたときに生じる人への危害や火災などの財産への損害を未然に防ぐために、製品をご使用になる前に「8. 安全にお使いいただくために」(P.319)をよくお読みください。

カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとも必ず保管してください。

このカメラを購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

このカメラの無線LAN、Bluetooth®機能について

このカメラは、無線LANおよびBluetooth®機能を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがありますので、あらかじめご確認ください。当社では一切の責任は負えません。

使用が禁止されている場所では、無線LANおよびBluetooth®機能を停止させてください。☞「Wi-Fi/Bluetooth®機能を停止する」(P.253, 269)

電波法令により、W52、W53の帯域を利用した無線LAN機能の屋外での使用は禁止されています。屋内でのみご使用ください。



■ ユーザー登録について

お買い求めいただいた製品のユーザー登録をお願いします。ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

機能目次







機能	ページ
撮影モード	39
カスタムモード	55
モニターの表示	37, 125
ファインダーの表示	238
ダイレクトボタンの機能	61
LVコントロールの機能	223
LVスーパーコンパネの機能	86, 88
📷 撮影メニュー 1	
リセット/カスタム設定	139
ピクチャーモード	104, 140
📷画質モード	98, 140
アスペクト比設定	96
デジタルテレコン	141
📷/🔋 (ドライブ)	76, 96
インターバル撮影設定	142
📷 撮影メニュー 2	
ブラケット撮影	144
HDR撮影	150
多重露出撮影	152
デジタルシフト撮影	154
低振動[📷]/静音[📷]撮影	155
ハイレゾショット	81, 156
ライブND撮影	157

機能	ページ
📷 動画メニュー	
📷モード設定	
📷モード	163
📷フリッカーキャン	164
📷画質設定	
📷画質モード	165
📷ISOオート設定	159
📷高感度ノイズ低減	159
📷WBモード	159
📷全WBモード補正	159
📷WBオート電球色残し	159
📷ピクチャーモード	159
📷AF/手ぶれ補正設定	
📷AF方式	62, 89
📷C-AF動作速度	160
📷C-AF追従感度	160
📷手ぶれ補正	95
📷手ぶれ補正強度	160
📷ボタン/ダイヤル/レバー	
📷ボタン機能	114
📷ダイヤル機能	161
📷Fnレバー機能	161
📷シャッターボタン機能	161
📷電動ズーム速度	161
📷表示設定	
📷Control表示	162
📷Info表示	162
タイムコード設定	162
📷残量表示	162
📷ビューアシスト	162
ムービー録音	167
📷HDMI出力	162



機能	
▶ 再生メニュー	
回転再生	168
編集	168
プリント予約	132
全プロテクト解除	173
全シェア予約解除	173
全コマコピー	173
 Wi-Fi接続	245

* カスタムメニュー


A1 AF/MF


 AF方式	89
 AF+MF	198
 AEL/AFLモード	199
AFスキャン	179
 C-AF追従感度	201
 C-AF中央スタート	202
 C-AF中央優先	203

A2 AF/MF






 [::]Mode表示設定	180
AFターゲット表示	180
[::]Home登録	204
[::]選択画面設定	205
[::]循環設定	206
[::]ターゲットモード設定	207
 [::]縦位置/横位置切換	208

A3 AF/MF





AFターゲットパッド	181
AFリミッター	181
AFイルミネーター	181
 顔優先	90
AF微調節	181

機能	
A4 AF/MF	
星空AF設定	182
プリセットMF距離	182
MFアシスト	213
MFクラッチ	182
フォーカスリング	182
BULB/TIME中MF	214
レンズリセット	182

B1 ボタン/ダイヤル/レバー

 ボタン機能	114
 中央ボタン機能	215
 方向キー機能	215
 ダイヤル機能	216
ダイヤル方向	183
 Fnレバー機能	217
Fnレバー / 電源レバー	183


B2 ボタン/ダイヤル/レバー

 電動ズーム速度	183
 ボタン機能	183
 ロック	183
 ロック	183

C1 レリーズ/連写/手ぶれ補正

レリーズ優先S	184
レリーズ優先C	
 L設定	218
 H設定	
フリッカー低減	220



C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正

 手ぶれ補正	95
連写中手ぶれ補正	184
半押し中手ぶれ補正	184
レンズ手ぶれ補正優先	184

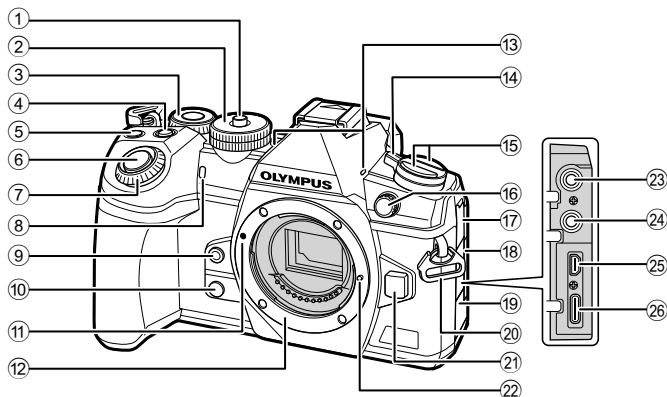
機能	
D1 表示/音/接続	
 Control表示	222
 Info表示設定	224, 226
ピクチャーモード表示	185
 表示設定	185
マルチFn表示設定	185
D2 表示/音/接続	
LVブースト	186
アートLVモード	186
フレームレート	186
LV拡大設定	186
再生拡大倍率設定	227
プレビュー設定	187
D3 表示/音/接続	
ガイド線表示設定	187
ピーキング表示	187
ヒストグラム警告設定	187
モードガイド表示	187
自分撮りアシスト	227
D4 表示/音/接続	
電子音	188
HDMI	228
USB接続モード	188
E1 露出/ISO/BULB/測光	
露出ステップ	189
ISO感度ステップ	189
 ISOオート設定	189
 ISOオート有効	189
 高感度ノイズ低減	189
 低感度画像処理	189
長秒時ノイズ低減	190









機能	
E2 露出/ISO/BULB/測光	
BULB/TIMEリミッター	190
COMPリミッター	190
BULB/TIME輝度設定	190
ライブBULB設定	230
ライブTIME設定	230
コンポジット撮影設定	231
 フリッカースキャン	232
E3 露出/ISO/BULB/測光	
測光	75
AEL測光モード	191
[]連動スポット測光	191
露出基準調整	191
F フラッシュ	
 同調速度	234
 低速制限	234
 連動	191
 +WB連動	191
 RCモード撮影	286
G 画質/WB/色	
画質設定	98, 140, 234
ピクセルサイズ	98, 140, 234
シェーディング補正	192
 WBモード	92
 全WBモード補正	192
 WBオート電球色残し	92, 94
カラー設定	112

機能	
H1 記録/消去	
カードスロット設定	235
ファイルネーム	193
ファイルネーム編集	193
dpi設定	193
著作権情報	193
レンズ情報登録	237
H2 記録/消去	
ワンタッチ消去	194
RAW+JPEG消去	194
実行優先設定	194
I EVF	
EVF自動切換設定	194
EVF調整	194
EVF表示スタイル	238
 Info表示設定	194
EVFガイド線表示設定	195
 半押し中水準器表示	195
OVFシミュレーション	195
J1 その他	
ピクセルマッピング	293
ボタン長押し時間調整	196
水準器調整	196
タッチパネル設定	196
メニューカーソル保持	196
フィッシュアイ補正撮影	240

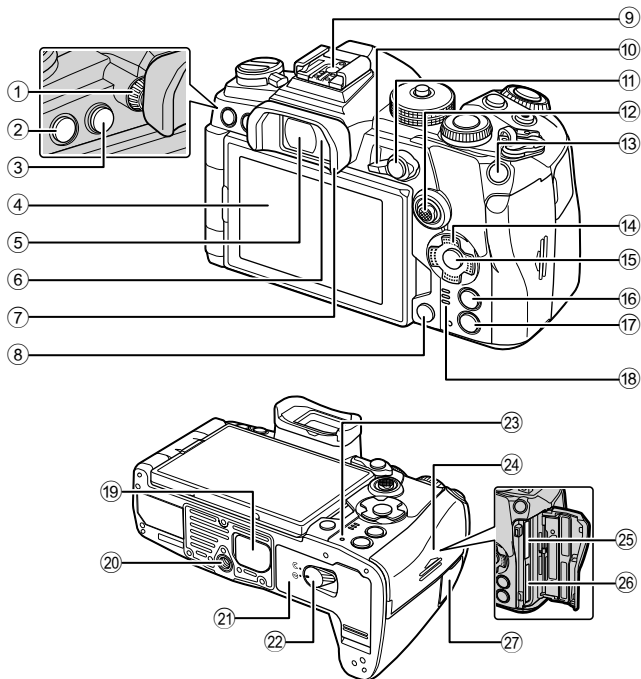
機能	
J2 その他	
電池設定	196
バックライト時間	196
スリープ時間	30
自動電源Off	197
低消費電力撮影	197
認証マーク表示	197
Y セットアップメニュー	
カードセットアップ	175
日時設定	31
 (言語設定)	33
モニター調整	174
撮影確認	174
Wi-Fi/Bluetooth設定	176
バージョン	174
マイメニュー	177

各部の名称



- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① モードダイヤルロックP.39 | ⑭ ON/OFF レバーP.30 |
| ② モードダイヤルP.39 | ⑮ 電源 ボタンP.183 |
| ③ リアダイヤル* (☺)
.....P.42-48, 122, 126, 226 | AF () (AF / 測光モード)ボタン
.....P.62, 75 |
| ④  (露出補正)ボタン
.....P.43, 45, 47, 49, 66 |   (連写 / セルフタイマー /
フラッシュ)ボタンP.76 |
| ⑤  (ムービー) /  ボタン
.....P.57 / P.131 | ⑯ 外部フラッシュ端子P.82 |
| ⑥ シャッターボタンP.40 | ⑰ マイク端子カバー |
| ⑦ フロントダイヤル* (☺)
.....P.42-48, 73, 122, 126 | ⑱ ヘッドホン端子カバーP.167 |
| ⑧ セルフタイマーランプ /
AFイルミネーター
.....P.76, 96 / P.181 | ⑲ コネクタカバー |
| ⑨  (ワンタッチホワイトバランス)ボタン
.....P.93 | ⑳ ストラップ取り付け部P.17 |
| ⑩  (プレビュー)ボタンP.115 | ㉑ レンズ取り外しボタンP.28 |
| ⑪ レンズ合わせマークP.26 | ㉒ レンズロックピン |
| ⑫ マウント(ボディキャップを外してから
レンズを取り付けます。) | ㉓ マイク端子(市販のマイクを接続できます。
φ3.5ステレオミニジャック)P.167 |
| ⑬ ステレオマイクP.134, 167 | ㉔ ヘッドホン端子(市販のヘッドホンを接続
できます。φ3.5ステレオミニジャック)
.....P.167 |
| | ㉕ HDMI端子(タイプD)P.228 |
| | ㉖ USB端子(タイプC)P.256, 273, 275 |

* 本書では、フロントダイヤルやリアダイヤルの操作を☺や☺のアイコンで示しています。



- | | |
|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| ① 視度調整ダイヤル.....P.36 | ⑭ 十字ボタン*2.....P.126 |
| ② MENU ボタン.....P.137 | ⑮ ⓧ ボタン.....P.86, 126, 137 |
| ③ IOI (LV) ボタン.....P.36 | ⑯ INFO ボタン.....P.37, 125 |
| ④ モニター (タッチパネル)
.....P.34, 36, 41, 86, 124, 135 | ⑰ ▶ (再生)ボタン.....P.126 |
| ⑤ ファインダー.....P.36, 238 | ⑱ スピーカー |
| ⑥ アイセンサー | ⑲ PBHカバー.....P.22 |
| ⑦ アイカップ.....P.289 | ⑳ 三脚穴 |
| ⑧ ⌫ (消去)ボタン.....P.130 | ㉑ 電池カバー.....P.18 |
| ⑨ ホットシュー.....P.82, 285 | ㉒ 電池カバーロック.....P.18 |
| ⑩ Fn レバー.....P.42-48, 217 | ㉓ CHARGE (バッテリーチャージ)
ランプ.....P.20 |
| ⑪ AEL/AFL / On (プロテクト)ボタン
.....P.75, 199 / P.129 | ㉔ カードカバー.....P.24 |
| ⑫ マルチセレクトター (● / ◎)*1
.....P.67, 70 | ㉕ カードスロット1.....P.24 |
| ⑬ ISO ボタン.....P.73, 224 | ㉖ カードスロット2.....P.24 |
| | ㉗ リモートケーブル端子カバー
(リモートケーブル端子).....P.289 |

*1 マルチセレクトターは2つの操作ができる構造になっています。

◎は、マルチセレクトターに軽く指をあてて、目的の方向に倒して操作することを示しています。●は、ボタンのように中央を押すことを示しています。

*2 本書では十字ボタンの操作を△▽◀▶のアイコンで示しています。

1 準備する

1

準備する

カメラと付属品を確認する

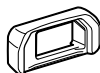
お買い上げの商品には、カメラ本体と以下の付属品が入っています。万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



カメラ



ボディキャップ*



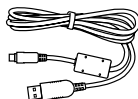
アイカップ
EP-12*



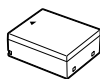
ホットシュー
カバー*



ストラップ



USBケーブル
CB-USB11



リチウムイオン電池
BLH-1



リチウムイオン充電器
BCH-1



ケーブルクリップ
CC-1



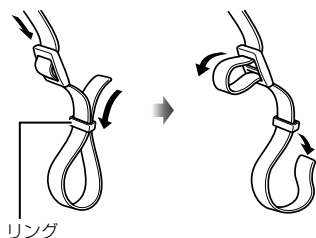
取扱説明書(本書)

- 保証書

* ボディキャップ、アイカップ、ホットシューカバーは、あらかじめカメラ本体に取り付けられています。

ストラップを取り付ける

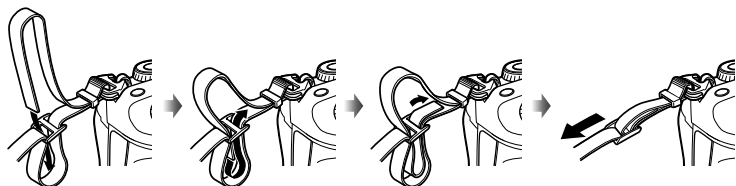
- 1 カメラに取り付けるために、一度リングから外してほどこきます。



- 2 ストラップの端をカメラのストラップ取り付け部に通してから、再度リングに通します。



- 3 ストラップの端を留め具に通して固定します。

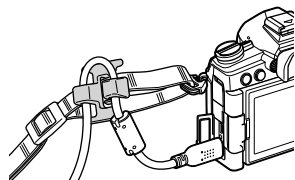


- 同様に逆側も取り付けます。
- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

ケーブルクリップを取り付ける

ケーブルクリップにケーブルをとめ、ストラップに取り付けます。

ケーブルクリップはストラップ取り付け部にも取り付けられます。



電池を充電する／入れる

1

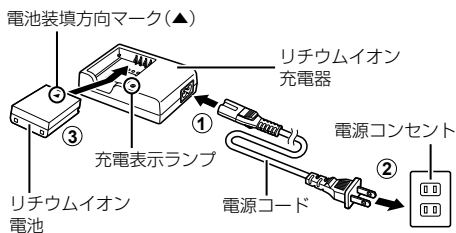
準備する

1 電池を充電します。

充電表示ランプ

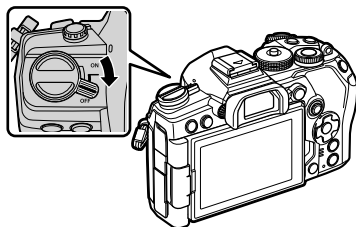
充電中	50%未満	1回/秒 橙点滅
	50%以上 80%未満	2回/秒 橙点滅
	80%以上 100%未満	3回/秒 橙点滅
	充電完了	緑点灯
充電エラー	5回/秒 緑点滅	

(充電時間：約2時間)

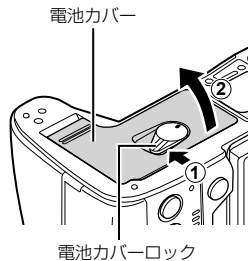


- 充電が完了したら必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- このカメラでは、外部機器とのUSB接続時に、電池をカメラに入れた状態で充電することができます。☞「USB機器を経由して充電する」(P.20)

2 カメラの電源がオフになっていることを確認します。

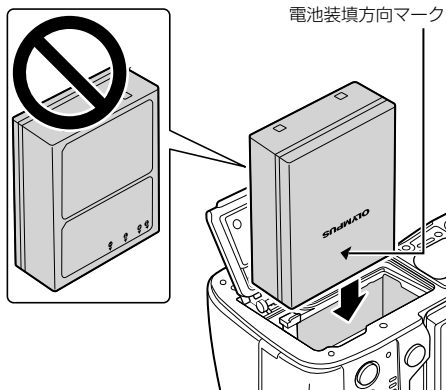


3 電池カバーを開けます。



4 電池を入れます。

- 電池は必ずBLH-1 (P.16, 318)をお使いください。



5 電池カバーを閉めます。

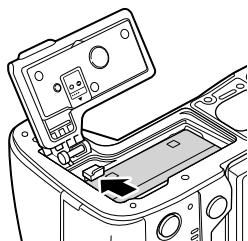


- 長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 「電池／充電器についてのご注意」(P.281)も併せてお読みください。

■ 電池を取り出す

電池カバーを開け閉めする際は、カメラの電源をオフにしてください。電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押し、ロックを外してから取り出します。

- カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、当社修理センターまたはサービスステーションまでご相談ください。
- カード書き込み中のマーク(P.34, 35)が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。



外部電源を使う

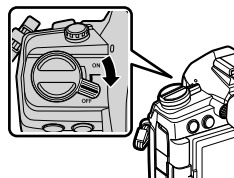
USB接続機器を使う

USB-ACアダプター（別売のF-5ACなど）やパソコンなどのUSB機器とUSBケーブルで接続しているときは、カメラ本体内の電池を充電することができます。充電は、カメラの電源がオフのときのみ行われます。

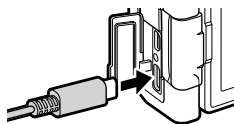
また、USB PD規格に準拠したUSB機器から給電してカメラを使用することもできます。☞「USB外部電源を使う(USB PD)」(P.276)

■ USB機器を経由して充電する

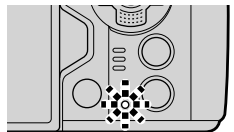
- 1 カメラの電源がオフになっていることを確認します。



- 2 カメラと外部機器をUSBケーブルで接続します。



- 本体充電中は**CHARGE**ランプが点灯します。接続しているUSB機器の出力の仕様によって、充電の時間は変わります。充電が完了するとランプが消灯します。



- 3 カメラの電源を入れると充電が終了します。

- カメラの電源がオンのときは、USB機器による充電はできません。
- **CHARGE**ランプが点滅しているときは充電エラーです。USBケーブルを外して接続しなおしてください。
- 電池の温度が0°C ~ 40°Cのときに、USB機器による充電ができます。
- 別売のパワーバッテリーホルダー（HLD-9）内の電池は充電できません(P.22)。



- 充電が完了すると電源供給も終了します。再度充電するときは、USBケーブルを接続しなおしてください。
- カメラの電源がオフでも、スマートフォンとWi-Fi接続してデータを自動転送中のときは、充電できません。☞「電源オフ時の無線接続設定をする(バックグラウンド通信)」(P.247)

■ USB機器で給電してカメラを動作させる

モバイルバッテリーなどのUSB接続した機器から給電して、カメラを動作させることができます。以下の条件の機器が使用できます。

規格：USB PD規格準拠

出力：9V 3A、15V 2A、15V 3A

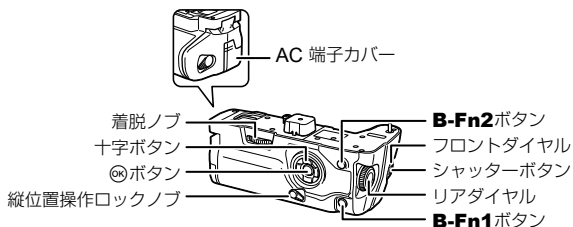
詳しくは「USB外部電源を使う(USB PD)」(P.276)をお読みください。

パワーバッテリーホルダー（HLD-9）を使う

別売のパワーバッテリーホルダー（HLD-9）を使うと、カメラ本体の電池と併用してカメラの使用時間を延ばすことができます。十字ボタンと**B-Fn**ボタンの機能は、カメラ本体の**[ボタン機能]**で変更することができます。HLD-9を経由して別売のACアダプターを使用することができます。

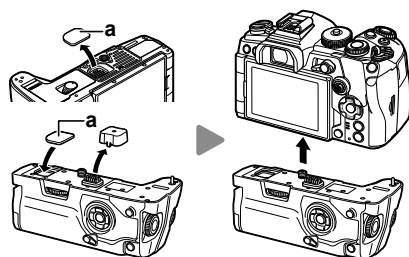
取り付け、取り外しは、必ずカメラの電源を切ってから行ってください。

■ 各部名称



■ 取り付け

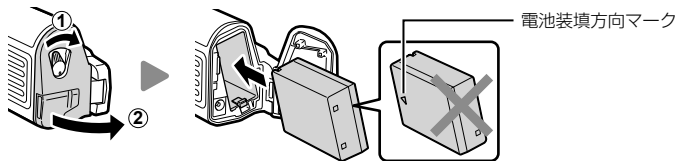
カメラ底面のPBHカバー（a）を外してHLD-9をカメラに取り付けます。装着したらHLD-9の着脱ノブをしっかりと閉めてください。HLD-9を取り付けていないときは、必ずPBHカバーをカメラに取り付けてください。



PBHカバー（a）はHLD-9に収納してください。

■ 電池を入れる

電池は、BLH-1を使います。電池を入れたら必ず電池カバーをロックしてください。



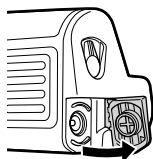
- HLD-9の電池を使用しているときは、モニターの電池残量表示(P.30)が**PBH**になります。



■ ACアダプター (AC-5)を使う

別売のACアダプター (AC-5)を使うときは、AC端子カバーを開けてAC端子を差し込みます。

- ACアダプター経由でカメラの電池を充電することはできません。



■ ボタンを使う

HLD-9の十字ボタンと**B-Fn**ボタンの機能は、カメラ本体の**[ボタン機能]**で変更することができます。☞「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)

■ 主な仕様 (HLD-9)

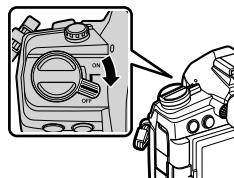
電源	電池：リチウムイオン電池 BLH-1 1個 AC電源：AC アダプター AC-5
大きさ	約132.7 mm (幅)×55.8 mm (高さ)×66.0 mm (奥行き)
質量	約255 g (電池、端子キャップを除く)
防滴機能 (カメラ装着時)	種類 保護等級1級(IPX1)：JISC0920/IEC60529

- 指定の電池、ACアダプター以外は使用しないでください。けがや機器の故障、爆発の原因になります。
- 着脱ノブは、爪を使って回さないでください。けがをすることがあります。
- ご使用になるカメラの動作保証温度範囲内でご使用ください。
- 本機をほこりや湿気の多い場所で使用、保管しないでください。
- 本機の接点には触らないようにしてください。
- 本体、端子等の汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。濡れた雑巾やシンナー、ベンジン等の有機溶剤で洗淨しないでください。
- 長期間(1ヶ月以上)カメラを使わない場合、カメラから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますのでご注意ください。

カードを入れる

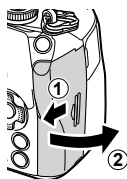
このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード(市販)です。「カードについて」(P.282)をよく読んでからお使いください。

- 1** カメラの電源がオフになっていることを確認します。



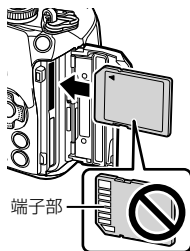
- 2** カードカバーを開けます。

- このカメラには2つのカードスロットが搭載されています。



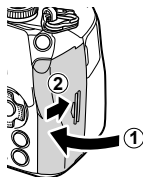
- 3** カードがロックされるまで差し込みます。

- 破損、変形したカードを無理に入れないでください。カードスロットを破損させる場合があります。



- 4** カードカバーを閉めます。

- カチッと音がするまでしっかりと閉めます。
- カメラをご使用の際は、必ずカードカバーを閉じてください。

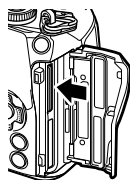


- カードの初回使用時は、必ずこのカメラで初期化してからお使いください(P.175)。

■ カードを取り出す

差し込まれているカードを押し込むと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。

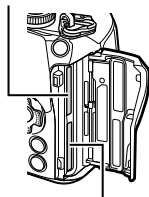
- カメラの電源がオフになっていることを確認してください。
- カード書き込み中のマーク (P.34, 35) が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。



カードスロット1とカードスロット2では対応カードが異なります。

- カードスロット1：UHS-II、UHS-I対応
- カードスロット2：UHS-I対応*
- * カードスロット2にUHS-IIカードを入れると、UHS-Iカードとして動作します。

カードスロット1



カードスロット2

カードを2枚使用するとき

2つのカードスロットにカードを入れて使用する場合は、目的に応じてそれぞれを使い分けることができます。☞ **★**カスタムメニュー **☑** **【カードスロット設定】** (P.235)

- 指定したカードにのみ記録する
- 指定したカードに記録し、空き容量がなくなったら、もう1枚のカードに記録先を変更する
- それぞれのカードに、異なる画像サイズや圧縮率で記録する
- 2枚のカードに同じ画像を記録する

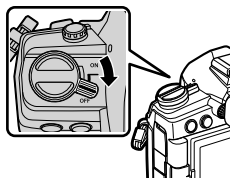
レンズを取り付ける

- 交換レンズについては、P.283をお読みください。

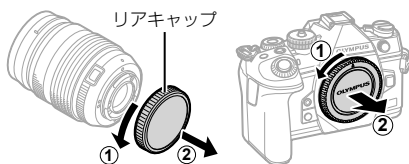
1

準備する

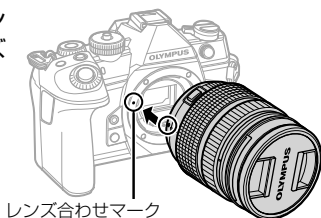
- 1 カメラの電源がオフになっていることを確認します。



- 2 レンズのリアキャップ、カメラのボディキャップを外します。

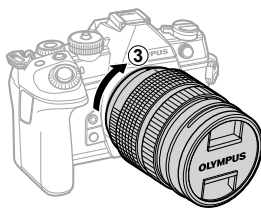


- 3 カメラのレンズ合わせマーク(赤印)にレンズの取り付け指標(赤印)を合わせ、レンズをボディに差し込みます。

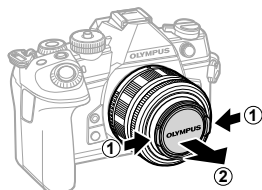
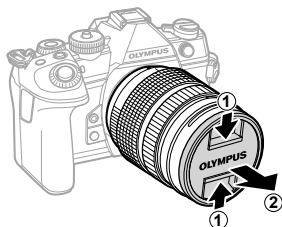


- 4 レンズをカチッと音がするまで右に回します(矢印③の方向)。

- レンズ取り外しボタンは押さないでください。
- カメラ内部には触らないでください。



5 レンズキャップを取り外します。



1

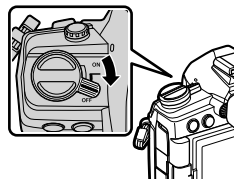
準備する

レンズを取り外す

1

準備する

- 1 カメラの電源がオフになっていることを確認します。

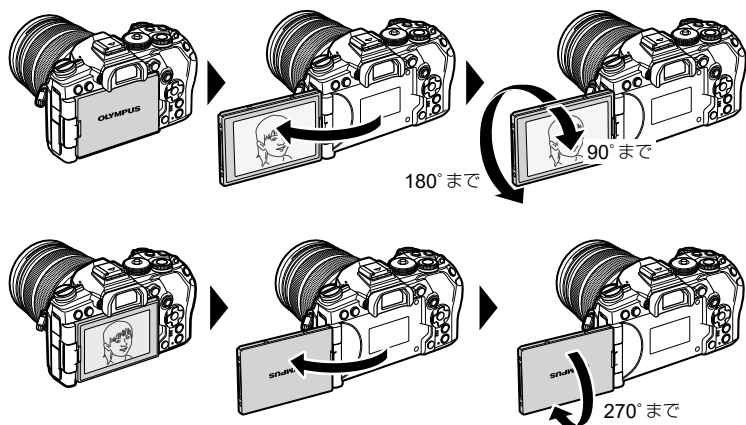


- 2 レンズ取り外しボタンを押しながら、矢印の方向に回します。

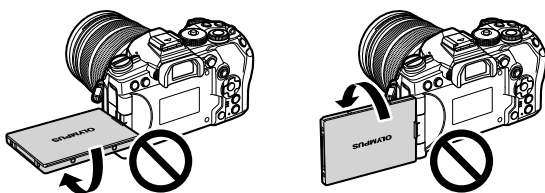


モニターを操作する

モニターの画面を見えるように回転します。モニターは、撮影時の状況に合わせて向きと角度を変えることができます。



- モニターを回転させるときは、可動範囲内でゆっくりと回してください。次のように可動範囲を超えて、無理な力がかかると接続部の破損の原因となります。

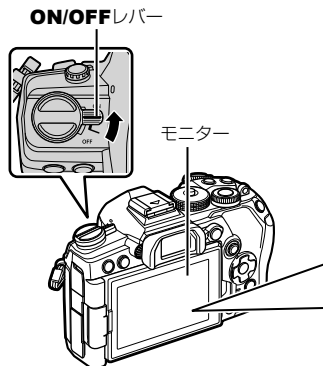


- モニターを自分撮り位置にすると、画面の左右を反転して表示したり、電動ズームレンズのズーム位置を自動的に広角側に移動します。☑️「自分撮りに合わせた表示をする(自分撮りアシスト)」(P.227)

電源を入れる

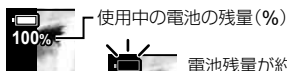
1 ON/OFFレバーをONの位置に合わせます。

- 電源が入るとモニターが点灯します。
- 電源をオフにするには、レバーを**OFF**の位置に戻します。



電池残量表示

使用している電池の残量が表示されます。電池残量は10段階で表示されます。



電池残量が約10%になると赤く点滅表示します。



- 電源オンオフの機能は**Fn**レバーに割り当てておくこともできます。✳️カスタムメニュー **B1**の**[Fnレバー / 電源レバー]** (P.183)で設定します。

カメラのスリープ動作について

カメラを一定時間操作しないと、電池消費を抑えるためにカメラが自動的に待機状態になります。この状態をスリープモードといいます。

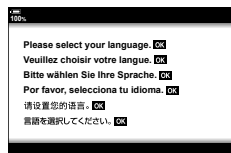
- スリープモードになるとモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや▶️ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。
- スリープモードに入ってから操作を行わずにさらに一定時間経過すると、電源がオフになります。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。
- **[Wi-Fi/Bluetooth設定]**で**[バックグラウンド通信]**が**[On]** (有効)に設定されていると、電源を入れなおしたときの動作に時間が掛かることがあります。🔌「電源オフ時の無線接続設定をする(バックグラウンド通信)」(P.247)
- スリープモードまでの時間と電源オフまでの時間は✳️カスタムメニューで変更できます。初期設定では、スリープモードまでの時間は1分、電源オフまでの時間は4時間です。🔌 ✳️カスタムメニュー **B2** **[スリープ時間]** (P.196)、**[自動電源Off]** (P.197)

初期設定をする

初めて電源を入れたときは、初期設定として言語と日時の設定を行います。

- 日時の情報は画像とともにカードに記録されます。
- ファイル名は日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

- 1 初期設定画面(言語の設定を促す画面)が表示されたら、**OK** ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの **△▽<▷** またはフロント/リアダイヤルで、設定したい言語にカーソルを移動します。

- 言語を選択する画面は、2ページで構成されています。**△▽<▷** ボタンまたはフロント/リアダイヤルでカーソルを移動して、ページを切り換えられます。



- 3 設定したい言語の位置にカーソルを移動させた状態で、**OK** ボタンを押します。

- **OK** ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、言語が設定されないまま撮影待機状態になります。その場合、一度カメラの電源をオフにしてから入れ直すと初期設定画面が再度表示されますので、手順1から操作を行ってください。
- 言語の設定は、**▼** セットアップメニューで後から変更できます。**OK** 「言語の表示がおかしい/設定した言語が表示されないときは」(P.33)



4 日付／時刻／日付表示順序を設定します。

- <▷ ボタンで項目を選びます。
- △▽ボタンで内容を選びます。
- 日時の設定は、↓セットアップメニューで後から変更できます。☰ ↓セットアップメニュー 【日時設定】 (P.174)
- 設定をしたら⊗ボタンを押します。



時刻は24時間表示です。

5 △▽ボタンで地域を選択し、⊗ボタンを押します。

- **INFO** ボタンでサマータイムの設定ができます。

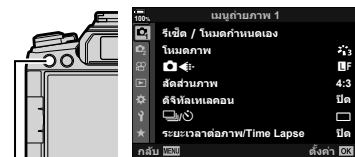
6 ⊗ボタンを押して、設定を終了します。

- カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時が初期状態にリセットされる場合があります。
- ムービーを撮影する場合は、必要に応じてあらかじめフレームレートを設定してください。☰ 動画メニュー 【画質設定】の【画質モード】 (P.165)

言語の表示がおかしい／設定した言語が表示されないときは

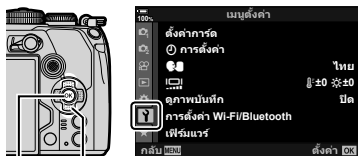
画面の表示が読めない文字になっていたり、意図しない言語が表示されたときは、言語設定時に設定したい言語とは異なる言語を選択した可能性があります。次の手順で言語の設定を変更してください。

- 1 **MENU**ボタンを押し、メニューを表示します。



MENUボタン

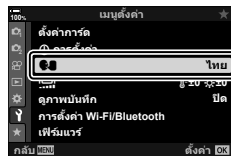
- 2 十字ボタンの△▽で [設定] (セッアップメニュー) タブを選択し、OKボタンを押します。



十字ボタン

OKボタン

- 3 △▽ボタンで [言語] を選択し、OKボタンを押します。



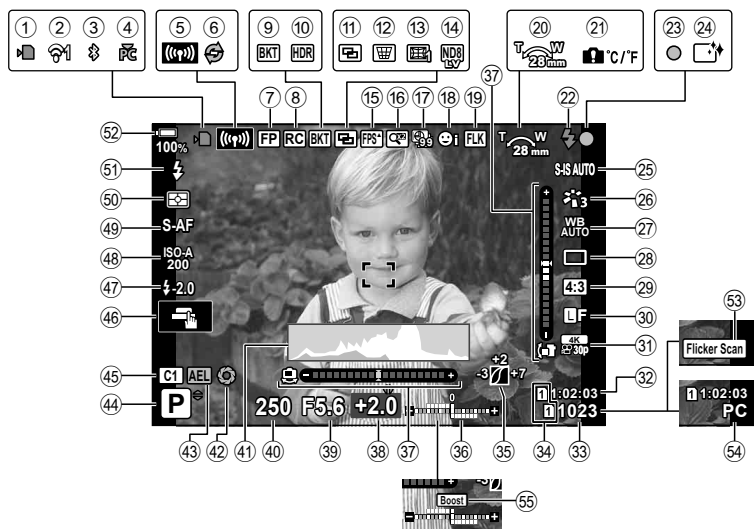
- 4 △▽<▷ボタンで設定したい言語を選択し、OKボタンを押します。



2 撮影する

撮影時の情報表示

静止画像撮影時のモニター表示



ムービーモード中のモニター表示



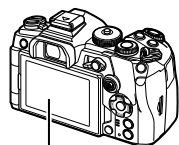
- ① カード書き込み中.....P.19, 25
- ② 無線LAN接続状態.....P.243, 254
- ③ Bluetooth®接続中.....P.244
- ④ パソコン接続中(Wi-Fi).....P.254
- ⑤ 無線LAN接続.....P.245, 268
- ⑥ プロキャプチャー画像取り込み中.....P.79
- ⑦ スーパー FP発光.....P.285
- ⑧ RCモード.....P.286
- ⑨ ブラケット撮影.....P.144
- ⑩ HDR撮影.....P.150
- ⑪ 多重露出撮影.....P.152
- ⑫ デジタルシフト撮影.....P.154
- ⑬ フィッシュアイ補正撮影.....P.240
- ⑭ ライブND撮影.....P.157
- ⑮ 高速フレームレート.....P.186
- ⑯ デジタルテレコン.....P.141
- ⑰ インターバル撮影.....P.142
- ⑱ 顔優先/瞳優先.....P.90
- ⑲ フリッカーレス撮影.....P.221
- ⑳ ズーム操作方向/焦点距離
- ㉑ 内部温度上昇警告.....P.298
- ㉒ フラッシュ.....P.82
(点滅:充電中、点灯:充電完了)
- ㉓ 合焦マーク.....P.40
- ㉔ ダストリダクション.....P.293
- ㉕ 手ぶれ補正.....P.95
- ㉖ ピクチャーモード.....P.104, 140
- ㉗ WBモード.....P.92
- ㉘ ドライブ(単写/連写/セルフタイマー/
低振動撮影/静音撮影/プロキャプチャー
撮影/ハイレゾショット)
.....P.76-81, 96
- ㉙ アスペクト比.....P.96
- ㉚ 画質モード.....P.98, 140
- ㉛ 画質モード.....P.99
- ㉜ 録画可能時間.....P.315
- ㉝ 撮影可能枚数.....P.314
- ㉞ カードスロット設定
上:記録スロット.....P.235
下:記録設定.....P.97
- ㉟ ハイライト&シャドウ
コントロール.....P.113
- ㊱ 上:フラッシュ補正.....P.103
下:露出補正.....P.66
- ㊲ 水準器.....P.38
- ㊳ 露出補正值.....P.66
- ㊴ 絞り値.....P.42-48
- ㊵ シャッター速度.....P.42-48
- ㊶ ヒストグラム.....P.37
- ㊷ プレビュー.....P.115
- ㊸ AEロック.....P.75, 199
- ㊹ 撮影モード.....P.39-58
- ㊺ カスタムモード.....P.55, 140
- ㊻ タッチ操作.....P.41
- ㊼ フラッシュ補正.....P.103
- ㊽ ISO感度.....P.73, 89
- ㊾ AF方式.....P.62, 89
- ㊿ 測光方式.....P.75
- ① フラッシュモード.....P.84
- ② 電池残量.....P.30
- ③ フリッカースキャン.....P.232
- ④ パソコン接続中(USB).....P.272
- ⑤ LVブースト.....P.186
- ⑥ 録音レベル*.....P.59, 167
- ⑦ ヘッドホン音量*.....P.59, 167
- ⑧ 録音レベルメーター.....P.167
- ⑨ ビューアシスト.....P.162
- ⑩ ムービー録音.....P.167
- ⑪ モード(ムービー露出モード).....P.163
- ⑫ 録画時間(録画中).....P.57
- ⑬ タイムコード.....P.162
- ⑭ 静音操作タブ.....P.59

* [VOL] [VOL] を設定中表示されます。 [] 「タッチ操作で設定する(静音操作)」
(P.59)、[ダイヤル機能] (P.161)

表示の切り換え

このカメラは、アイセンサーの働きによってモニターとファインダーの画面を自動的に切り換えます。また、ファインダーやモニターの画面(ライブビュー表示)には、撮影機能の設定状態を示す情報が表示されます。画面の切り換えや情報表示の状態は設定により選択ができます。

モニターを使って撮影する



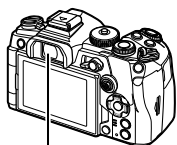
モニター



目を近づける



ファインダーを使って撮影する



ファインダー



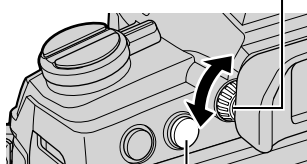
モニターの撮影画面がライブビュー表示されます。



目を近づけると自動的にファインダーが点灯します。ファインダー点灯中は、モニターは消灯します。

- ファインダー内の表示がぼやけて見えるときは、ファインダーをのぞきながらファインダー内の表示がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回します。
- モニターがライブビュー表示中に **LV** ボタンを押すと、ライブビュー表示からスーパーコンパネに切り換わります。ファインダーに目を近づけると、ファインダー内の表示がライブビュー表示になります。このときモニターは消灯します。
- スーパーコンパネの表示中に **INFO** ボタンを押すと、撮影情報表示に切り換わります (P.38)。

視度調整ダイヤル



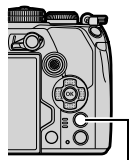
LV ボタン



- モニターとファインダーの自動切り換えを手動にしたり、ファインダーの表示スタイル変更は、*****カスタムメニューで行うことができます。☞ *****カスタムメニュー **1** [EVF自動切換え設定] (P.194)、[EVF表示スタイル] (P.238)

情報表示を切り換える

INFOボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。



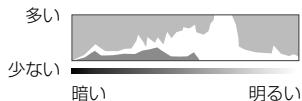
INFOボタン



- カスタム表示1とカスタム表示2の設定は、**[Info表示設定]**の**[LV-Info]** (P.225)で変更できます。
- ムービーモード(🎥)では、静止画撮影モードとは異なる情報表示の設定ができます。
[動画メニュー] **[Info表示設定]**の**[Info表示]** (P.162)
- **INFO**ボタンを押しながらダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。
- **[LV-Info]**で**[表示Off]**を選択したときに▶ボタンを押すと、シャッターボタン半押し中の撮影情報表示の設定が選べます。

ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。上限値や下限値の設定は変更できます。**[カスタムメニュー D3]** **[ヒストグラム警告設定]** (P.187)



ハイライト&シャドウ

ヒストグラム表示の上限値および下限値の設定に従って、ハイライトやシャドウ部を赤色や青色で表示します。上限値や下限値の設定は変更できます。**[カスタムメニュー D3]** **[ヒストグラム警告設定]** (P.187)

水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。

- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示にずれがあるときは、調整することができます。☰ ✨ カスタムメニュー 01 【水準器調整】 (P.196)

撮影情報表示

スーパーコンパネ表示状態(P.86)で**INFO**ボタンを押すと、撮影情報表示に切り換わります。再度**INFO**ボタンを押すと、スーパーコンパネ表示に戻ります。

- ✨ カスタムメニュー 01 の【☒/Info表示設定】の【LV OFF-Info】 (P.225)で撮影情報表示を非表示にすることもできます。



スーパーコンパネ

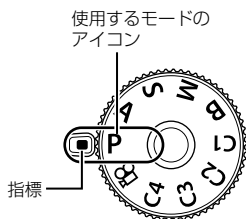
INFO



撮影情報表示

静止画を撮る

モードダイヤルを使って撮影モードを選んで撮影します。




2

撮影する

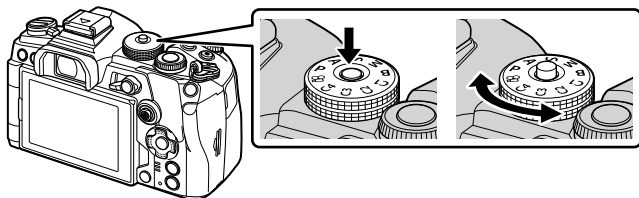
■ 撮影モードの種類

各撮影モードの詳細はそれぞれのページをご覧ください。

P	プログラムAE (P.42)
A	絞り優先AE (P.44)
S	シャッター優先AE (P.46)
M	マニュアル(P.48)
B	バルブ撮影/タイム撮影(P.50)
	ライブコンポジット撮影(P.52)
C1/C2/C3/C4	カスタム(P.55)
	ムービー撮影(P.58)

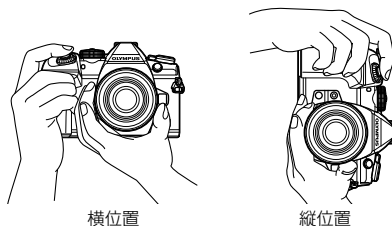
1 モードダイヤルロックを押してロックを解除し、モードダイヤルを回して使用するモードに設定します。

- モードダイヤルロックが押し込まれているとき、モードダイヤルはロックされています。モードダイヤルロックを押すたびにロック/解除が切り換わります。



2 カメラを構えて構図を決めます。

- レンズやAFイルミネーターに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



3 ピントを合わせます。

- シャッターボタンを1段目まで浅く押し込みます(半押し)。
合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑の枠(AFターゲット)が表示されます。



- 合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていません(P.294)。
- AFフレームの形状はAFターゲット選択の設定により変わります。AFターゲット選択画面(P.67)でターゲットの範囲を変更、設定して使用してください。AFターゲットの設定が「**AF** (オールターゲット)」のときはAFフレームは表示されません。

4 撮影します。

- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。
- シャッターが切れ、撮影されます。
- タッチ操作でもピント合わせや静止画の撮影ができます。☞「タッチパネルを使って撮る」(P.41)

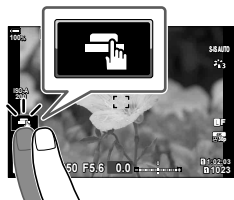
シャッターボタンの半押しと全押し

シャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを1段目まで浅く押し、そのままの状態にすることを半押しといい、2段目まで深く押し込むことを全押しといいます。



タッチパネルを使って撮る

☑ ボタンにタッチするたびに操作方法が切り換わります。

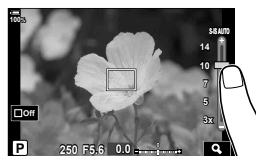


- ☑ タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。撮影モードが**B**（パルプ）、**☺**（ムービーモード）のとき、またはAF方式(P.62)が**[AF]**、**[AF MF]**のときは使えません。
- ☑ タッチ操作を禁止します。
- ☑ タッチした箇所にAFターゲットを表示してピントを合わせます。AFフレームの大きさや位置は指で操作できます。撮影はシャッターボタンを押します。
- ☑ カメラが複数の人物の顔を検出したとき、ピントを合わせる顔をタッチして選択します。**[☺]**は**[顔優先]**を**[顔優先Off]**以外に設定したときに表示されます(P.90、181)。撮影モードが**☺**（ムービーモード）で、**[画質モード]**が**PHS**（ハイスピード）のときは使えません(P.101)。

■ ピントを合わせる被写体を確認する(☑)

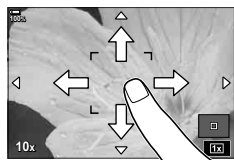
1 ピントを合わせたい被写体にタッチします。

- AFターゲットが表示されます。
- レベルバーを指で上下させると枠の大きさを変えられます。
- **[Off]**にタッチするとAFターゲット表示を終了します。



2 レベルバーでAFターゲットの大きさを調節してから**[Q]**にタッチすると、枠の位置を拡大表示します。

- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
- **[Q]**にタッチすると拡大表示を終了します。



• 次の場合はタッチ操作できません。

ワンタッチWB取得画面／ボタンまたはダイヤル操作中など

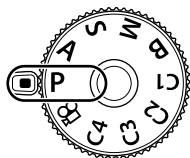
- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。
- タッチパネルの操作を禁止することができます。**[カスタムメニュー]** **[1]** **[タッチパネル設定]** (P.196)

絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する

(Pプログラム撮影)

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルをPに合わせます。



2 被写体にピントを合わせて表示を確認します。

- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されません。

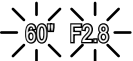
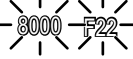
3 撮影します。



絞り値
シャッター速度
撮影モード

適正露出が得られないときは

シャッター速度と絞り値が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい値で シャッター速度が遅い場合 	被写体が暗すぎます。 • フラッシュを使ってください。
絞り値が大きい値で シャッター速度が速い場合 	被写体が明るすぎます。 • カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。 • [♥]（静音撮影）に設定すると、シャッター速度を1/32000まで上げることができます。☑️「シャッター音を立てずに撮影する（静音[♥]撮影）」（P.79）、「連写する／セルフタイマーを使う」（P.96）

- [ISO感度]の設定を固定しているときは、設定を変更してください。☑️「感度を変更する（ISO感度）」（P.73, 89）
- 点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

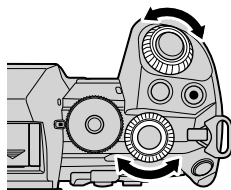
■ Pモード時の設定操作について

フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：露出補正 (P.66)

リアダイヤル：プログラムシフト

- 露出補正は、**Fn**ボタンでも設定できます。**Fn**ボタンを押してからフロント/リアダイヤルを回します。



- フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。**Fn** **カスタムメニュー B1** **ダイヤル機能** (P.216)
- Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。**Fn** **カスタムメニュー B1** **Fnレバー機能** (P.217)

■ プログラムシフトについて

自動的に設定された絞り値とシャッター速度の組み合わせを、露出を変えずに変更することができます。これをプログラムシフトといいます。

- 使いたい絞り値、またはシャッター速度が表示されるまでリアダイヤルを回します。
- プログラムシフトをすると、画面の撮影モードの**P**が**Ps**と表示されます。プログラムシフトを解除するには、表示が**P**になるまで、リアダイヤルを逆に回します。



プログラムシフト



- 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。**Fn** **カスタムメニュー D2** **LVブースト** (P.186)

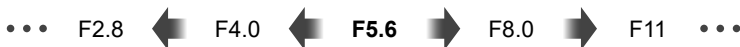
絞りを決めて撮影する

(A絞り優先撮影)

絞り値(F値)を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定します。絞り値の数値を小さくする(絞りを開く)ほど、ピントの合う範囲(被写界深度)が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞り値の数値を大きくする(絞りを絞る)ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。

絞り値を小さくする

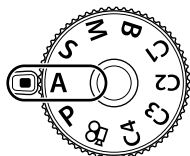
絞り値を大きくする



ピントの合う範囲が狭くなり、ボケが強くなる

ピントの合う範囲が広がる

1 モードダイヤルをAに合わせます。



2 絞り値を設定します。

- 初期設定では、リアダイヤルで絞り値の設定ができます。
- 適正なシャッター速度が自動的に設定され画面に表示されます。

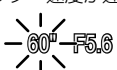
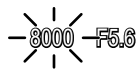
3 撮影します。



絞り値

適正露出が得られないときは

シャッター速度が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
シャッター速度が遅い場合 	露出アンダー（露出不足）です。 <ul style="list-style-type: none">絞り値を小さくしてください。
シャッター速度が速い場合 	露出オーバー（露出過度）です。 <ul style="list-style-type: none">絞り値を大きくしてください。絞り値を大きくしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。【♥】（静音撮影）に設定すると、シャッター速度を1/32000まで上げることができます。☑️「シャッター音を立てずに撮影する（静音【♥】撮影）」（P.79）、「連写する／セルフタイマーを使う」（P.96）

- 【ISO感度】の設定を固定しているときは、設定を変更してください。☑️「感度を変更する(ISO感度)」（P.73, 89）

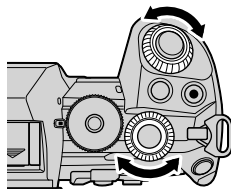
■ Aモード時の設定操作について

フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：露出補正 (P.66)

リアダイヤル：絞り値

- 露出補正は、**☑**ボタンでも設定できます。**☑**ボタンを押してからフロント/リアダイヤルを回します。



- フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。**☑** **★**カスタムメニュー **B1** **【📷ダイヤル機能】** (P.216)
- Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。**☑** **★**カスタムメニュー **B1** **【📷Fnレバー機能】** (P.217)
- 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。**☑** **★**カスタムメニュー **D2** **【LVブースト】** (P.186)
- 設定した値まで実際に絞りを動作させて、ピントの合う範囲を確認できます(レビュー)。**☑**「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)

シャッター速度を決めて撮影する (Sシャッター優先撮影)

シャッター速度を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正な絞り値を自動的に設定します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されますが、躍動感や動きのある仕上がりになります。

シャッター速度を遅くする

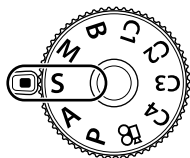
60" ← 15 ← 30 ← 60 → 125 → 250 → 8000

躍動感や動きのある
仕上がりになる

シャッター速度を速くする

動きの速い被写体を
止まったように撮影する

1 モードダイヤルをSに合わせます。



2 シャッター速度を設定します。

- 初期設定では、リアダイヤルでシャッター速度の設定ができます。
- シャッター速度は、1/8000 ~ 60秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、1/32000秒まで設定できます。
 [M] 「シャッター音を立てずに撮影する(静音[♥]撮影)」(P.79)、「連写する/セルフタイマーを使う」(P.96)
- 絞り値が自動的に設定され画面に表示されます。

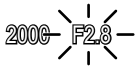
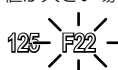


シャッター速度

3 撮影します。

適正露出が得られないときは

絞り値が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい場合 	露出アンダー（露出不足）です。 ・シャッター速度を遅くしてください。
絞り値が大きい場合 	露出オーバー（露出過度）です。 ・シャッター速度を速くしてください。静音撮影に設定すると、シャッター速度の上限が1/32000になります。 ・シャッター速度を速くしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。

- ・**[ISO感度]**の設定を固定しているときは、設定を変更してください。**[ISO]**「感度を変更する(ISO感度)」(P.73, 89)
- ・点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

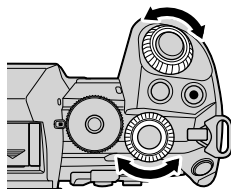
■ Sモード時の設定操作について

フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：露出補正 (P.66)

リアダイヤル：シャッター速度

- ・露出補正は、**[Fn]**ボタンでも設定できます。**[Fn]**ボタンを押してからフロント/リアダイヤルを回します。



- ・フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。**[Fn]** **[Fn]**カスタムメニュー **[Fn]** **[Fn]**ダイヤル機能 (P.216)
- ・**Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。**[Fn]** **[Fn]**カスタムメニュー **[Fn]** **[Fn]**Fnレバー機能 (P.217)
- ・画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。**[Fn]** **[Fn]**カスタムメニュー **[Fn]** **[Fn]**LVブースト (P.186)
- ・低速のシャッター速度が使えない明るい環境でも、長秒時シャッターで撮影したような効果を得ることができます。**[Fn]** **[Fn]**撮影メニュー 2 **[Fn]**ライブND撮影 (P.157)
- ・蛍光灯やLED光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき(フリッカー)の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。**[Fn]** **[Fn]**カスタムメニュー **[Fn]** **[Fn]**フリッカー低減 (P.220)、**[Fn]** **[Fn]**カスタムメニュー **[Fn]** **[Fn]**フリッカースキャン (P.232)

絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する

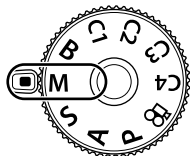
(Mマニュアル撮影)

絞り値とシャッター速度を自分で設定します。被写体に合わせて速いシャッター速度にしつつ、絞り込んで被写界深度を確保するといった、狙いに合わせた撮影ができます。

2

撮影する

1 モードダイヤルをMに合わせます。



2 絞り値とシャッター速度を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで絞り値、リアダイヤルでシャッター速度の設定ができます。
- シャッター速度は、1/8000 ~ 60秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、シャッター速度を1/32000秒まで上げることができます。☞「シャッター音を立せずに撮影する(静音[♥]撮影)」(P.79)
- 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。差が±3以上になると表示が点滅します。
- 【ISO感度】が【AUTO】(オート)のときは、設定した露出で適正露出になるようにISO感度が設定されます。【ISO感度】は初期設定では【AUTO】です。☞「感度を変更する(ISO感度)」(P.73、89)



適正露出との差

3 撮影します。

適正露出が得られないときは

【ISO感度】が【AUTO】で、適正露出が得られないときは、ISO感度表示が以下のよう点滅します。

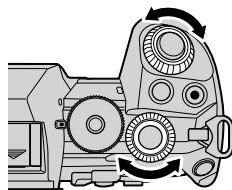
警告表示例	状態と対処方法
A warning icon consisting of a central circle with 'ISO-A' above 'LOW' and eight radiating lines.	露出オーバー (露出過度) です。 • 絞り値を大きくするか、シャッター速度を速くしてください。
A warning icon consisting of a central circle with 'ISO-A' above '6400' and eight radiating lines.	露出アンダー (露出不足) です。 • 絞り値を小さくするか、シャッター速度を遅くしてください。 • それでも解消されないときは、ISO感度を上げてください。 ☞「感度を変更する(ISO感度)」(P.73、89)、 ★カスタムメニュー E1 【ISOオート設定】(P.189)

■ Mモード時の設定操作について

フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：絞り値

リアダイヤル：シャッター速度



- フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。☞ **★カスタムメニュー B1** 【**📷ダイヤル機能**】 (P.216)
- **Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント／リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。☞ **★カスタムメニュー B1** 【**📷Fnレバー機能**】 (P.217)
- 蛍光灯やLED光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき(フリッカー)の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。☞ **★カスタムメニュー C1** 【**フリッカー低減**】 (P.220)、**★カスタムメニュー E2** 【**📷フリッカースキャン**】 (P.232)
- 画面の表示に露出の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出の設定を反映した明るさで表示します。☞ **★カスタムメニュー D2** 【**LVブースト**】 (P.186)

■ Mモード時の露出補正について

Mモード時に【**📷ISO感度**】が【**AUTO**】(オート)のときは露出補正の設定ができます。ISO感度の変更によって露出補正を行うため、絞り値やシャッター速度の設定は変更されません。☞ 「感度を変更する(ISO感度)」(P.73、89)、**★カスタムメニュー E1** 【**📷ISOオート設定**】 (P.189)

- 露出補正は、**☑**ボタンを使って設定します。**☑**ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回します。
- 露出補正を行うと、設定値と適正露出との差に、設定した補正値が加味されて画面に表示されます。



露出補正值

補正値を加味した
露出設定値との差

バルブ／タイム撮影を行う

(B長秒時撮影)

シャッターを長時間開いて露光をします。ライブビューの画面で仕上がりを確認しながら任意のタイミングで撮影を終了することもできます。夜景や打ち上げ花火のような長時間の露光が必要なときに設定します。

バルブ撮影(BULB)、ライブバルブ撮影(LIVE BULB)

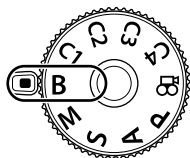
シャッターボタンを押している間、露光を続けます。シャッターボタンを離すと露光が終了します。

- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブバルブ撮影のときは、露光中の画像をライブビューで表示する間隔を設定できます。

タイム撮影(TIME)、ライブタイム撮影(LIVE TIME)

シャッターボタンを全押しすると露光を始めます。露光を終了するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブタイム撮影のときは、露光中の画像をライブビューで表示する間隔を設定できます。

1 モードダイヤルをBに合わせます。**2 バルブ撮影またはタイム撮影に設定します。**

- 初期設定では、リアダイヤルで設定します。

3 MENUボタンを押します。

- 撮影中のライブビュー表示の間隔を設定するメニューが表示されます。



バルブ撮影、タイム撮影

4 十字ボタンの△▽で表示更新間隔を設定します。**5 OKボタンを押して設定を確定します。**

- メニュー画面が表示されます。

**6 MENUボタンを押して、メニューを終了します。**

- [Off]以外に設定したときは、画面に[LIVE BULB]または[LIVE TIME]と表示されます。

7 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。



絞り値

8 撮影します。

- バルブまたはライブバルブ撮影の場合はシャッターボタンを押し続けます。シャッターボタンを離すと撮影は終了します。
- タイムまたはライブタイム撮影の場合はシャッターボタンを全押しして撮影を開始し、撮影を終えるときにもう一度シャッターボタンを全押しします。
- [BULB/TIMEリミッター]**で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。初期設定は**[8分]**です。設定は変更できます。☞ **★カスタムメニュー E2 [BULB/TIMEリミッター]** (P.190)
- 撮影後に**[長秒時ノイズ低減]**が働きます。ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。**[長秒時ノイズ低減]**の動作は選択できます (P.190)。
- ライブタイムで撮影中にシャッターボタンを半押しすると、表示を更新できます。
- 設定できるISO感度に制限があります。
- ライブバルブ撮影では、多重露出撮影/デジタルシフト撮影/フィッシュアイ補正撮影に設定するとバルブ撮影になります。
- ライブタイム撮影では、多重露出撮影/デジタルシフト撮影/フィッシュアイ補正撮影に設定するとタイム撮影になります。
- 撮影中は、以下の撮影機能の設定に制限があります。
 - 連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/AEブラケット撮影/手ぶれ補正/フラッシュブラケット撮影/フォーカスブラケット撮影/多重露出撮影など
- [📷手ぶれ補正]** (P.95)は自動的にオフになります。
- カメラの設定や温度や環境条件によっては、モニターに表示される画像にノイズや輝点が目立つ場合があります。また、これらは**[長秒時ノイズ低減]** (P.190)が設定されていても撮影画像に写る場合があります。



- 星空を撮影する場合は、星空AFも便利です。☞ 「ピントの合わせ方を設定する(AF方式)」 (P.62)、**★カスタムメニュー A4 [星空AF設定]** (P.182)
- バルブ/タイム撮影中の画面の明るさは変更できます。初期設定では暗く設定されています。☞ **★カスタムメニュー E2 [BULB/TIME輝度設定]** (P.190)
- バルブ/タイム撮影では、被写体が暗くても見やすい明るさで表示します。表示される画質を優先するか、表示速度を優先するかなどの設定をすることができます。☞ **★カスタムメニュー D2 [LVブースト]** (P.186)
- 撮影モードが**B** (バルブ)のとき、露光中にマニュアルでピント位置を変更することができます。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。☞ **★カスタムメニュー A4 [BULB/TIME中MF]** (P.214)

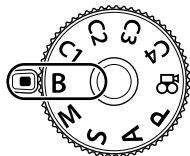
📷 画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラでは長秒時ノイズ低減が働きます。📷 ✱カスタムメニュー 📷 [長秒時ノイズ低減] (P.190)

比較明合成撮影を行う (Bライブコンポジット撮影)

シャッターを長時間開いて露光をします。背景の明るさを変えずに、火花や星などの明るい光跡の変化を観察しながら撮影できます。複数枚を合成し、1枚の画像として記録します。

1 モードダイヤルをBに合わせます。



2 [LIVE COMP]に設定します。

- 初期設定ではリアダイヤルを回して設定します。

3 MENUボタンを押します。

- [コンポジット撮影設定]の設定画面が表示されます。



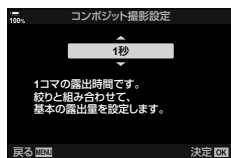
ライブコンポジット撮影

4 十字ボタンの△▽で1コマの露出時間を設定します。

- 露出時間は、1/2秒～60秒の間で設定できます。

5 OKボタンを押して設定を確定します。

- メニュー画面が表示されます。



6 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

7 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。

8 撮影準備のためにシャッターボタンを全押しします。

- モニターに[コンポジット撮影できます]の表示が出たら撮影できます。



9 シャッターボタンを押して撮影を開始します。

- ライブコンポジット撮影が始まります。設定した露出時間ごとにモニターの画像が更新されます。

10 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。

- **[COMPリミッター]** (P.190)で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。初期設定は**[3時間]**です。設定は変更できます。
- 撮影可能時間は、撮影環境や充電状態などによって変わります。長時間の撮影には、別売のパワーバッテリーホルダー (P.22)やACアダプター (P.23)の使用をおすすめします。
- 設定できるISO感度に制限があります。
- 以下の機能とは併用できません。
連写／セルフタイマー撮影／インターバル撮影／AEブラケット撮影／
フラッシュブラケット撮影／フォーカスブラケット撮影／HDR撮影／
ハイレゾショット／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／ライブND撮影／
フィッシュアイ補正撮影
- **[手ぶれ補正]** (P.95)は自動的にオフになります。



- 星空を撮影する場合は、**星空AF**も便利です。☞「ピントの合わせ方を設定する(AF方式)」(P.62)、**★カスタムメニュー A4 [星空AF設定]** (P.182)
- ライブコンポジット撮影中の画面の明るさは変更できます。初期設定では暗く設定されています。☞ **★カスタムメニュー B2 [BULB/TIME輝度設定]** (P.190)
- ライブコンポジット撮影の1コマの露出時間は、あらかじめメニューで設定しておくことができます。☞ **★カスタムメニュー B2 [コンポジット撮影設定]** (P.231)

任意の設定をモードダイヤルに登録する (C1/C2/C3/C4 カスタムモード)

撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモードとして登録しておき、必要ときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます。また、メニューから直接設定を呼び出すこともできます。

- C1～C4それぞれに設定を登録できます。
- 初期設定では、Pモードの設定が登録されています。

残しておきたい設定内容を登録する (カスタム登録)

1 撮影モードをP以外にして、カメラの設定を登録したい内容にします。

- 設定を登録できる機能は、メニュー一覧(P.299)をご覧ください。

2 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

3 撮影メニュー1で[リセット/カスタム設定]を選択し、十字ボタンの▷を押します。

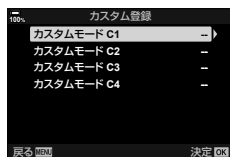
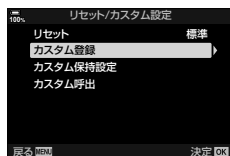
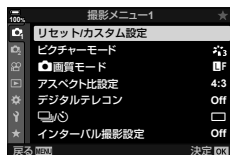
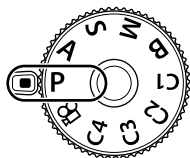
- [リセット/カスタム設定]の画面が表示されます。

4 △▽ボタンで[CUSTOM登録]を選択し、▷ボタンを押します。

- [CUSTOM登録]の画面が表示されます。

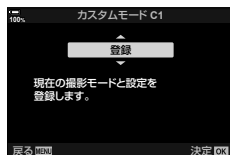
5 △▽ボタンで設定したいモードを[CUSTOMモード C1]～[CUSTOMモード C4]から選択し、▷ボタンを押します。

- 選択したカスタムモードの画面が表示されます。



6 △▽ボタンで[登録]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 設定が登録されて【カスタム登録】の設定画面に戻ります。
- すでに登録されている内容があるときは、現在の設定内容が上書きされます。
- 【クリア】を選択して**OK**ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



7 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。



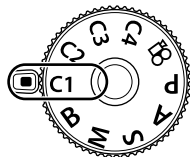
- カスタムモードを呼び出した状態でカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカスタムモードに自動で登録することができます。

カスタムモードを使う (C1/C2/C3/C4)

カメラの設定を撮影モードも含めて、登録した設定内容にします。

1 モードダイヤルを、機能を登録した**C1/C2/C3/C4**のいずれかに設定します。

- 登録したカスタムモードの設定になります。



2 撮影する。

- 各種機能の設定は変更できますが、初期設定では登録されている内容には反映されません。モードダイヤルを回すと登録された内容に戻ります。
- 【カスタム保持設定】を【保持する】に設定しておくこと、カスタムモードを呼び出した状態でカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカスタムモードに自動で登録することができ、モードダイヤルを回しても変更した設定が残ります。通常のP/A/S/M/Bと同じように使うことができます。

■ カスタムモード呼び出し時に変更した設定を自動で登録する

カスタムモードを呼び出した状態でカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカスタムモードに自動で登録することができます。

- 1 撮影メニュー 1で、[リセット/カスタム設定]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 [カスタム保持設定]を選択し、十字ボタンの▷を押します。
- 3 [カスタムモード C1] ~ [カスタムモード C4]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 4 [保持する]を選択し、**OK**ボタンを押します。

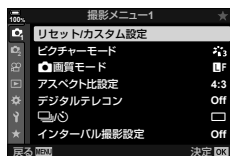
■ 登録されている設定を呼び出す

撮影モードが P 以外のときに、[カスタムモード C1] ~ [カスタムモード C4]に登録された機能設定だけを呼び出すことができます。撮影モードはモードダイヤルで設定されているモードのまま変更されません。

1 **MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

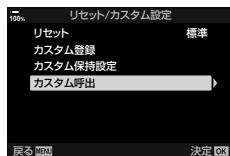
2 M 撮影メニュー 1で[リセット/カスタム設定]を選択し、十字ボタンの \triangleright を押します。

- [リセット/カスタム設定]の画面が表示されます。

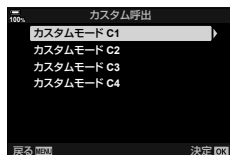


3 Δ / ∇ ボタンで[カスタム呼出]を選択し、 \triangleright ボタンを押します。

- [カスタム呼出]の画面が表示されます。

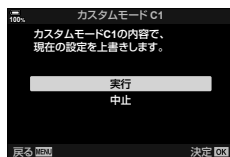


4 Δ / ∇ ボタンで呼び出すカスタムモードを選択し、 \triangleright ボタンを押します。



5 Δ / ∇ ボタンで[実行]を選択し、 M ボタンを押します。

- M 撮影メニュー 1の画面に戻ります。



6 **MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。



- [M ボタン機能] (P.114)で、いずれかのボタンに[カスタムモード C1] ~ [カスタムモード C4] (P.117)を割り当てておくと、撮影モードが P 以外のときにボタンを押すだけで登録したカスタムモードを呼び出すことができます。撮影モードも設定されます。ボタンを押すたびに、呼び出しと解除が切り換わります。
- ボタンによって登録された設定を呼び出しているとき、以下の操作で呼び出しが解除されます。
 - カメラの電源をオフにしたとき
 - モードダイヤルを切り換えたとき
 - 撮影状態で**MENU**ボタンを押したとき
 - リセットが実行されたとき
 - カスタム設定が登録/呼び出されたとき

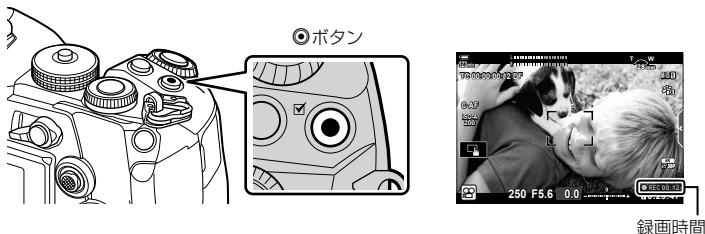
ムービーを撮る

静止画撮影時にムービーを撮る

モードダイヤルを M 以外に設定している場合も、 M ボタンを押すとムービーを撮影できます。



1 M ボタンを押してムービー撮影を始めます。

- ・ モニターに撮影中の画像が表示されます。
- ・ ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
- ・ 撮影中に画面にタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。
- ・ 録画時間がカウントされ画面に表示されます。




2 再度 M ボタンを押してムービー撮影を終了します。


- ・ タッチ操作やボタンの操作音が録音されることがあります。
- ・ AFフレームの形状は、ムービーモードで設定されている形状になります。モードダイヤルを M （ムービーモード）に設定して、あらかじめAFターゲット選択画面でAFフレームの形状を設定してください(P.67)。
- ・ 次の場合はタッチ操作できません。
ワンタッチWB取得画面／ボタンまたはダイヤル操作中など
- ・ このカメラは撮像素子にCMOSを搭載しているため、ローリングシャッターによる「動体歪み」という現象が発生します。動体歪みは、動きの速い被写体や手ぶれのときに撮影画像に歪みが発生する現象です。特に長焦点で使用するるとこの現象が顕著になります。
- ・ 撮影中のムービーのファイルサイズが4GB以上になると、ファイルは自動的に分割して記録されます（撮影条件によっては、4GB未満で分割される場合があります）。分割されたファイルは、連続して再生することもできます。[M]「4GBを超えるサイズのムービーの再生」(P.128)
- ・ ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス10以上に対応したカードをご使用ください。
- ・ 次の場合は、UHS-II またはUHS-I のUHSスピードクラス3以上をご使用ください。
[M]画質モード]の画像サイズが[4K]または[C4K]のとき／ [M]画質モード]のビットレートが[A-I] (All-Intra)のとき
- ・ カメラを長時間使用すると撮像素子の温度が上昇し、画像にノイズや色むらが発生します。その場合はしばらく電源を切ってください。また、ISO感度が高い設定の画像でもノイズや色むらが発生します。さらに温度が上がると、カメラの電源が切れます。


- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- 次の場合、ボタンを押してもムービー撮影はできません。
多重露出撮影中(静止画撮影も終了します。) / シャッターボタン半押し中 /
B (バルブ)モード / 連写中 / インターバル撮影中 / デジタルシフト撮影中 /
フィッシュアイ補正撮影中 / ライブND撮影
- [画質モード]がハイスピードムービーのときは、ピクチャーモードを[**i-Finish**]、
[**eポートレート**]、またはアートフィルターに設定していても[**Natural**]で撮影されます。



- AF方式など一部の設定は、静止画撮影時の設定とは別にムービー撮影用の設定ができます。
「動画メニューを使う」(P.159)

ムービーモードを使って撮る()

モードダイヤルを (ムービーモード)に設定すると、**P/A/S/M**モードの効果を活かしたムービー撮影が可能です(P.163)。

- シャッターボタンを押してムービーを撮影するには、[シャッターボタン機能]の設定が必要です(P.161)。
- ムービーモードでは、合焦時でもピピッという音はしません。

ムービー撮影中のカメラの操作による操作音が録音されるのを防ぐことができます。静音操作タブにタッチすると以下の機能のアイコンが表示されます。項目にタッチした後、表示される矢印にタッチして設定します。

静音操作タブ






(電動ズーム)	電動ズームのレンズ使用時にズーム操作をします。
(ヘッドホン音量)	ヘッドホン使用時に音量の調節をします。
(録音レベル)	録音音量の調節をします。
SS (シャッター速度)	[🔍モード] (ムービー露出モード) (P.163)が [S] (シャッター速度優先AE)または [M] (マニュアル)のときに、シャッター速度の設定をします。
FNo (絞り値)	[🔍モード] (ムービー露出モード) (P.163)が [A] (絞り優先AE)または [M] (マニュアル)のときに、絞り値の設定をします。
(露出補正)	露出補正值の設定をします。 [🔍モード] (ムービー露出モード) (P.163)が [M] のときは、 [🔍ISO感度] (P.73)が [AUTO] のときに使えます。
ISO (ISO感度)	[🔍ISO感度] (P.73)の設定をします。 [🔍モード] (ムービー露出モード) (P.163)が [M] のときに表示されます。

- ハイスピードムービー撮影時(P.101)は静音操作を使用できません。

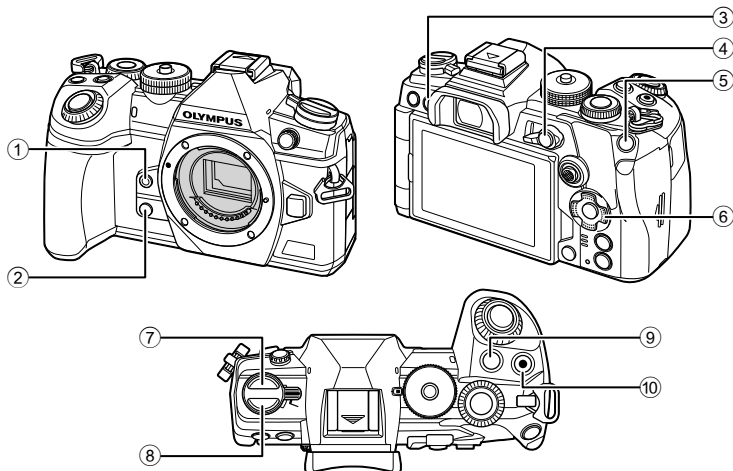
撮影機能を設定する方法

カメラにはたくさんの撮影機能が搭載されています。設定を変更する機会がどの程度多いかなどによって、ボタン操作で設定する方法、モニター上で機能を選択して設定する方法、メニューを開いて細かい設定をする方法を使い分けることができます。

設定方法	説明	
ダイレクトボタン	ボタン操作で直接機能を設定します。ファインダーをのぞきながらでも操作できるように、よく使う機能が割り当てられています。 ・  ボタン、  ボタン、 ISO ボタンなど	61
LVスーパーコンパネ/ スーパーコンパネ	設定状態を一覧で表示する機能パネルで設定します。 撮影機能の設定状態を確認できます。	86
LVコントロール	モニターで被写体を確認しながら設定します。	223
メニュー	モニターにメニューを表示して設定します。	137

ダイレクトボタンで設定する

撮影によく使う機能はボタンに割り当てられています。これらのボタンを「ダイレクトボタン」といいます。ダイレクトボタンには以下のようなボタンがあり、撮影に関する基本的な機能の設定ができます。



ダイレクトボタン	割り当てられている撮影機能	📖
① 撮影ボタン	ワンタッチホワイトバランス	93
② 再生ボタン	プレビュー	115
③ 液晶/ファインダー切替ボタン (LV)	モニター/ファインダー切り換え	36
④ AEL/AFLボタン	AEL/AFL	75
⑤ ISOボタン	ISO感度	73
⑥ 十字ボタン	[AF] (AFターゲット位置)	70
⑦ 連写/フラッシュ/セルフタイマーボタン	連写/セルフタイマー/フラッシュ	76, 84
⑧ AFモードボタン	AF / 測光モード	62, 75
⑨ 露出補正ボタン	露出補正	66
⑩ 動画ボタン	ムービー	57




- それぞれのボタンは、他の機能に変更することができます。📖 「ボタン機能を割り当てる (ボタン機能)」 (P.114)

ピントの合わせ方を設定する

(AF方式)

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。

- 1 **AF**()ボタンを押します。
- 2 リアダイヤルを回して設定値を選択します。
- 3 シャッターボタンを半押しすると、設定を終了して撮影画面に戻ります。



AF方式

S-AF (シングルAF)	シャッターボタンを半押しすると1回だけピント合わせを行います。ピントが合うと、ピピッと音がして、画面に合焦マークとAFターゲットが点灯します。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。
C-AF (コンティニュアスAF)	シャッターボタンを半押ししている間、ピント合わせを繰り返します。被写体にピントが合うと、画面に合焦マークが点灯します。また、1回目の合焦時には、ピピッと音がします。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。
MF (マニュアルフォーカス)	レンズのフォーカスリングを操作することで任意の位置に手でピントを合わせることができます。 
C-AF+TR (追尾AF)	シャッターボタンの半押しでピントの合った被写体を、半押ししている間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none"> • 追尾被写体を見失うと、AFターゲットが赤く表示されます。シャッターボタンを離して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押ししてください。 • AFターゲットが赤い表示のときは、被写体を追尾していてもAFは動作しません。 • 以下の機能では追尾AFは使用できません。 デジタルシフト撮影/ハイレゾショット/深度合成/ フォーカスブラケット撮影/インターバル撮影/HDR撮影/ ライブND撮影/フィッシュアイ補正撮影
PreMF (プリセットMF)	選択すると、プリセットしたピント位置に自動で設定します。
 AF (星空AF)	夜空の星を撮影するためのフォーカスモードです。 AEL/AFL ボタンを押して星にピント合わせを行います。  「星空AFで撮影する」(P.64)

- 明るさが不足している、霧などで被写体があっさり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。

- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- ✳カスタムメニュー **A4** の【MFクラッチ】(P.182)が【有効】で、レンズのフォーカスリングがMFの位置になっている場合は【AF方式】が設定できません(P.284)。
- Fnレバーの切り換えで、Fnレバー 1と2のそれぞれの位置で設定した【AF方式】に変更できます。☞ ✳カスタムメニュー **B1** 【📷Fnレバー機能】(P.217)、📷動画メニュー【📷ボタン/ダイヤル/レバー】の【📷Fnレバー機能】(P.161)

オートフォーカス時にマニュアルフォーカスでピントを調整して撮影する

- あらかじめ✳カスタムメニュー **A1** 【📷AF+MF】(P.198)で【On】を選択しておきます。【S-AF】 / 【C-AF】 / 【C-AF+TR】 / 【📷AF】にMFが表示されます。
- 1 MFが表示されたフォーカスモードを選択します(P.62)。
 - ムービー撮影時は、【📷AF方式】(P.160)で【S-AF MF】を選択します。
 - 2 シャッターボタンを半押ししてオートフォーカスでピントを合わせます。
 - 【📷AF MF】では、**AEL/AFL**ボタンを押して、星空AFを開始します。
 - 3 シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを操作して、マニュアルでピント位置を調整します。
 - 再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押しし直してください。
 - 【📷AF MF】では、オートフォーカス動作中のマニュアルフォーカスはできません。
 - M.ZUIKO PRO (マイクロフォーサーズPRO)レンズを使用しているとき、オートフォーカス中にフォーカスリングを操作してマニュアルフォーカスができます。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。
 - 4 シャッターボタンを全押しして撮影します。

星空AFで撮影する

- 1 AF方式で[**AF**]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 **AEL/AFL**ボタンを押して、星空AFを開始します。
 - 再度**AEL/AFL**ボタンを押すと星空AFを中止します。
 - 初期設定では、シャッターボタンの半押しで星空AFを開始しません。*****カスタムメニュー **A1**の[**AEL/AFLモード**] (P.199)で、シャッターボタン半押しによる星空AF開始を設定することができます。
 - 星空AF中は[**星空AF動作中**]が表示されます。ピントが合うと合焦マーク(●)が約2秒間表示され、ピントが合わなかった場合は合焦マークが約2秒間点滅します。
- 3 シャッターボタンを全押しして撮影します。



- *****カスタムメニュー **A4**の[**星空AF設定**] (P.182)で[**精度優先**]と[**速度優先**]を選択できます。[**精度優先**]を選択した場合は、三脚でカメラを固定して撮影してください。
- ターゲットモードは、シングルターゲット、グループターゲット(3×3)、グループターゲット(5×5)のみ選択できます(P.67)。
- 周囲が明るい撮影環境ではピントが合いません。
- プロキャプチャー撮影では使用できません。
- [**縦位置/横位置切換**] (P.208)、[**循環設定**] (P.206)、[**AFリミッター**] (P.209)、[**AFイルミネーター**] (P.181)は[**Off**]に、[**顔優先**] (P.90)は[**顔優先Off**]に、[**フレームレート**] (P.186)は[**標準**]に、[**AFスキャン**] (P.179)は[**mode1**]に固定されます。
- 星空AFを設定すると、ピント位置が自動で無限遠に移動します。
- *****カスタムメニュー **C1**の[**レリーズ優先S**] (P.184)を[**On**]に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができます。
- フォーサースレンズを取り付けると、マニュアルフォーカスになります。
- 星空AFは、オリンパス製のマイクロフォーサースレンズで動作します。ただし、開放F値が5.6より大きいレンズでは、星空AFを使用できません。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

プリセットMFにピント位置を設定する

1 AF方式で**[PreMF]**を選択し、**INFO**ボタンを押します。

2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- ・フォーカスリングを回して、ピントを微調整できます。

3 **OK**ボタンを押します。

- ・ **[ボタン機能]** (P.114)で**[プリセットMF]**を割り当てたボタンを押すと、AF方式をプリセットMFに設定できます。もう一度押すと元のAF方式に戻ります。
- ・ **★**カスタムメニュー **A4**の**[プリセットMF距離]** (P.182)で、ピント位置の距離を設定できます。
- ・ 以下のときにもプリセットした位置にピントを移動します。
 - カメラの電源をオンにしたとき
 - メニュー画面を操作して撮影画面に戻ったとき

マニュアルフォーカスでピントを調整するときのヒント

AF方式で**[S-AF MF]** / **[C-AF MF]** / **[MF]** / **[C-AF+TR MF]** / **[PreMF]** / **[AF MF]**を選択時、露光中または**[連写L]**での連写中でもマニュアルフォーカスによるピントの調整ができます。

- ・ 撮影モードが**B** (バルブ)のとき、露光中のマニュアルフォーカスは**[BULB/TIME中MF]** (P.214)の設定で動作します。

画像の明るさを変えて撮影する

(露出補正)

カメラが自動的に設定した露出を、自分のイメージした明るさに調整します。+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。

- 撮影モードがP/A/S/☺のときに設定できます。Mモードで使用するには、[ISO感度] (P.73)を[AUTO]に設定しておく必要があります。



- ±5.0EVの範囲で補正できます。画面に表示される露出バーで表示されるのは±3までです。±3.0EVを超えると点滅します。
- ムービーで補正できる範囲は±3.0EVまでです。
- ファインダー、ライブビューの表示は±3.0EVまでしか変化しません。
- 露出補正の設定をライブビュー画面に反映するには、**★**カスタムメニュー 02の[LVブースト] (P.186)が[Off]に設定されている必要があります。
- ムービー録画中に露出補正するときは、フロント/リアダイヤルやタッチ操作を使います。



■ 露出補正を設定する

撮影モードがP/A/Sのとき

- ムービーモードでは、[☺モード] (ムービー露出モード)が[P] / [A] / [S]のときに設定できます。

1 フロントダイヤルを回して設定します。

- ☒** ボタンを押して、十字ボタンの<D>で設定することもできます。
- ☉** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。

2 撮影します。

撮影モードがMのとき

- ムービーモードでは、[☺モード] (ムービー露出モード)が[M]のときに設定できます。☺動画メニュー [☺画質設定]の[☺MISOオート設定]にある[☺MISOオート有効] (P.159)を[On]に設定して、[☺ISO感度] (P.73)を[AUTO]に設定しておく必要があります。

1 **☒** ボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回して設定します。

2 撮影します。

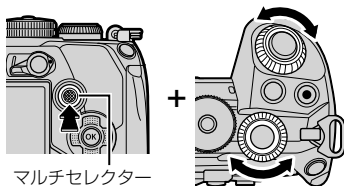


- [] (露出補正)の機能は他のボタンに割り当てておくこともできます。 [] 「ボタン機能を割り当てて(ボタン機能)」 (P.114)

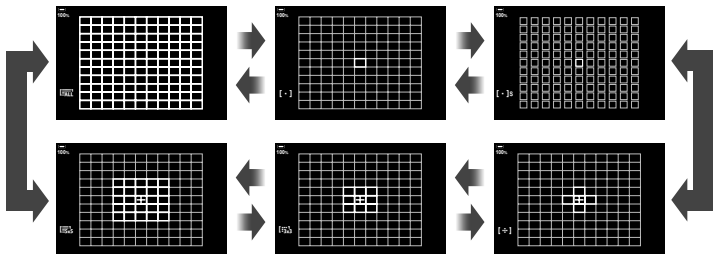
ピント合わせの範囲を選ぶ

(AFターゲットモード)

- 1 マルチセレクターを押しながらフロント／リアダイヤルを回します。



- ターゲットモードが切り換わります。



- カスタムターゲット(P.69)は、初期設定では表示されません。 *カスタムメニュー A2 の [] [Mode表示設定] (P.180)で ✓ (チェック)を付けます。

- 2 設定したらマルチセレクターを離します。

- 設定画面が消えます。
- 次の場合は、表示されるAFターゲットの数が少なくなります。
 - [デジタルテレコン] (P.141)が[On]のとき
 - [アスペクト] (P.96)が[4:3]以外のとき



- ボタンを押してからフロント／リアダイヤルで設定することもできます。 [] 「ボタン機能」 (P.114)で [] [選択] を割り当てたボタンを押して、AFターゲット選択画面を表示します。フロント／リアダイヤルを回して設定を選択します。 [] は初期設定では、十字ボタンに割り当てられています。
- マルチセレクターを押して、AFターゲット選択画面を表示することもできます。 *カスタムメニュー 31 の [] [中央ボタン機能] (P.215)で設定します。
- AFターゲットモードの設定は、カメラの縦位置と横位置で別々に設定できます。 [] *カスタムメニュー A2 [] [縦位置/横位置切換] (P.208)

- **Fn**レバーの操作だけで、以下のAF機能の設定を同時に変更することができます。**Fn**レバー 1と2のそれぞれの位置で、別々の設定を記憶させておくことができます。撮影状況に合わせて簡単にAFの機能設定を変えることができます。

【AF方式】 (P.62) / 【AFターゲットモード】 (P.67) / 【AFターゲット位置】 (P.70)

★カスタムメニュー **Fn** 【**Fn**レバー機能】 (P.217)または **Fn** 動画メニュー 【**Fn**ボタン/ダイヤル/レバー】の【**Fn**レバー機能】 (P.161)で**Fn**レバーの動きを設定します。

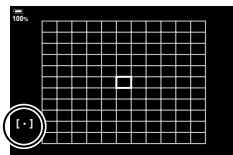
- 【C-AF】で撮影時のAFターゲットエリアに関する設定ができます。 **Fn** ★カスタムメニュー **Fn** 【**C-AF**中央スタート】 (P.202)、【**C-AF**中央優先】 (P.203)
- 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

■ AFターゲットモードの種類

- **Fn** AFのときは、シングルターゲット、グループターゲット(3×3)、グループターゲット(5×5)のみ選択できます。
- ムービー撮影時は、シングルターゲット、グループターゲット(3×3)、グループターゲット(5×5)、オールターゲット(11×9)のみ選択できます。

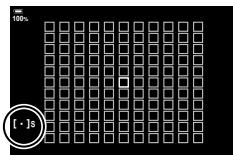
【・】 シングルターゲット

1つのAFターゲットを選びます。



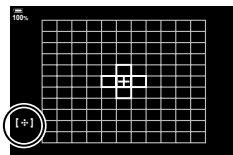
【・】s スモールターゲット

シングルターゲットよりサイズの小さいAFターゲットに変更できます。被写体が小さいときやより狭い範囲にピントを合わせたいときに使います。



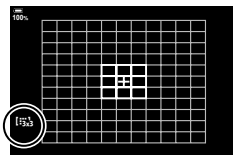
【:】 グループターゲット(5点)

十字に配置された5点のAFターゲットを使います。5点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



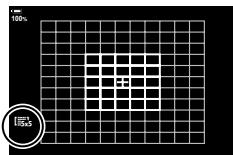
【:】3x3 グループターゲット(3×3)

9点のAFターゲットを使います。9点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



【 グループターゲット(5×5)

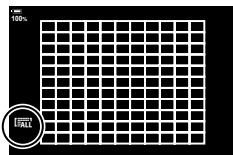
25点のAFターゲットを使います。25点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。





【 オールターゲット



すべてのAFターゲットの中から、カメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

- AFターゲットは、静止画撮影モードでは121点(11×11)、ムービーモードでは99点(11×9)になります。







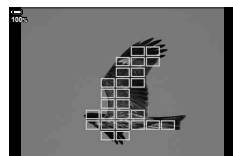
【 / 【 / 【 / 【 カスタムターゲット

★カスタムメニュー  の【 : :]Mode表示設定】(P.180)でいずれかのカスタムターゲットに✔(チェック)を付けると表示できるようになります。

★カスタムメニュー  の【 ターゲットモード設定】(P.207)で設定されているAFターゲットを使います。初期設定では、シングルターゲットになっています。



- 【 (オールターゲット)で、【 AF方式】(P.62)が【S-AF】、【S-AF MF】、【C-AF】、【C-AF MF】または【 AF方式】が【C-AF】で、★カスタムメニュー  の【AFターゲット表示】(P.180)が【On2】のとき、AFターゲットはクラスター表示になります。ピントの合っている箇所のAFターゲットが表示されます。

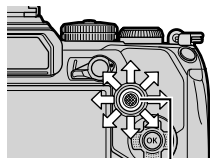


ピント合わせの位置を自分で決める (AFターゲット位置)

ピントを合わせる位置や範囲を示す枠をAFターゲットと呼びます。ピントを合わせた位置にAFターゲットを移動することができます。カメラが初期設定のときは、マルチセレクターでAFターゲットを移動できます。

1 マルチセレクターを動かしてAFターゲットを移動します。

- 十字ボタンでも設定できます。△▽◀▶ ボタンを押すとAFターゲットが表示されます。



マルチセレクター

- マルチセレクターを最初に動かしたときにAFターゲットの枠が表示されます。
- マルチセレクターを押すか、**OK** ボタンを長押しすると、AFターゲットを中央に戻すことができます。
- AFターゲットの位置を移動するとき、上下左右の端でAFターゲットを循環させるかどうかを設定できます (P.206)。



AFターゲット

2 撮影します。

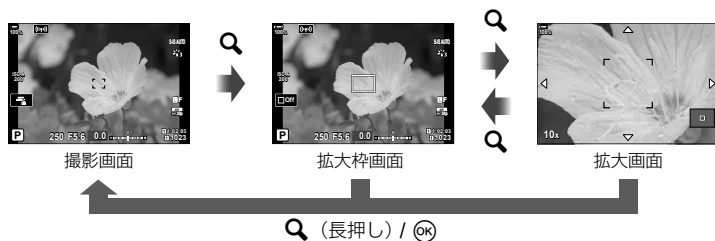
- 設定画面はシャッターボタンを半押しすると消えます。
- AFターゲットを設定した位置にAFフレームが表示されます。
- [ボタン機能] (P.114) で [[::]] 選択 がボタンに割り当てられていると、ボタンを押してからマルチセレクターや十字ボタンでAFターゲットを移動できます。
- 静止画撮影モードの [C-AF] および [C-AF MF] でピントを合わせ続けている場合でも、AFターゲット位置を動かすことができます。
- ムービー録画中も、AFターゲット位置を動かすことができます。
- [デジタルテレコン] (P.141)、[アスペクト] (P.96)、グループターゲット (P.67) の設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。



- [AFターゲットパッド] (P.181) が [On] のときは、ファインダーをのぞきながらモニターにタッチしてAFターゲットを移動することができます。

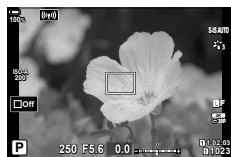
画面の一部を拡大して表示できます。ピント合わせを行う範囲を拡大表示することによって、より正確にピントを合わせることができます。拡大倍率を高くすると、通常のAFターゲット枠よりも小さい範囲でオートフォーカスをすることができます。拡大する範囲は任意で移動できます。

- **【ボタン機能】** (P.114)で、いずれかのボタンに**【Q】** (P.117)を割り当てておく必要があります。



1 【Q】 (拡大)を割り当てたボタンを押します。

- 画面に拡大枠が表示されます。



2 マルチセレクターを動かして拡大枠を移動します。

- マルチセレクターを押すか、**Ⓞ** ボタンを長押しすると拡大枠が中央に戻ります。
- 拡大枠は十字ボタン(△▽◀▶)で移動することもできます。



3 拡大枠の大きさ(倍率)を変更します。

- **INFO** ボタンを押してから、△▽ボタンを押すか、フロント/リアダイヤルを回すと拡大枠の大きさを変更できます。
- **Ⓞ** ボタンを押すと、設定を確定して設定画面を終了します。



4 [Q]の機能を割り当てたボタンをもう一度押します。

- 拡大枠の部分が画面全体に拡大表示されます。
- フロント／リアダイヤルを回すと拡大の倍率が変更できます。
- マルチセレクターで拡大表示の位置を変更できます。
- Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンで拡大表示の位置を変更できます。
- 撮影モードが**M** (マニュアル)または**B** (バルブ)の場合、拡大表示時に**INFO**ボタンを押すと絞りやシャッター速度の設定ができます。
- **Q** ボタンを押すと、拡大枠に戻ります。
- **OK** ボタンを押すと、拡大表示を終了します。
- **Q** ボタンを長押ししても拡大表示を終了できます。



M、Bモード時の
露出設定画面

5 シャッターボタンを半押ししてオートフォーカスをします。

- 拡大表示はモニター上の表示のみです。実際に撮影される画像には反映されません。



- 拡大枠AFは、タッチ操作でも使用できます。☞「タッチパネルを使って撮る」(P.41)
- 拡大表示中、拡大領域を見やすい明るさで表示して正確なピントの確認をしたり、シャッターボタンを半押ししたときに、拡大表示を終了してもとの表示に戻す設定もできます。
☞ **★**カスタムメニュー **D2** [LV拡大設定] (P.186)

感度を変更する

(ISO感度)

被写体の明るさに応じて設定します。数値を大きくすると暗い環境での撮影が可能になりますが、画像のノイズ(ざらつき)が多くなります。**[AUTO]**の設定では、明るさに応じて自動的に設定が変わります。

- ムービー撮影時、**[Mモード]** (ムービー露出モード)が**[P]** / **[A]** / **[S]**のときは、ISO感度が**[AUTO]**に固定されます。**[Mモード]** (ムービー露出モード)を**[M]**に設定すると、ISO感度を設定できます。

1 ISOボタンを押し、フロント/リアダイヤルを回して設定値を選択します。

AUTO	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。 静止画撮影時、ISO感度が変わるときの上限やシャッター速度を、 *カスタムメニュー [C] の [ISOオート設定] (P.189)で設定することができます。 ムービー撮影時にはISO200～6400の範囲で設定されます。 [Mモード] (ムービー露出モード)が [M] の場合は、 [MISOオート設定] (P.159)の [MISOオート有効] が [On] のときに設定できます。ISO感度の上限や基準値も設定することができます。
L64、L100、200～25600 (静止画撮影時)	ISO感度を手で設定します。ISO200はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。 [L100] や [L64] は、絞り値を小さくしたいときや、できるだけシャッター速度を遅くしたいときに設定します。 [L64] はISO64相当、 [L100] はISO100相当です。 <ul style="list-style-type: none"> • [L64]および[L100]は、露出ステップの設定に関わらず選択ができます。 • [L64]または[L100]に設定しているときは、画像の階調が低下します。
200～6400 (ムービー撮影時)	[MISO感度] を手動で設定します。ISO200はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。 [Mモード] (ムービー露出モード)が [M] のときに設定できます。

- 電子シャッターを使った撮影(静音撮影、フォーカスブラケットなど)のときに**[ISO感度]**が8000以上の場合、フラッシュの同調秒時は1/20秒になります。
- ISOブラケット撮影を静音撮影で行うときは、ISO感度の設定に関わらず同調秒時は1/20秒になります。
- [Mモード]** (ムービー露出モード)が**[M]**のときは、録画中でもタッチ操作(P.59)またはフロント/リアダイヤルを回してISO感度を変更することができます。
- 静止画撮影のときに、ISO感度を**[AUTO]**にしてピクチャーモードの**[ドラマチックトーン]**または**[ウォーターカラー]**を選ぶと、ISO感度の上限がISO1600になります。

- [Mモード] (ムービー露出モード)が[M]のときは、ピクチャーモードの設定によって以下の制限があります。
 - [OM-Log400] :
 - [画質モード]のフレームレートが24p/25p/30pの場合、[AUTO]の範囲はISO400 ~ 3200です。
 - [画質モード]のフレームレートが50p/60pの場合、[AUTO]の範囲はISO400 ~ 6400です。
 - マニュアル設定のときは、ISO400が下限です。
 - その他のピクチャーモード :
 - [画質モード]のフレームレートが24p/25p/30pの場合、[AUTO]の範囲はISO200 ~ 3200です。




- **ISO** ボタンの機能は、他のボタンに割り当てておくこともできます。☑「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)








明るさを測る方法を選ぶ




(測光)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

- 1 **AF**  ボタンを押します。
- 2 フロントダイヤルを回して項目を選択します。
- 3 シャッターボタンを半押しすると、設定を終了して撮影画面に戻ります。



 デジタルESP測光	逆光を含む一般的な撮影状況に適しています。画面を324分割で測光し、撮影シーンを考慮した最適な露出値を演算します。	
 中央重点平均測光	画面中央に主要な被写体を配置して撮影する場合に適しています。画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。	
 スポット測光	被写体の特定の部分の明るさを基準にして撮影する場合に適しています。狭い範囲(画面の約2%)の部分を選光します。	
 スポット測光ハイライト	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。	
 スポット測光シャドウ	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。	



- スポット測光位置をAFターゲットに連動させることができます。   カスタムメニュー  【{:}連動スポット測光】 (P.191)

露出を固定する

(AEロック)


AEL/AFL ボタンを押して、露出だけを固定することができます。ピントと露出を別々に決めたいときや、同じ露出で何枚も撮影するときに使います。

静止画撮影時にAEロックの機能を使うためには、**[AE/AFLモード]** (P.199) の設定が、**[mode1]**または**[mode2]**に設定されてする必要があります(AE方式が**[AF]**または**[AF]**のときは**[mode1]**のみ)。

- **AEL/AFL** ボタンに他の機能を割り当てているときは、**[ボタン機能]** (P.114)で、いずれかのボタンに**[AEL/AFL]**の機能を割り当てておく必要があります。
- 一度ボタンを押すと露出が固定され**[AE]**が表示されます。  「**AEL/AFL**ボタンを使ってピント合わせや測光を行う(**[AE/AFLモード]**)」 (P.199)
- AEロックを解除するには、もう一度ボタンを押します。
- モードダイヤル、**MENU** ボタンや  ボタンの操作をするとロックは解除されます。









連写する／セルフタイマーを使う



連続撮影やセルフタイマーの方法を設定します。被写体に合わせて撮影方法を選択します。その他、低振動撮影や静音撮影などの設定もできます。



1  ボタンを押します。

2 リアダイヤルを回して項目を選択します。

- カスタムセルフタイマーでは、**INFO** ボタンを押して詳細設定ができます。

 単写	1コマ撮影です。1回のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます。
 連写H	シャッターボタンを全押ししている間、最大約15コマ/秒で連続撮影できます。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。連写の速度や連写枚数の上限を設定できます (P.218)。【 ISO感度 】が8000以上の設定では、連写速度が低下します。
 連写L	シャッターボタンを全押ししている間、最大約10コマ/秒で連続撮影できます。連写の速度や連写枚数の上限を設定できます (P.218)。連写中のピントと露出は、【 AF方式 】 (P.62, 89)、【 AE/AFモード 】 (P.199) に従います。【 AF方式 】が【 C-AF 】 / 【 C-AFMF 】 / 【 C-AF+TR 】 / 【 C-AF+TRMF 】のときは、1コマごとにピント合わせをします。【 ISO感度 】が8000以上の設定では、連写速度が低下します。
 セルフタイマー 12s	シャッターボタンを全押しすると12秒後に撮影されます。セルフタイマーランプが、約10秒点灯した後、約2秒間点滅して撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合わせます。
 セルフタイマー 2s	シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合わせます。
 カスタム セルフタイマー	セルフタイマー撮影で、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます (P.78)。
 低振動[]撮影 (表示例)	シャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます (P.78)。単写/連写L / セルフタイマーと組み合わせた設定が選べます。






 (表示例) 静音[♥]撮影	電子シャッターによる撮影をします。1/8000秒より高速のシャッター速度に設定するときや、シャッター音が出せない環境下で撮影するときを使用します(P.79)。単写/連写L/連写H/セルフタイマーと組み合わせた設定が選べます。連写Hでは最大60コマ/秒の連写ができます。♥  では、ピント/露出/ホワイトバランスは最初の1コマで固定されます。フラッシュの同調秒時は、1/50秒です。[ISO感度]が8000以上の設定では、フラッシュの同調速度は1/20秒になり、連写速度も最大30コマ/秒に制限されます。
Pro Cap H プロキャプチャー H	シャッターボタンを半押しすると連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します(P.79)。Pro Cap Hでは、ピント/露出/ホワイトバランスはシャッターボタンを半押ししたときに固定されます。[ISO感度]が8000以上の設定では、最大30コマ/秒に制限されます。
Pro Cap L プロキャプチャー L	より解像度の高い静止画を撮影できます(P.81)。撮影メニュー2の[ハイレゾショット](P.156)で、[撮影方法]を設定することができます。

- セルフトイマー作動中に撮影を中止するには、十字ボタンの▽を押します。
- セルフトイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。
- セルフトイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- 、Pro Cap Lでは、撮影中にライブビューを表示します。、Pro Cap Hでは、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- 使用するレンズやズームの位置により、連写速度は変わります。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- 初期設定では、選択肢に表示されていないドライブ機能があります。★カスタムメニュー01の[♥表示設定](P.185)で表示/非表示の設定ができます。
- 静音撮影およびプロキャプチャー撮影時に、動きの速い被写体を撮影したりカメラを激しく動かして撮影すると、画像が歪んで写ることがあります。
- [静音[♥]撮影](P.79)でフラッシュ撮影をするときは、撮影メニュー2 [低振動[♦]/静音[♥]撮影](P.155)の[静音[♥]撮影時動作]で[フラッシュ]を[許可]にしておく必要があります。
- LVブーストの設定を[On1][On2]に設定した場合、連写速度が低下することがあります。連写速度を確保したい場合はLVブーストの設定を[Off]にしてください。☞★カスタムメニュー02 [LVブースト](P.186)

セルフタイマーの待ち時間や枚数を設定する

(カスタムセルフタイマー)

セルフタイマー撮影時の、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます。

- 1  ボタンを押します。
- 2 リアダイヤルを回して  (カスタムセルフタイマー) を選択し、**INFO** ボタンを押します。
- 3 十字ボタンの  で項目を選択し、  ボタンで設定を変更します。





コマ数	1回の撮影で撮影するコマ数を設定します。
セルフタイマー時間	シャッターボタンを全押ししてから撮影されるまでの時間を設定します。
撮影間隔	2コマ以上撮影するときの撮影間隔を設定します。
各コマAF	2コマ以上撮影するときに、撮影直前のAFをするかどうかを選択できます。





シャッター動作時の振動を防いで撮影する




(低振動[]撮影)

シャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。

マクロ撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。

★カスタムメニュー  の [表示設定] で、あらかじめ (チェック) を付けておく必要があります (P.185)。


シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を  撮影メニュー 2 [低振動[]/静音[]撮影] の [低振動[]撮影] で変更できます (P.155)。

- 1  ボタンを押します。
- 2 リアダイヤルを回して  の付いた項目を選択し、 ボタンを押します。
- 3 撮影します。
 - 設定された時間が経過すると、シャッターが切れて撮影されます。

シャッター音を立てずに撮影する (静音[♥]撮影)

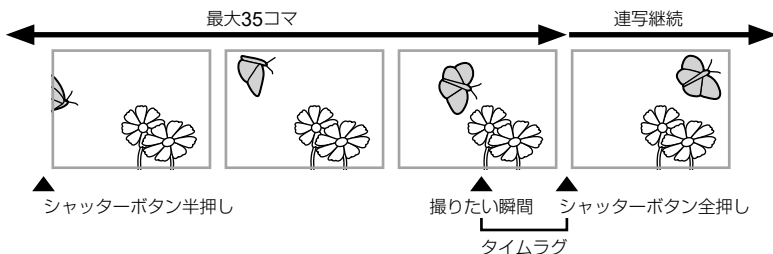
シャッター音が気になる場所で、音を立てずに撮影できます。電子シャッターを使って撮影するので、低振動撮影と同様にシャッター動作による微小なぶれを低減することができます。

シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を \odot 撮影メニュー2 [低振動[♦]/静音[♥]撮影]の[静音[♥]撮影]で変更できます(P.155)。

- 1  ボタンを押します。
- 2 リアダイヤルを回して♥の付いた項目を選択し、 \odot ボタンを押します。
- 3 撮影します。
 - シャッターが切れるとモニターの画面は一度暗くなります。シャッター音はしません。
 - 被写体の大きな動きや蛍光灯やLED照明などのフリッカーにより、画像に乱れが出る場合があります。
 - シャッター速度の上限は1/32000です。

リリースタイムラグを防いで撮影する (プロキャプチャー撮影)

シャッターボタンの半押しで画像の取り込みを開始して、シャッターボタンを全押しした瞬間からあらかじめ設定した枚数までさかのぼって画像を記録します。さらにシャッターボタンを押し続けている間、設定した枚数まで撮影を続けます。人の反応やカメラの動作のタイムラグにより撮り逃していた瞬間を記録することができます。[プロキャプチャー L]と[プロキャプチャー H]があります。





プロキャプチャー L (Pro Cap L)

最大18コマ/秒で連続撮影できます。シャッターボタンを全押しする前の画像を最大35コマ記録できます。【**AF方式**】(P.62)が【**C-AF**】 / 【**C-AFMF**】 / 【**C-AF+TR**】 / 【**C-AF+TRMF**】のときは、1コマごとにピント合わせをします。撮影距離が変化する被写体の撮影に適しています。



プロキャプチャー H (Pro Cap H)

最大60コマ/秒で連続撮影できます。シャッターボタンを全押しする前の画像を最大35コマ記録できます。【**AF方式**】(P.62)の【**C-AF**】および【**C-AF+TR**】は【**S-AF**】に、【**C-AFMF**】および【**C-AF+TRMF**】は【**S-AFMF**】に設定されます。撮影距離の変化が少ない被写体の撮影に適しています。

1  ボタンを押します。

2 リアダイヤルを回して **Pro Cap H** (プロキャプチャー H) または **Pro Cap L** (プロキャプチャー L) を選択し、 ボタンを押します。

3 撮影します。

- シャッターボタンを半押しすると撮影を開始します。画像取り込み中のアイコン()が表示されます。そのまま全押ししないで1分経過すると、撮影終了してが消えます。撮影するためにはもう一度半押ししてください。

画像取り込み中



- シャッターボタンを全押しするとカードへの記録を開始します。
- シャッターボタンを押し続けている間、【枚数リミッター】で設定した枚数まで撮影を続けます。
- ★カスタムメニュー **G1** の【**L設定**】、【**H設定**】(P.218)で、【**連写速度**】、【**P** **連写枚数**】、【**枚数リミッター**】を設定できます。

- Pro Cap L** (プロキャプチャー L) では絞り値が開放からF8.0の間に制限されます。
- スマートフォン接続時にプロキャプチャー撮影はできません。
- フォーサーズレンズおよび他社製マイクロフォーサーズレンズでは、**Pro Cap L** (プロキャプチャー L) は使用できません。
- 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
- シャッター速度の低速側には制限があります。
- 被写体の明るさやISO感度、露出補正の設定によっては、★カスタムメニュー **D2** の【**フレームレート**】(P.186)の設定よりも表示が遅くなる場合があります。

より解像度の高い静止画を撮影する (ハイレゾショット)

撮像素子の画像サイズ以上の高解像の写真を生成します。撮像素子を動かしながら撮影した複数枚の画像をもとに1枚の高解像の画像にします。通常の画像サイズでは拡大しても見分けられないような細かい部分も精細に再現した画像を得ることができます。撮影メニュー 2の【ハイレゾショット】で、シャッターボタンを全押ししてから実際にシャッターが切れるまでの時間と、ハイレゾショット撮影でフラッシュを使用するときの充電待ち時間、および三脚か手持ちかの撮影方法を設定できます(P.156)。ハイレゾショットが設定されているときは、【画質モード】でハイレゾ撮影の画質の選択ができます(P.98, 140)。

1 ボタンを押します。

2 リアダイヤルを回して を選択します。

- **INFO** ボタンを押すと、三脚か手持ちかの撮影方法をフロント/リアダイヤルで切り換えられます。

3 ボタンを押します。

- 画面に が表示されます。カメラが安定していないときは、 が点滅します。カメラを安定させて が点灯に変わったら準備完了です。
- ハイレゾショットの画質に変更されているので、画質設定を確認してください。変更するときは、LVスーパーコンパネを開いて設定します。



ハイレゾショット準備中

4 撮影します。

- カメラぶれにより画像がぶれる可能性が高いときは、 が点滅します。カメラをしっかり固定してください。
- 緑色の が消えると撮影終了です。
- 撮影後、自動的に画像が合成されます。合成中を示す表示がされます。
- 選択可能な画質モードはJPEG (80M F、50M Fまたは25M F)とRAW+JPEGです。画質をRAW+JPEGにしたときは、ハイレゾショットのRAW以外に合成前のRAW画像(拡張子「.ORI」)を1枚保存します。合成前のRAW画像は最新版のOlympus Workspaceで再生できます。
- 撮影方法が【手持ち】のときは、80M Fおよび80M F+RAWは設定できません。
- 【手ぶれ補正】(P.95)は、【撮影方法】が【三脚】のときは自動的に【S-IS Off】に、【手持ち】のときは【S-IS AUTO】(オート)に設定されます。
- 【撮影方法】が【手持ち】のときは、撮影待ち時間の設定は最大1秒に制限されます。
- RCフラッシュ撮影のときは、撮影待ち時間の設定は最大4秒に制限され、フラッシュの発光方式はMANUALに固定されます。
- P/A/S/Mモードで使用できます。

- ハイレゾリューション撮影時は、以下の機能は使用できません。
インターバル撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／ブラケット撮影／
フィッシュアイ補正撮影／HDR撮影
- ピクチャーモードの[**eポートレート**]やアートフィルターに設定しているときは、
[**Natural**]で撮影されます。
- 蛍光灯やLED照明などの光源下では画質が粗くなる場合があります。
- 画像のぶれなどで合成ができない場合、画質モードが[**JPEG**]のときは1枚目の画像を
JPEGで記録します。[**RAW+JPEG**]のときは1枚目のRAW (.ORF)とJPEGを記録し
ます。

フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影)

別売の専用外部フラッシュを使うとカメラでフラッシュの発光モードを設定して撮影することができます。フラッシュの機能や操作については、それぞれのフラッシュの取扱説明書をお読みください。

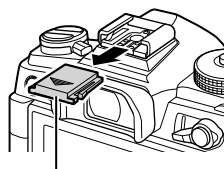
■ 専用外部フラッシュを取り付ける

フラッシュのカメラへの固定方法や操作方法はフラッシュによって異なります。詳しくはフラッシュの取扱説明書をお読みください。ここではFL-LM3を使った場合の説明をします。

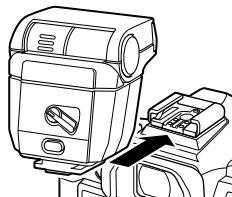
- カメラとフラッシュの電源が切れていることを確認してください。電源が入ったまま取り付け／取り外しをすると故障の原因となります。

1 ホットシューカバーを外して、フラッシュをカメラに装着します。

- フラッシュが奥にカチッと突き当たるまでしっかりと差し込みます。

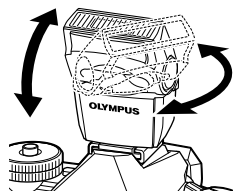


ホットシューカバー



2 バウンス撮影時は、発光部の向きを調節します。

- 上方向と左右に回すことができます。
- バウンス撮影ではフラッシュの光量不足にご注意ください。



3 フラッシュのON/OFFレバーをONにして電源を入れます。

- フラッシュを使わないときは、レバーをOFFにして電源をオフにします。



ON/OFFレバー

■ 専用外部フラッシュを取り外す

- 1 フラッシュのUNLOCKスイッチを押しながらホットシューからフラッシュを外します。




UNLOCKスイッチ

発光モードを設定する

(フラッシュ)

専用外部フラッシュを使うときは、カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます。フラッシュを装着して電源を入れると、自動的にシャッター速度の上限は固定されます。

1  ボタンを押します。














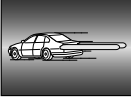

2 フロントダイヤルを回して項目を選択します。



- マニュアル発光を選択したときは、**INFO**ボタンを押して、フロントダイヤルでマニュアル発光量を設定します。
- フラッシュ側で発光モードを選択できる場合はマニュアル発光量を設定できません。



3 シャッターボタンを半押しすると、設定を終了して撮影画面に戻ります。

■ フラッシュ発光モード

 発光	フラッシュを発光します。 <ul style="list-style-type: none">• シャッター速度は、 カスタムメニュー F で設定されている [ 低速制限] (P.234) から [ 同調速度] (P.234) の間に設定されます。
 発光禁止	フラッシュを発光しません。 <ul style="list-style-type: none">• フラッシュの電源スイッチがオンになっていても発光しません。
 赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。フラッシュの発光は、  (発光)と同様に動きます。
 スローシンクロ (先幕シンクロ)	被写体も背景も適正露出となるように、遅いシャッター速度でフラッシュを発光します。 <ul style="list-style-type: none">• [ 低速制限] の設定に関わらず、測光値に合わせて遅いシャッター速度に設定されます。
 スローシンクロ+赤目軽減発光	 (スローシンクロ) と赤目軽減発光を併用します。フラッシュは先幕シンクロで発光します。
 スローシンクロ (後幕シンクロ)	 (スローシンクロ) と同様にスローシンクロで発光します。 <ul style="list-style-type: none">• フラッシュはシャッターを閉じる直前で発光します。被写体の移動方向の後ろに光跡が残る写真になります。 
 マニュアル発光 など	設定した光量で発光します。

- スーパー FP発光の機能については、フラッシュ側で設定をしてください。
- [] (赤目軽減発光) では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。
- 撮影状況によっては、 (赤目軽減発光) の効果が得られないことがあります。

■ フラッシュ発光モードとシャッター速度

フラッシュの発光モードの設定に合わせて、使用できるシャッター速度の範囲が変わります。シャッター速度の上限と下限は、使用できる範囲の中で **★** カスタムメニューで変更することができます。 **☑** **★** カスタムメニュー **F** **【同調速度】** (P.234)、**【低速制限】** (P.234)

露出モード	LVスーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光タイミング	シャッター速度制限条件
P/A		発光	先幕シンクロ	30秒～1/250秒
		赤目軽減		
		発光禁止	—	—
		スローシンクロ (赤目軽減)	先幕シンクロ	60秒～1/250秒
		スローシンクロ		
		スローシンクロ	後幕シンクロ	
		マニュアル発光	先幕シンクロ	30秒～1/250秒
S/M		発光	先幕シンクロ	60秒～1/250秒
		赤目軽減		
		発光禁止	—	—
		スローシンクロ	後幕シンクロ	60秒～1/250秒
		マニュアル発光	先幕シンクロ	60秒～1/250秒
B*		発光	先幕シンクロ	—
		赤目軽減		
		発光禁止	—	—
		スローシンクロ	後幕シンクロ	—
		マニュアル発光	先幕シンクロ	—

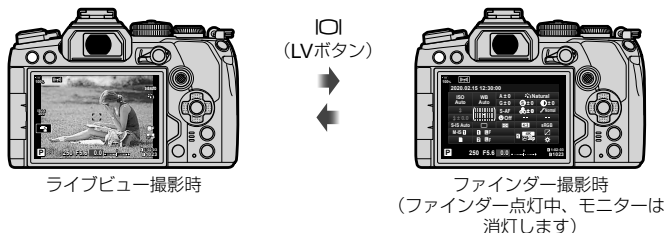
* **【LIVE COMP】** (P.52)では、後幕シンクロは使用できません。

- フラッシュ発光時、シャッター速度は1/250秒以下に設定されます。背景の明るい被写体では、発光すると背景が露出オーバーになることがあります。
- 静音撮影(P.79)、ハイレゾショット撮影(P.81)およびフォーカスブラケット撮影時(P.146)は同調速度が1/50秒になります。また、電子シャッターを使った撮影(静音撮影、フォーカスブラケット撮影など)のときに**【ISO感度】**が8000以上の場合、フラッシュの同調秒時は1/20秒になります。ISOブラケット撮影時(P.145)もフラッシュの同調秒時は1/20秒になります。
- 被写体が近いと発光量を最小にしても強すぎる場合があります。近距離撮影での露出オーバーを防ぐには、**A**、**M**モードで絞り値を大きくしたり、**【ISO感度】**を低く設定して撮影してください。

LVスーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定する

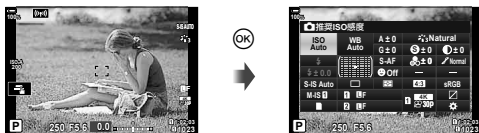
LVスーパーコンパネおよびスーパーコンパネは、撮影に関する機能とその設定内容をモニターに一覧表示できる機能設定パネルです。ライブビュー撮影時(モニターに被写体を表示して撮影するとき)はLVスーパーコンパネ、ファインダー撮影時(ファインダー点灯中、モニターは消灯します)はスーパーコンパネが使えます。

- ライブビュー撮影で \square (LV) ボタンを押すとファインダー撮影に切り換わり、モニターにスーパーコンパネが表示されます。



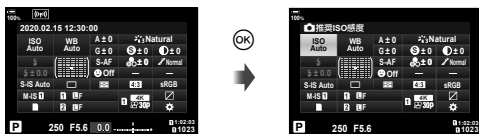
LVスーパーコンパネ(ライブビュー撮影時)

ライブビュー撮影時に \odot ボタンを押すと、モニターにLVスーパーコンパネが表示されます。



スーパーコンパネ(ファインダー撮影時)

モニターに被写体を表示していないファインダー撮影で、常時表示しておくことができます。 \odot ボタンを押すと、カーソルが表示されます。



■ LVスーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定する

1 OK ボタンを押します。

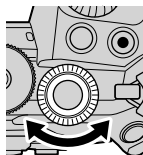
- ライブビュー撮影時は、LVスーパーコンパネが表示されます。
- 前回操作した機能にカーソルが表示されます。

カーソル

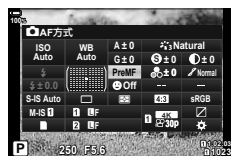
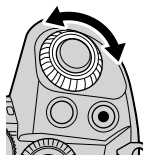


2 十字ボタンの△▽◀▶を押すか、リアダイヤルを回して設定する機能を選択します。

- 選択した機能にカーソルが移動します。
- 機能を直接タッチして選択することもできます。



3 フロントダイヤルを回して設定を変更します。



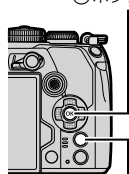
4 シャッターボタンを半押しすると、設定を確定してLVスーパーコンパネを終了します。

- スーパーコンパネの場合は、カーソルが消えて設定を終了します。

詳細設定をする

手順2で機能を選択し、OK ボタンを押すと、選択メニューが表示されます。機能によっては、選択メニューで**INFO**ボタンを押すとさらに詳細な設定が可能です。

OK ボタン



INFO ボタン



OK



INFO

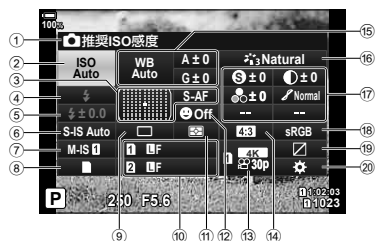


【手ぶれ補正】の場合

- OK ボタンの代わりにタッチ操作も使えます。選択した機能の位置を軽く2回タップすると選択メニューが表示されます。

■ LVスーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定できる機能

LVスーパーコンパネ



スーパーコンパネ



- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| ① 現在選択している機能 | ⑮ WBモード.....P.92 |
| ② ISO感度.....P.73 | ホワイトバランス補正.....P.94 |
| ③ AF方式.....P.62 | 色温度*1.....P.92 |
| AFターゲット.....P.67 | ⑯ ピクチャーモード.....P.104 |
| ④ フラッシュモード.....P.84 | ⑰ S シャープネス.....P.108 |
| ⑤ フラッシュ補正值.....P.103 | ● コントラスト.....P.108 |
| マニュアル発光量.....P.84 | ● 彩度.....P.109 |
| ⑥ 手ぶれ補正.....P.95 | ♪ 階調.....P.109 |
| ⑦ 手ぶれ補正.....P.95 | F フィルター効果.....P.110 |
| ⑧ 記録設定.....P.97 | T 調色.....P.111 |
| ⑨ ドライブ(連写/セルフタイマー).....P.76 | B 効果.....P.111 |
| ⑩ 画質モード.....P.98 | C Color*2.....P.107 |
| ⑪ 測光方式.....P.75 | ◎ Color/Vivid*3.....P.106 |
| ⑫ 顔優先.....P.90 | Effect*4.....P.107 |
| ⑬ 画質モード.....P.99 | ⑱ カラー設定.....P.112 |
| ⑭ アスペクト比.....P.96 | ⑲ ハイライト&シャドウコントロール.....P.113 |
| | ⑳ ボタン機能割り当て.....P.114 |

*1 WBモードが、CWB（カスタムホワイトバランス）の設定時に表示されます。

*2 パートカラー設定時に表示されます。

*3 カラークリエイター設定時に表示されます。

*4 アートフィルター設定時に表示されます。

感度を変更する

(ISO感度)

ISO感度を設定します。☰「感度を変更する(ISO感度)」(P.73)

- 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[ISO感度]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



2

撮影する

ピントの合わせ方を設定する

(AF方式)

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。☰「ピントの合わせ方を設定する(AF方式)」(P.62)

- 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[AF方式]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。



ピント合わせの範囲や位置を選ぶ

(AFターゲット選択)

AFターゲットの設定をします。☰「ピント合わせの範囲を選ぶ(AFターゲットモード)」(P.67)、「ピント合わせの位置を自分で決める(AFターゲット位置)」(P.70)

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[AFターゲット選択]を選択し、OK ボタンを押します。
 - AFターゲット選択画面が表示されます。
- 3 フロント/リアダイヤルでAFターゲットモードを選択します。△▽◀▶でAFターゲット位置を移動します。



明るさを測る方法を選ぶ

(測光)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。☞「明るさを測る方法を選ぶ(測光)」(P.75)

- 1 ☉ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[測光]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。



測光

顔優先AF / 瞳優先AFを使う

(☺顔優先)

カメラが自動的に人物の顔や瞳を検出してピントを合わせます。デジタルESP測光のときは、露出は顔を中心に設定されます。

- 1 ☉ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[☺顔優先]を選択します。



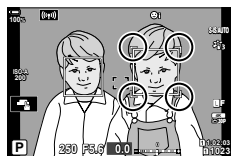
☺顔優先

- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。

☺ 顔優先On	被写体の顔を検出してピントを合わせます。
☺ Off 顔優先Off	顔優先AFをしません。
☺ 顔・瞳優先On	被写体の顔を検出して、近いほうの瞳にピントを合わせます。
☺ 顔・瞳(左側)優先On	被写体の顔を検出して、左の瞳にピントを合わせます。
☺ 顔・瞳(右側)優先On	被写体の顔を検出して、右の瞳にピントを合わせます。

4 カメラを被写体に向けます。

- カメラが顔を検出すると、検出したすべての顔に白い枠が表示されます。ピントを合わせる顔には、四隅に白い二重枠が表示されます。瞳優先AFのときは、瞳を検出すると、ピントを合わせる顔の瞳にも白い枠が表示されます。
- カメラが複数の人物の顔や瞳を検出したときに、**【ボタン機能】** (P.114)で**【◎顔選択】** (P.120)の機能を割り当てたボタンを操作して、ピントを合わせる顔を選択できます。ボタンを押すと、AFターゲットに近い顔を選択します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、ピントを合わせる顔を切り換えます。ボタンを離すと確定します。
- タッチ操作でも、ピントを合わせる顔を選択できます (P.41)。



ピントを合わせる顔には四隅に白い二重枠が表示されます。

5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- 検出された顔のピントが合った部分に、緑の枠が表示されます。
- 被写体の瞳を検出したときは瞳にピントを合わせます。
- 【MF】** (P.62)でも顔や瞳の検出ができます。顔や瞳を検出すると白い枠が表示されます。その場合も、露出は顔を中心に設定されます。



6 シャッターボタンを全押しします。

- 被写体やアートフィルターの設定によっては、顔が検出できないことがあります。
- 静止画撮影モードでは、**【C-AF】**や**【C-AFMF】**で人物以外の被写体を撮影するときは、**【顔優先Off】**をおすすめします。
- 【ESP】** (デジタルESP測光) (P.75)では顔を優先して測光します。
- 拡大枠を表示しているときは、拡大枠の位置にピントを合わせます。
- 顔や瞳を検出した場合でも、設定したAFターゲットの位置を優先してピントを合わせるように設定できます。**【カスタムメニュー A1 【AEL/AFLモード】の【顔優先AF】** (P.199)
- ムービーモードでは、**【顔・瞳優先On】**、**【顔・瞳(左側)優先On】**、**【顔・瞳(右側)優先On】**は設定できません。
- AFターゲットモード(P.67)がシングルターゲットで、測光方式(P.75)が**【スポット測光】**のときに**【連動スポット測光】** (P.191)を使用していると、この機能は無効になります。



- 【ボタン機能】** (P.114)で、いずれかのボタンに**【◎顔優先設定】** (P.120)を割り当てておくと、そのボタンを押すだけで顔優先を**【顔優先Off】**にしたり元の設定に戻したりできます。また、そのボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、**【◎顔優先】**の設定が変更できます。

画像の色合いを調整する

(ホワイトバランス)

ホワイトバランス(WB)は白いものを白く写すための機能です。通常は[AUTO] (オート)で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、[AUTO]以外のホワイトバランスを手動で設定します。

- 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示し、ホワイトバランスを選択します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で[ホワイトバランス]を選択します。



- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。

- ワンタッチホワイトバランスやカスタムホワイトバランスを選択したときは、**OK** ボタンを押した後、**INFO** ボタンを押して調整値の取得や変更ができます。

WBモード		設定される色温度	適した撮影シーン
オート ホワイトバランス	AUTO	—	一般的なほとんどの撮影シーン(画面内に白に近い色が存在する撮影シーン) <ul style="list-style-type: none"> • 通常はこのモードをお使いください。 • 電球下での色合いを設定できます (P.94)。
プリセット ホワイトバランス		5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		—	水中で撮るとき
		5500K	フラッシュの色温度相当の照明で撮るとき
ワンタッチ ホワイトバランス		ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白に合わせたいものが特定できているとき <ul style="list-style-type: none"> • 実際の撮影環境下で白に合わせたいものの色温度を測って設定します (P.93)。
カスタム ホワイトバランス	CWB	2000K ~ 14000K	色温度での特定ができるとき <ul style="list-style-type: none"> • 色温度を選択し、設定します。

■ ワンタッチホワイトバランスの設定

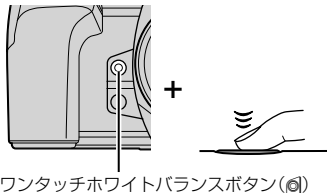
撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。☀(晴天)や☁(曇天)などの用意された設定値や微調整では合わせるのが難しい、微妙な色合いの設定ができます。取得した調整値を記憶させておき、使い分けることができます。

- 1 [W1]、[W2]、[W3]または[W4] (ワンタッチホワイトバランス1、2、3または4)を選択します。
- 2 白かグレーのように無彩色の紙を撮影します。
 - ・紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
 - ・静止画撮影モードの場合は、**INFO**ボタンを押してからシャッターボタンで撮影します。
 - ・ムービーモードの場合は、**INFO**ボタンを押します。
 - ・ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。
- 3 [実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。
 - ・ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
 - ・新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源をオフにしても消去されません。

ワンタッチホワイトバランスボタン(W)で設定する

ボタンに[ワンタッチWB]が割り当てられているときは、ボタン操作でもホワイトバランスを測定できます。静止画撮影の場合、初期設定ではワンタッチホワイトバランスボタン(W)に割り当てられています。ムービー撮影では、[Wボタン機能] (P.114)でワンタッチホワイトバランスを割り当てる必要があります。

- 1 白かグレーのような無彩色の紙が画面中央に写るようにします。
 - ・紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
- 2 ワンタッチホワイトバランスボタンを押しながら、シャッターボタンを全押しします。
 - ・ムービー撮影の場合はワンタッチホワイトバランスボタンを押すと手順3に進みます。
 - ・データを登録するワンタッチWBの選択メニューが表示されます。



- 3 十字ボタンの△▽で選択して**OK**ボタンを押します。
 - ・データが記憶されて、撮影画面に戻ります。



■ WBオート電球色残し

ホワイトバランスがオートのとき、電球下で撮影時の色合いを設定できます。

1 [AUTO]を選択した後、INFOボタンを押します。

- [WBオート 電球色残し]の選択肢が表示されます。

2 十字ボタンの△▽<▷で項目を選択し、OKボタンを押します。

Off	電球下の色かぶりを抑えます。
On	電球下の暖かい色味を残します。

ホワイトバランスを微調整する (ホワイトバランス補正)

ホワイトバランスの設定を微調整できます。個別に調整値を設定できます。以下の補正ができます。

A A方向(アンバー - 青)	+方向で赤味がかり、-方向で青味がかった画像になります。
G G方向(緑 - 赤紫)	+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかった画像になります。

1 OKボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。

2 十字ボタンの△▽<▷でWB補正([A±0]または[G±0])を選択し、フロントダイヤルで補正値を設定します。

- OKボタンを押すと、色味の補正画面が表示されます。

ホワイトバランス補正



- すべてのホワイトバランスモードを一括で補正することもできます。カスタムメニュー **G** [全WBモード補正] (P.192)、動画メニュー [画質設定]の[全WBモード補正] (P.159)



- 補正したホワイトバランスは、補正画面上のライブビューで確認できます。静止画撮影モードでは、撮影画像で確認できます。補正画面でM(ムービー)ボタンを押すと、設定したホワイトバランスの条件で試し撮りしたサンプル画像が表示されます。

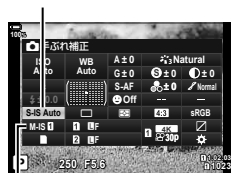
手ぶれを抑えて撮影する

(手ぶれ補正)

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示し **手ぶれ補正** ます。

- 2 十字ボタンの **△** **▽** **<** **>** で手ぶれ補正を選択します。



手ぶれ補正

- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。

静止画 (S-IS)	S-IS Off	静止画手ぶれ補正オフ	手ぶれ補正をしません。三脚使用時にお使いください。
	S-IS AUTO	手ぶれ補正オート	カメラの全方向の動きに対して補正をします。流し撮りを検出すると、画像を流す方向の補正を自動的に停止します。
	S-IS 1	全方向補正	カメラの全方向の動きに対して補正をします。
	S-IS 2	縦ぶれ補正	カメラの縦方向の手ぶれに対して補正をします。横方向に流し撮りするときに適しています。
	S-IS 3	横ぶれ補正	カメラの横方向の手ぶれに対して補正をします。縦位置で流し撮りするときに適しています。
ムービー (M-IS)	M-IS Off	動画手ぶれ補正オフ	手ぶれを補正しません。
	M-IS 1	全方向補正	撮像素子を動かすVCM式と電子式を組み合わせで補正します。
	M-IS 2	全方向補正	撮像素子を動かすVCM式のみで補正します。

- 手ぶれが大きすぎる場合やシャッター速度が極端に遅い場合は、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
- 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じることがあります。
- 手ぶれ補正機能切り換えスイッチのあるレンズでは、レンズ側の設定が優先されます。
- **[レンズ手ぶれ補正優先]**が**[On]**のときは、**[S-IS AUTO]**は**[S-IS 1]**で動作します。



- シャッターボタンを半押ししたときの、手ぶれ補正の動作のオンオフを選択できます。
カスタムメニュー **[半押し中手ぶれ補正]** (P.184)
- レンズの手ぶれ補正機能を優先して働かせることができます。
カスタムメニュー **[レンズ手ぶれ補正優先]** (P.184)

マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うとき

マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、レンズの焦点距離情報を入力して設定します。

- **[手ぶれ補正]**の設定中に \odot ボタンを押します。**INFO**ボタンを押して、十字ボタンの $\Delta \nabla \langle \rangle$ で焦点距離を設定し \odot ボタンを押します。
- 0.1mm～1000.0mmまでの焦点距離が設定可能です。
- レンズに記載の数値を設定してください。
- \odot 撮影メニュー1 **[リセット/カスタム設定]** (P.139)の**[リセット]** (標準)でカメラの設定をリセットしても、登録したレンズの焦点距離は保持されます。

連写する／セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。また、セルフタイマーによる撮影もできます。その他、低振動撮影や静音撮影などの設定もできます。 \odot 「連写する／セルフタイマーを使う」(P.76-81)。

- 1 \odot ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \langle \rangle$ で連写／セルフタイマーを選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。



連写／セルフタイマー

アスペクト比を設定する

撮影の意図やプリントなどの出力時の狙いに合わせて、画像の縦横比を設定します。通常のアスペクト比(横×縦)である**[4:3]**の他に**[16:9]**、**[3:2]**、**[1:1]**、**[3:4]**が設定できます。

- 1 \odot ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \langle \rangle$ で**[アスペクト]**を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。




アスペクト

- アスペクト比は、静止画撮影時のみ設定できます。
- JPEGの画像では、設定したアスペクト比の画像で記録されます。RAW画像は、撮像素子のサイズである**[4:3]**のままの画像にアスペクト比の設定情報を付けて記録されます。再生時は、設定情報に合わせて枠が表示されます。

撮影データの記録方法を設定する

(📷記録設定)

2枚のカードを使用するときのデータのカードへの記録方法を設定します。







- 1  ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[📷記録設定]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。






📷記録設定

2

撮影する

 標準	[📷記録スロット] (P.235)で指定したカードに記録します。指定したカードに記録できなくなると、撮影できなくなります。
 自動切換	[📷記録スロット] (P.235)で指定したカードに記録します。指定したカードに記録できなくなると、自動的にもう一方のカードに書き込みをします。カードが1枚のときは、自動的に[標準]になります。
 振り分け↓	2枚のカードに異なる画質モードで記録します。スロット1、2それぞれに画質モードを設定してください(P.98)。どちらかのカードに記録できなくなると、撮影できなくなります。スロット1、2とも[振り分け↓]用の画質モードに設定されるので、設定を変更したときは画質モードを再度設定してください。
 振り分け↑	2枚のカードに異なる画質モードで記録します。スロット1、2それぞれに画質モードを設定してください(P.98)。どちらかのカードに記録できなくなると、記録可能なカードにのみ記録します。スロット1、2とも[振り分け↑]用の画質モードに設定されるので、設定を変更したときは画質モードを再度設定してください。
 同一書き込み↓	2枚のカードに同じ画質モードで記録します。どちらかのカードに記録できなくなると、撮影できなくなります。カードが1枚のときは、自動的に[標準]になります。
 同一書き込み↑	2枚のカードに同じ画質モードで記録します。どちらかのカードに記録できなくなると、書き込み可能なカードにのみ記録します。カードが1枚のときは、自動的に[標準]になります。

-  ボタンを押すと  カスタムメニュー  の[カードスロット設定] (P.235)が表示され、撮影データの記録先カードなどの設定ができます。
- [📷記録設定]の設定を変更したり、カードを抜き差しして記録可能なカードが切り換わると、画質モードが変更されることがありますので、撮影前に必ずご確認ください。

静止画撮影で記録する画像サイズを選択する (📷画質モード)

静止画の画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。

1 **Ⓞ** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。

2 十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で**[📷画質モード]**を選択します。

- **[📷記録設定]**が**[振り分け📷]**または**[振り分け📷]**に設定されているときは、カードスロットごとに画質モードを設定できます(P.97)。



📷画質モード

3 フロントダイヤルで項目を選択します。

- 以下の設定項目から選択します。画像サイズと圧縮率の組み合わせはメニューで変更することができます。📷 **★**カスタムメニュー **G** **[画質設定]** (P.234)

設定項目	画像サイズ	圧縮率	ファイル形式
SF	5184×3888	SuperFine (1/2.7)	JPG
F	5184×3888	Fine (1/4)	JPG
N	5184×3888	Normal (1/8)	JPG
MN	3200×2400	Normal (1/8)	JPG
RAW	5184×3888	ロスレス圧縮	ORF
RAW+JPEG	RAWと上記のJPEGの組み合わせ		

- **★**カスタムメニュー **H1**の**[カードスロット設定]** (P.235)で**[📷記録設定]**が**[標準]**、**[同一書き込み📷]**、**[同一書き込み📷]**または**[自動切換]**に設定されているときは、**①**と**②**は同じ設定になります。
- ハイレゾショット(P.81)が設定されているときは、**80M**F、**50M**F、**25M**F、**80M**F+RAW、**50M**F+RAW、**25M**F+RAWの選択ができます。
- ハイレゾショットの設定が**[手持ち]**のときは、**80M**Fおよび**80M**F+RAWは設定できません。
- ハイレゾショットに設定すると、画質モードの設定も変更されるので、撮影前に確認してください。



- RAW画像とは未加工の状態のデータです。撮影後にあらためて絵作りをするための元データとして使います(拡張子は「.ORF」です)。
 - 他のカメラでの再生はできません。
 - パソコンでの閲覧は画像編集・管理ソフトウェアOlympus Workspaceをお使いください。
 - このカメラの編集機能**[RAW編集]** (P.168)を使って、JPEGのデータにすることができます。

ムービーの画質を設定する

(画質モード)

ムービーの画質モードを設定します。

パソコンでの加工やホームページでの使用など、用途に応じて設定できます。ムービーサイズやフレームレートなどの設定を変えた複数の設定を記憶させておき、使い分けすることができます。また、スローモーションやクイックモーションのムービーやハイスピードムービーの選択もできます。☑「スローモーション/クイックモーション撮影をする(スロー/クイック撮影)」(P.102)、「ハイスピードムービーを撮影する」(P.101)

- 1 ☑ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[画質モード]を選択します。



画質モード

- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。
 - ☑ボタンを押してから**INFO**ボタンを押し、リアダイヤルを回すと、各画質モードの設定を変更できます。

画質モードの表記について

設定の変更は画質モードのアイコンに反映されます。設定によって以下のように表示が変わります。

ムービーサイズ		
FHD	Full HD*1	1920×1080
HD	HD*1	1280×720
4K	4K*1	3840×2160
C4K	4Kデジタルシネマ*1	4096×2160

圧縮方式/ビットレート	
A-I	All Intra*2
SF	Super Fine
F	Fine
N	Normal

フレームレート	
60p	60p : 59.94fps
50p	50p : 50.00fps
30p	30p : 29.97fps
25p	25p : 25.00fps
24p	24p : 23.98fps 24p : 24.00fps (C4K)

設定の種類	
	設定1/2/3/4 : 4種類の組み合わせを記憶しておけます。
	カスタム : ムービーサイズで 4K / 4Kデジタルシネマ が選択できます。また、スロー/クイック撮影をすることもできます (P.102)。
	ハイスピードムービー 「ハイスピードムービーを撮影する」 (P.101)

- [ムービーサイズ]が**[4K]**および**[C4K]**のときは選択できません。

- 以下のときは、**[60p]**および**[50p]**は選択できません。
 - [ムービーサイズ]を**[FHD]** (Full HD)、ビットレートを**[A-I]**に設定しているとき
 - [ムービーサイズ]が**[C4K]**または**[4K]**のとき
- [ムービーサイズ]が**[C4K]**のときは、[フレームレート]は**[24p]**に固定されます。

*1 MPEG-4 AVC/H.264形式で記録されます。1ファイルは4GBに制限されます。1回の撮影は最長29分に制限されます。

*2 All-Intraはフレーム間の圧縮をしないで記録されるムービーです。編集に向いていますが、データの容量が大きくなります。

- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- 設定の組み合わせによってはビットレートの変更ができない場合があります。
- アスペクト比は、16:9です。C4Kの設定では、17:9に設定されます。

ハイスピードムービーを撮影する

高速度撮影をします。撮影時は、120コマ/秒で撮影して60コマ/秒で再生するムービーとして記録します。時間を約2倍に延ばして再生することで、被写体の一瞬の動きをスローモーションで見ることができます(再生フレームレートが60pのとき)。ムービー画質モードの選択肢の一つとして設定します。再生フレームレートの設定により、再生時の速度の倍率を変えることができます。

設定の変更は画質モードのアイコンに反映されます。設定によって以下のように表示が変わります。

FHD HS 60P	ムービーサイズ	FHD	Full HD (1920×1080)
	設定の種類	HS	ハイスピードムービー (120fps)
	再生フレームレート	60p	60p : 59.94fps 再生倍率 : ×0.5
		50p	50p : 50.00fps 再生倍率 : ×0.42
		30p	30p : 29.97fps 再生倍率 : ×0.25
		25p	25p : 25.00fps 再生倍率 : ×0.21
		24p	24p : 23.98fps 再生倍率 : ×0.2

- 1 **FHD HS 60P** (ハイスピード)を選択します。
 - 設定の内容で使用するときは \odot ボタンを押します。設定が確定されメニューが消えます。
- 2 詳細設定をするときは手順1の設定メニューの表示で**INFO**ボタンを押します。
 - 詳細設定のメニューが表示されカーソルが移動します。
- 3 フレームレートを選択し、設定します。
 - 十字ボタンの Δ / ∇ で設定を変更します。
- 4 \odot ボタンを押すと、設定を確定してメニューを終了します。
 - 録画中は、ピント位置、測光、ホワイトバランスは固定されます。
 - 音声は記録されません。
 - 画角がやや狭く設定されます。
 - 録画中は、絞り値やシャッター速度、露出補正、ISO感度の変更はできません。
 - タイムコードの表示や記録はできません。
 - 録画中にズーム操作を行うと、明るさが変わる場合があります。
 - 1ファイルは4GBに制限されます。
 - HDMI機器接続中は、ハイスピードムービーの撮影はできません。
 - 【**手ぶれ補正**】の【**M-IS**】は設定できません。

- [ムービーテレコン]は使用できません。
- ピクチャーモードの[**li-Finish**]、[**eポートレート**]、およびアートフィルターは設定できません。
- [階調]は[階調標準]に固定されます。
- スマートフォンと接続してリモート撮影を行っているとき、ハイスピードムービーの撮影は設定できません。

スローモーション/クイックモーション撮影をする (スロー/クイック撮影)

スローモーションやクイックモーションのムービーを作ることができます。ムービー画質のムービー $\frac{1}{2}$ で録画速度を設定します。

- 1 \odot ボタンを押してLVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で[$\frac{1}{2}$ 画質モード]を選択します。

- 3 フロントダイヤルで $\frac{C4K}{24p}$ (カスタムの画質モード)(P.100)を選択し、 \odot ボタンを押します。

- **INFO** ボタンを押すと[スロー/クイック効果]を変更できます。 $\triangleleft \triangleright$ ボタンで[スロー/クイック効果]を選んでから $\Delta \nabla$ ボタンで倍率を選び、 \odot ボタンを押します。倍率を大きくするとクイック撮影、小さくするとスロー撮影になります。フレームレートは倍率に合わせて変更されます。



- 4 \odot ボタンを押して撮影を始めます。
 - 撮影を終了するときにはもう一度 \odot ボタンを押します。
 - 再生時は決まった速度で再生されるので、スローモーションやクイックモーションに見えるムービーになります。
- 音声は記録されません。
 - ピクチャーモードのアートフィルターは解除されます。
 - [$\frac{1}{2}$ 画質モード]の設定によっては、スロー撮影、クイック撮影の片方もしくは両方が設定できない場合があります。
 - シャッター速度は1/24以上に制限されます。[フレームレート]の設定により変わります。

発光モードを設定する (フラッシュ)

カメラで専用外部フラッシュの発光モードの設定ができます。[MENU]「発光モードを設定する(フラッシュ)」(P.84)

- 1 [MENU] ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \langle \rangle で[フラッシュ]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。
 - LVスーパーコンパネでフラッシュ発光モードを選択し、設定します。



フラッシュ

フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ補正)

フラッシュの光で被写体が白くとんでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

[Manual] (マニュアル発光)以外のフラッシュ発光モードに設定されているときに使用できます。

- 1 [MENU] ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \langle \rangle で[フラッシュ補正]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



フラッシュ補正

- 専用外部フラッシュで発光補正されていると、カメラの発光補正量に加算されて働きます。





























画像の仕上がりを設定する

(ピクチャーモード)

画像の色合いや階調を操作して仕上がりを調整します。被写体や写真表現に合わせて、用意された項目を選ぶだけで設定できます。それぞれの項目別に、コントラストやシャープネスなどの調整をすることができます。また、写真をアーティストックな表現にするアートフィルターを使うこともできます。アートフィルターでは、フレーム効果などの効果の設定をすることもできます。調整したパラメータはピクチャーモード別に記憶されます。

- この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。

■ ピクチャーモードの種類

 i-Finish	カメラが被写体を自動的に判別して、最適な色やコントラストを再現します(P.111)。
 Vivid	鮮やかな色合いになります。
 Natural	自然な色合いになります。
 Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
 Portrait	肌色をきれいに上げます。
 モノトーン	モノクロ調に上げます。フィルター効果を使ったり全体的に色付けする調色をすることもできます(P.111)。
 カスタム	調整を加えたピクチャーモードを登録できます。
 eポートレート	肌を明るくなめらかに補正します。
 水中	水中写真にあった色鮮やかな色彩に上げます。 <ul style="list-style-type: none"> 【 水中】を設定して撮影するときは、【 +WB連動】(P.191)を【Off】に設定することをおすすめします。
 カラークリエイター	印象に合わせて全体の色合いや彩度を調整します(P.106)。
 ART 1 ポップアート	アートフィルターの設定になります。さらにそれぞれのアートエフェクト機能が使えます。
 ART 2 ファンタジックフォーカス	
 ART 3 デイドリーム	
 ART 4 ライトトーン	
 ART 5 ラフモノクローム	
 ART 6 トイフォト	
 ART 7 ジオラマ	
 ART 8 クロスプロセス	
 ART 9 ジェントルセピア	
 ART 10 ドラマチックトーン	
 ART 11 リーニョクレール	
 ART 12 ウォーターカラー	
 ART 13 ヴィンテージ	
 ART 14 パートカラー	
 ART 15 プリーチバイパス	
 ART 16 ネオノスタルジー	

📷1 Flat*	カラーグレーディングに適したフラットな階調で記録します。
📷2 OM-Log400*	より自由度の高いカラーグレーディングに適したLOGカーブに合わせた階調で記録をします。

* 📷動画メニュー [📷画質設定]の[📷ピクチャーモード] (P.159)を[On]にして、ムービーモードにしたときに表示されます。

- アートフィルターの効果はJPEG画像にのみ適用されます。画質モードが[RAW]のときは、自動的に[RAW+JPEG]に設定されます。
- 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。



- 📷カスタムメニュー [D1]の[ピクチャーモード表示] (P.185)で表示/非表示の設定ができます。

1 📷ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。

2 十字ボタンの△▽<▷で[ピクチャーモード]を選択します。

3 フロントダイヤルで項目を選択します。

- 項目によって、効果やシャープネスなどの関連する設定が調整できるようにLVスーパーコンパネの項目が変わります。必要に応じてそれぞれの項目を設定してください(P.108-111)。



ピクチャーモードの設定によって変わります

画像全体の色味を調整する

(カラークリエイター)

色相と彩度を直感的な操作で調整できます。30段階の色相と8段階の彩度を設定できます。画面で確認しながら上げることができます。

1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。

2 十字ボタンの **△▽◀▶** で [ピクチャーモード] を選択します。

3 フロントダイヤルで [カラークリエイター] を選択します。

- LVスーパーコンパネに [Color/Vivid] の項目が表示されます。

4 **△▽** ボタンで [Color/Vivid] を選択し、**OK** ボタンを押します。

5 色相と彩度を調整します。

- フロントダイヤルを回して色相を調整します。
- リアダイヤルを回して彩度を調整します。
- **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。

6 **OK** ボタンを押して設定を確定します。

- シャッターボタンを半押しして設定を終了することもできます。
- 画質モード (P.98, 140) が [RAW] のときは、RAW+JPEG で記録されます。
- [HDR撮影] (P.150)、[多重露出撮影] (P.152) では、[Natural] で撮影されます。
- いずれかのボタンに [カラークリエイター] を割り当てておくこともできます。[ボタン機能] (P.114) の [マルチFn] (P.122) から設定します。

ピクチャーモード



Color/Vivid



特定の色だけを残す

(パートカラー)

特定の色域だけを残して白黒の画像にします。被写体の赤い色だけを残して、他を白黒にするなどの使い方ができます。画面で確認しながら仕上げることができます。

【パートカラー】はピクチャーモードのアートフィルターの設定の一つです。ピクチャーモードで設定した上で調整をします。色の残し方を変えたⅠからⅢの3つのタイプが選べます。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で【ピクチャーモード】を選択します。

ピクチャーモード



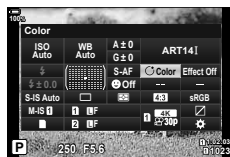
- 3 フロントダイヤルで【ART14Ⅰ】、【ART14Ⅱ】、【ART14Ⅲ】のいずれかを選択します。
 - LVスーパーコンパネに【Color】と【Effect】の項目が表示されます。



Color

Effect

- 4 十字ボタンの△▽で【Color】を選択し、OK ボタンを押します。
 - 画面にカラーリングが表示されます。



- 5 フロント／リアダイヤルで色を選択します。

- 6 OK ボタンを押して設定を確定します。
 - シャッターボタンを半押しして設定を終了することもできます。

鮮鋭さを微調整する

(シャープネス)

画像の鮮鋭さを調整します。輪郭の強調をすることでシャープなはっきりした感じの画像にすることができます。それぞれのピクチャーモードで、個別に設定しておけます。

- 1 **Fn** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で [シャープネス] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



明暗の差を微調整する

(コントラスト)

画像の明暗差を調整します。明暗差を強調することではっきりした印象の強い画像にすることができます。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

- 1 **Fn** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で [コントラスト] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



色の鮮やかさを微調整する

(彩度)

画像の色合いや色の濃さを調整します。彩度を上げると色合いのはっきりした印象的な画像になります。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

- 1 **☉** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla < \triangleright$ で [彩度] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



階調を微調整する

(階調)

画像の色や明るさの濃淡を調整します。被写体のイメージに合わせて全体的に明るく表現したり暗く表現します。明暗差によって暗い階調と明るい階調のどちらも表現できます。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

- 1 **☉** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla < \triangleright$ で [階調] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。



Auto (階調オート)	画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗さの大きい画像に有効です。
Normal (階調標準)	適度な階調にします。通常は標準に設定してください。
High (階調ハイキー)	明るい被写体に適した階調にします。
Low (階調ローキー)	暗い被写体に適した階調にします。

モノトーンにフィルター効果をつける (フィルター効果)

ピクチャーモード(P.104)の【モノトーン】の設定に、カラーフィルターの効果をつけることができます。被写体の色によって明るく表現したりコントラストを強調することができます。黄、橙、赤の順にコントラストが強くなります。緑はポートレート撮影などにも効果的です。

- 1 **Ⓞ** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で【ピクチャーモード】を選択します。
- 3 フロントダイヤルで【モノトーン】を選択します。
- 4 △▽◀▶ボタンで【フィルター効果】を選択します。



- 5 フロントダイヤルで項目を選択します。

N:無し	フィルター効果を使用しません。
Ye:黄	自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。
Or:オレンジ	青空らしさや夕日の輝きが少し強調されます。
R:赤	青空らしさや紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。
G:緑	人物写真で使うと肌の色を落ち着かせます。また、口紅の赤い色が強調されます。

モノトーンの調色をする (調色)

ピクチャーモード(P.104)の[モノトーン]の設定に、色味の効果をつけることができます。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[ピクチャーモード]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで[モノトーン]を選択します。
- 4 △▽◀▶ボタンで[調色]を選択します。



- 5 フロントダイヤルで項目を選択します。

N:無し	通常の白黒画像になります。
S:セピア	セピア調の画像にします。
B:青	青味がかかった画像にします。
P:紫	紫味がかかった画像にします。
G:緑	緑味がかかった画像にします。

i-Finishの効果进行调整する (効果)

ピクチャーモード(P.104)を[i-Finish]に設定したときの、効果の強さを設定します。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[効果]を選択します。



- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。

ⓁLow (効果 弱)	弱めの効果を画像に加えます。
ⓂStandard (効果 標準)	弱と強の中間程度の効果を画像に加えます。
ⓇHigh (効果 強)	強めの効果を画像に加えます。

色の再現方式を設定する

(カラー設定)

撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。★カスタムメニュー **G** の【カラー設定】(P.192)と同じ機能です。

- 1 **☉** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの **△▽◀▶** で【カラー設定】を選択します。



カラー設定

- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。

sRGB	Windowsの環境での標準の色域として定着している規格です。標準的なディスプレイやプリンター、デジタルカメラ、各種のアプリケーションで使用されています。通常はこの設定にしてください。
AdobeRGB	アドビシステムズ社によって定義された規格です。sRGBより広い色域の再現ができます。正しく出力するためには、この規格に対応したソフトウェア、ディスプレイやプリンターなどの機器が必要です。ファイル名の初めの文字が、「_」(アンダーバー)で示されます(例：_xxx0000.jpg)。

- ピクチャーモードがアートフィルターの設定のときや、HDR撮影、ムービーモード(📹)では、【AdobeRGB】を選択できません。

ボタン機能を割り当てる

(ボタン機能)

あらかじめ割り当てられているボタンの機能を他の機能に変更します。

[ボタン機能]の設定は、静止画撮影モードのときに有効になります(P.183)。[ボタン機能]の設定は、 (ムービーモード)のときに有効になります(P.161)。

■ カスタマイズできるボタンと初期設定

アイコン	ボタン	初期設定
	(露出補正)ボタン	(露出補正)
	(ムービー)ボタン	REC (ムービー録画)
	(LV)ボタン	(モニター/ファインダー切り換え)
	AEL/AFL ボタン	(AEL/AFL)
	ISO ボタン	(ISO感度)
	十字ボタン	[::] (AFターゲット位置)
	十字ボタンの▶ (右) *1	静止画: (フラッシュ) ムービー: W→T (電動ズーム) *2
	十字ボタンの▼ (下) *1	静止画: / (連写/セルフタイマー) ムービー: WB (WBモード)
	ワンタッチホワイトバランスボタン	静止画: (ワンタッチWB) ムービー: PEAK (ピーキング)
	プレビューボタン	静止画: (プレビュー) ムービー: Q (拡大)
	別売のパワーバッテリーホルダーに 装備されている B-Fn1 ボタン	(ISO感度)
	別売のパワーバッテリーホルダーに 装備されている B-Fn2 ボタン	(AEL/AFL)
	別売のパワーバッテリーホルダーに 装備されている十字ボタン	静止画: [::] (AFターゲット位置) ムービー: / [::] / (ダイレクト機能)
	別売のパワーバッテリーホルダーに 装備されている十字ボタンの▶ *3	静止画: (フラッシュ) ムービー: W→T (電動ズーム) *2
	別売のパワーバッテリーホルダーに 装備されている十字ボタンの▼ *3	静止画: / (連写/セルフタイマー) ムービー: WB (WBモード)
	レンズに装備されている Fn ボタン	AF Stop (AF停止)

*1 十字ボタンの▶および▼に機能を割り当てて使用するときは、[] (十字ボタン)を[**ダイレクト機能**]に設定する必要があります。

*2 電動ズーム機能つきレンズを使用時のみ

*3 別売のパワーバッテリーホルダーに装備されている十字ボタンの▶および▼に機能を割り当てて使用するときは、[]を[**ダイレクト機能**]に設定する必要があります。

各ボタンの割り当て機能を変更したい場合は、以下の手順で変更できます。

1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。



ボタン機能

2 **△▽◀▶** ボタンで**[ボタン機能]**を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 撮影モードが静止画モードの場合は**★**カスタムメニュー **Fn**の**[ボタン機能]** (P.183)が、ムービーモードの場合は**[Q]**ボタン/ダイヤル/レバーの**[Q]ボタン機能** (P.161)が表示されます。

3 **△▽**ボタンで設定するボタンを選択し、**▶**ボタンを押します。

4 **△▽**ボタンで割り当てる機能を選択し、**OK** ボタンを押します。

- ボタンによって選択できる機能は異なります。

■ ボタンに割り当てられる機能と働き










機能	ボタンに割り当てたときの働き
AF停止(AF Stop)	AFの動作を停止します。ボタンを押している間、AFは停止してピントは固定されます。 L.Fn ボタンにのみ割り当てられます。
AEL/AFL (AEL/AFL)	AEロック、AFロックボタンとして働きます。AEロックのときは、一度押しすと露出が固定され再度押しと解除されます。動作は ★ カスタムメニュー Fn の [AEL/AFLモード] で変更できます (P.199)。
REC (ムービー録画)	録画ボタンとして働きます。録画を開始/停止します。
ダイレクト機能 (Fn / Fn / Fn)	十字ボタン(△▽◀▶)に機能を割り当てます。それぞれ以下の機能が設定されます。 ◀ボタン： [Fn] (AFターゲット選択) △ボタン： [Fn] (露出補正) ▶ボタン： [Fn] (フラッシュ) (静止画) / 電動ズーム(ムービー) ▽ボタン： [Fn] (ドライブ) (静止画) / WB (ムービー) ・▶ボタンと▽ボタンは他の機能を割り当てておくことができます。
プレビュー (Fn)	絞りを実際に絞り込みます。ピントが合っている範囲を確認できます。ボタンを押している間、絞り値まで絞り込みます。動作は ★ カスタムメニュー Fn の [プレビュー設定] で変更できます (P.187)。 ・この機能は [ボタン機能] でのみ設定できます。




機能	ボタンに割り当てたときの働き
ワンタッチWB (ワンタッチホワイトバランス) (📷)	ワンタッチホワイトバランスの設定をします (P.92, 93)。 静止画撮影の場合は基準とするもの(白い紙など)を撮影するように、ボタンを押しながらシャッターボタンを押します。撮影すると登録するワンタッチWBを選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。 ムービー撮影の場合は基準とするもの(白い紙など)を撮影するようにボタンを押します。登録するワンタッチWBを選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。
[:::]選択 (AFターゲット選択)	AFターゲットモード (P.67)、 AFターゲット位置 (P.70)の設定ができます。ボタンを押すと、 AFターゲット選択画面 が表示されます。 フロント/リアダイヤルで AFターゲットモード の設定、マルチセレクターや十字ボタンで AFターゲット位置 の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> 設定に使う操作部は割り当てを変更できません。📷 ✨カスタムメニュー A2 [:::]選択画面設定 (P.205)
[:::]Home (AFホームポジション) (📷🏠)	[AF方式] 、 [AFターゲットモード] 、 [AFターゲット位置] をあらかじめ登録した状態(ホームポジション)にします。ボタンを押すと設定を変更して再度押すと元の設定に戻ります。ホームポジションは、 ✨カスタムメニュー A2 の [:::]HOME登録 で設定しておきます (P.204)。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は[📷ボタン機能]でのみ設定できます。 カメラが正位置、縦位置のときで別々のホームポジションを登録しておくことができます。📷 ✨カスタムメニュー A2 [📷:::]縦位置/横位置切換 (P.208)
MF切換 (MF切り換え)	AF方式 を MF に切り換えます。一度押すと MF に切り換わり再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回して AF方式 を選択することもできます。 静止画撮影では [📷Fnレバー機能] (P.217)が [mode2] のときは無効です。 ムービー撮影では [📷Fnレバー機能] (P.161)が [mode2] のときは無効です。
RAW⇐ (RAW画質)	[📷画質モード] をRAW+JPEGとJPEGの間で変更します。元の画質モードがRAWまたはJPEGのときは、ボタンを押すとRAW+JPEGに、RAW+JPEGのときはJPEGに切り換わります。ボタンを押しながらダイヤルを回して画質モードを選択することもできます。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は[📷ボタン機能]でのみ設定できます。
試し撮り撮影 (📷TEST)	試し撮りができます。各機能の設定の結果を実際に撮影した結果で確認できます。ボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、画像を記録せずにモニターに表示します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は[📷ボタン機能]でのみ設定できます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
カスタムモード撮影 1～4 (C1～C4)	<p>カスタムモードとして登録した設定を呼び出します。ボタンを押すとカスタムモードとして登録されている設定に切り換えます (P.56)。再度押すと、元の設定に戻ります。カスタムモードに切り換わったときも、このボタンの機能は変わりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は【カメラボタン機能】でのみ設定できます。
露出補正 (M)	<p>露出の設定をします。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。撮影モードにより設定できる内容が異なります。</p> <p>【P】：フロント/リアダイヤル、十字ボタンの◀▶で露出補正。△▽ボタンでプログラムシフト。</p> <p>【A】：フロント/リアダイヤル、十字ボタンの◀▶で露出補正。△▽ボタンで絞り。</p> <p>【S】：フロント/リアダイヤル、十字ボタンの◀▶で露出補正。△▽ボタンでシャッター速度。</p> <p>【M】*：リアダイヤル、十字ボタンの△▽でシャッター速度。フロントダイヤル、◀▶ボタンで絞り。</p> <p>【B】：リアダイヤル、十字ボタンの△▽でバルブ/タイム撮影、ライブコンポジット撮影の切り換え。フロントダイヤル、◀▶ボタンで絞り。</p> <p>* 【ISO感度】 (P.73, 89)が【AUTO】に設定されている場合の動作は「露出補正を設定する」(P.66)をご覧ください。</p>
デジタルテレコン (Q)	<p>デジタルテレコンの設定をします (P.141)。一度押すと拡大し、再度押すと元の表示に戻ります。</p>
デジタルシフト撮影 (M)	<p>ボタンを押すとデジタルシフト撮影の設定ができます (P.154)。もう一度ボタンを押すと設定画面を終了します。ボタンを長押しすると、デジタルシフト撮影が解除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は【カメラボタン機能】でのみ設定できます。
フィッシュアイ補正 (M)	<p>フィッシュアイ補正撮影の設定をします (P.240)。一度押すとフィッシュアイ補正撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと【画角】の設定を1、2、3で切り換えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は【カメラボタン機能】でのみ設定できます。
拡大 (Q)	<p>一度押すと拡大枠が表示され、再度押すと枠の部分が拡大表示されます (P.71)。再度押すと、元の表示に戻り、ボタンを長押しして枠を消します。拡大枠はタッチ操作やマルチセレクター、十字ボタンの△▽◀▶で位置を移動できます。</p>

機能	ボタンに割り当てたときの働き
HDR撮影 (HDR)	HDR撮影の設定をします (P.150)。一度押すとHDR撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すとHDR BKTの設定を含む[HDR撮影]の設定を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は[ ボタン機能]でのみ設定できます。
BKT切換 (BKT)	BKT (ブラケット)撮影の設定をします (P.144)。一度押すとBKT撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと[ブラケット撮影]の設定を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は[ ボタン機能]でのみ設定できます。
ISO感度	[ISO感度]の設定をします (P.73)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント/リアダイヤルや十字ボタンの<D>で設定します。
WBモード (ホワイトバランス)	[ホワイトバランス]の設定をします (P.92)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント/リアダイヤルや十字ボタンの<D>で設定します。
マルチFn (マルチ ファンクション)	マルチFnボタンに設定します (P.122)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して、複数の機能から一つの機能を選択し、使うことができます。ボタンを押して、選択した機能を使用します。
ピーキング (PEAK)	ピーキング表示をします (P.213)。一度押すとピーキング表示をして再度押すと元の表示に戻ります。ピーキング表示中にINFOボタンを押すと詳細設定の画面が表示され、色や強度の変更ができます。
 水準器表示 ()	デジタル水準器を表示します。ファインダーの露出バー表示を水準器表示に切り換えます。再度押すと戻ります。★カスタムメニュー  [EVF表示スタイル] (P.238)が[スタイル1]、[スタイル2]のときに有効です。
LO切換 (EVF切り換え)	ファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えます。[EVF自動切換設定] (P.194)が[Off]のときは、モニターとファインダーの表示を切り換えます。ボタンを長押しすると[EVF自動切換設定]のメニューを表示します。
OVFシミュレーション ()	[OVFシミュレーション]の設定をします (P.195)。一度押すと[On]に設定されます。もう一度ボタンを押すと[Off]に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は[ ボタン機能]でのみ設定できます。
AFリミッター (AFLimit)	[AFリミッター]の設定をします (P.181)。一度押すと[AFリミッター]で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと記憶されている3つの設定の間で変更ができます。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は[ ボタン機能]でのみ設定できます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
プリセットMF (PreMF)	<p>[AF方式]を[プリセットMF]に切り換えます(P.62)。一度押すとプリセットMFに切り換わり、再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回して[AF方式]を選択することもできます。</p> <p>静止画撮影では[Fnレバー機能] (P.217)が[mode2]のときは無効です。</p> <p>ムービー撮影では[Fnレバー機能] (P.161)が[mode2]のときは無効です。</p>
レンズ情報登録 (Exif Lens)	<p>レンズの登録情報の選択ができます(P.237)。レンズ交換時になどに、登録されているレンズ情報を選択します。</p>
手ぶれ補正(IS)	<p>[手ぶれ補正]設定をオフにします(P.95)。一度押すと[Off]に設定され再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、[手ぶれ補正]のメニューが表示され設定の変更ができます。</p>
フリッカースキャン (Flicker Scan)	<p>[フリッカースキャン] (P.164, 232)を設定します。ボタンを押すと[On]になります。画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。再度ボタンを押すと、情報表示が切り換わりシャッター速度以外の設定ができます。ボタンを長押しすると、[フリッカースキャン]を[Off]にします。</p>
ロック (タッチパネルロック)	<p>タッチ操作を無効にします。ボタンを長押しするとタッチ操作が無効になり、再度長押しすると有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は▷または▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ[・] (十字ボタン)を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
電動ズーム(W⇄T)	<p>電動ズームレンズを使用時にズーム動作ができます。ボタンを押したあと、十字ボタンでズーム操作します。△または▷ボタンで望遠側、▽または◁ボタンで広角側へズームします。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は▷または▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ[・] (十字ボタン)を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
フラッシュ (⚡)	<p>フラッシュの設定をします(P.84)。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント/リアダイヤルや十字ボタンの◁▷で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は▷または▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ[・] (十字ボタン)を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。 この機能は[Fnボタン機能]でのみ設定できます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
 (連写/セルフタイマー)	<p>ドライブ(連写やセルフタイマー)の設定をします(P.76)。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント/リアダイヤルや十字ボタンの◀▶で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は▶または▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ【】(十字ボタン)を【ダイレクト機能】に設定しておく必要があります。 この機能は【ボタン機能】でのみ設定できます。
ライブND撮影(ND)	<p>ライブND撮影の設定をします(P.157)。一度押すと【ライブND撮影】で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと【ライブND撮影】の設定を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は【ボタン機能】でのみ設定できます。
◎顔選択()	<p>カメラが複数の人物の顔を検出したとき、ピントを合わせる顔を選択します。ボタンを押すと、設定したAFターゲット位置に近い顔を選択します。AFターゲットモードが (オールターゲット)のときは、中央に近い顔を選択します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、ピントを合わせる顔を切り換えます。ムービー録画中にも使えます。</p>
◎顔優先設定(◎)	<p>【◎顔優先】(P.90)が【顔優先Off】以外のときに押すと【顔優先Off】に設定され、再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、【◎顔優先】のメニューが表示され設定を切り換えます。</p>
LVブースト切換 (Boost)	<p>現在の【LVブースト】(P.186)設定が【Off】のときに押すと、【On1】に切り換わります。【Off】以外のときに押すと、【Off】に切り換わります。再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、【LVブースト】の設定を切り換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は【ボタン機能】でのみ設定できます。
フォーカスリングロック()	<p>ボタンを押すとレンズのフォーカスリングの操作を無効にします。再度押すと操作が有効になります。【AF方式】が【S-AF MF】 / 【C-AF MF】 / 【MF】 / 【C-AF+TR MF】 / 【Pre MF】 /  AF MF の場合に動作します。</p> <p>レンズのフォーカスリングの操作が無効になっている間は、AF方式のアイコンのMF部分がグレーで表示されます。</p> <p>MFクラッチ(マニュアルフォーカスクラッチ)機構を搭載したレンズでフォーカスリングがMF位置(カメラボディ側)にある場合、このボタンは動作しません。</p> <p>フォーカスリングロックは、カメラの電源をオフにしたとき、新しいレンズを取り付けたときなどに解除されます。</p>

機能	ボタンに割り当てたときの働き
ムービーテレコン ()	ムービーテレコンの設定をします(P.123)。一度押すと拡大枠が表示され再度押すと枠の部分が拡大表示されます。再度押すと、元の表示に戻り、ボタンを長押しして枠を消します。拡大枠はタッチ操作やマルチセレクター、十字ボタン(△▽◀▶)で位置を移動できます。 <ul style="list-style-type: none">この機能は【ボタン機能】でのみ設定できます。
S-AF	AF方式の【S-AF】の動作をします。ボタンを押すと被写体にピント合わせをします。ボタンを押している間はその位置でピントを固定します。 <ul style="list-style-type: none">この機能は【ボタン機能】でのみ設定できます。
Off	ボタンを使用しません。

■ マルチファンクションを使う(マルチFn)

一つのボタンで複数の機能の設定ができる機能です。

- マルチファンクションを使うには、**[ボタン機能]** (P.114)でいずれかのボタンに**[マルチFn]**を割り当てておく必要があります。

呼び出す機能を切り換える

1 [マルチFn]を割り当てたボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回します。

- ダイヤルを回して、設定したい機能にカーソルを合わせます。設定したい機能を選択したらボタンを離します。



2 [マルチFn]を割り当てたボタンを一度押します。

3 設定します。



[マルチFn]で切り換えることができる機能は以下の通りです。


ハイライト&シャドウコントロール	フロント/リアダイヤルで設定します。 INFO ボタンを押すと調整する範囲(明部、暗部、中間部)の変更ができます。
カラークリエイター	フロントダイヤルで色合い、リアダイヤルで彩度を設定します。
ISO感度	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
ホワイトバランス	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
拡大	拡大枠が表示されます。
アスペクト比設定	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
OVFシミュレーション	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。
ピーキング	

- 表示される機能を選択することができます。☰ *カスタムメニュー **Fn** [マルチFn表示設定] (P.185)

■ 撮影しながら被写体を拡大して撮影する(ムービーテレコン)

レンズのズーム操作をすることなく、画面の一部を拡大して記録します。瞬時に、被写体のアップや引いた映像に切り換えることができます。録画中でも切り換え位置の移動や切り換え操作ができ、ボタンのほかタッチ操作も使えます。

【ムービーテレコン】は【ボタン機能】の一つです。機能のオンオフはボタンを使うので、【ボタン機能】(P.114)でボタンに機能を割り当てておく必要があります。

- 【画質モード】の【ムービーサイズ】が【4K】または【C4K】のときは、使用できません。
- ハイスピードムービー撮影では使用できません。
- 【デジタルテレコン】(P.141)との併用はできません。


【ムービーテレコン】の機能を使う

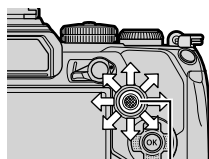
1 【ムービーテレコン】を割り当てたボタンを押します。

- 画面中央に拡大枠が表示されます。



2 拡大枠を拡大したい位置に移動します。

- 拡大枠の移動には、タッチ操作、マルチセレクター、十字ボタン(△▽◀▶)が使えます。
- マルチセレクターを1回押すか、ボタンを長押しすると、拡大枠が中央に戻ります。



マルチセレクター

3 【ムービーテレコン】を割り当てたボタンをもう一度押します。

- 拡大枠の部分が画面全体に拡大表示されます。
- 【ムービーテレコン】を割り当てたボタンをもう一度押すと拡大枠に戻ります。

4 ムービーテレコンを終了するときは、ボタンを一度押すか、【ムービーテレコン】を割り当てたボタンを長押しします。

3 再生する

再生時の情報表示

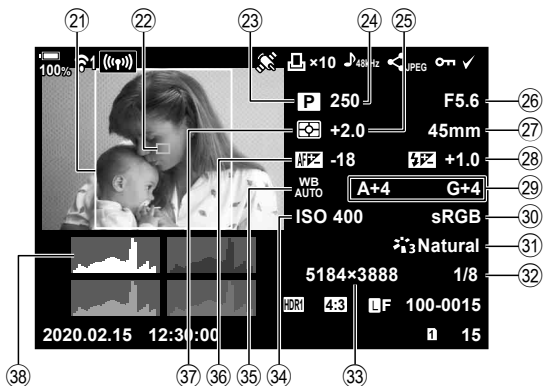
再生画像情報

簡易表示

再生する



総合表示



- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| ① 電池残量 P.30 | ⑳ 日時 P.31 |
| ② 無線LAN接続状態 P.243, 254 | ㉑ アスペクト枠 P.96 |
| ③ Bluetooth®接続中 P.244 | ㉒ AFターゲット表示 P.67 |
| ④ パソコン接続中(Wi-Fi) P.254 | ㉓ 撮影モード P.39-58 |
| ⑤ 無線LAN接続 P.245, 268 | ㉔ シャッター速度 P.42-48 |
| ⑥ GPS位置情報あり P.252 | ㉕ 露出補正 P.66 |
| ⑦ プリント予約
プリント枚数 P.132 | ㉖ 絞り値 P.42-48 |
| ⑧ 録音 P.134 | ㉗ 焦点距離 |
| ⑨ シェア予約 P.130 | ㉘ フラッシュ補正 P.103 |
| ⑩ プロテクト(保護) P.129 | ㉙ ホワイトバランス補正值 P.94 |
| ⑪ 画像選択 P.131 | ⑳ カラー設定 P.112 |
| ⑫ ファイル番号 P.193 | ㉑ ピクチャーモード P.104, 140 |
| ⑬ コマ番号 | ㉒ 圧縮率 P.234 |
| ⑭ 再生カードスロット P.235 | ㉓ ピクセルサイズ P.234 |
| ⑮ 画質モード P.98, 140 | ㉔ ISO感度 P.73, 89 |
| ⑯ アスペクト比 P.96 | ㉕ WBモード P.92 |
| ⑰ HDR画像 P.150 | ㉖ AF微調節 P.181 |
| ⑱ 深度合成 P.147 | ㉗ 測光方式 P.75 |
| ⑲ ライブND P.157 | ㉘ ヒストグラム |

情報表示を切り換える

INFOボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。



INFOボタン



- 再生時の情報表示に、ヒストグラム表示、ハイライト&シャドウ表示、ライトボックス表示を追加できます。 *カスタムメニュー [/Info表示設定] の [] Info (P.224)

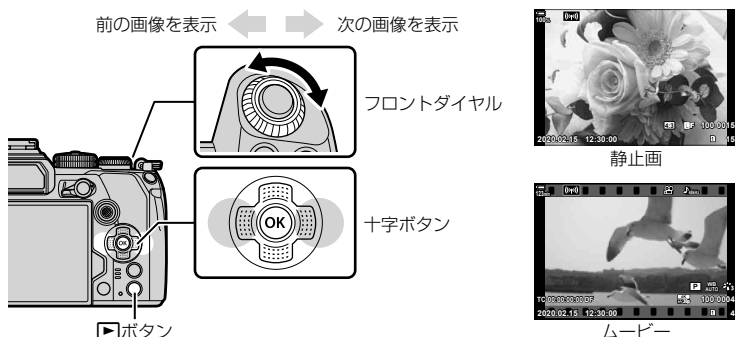
撮った画像／ムービーを見る

1 ▶ボタンを押します。




- 最後に撮影した画像が表示されます。
- フロントダイヤルや十字ボタンで画像が切り換わります。
- シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。





- ▶ボタンを使って再生するカードを切り換えることができます。画像再生中に、▶ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回してスロットを選択します。
★カスタムメニュー **HI** の [カードスロット設定] の [▶スロット] (P.235) 設定は変更されません。







リアダイヤル(⊙)	表示の拡大(⊙) / インデックス(⊙)
フロントダイヤル(⊙)	コマ戻し(⊙) / コマ送り(⊙) クローズアップ再生中も操作できます。
十字ボタン(△▽◀▶) / マルチセレクター (⊙ / ⊙)	1コマ再生: コマ送り(▶) / コマ戻し(◀) / 再生音量調節(△▽) クローズアップ再生: クローズアップ位置の変更 <ul style="list-style-type: none"> • INFO ボタンを押すとクローズアップしたままコマ送り(▶)戻し(◀)ができます。 • もう一度INFO ボタンを押すと拡大枠が表示され、△▽◀▶ ボタンで拡大枠の位置を変更できます。 インデックス再生 / カレンダー再生: 画像の選択 上記の操作は、マルチセレクターでも行えます。 <ul style="list-style-type: none"> • 十字ボタンの△▽◀▶は、マルチセレクターの上下左右で操作できます。 • INFO ボタンの操作は、マルチセレクターの中央で操作できます。
INFO ボタン	画像情報の表示
☑ (⊙) ボタン	画像の選択(P.131)

 (AEL/AFL) ボタン	画像のプロテクト(P.129)
 ボタン	画像の消去(P.130)
 ボタン	メニューの表示(カレンダー再生中に押すと1コマ再生に戻ります。)



画像をすばやく探す (インデックス再生/カレンダー再生)

- 1コマ再生でリアダイヤルを  に回すとインデックス再生します。さらに回すと、カレンダー再生に変わります。
- リアダイヤルを  に回すと1コマ再生に戻ります。



- インデックス再生のコマ数を変更できます。  *カスタムメニュー   /Info表示設定】の  表示 (P.226)

画像を拡大して見る (クローズアップ再生)

1コマ再生でリアダイヤルを  に回すと表示を拡大し、  に回すと1コマ再生に戻ります。



撮影した画像を回転させることができます。

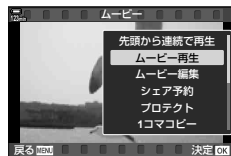
- 1 再生画面で画像を表示し、**OK** ボタンを押します。
- 2 **[回転]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 十字ボタンの **△** (反時計回り)、**▽** (時計回り) を押すたびに画像が回転します。
 - **OK** ボタンを押して、設定を終了します。
 - 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
 - ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。



- カメラを縦位置で撮影した画像を、再生時に自動的に回転して表示することができます。
再生メニュー [回転再生] (P.168)
[回転再生] が **[Off]** のときは、**[回転]** は選択できません。

ムービーを見る

ムービーを選んで **OK** ボタンを押すと再生メニューが表示されます。**[ムービー再生]** を選択し、**OK** ボタンを押すとムービー再生が始まります。十字ボタンの **◀/▶** で早送り、巻き戻しします。**OK** ボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、**△** ボタンで先頭のフレーム、**▽** ボタンで最後のフレームを表示します。**◀▶** ボタンまたはフロントダイヤルでコマ戻し/コマ送りをします。**MENU** ボタンを押すと再生を終了します。



4GBを超えるサイズのムービーの再生

長時間撮影したムービーはファイルサイズが4GBを超える場合があります。ファイルサイズが4GBを超えるときは、自動的にファイルを分割して記録を続けます。自動的に複数に分割されたムービーは、一つのムービーとして連続して再生することもできます。

- 1 **再生** ボタンを押します。
 - 最後に撮影した画像が表示されます。
- 2 再生したい長時間ムービーコマを表示して **OK** ボタンを押します。
 - 以下のメニューが表示されます。

[先頭から連続で再生] :	分割されたムービーを通して再生
[ムービー再生] :	ファイル別に再生
[同一ムービー消去] :	分割されたムービーをすべて消去
[1コマ消去] :	ファイル別に消去

- パソコンでのムービー再生には最新版の **Olympus Workspace** をおすすめします (P.272)。はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

画像を保護する

(プロテクト)

画像を誤って消さないように保護します。保護したい画像を再生して**On** (**AEL/AFL**)ボタンを押すと、画像に**On** (プロテクトマーク)が付きます。再度**On** (**AEL/AFL**)ボタンを押すと解除されます。あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。

プロテクトマーク

☑「複数の画像を一括で処理する(プロテクト・選択コマ



- カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。
- プロテクトされていない画像を表示して、**On** (**AEL/AFL**)ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像にプロテクトがかかります。その間のプロテクトされた画像は、変更されません。
- プロテクトされた画像を表示して、**On** (**AEL/AFL**)ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像のプロテクトが解除されます。プロテクトされていない画像は、そのまま変更されません。
- インデックス再生やクローズアップ再生で画像を選択したときも同様の操作ができます。

画像をコピーする


(1コマコピー)



カードスロット1、2の両方に記録可能なカードが装着されているときは、カード間で画像をコピーできます。

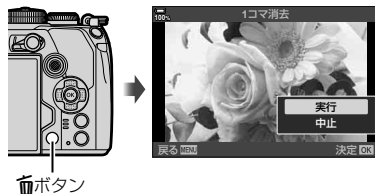
- 1 再生画面でコピーしたい画像を表示し、**OK**ボタンを押します。
 - 2 **[1コマコピー]**を選択し、**OK**ボタンを押します。
 - 3 コピー先のフォルダを指定するかどうかを選択して**OK**ボタンを押します。
 - **[指定する]**を選択した場合は、コピー先のフォルダを選択します。
 - 4 **[実行]**を選択して**OK**ボタンを押します。
 - もう一方のカードに画像がコピーされます。
- カード間で全コマ一括コピーすることもできます。**☑** **再生メニュー [全コマコピー]** (P.173)



画像を消去する

(1コマ消去)

消去したい画像を再生し、ボタンを押します。**[実行]**を選択し \odot ボタンを押すと消去されます。

ボタンの設定を変更して、確認手順なしで消去することもできます。  カスタムメニュー **B2** **[ワンタッチ消去]** (P.194)




- RAW+JPEGの画質モードで記録されているRAW画像とJPEG画像を同時に消去するか、一方だけを消去するかを選択することができます。  カスタムメニュー **B2** **[RAW+JPEG消去]** (P.194)

画像の転送予約をする


(シェア予約)

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。転送したい画像を再生して \odot ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。**[シェア予約]**を選び \odot ボタンを押した後、 \blacktriangle または \blacktriangledown を押すと画像にシェア予約がつき、 \blacktriangleleft とファイルの種類が表示されます。

シェア予約を解除するには \blacktriangle または \blacktriangledown を押します。あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。 「複数の画像を一括で処理する(プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去・選択コマシェア予約)」(P.131)、「スマートフォンに画像を転送する」(P.249)

- シェア予約できるコマは、各スロットそれぞれ200コマです。



- (\odot) ボタンを押しても再生中の画像にシェア予約をつけることができます。あらかじめ カスタムメニュー **B2** の **[\odot ボタン機能]** (P.183) で \blacktriangleleft を割り当ててください。
- シェア予約されていない画像を表示して、 (\odot) ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像はシェア予約されます。その間のシェア予約された画像は、変更されません。
- シェア予約された画像を表示して、 (\odot) ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像のシェア予約が解除されます。シェア予約されていない画像は、そのまま変更されません。
- インデックス再生やクローズアップ再生で画像を選択したときも同様の操作ができます。



■ RAW+JPEGで記録した画像をシェア予約する

画質モードを[RAW+JPEG]に設定して記録した画像の場合、JPEG画像のみ、RAW画像のみ、または両方をシェア予約できます。

- 1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。
- 2 iセットアップメニューで[Wi-Fi/Bluetooth設定]を選択し、十字ボタンの▷を押します。
- 3 △▽ボタンで[RAW+JPEGシェア予約]を選択し、▷ボタンを押します。
- 4 △▽ボタンで項目を選択し、Ⓞボタンを押します。

JPEG	JPEG画像のみシェア予約します。
RAW	RAW画像のみシェア予約します。
RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像の2コマをシェア予約します。

- [RAW+JPEGシェア予約]の設定を変更しても、すでに設定しているシェア予約が変更されることはありません。
- シェア予約を解除する場合は、メニューの設定に関わらず、RAW画像とJPEG画像が両方とも解除されます。

複数の画像を一括で処理する

(プロテクト・選択コマコピー・選択コマ消去・選択コマシェア予約)

複数の画像を選択し、一括して[プロテクト]・[選択コマコピー]・[選択コマ消去]・[選択コマシェア予約]をすることができます。

Ⓞボタンを押してメニューを表示し、[プロテクト]・[選択コマコピー]・[選択コマ消去]・[選択コマシェア予約]から選択します。

1コマ再生でも使用できます。

- ✓の付いていない画像を表示して、☑ (Ⓞ)ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像に✓が付きます。その間の✓がついた画像は、変更されません。
- ✓がついた画像を表示して、☑ (Ⓞ)ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像の✓は消えます。✓の付いていない画像は、そのまま変更されません。



プリントしたい画像にあらかじめ枚数や日時の印刷などの条件を指定しておくことができます。プリント予約した画像は、DPOF対応のプリントショップでプリントできます。プリント予約の情報(DPOF)はカードに記録されます。

■ プリント予約する

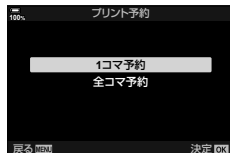
1 画像を再生中に、**[OK]** ボタンを押して**[プリント予約]**を選択します。

2 **[1コマ予約]**または**[全コマ予約]**を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

1コマ予約の場合

十字ボタンの**[<|>]**を押してプリント予約したいコマを選択し、**[△▽]**ボタンを押してプリントする枚数を設定します。

- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら**[OK]**ボタンを押します。



全コマ予約の場合

[全コマ予約]を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

3 日時の種類を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。



- 複数の画像をプリントする場合、1コマごとに設定を変えることはできません。

4 **[予約する]**を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

- 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。
- 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- RAWデータおよびムービーはプリント予約できません。

■ プリント予約を選択して解除する／すべて解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

- 1 画像を再生中に、Ⓜ ボタンを押して[プリント予約]を選択します。
- 2 [1コマ予約]を選択し、Ⓜ ボタンを押します。
 - すべてのプリント予約を解除する場合は、[解除する]を選択し、Ⓜ ボタンを押します。そうでない場合は[解除しない]を選択し、Ⓜ ボタンを押します。
 - 全てのプリント予約を解除するときは、[全コマ予約]を選択して[解除する]を実行することもできます。
- 3 十字ボタンの◀▶を押してプリント予約を解除したいコマを選択します。
 - ▼ボタンでプリント枚数を0に設定します。すべて解除したらⓂ ボタンを押します。
- 4 日時の種類を選択し、Ⓜ ボタンを押します。
 - プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。
 - 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。
- 5 [予約する]を選択し、Ⓜ ボタンを押します。

記録した画像に音声をつける

(録音)

カメラのステレオマイクや外部機器を使って、カードに記録した画像にあとから音声を加えます。簡単なメモ代わりに使えます。

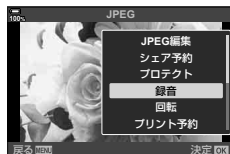
- 最長30秒の録音ができます。

1 再生画面で音声を録音する画像を表示し、**OK**ボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。
- 音声録音は再生メニューの**【編集】**からも設定できます。**【編集】**の**【画像選択】**で音声を録音する画像を選択して**OK**ボタンを押し、**【録音】**を選択します。

2 **【録音】**を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 録音を中止する場合は、**【中止】**を選択してください。



3 **【録音スタート】**を選択し、**OK**ボタンを押すと、録音を開始します。

4 **OK**ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には♪と録音レートが表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順3で**【消去】**を選択してください。



- 録音レートはムービーの録音機能の設定が適用されます。📺動画メニューの**【ムービー録音】**(P.167)で設定を変更できます。

■ 音声を再生する

音声のついた画像は、画像を再生すると同時に音声を再生します。再生をするときの音量の調節をします。

1 **▶**ボタンを押して画像を再生します。

2 十字ボタンの**△**または**▽**を押します。

- **△**ボタン：音量が上がります。
- **▽**ボタン：音量が下がります。



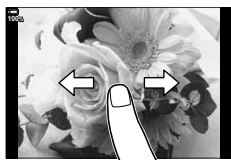
タッチパネルを使って見る

タッチ操作で、画像を拡大してスクロールしたり、コマ送りやコマ戻しをすることができます。




■ 1コマ再生で使う

コマ送り／コマ戻し

- タッチした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻しします。










拡大

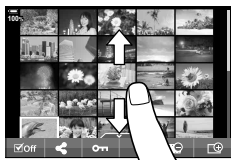
- 画面に軽くタッチすると、スライダーと  が表示されます。
- バーのスライダーを指で上下に動かすと拡大表示します。
- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
-  にタッチするとインデックス再生になります。さらに  にタッチすると、カレンダー再生になります。



■ インデックス再生／カレンダー再生で使う

ページを送る／戻す

- タッチした状態で、指を上を動かすとページを送り、下を動かすとページを戻します。
-  または  で表示するコマ数を切り換えられます。
 ★カスタムメニュー  [ /Info表示設定] の [ 表示] (P.226)
-  に何度かタッチすると1コマ再生に戻ります。






画像を見る

- 見たい画像にタッチすると1コマ表示します。

画像を選択する／プロテクトする

1コマ再生画面で、画面に軽くタッチするとタッチメニューが表示されます。タッチメニューのアイコンにタッチするとそれぞれの操作ができます。

	画像を選択します。複数を選択してから一括して削除などができます。
	スマートフォンにシェアしたい画像を予約できます。📄 「画像の転送予約をする (シェア予約)」 (P.130)
	画像のプロテクトをします。

- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

4 メニューの機能

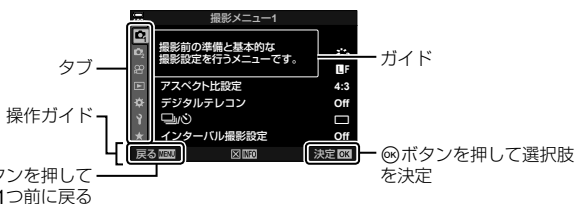
メニューの基本操作

メニューでは、LVスーパーコンパネなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定します。

タブ	タブ名	説明
	撮影メニュー 1	静止画撮影に関するメニューです。撮影前の準備や基本的な撮影機能の設定を行います。
	撮影メニュー 2	静止画撮影に関するメニューです。一步進んだ撮影機能の設定を行います。
	動画メニュー	ムービー撮影に関するメニューです。基本的な設定やカスタマイズの設定を行います。
	再生メニュー	画像の再生や編集に関するメニューです。
	カスタムメニュー	カメラのカスタマイズに関するメニューです。
	セットアップメニュー	日時や表示言語などの設定に関するメニューです。
	マイメニュー*	自分が使う項目だけを集めることができるメニューです。

* マイメニューは、初期設定では何も登録されていません。メニュー項目の中から、よく使う機能を集めてグループ化します。メニュー機能から必要な項目を選んで登録してお使いください(P.177)。

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。



- 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。**INFO**ボタンを押すと、ガイドの表示／非表示を切り換えることができます。

2 十字ボタンの△▽でタブを選択し、**OK**ボタンを押します。

- ★**カスタムメニューを選択したときは、メニューグループのタブが表示されます。△▽ボタンでメニューグループを選択し、**OK**ボタンを押します。



メニューグループ

3 △▽ボタンで機能を選択しOKボタンを押して、各設定画面に進みます。

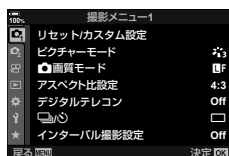


4 △▽ボタンで項目を選択しOKボタンを押して、設定内容を確定します。

- 繰り返しMENUボタンを押して、メニューを終了します。

- 各機能の初期設定については、「機能と初期設定一覧」(P.299)をご覧ください。
- カメラの状態や他の機能の設定内容によって、設定できない項目があります。設定できない項目は、グレーで表示されていて選択することができません。
- メニューの操作には、十字ボタンのほかにフロント/リアダイヤルやマルチセレクターが使えます。

撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2を使う



撮影メニュー 1

- リセット/カスタム設定 (P.139)
- ピクチャーモード (P.104, 140)
- 画質モード (P.98, 140)
- アスペクト比設定 (P.96)
- デジタルテレコン (P.141)
- ☺/☹ (ドライブ) (P.76, 78)
- インターバル撮影設定 (P.142)

撮影メニュー 2

- ブラケット撮影 (P.144)
- HDR撮影 (P.150)
- 多重露出撮影 (P.152)
- デジタルシフト撮影 (P.154)
- 低振動[♣]/静音[♥]撮影 (P.155)
- ハイレゾショット (P.156)
- ライブND撮影 (P.157)

カメラの設定を初期状態に戻す (リセット)

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。ほぼすべての設定に戻すか、撮影に関する機能のみに戻すかの選択ができます。

- 撮影メニュー 1で、[リセット/カスタム設定]を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - [リセット]を選択し、十字ボタンの**▷**を押します。
-
- [フル]または[標準]を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 日付や言語など一部を除いた項目をリセットする場合は、[フル]を選び**OK** ボタンを押します。☺ 「機能と初期設定一覧」 (P.299)
 - [リセット/カスタム設定]の画面で**OK** ボタンを押します。
 - [実行]を選択し、**OK** ボタンを押します。

残しておきたい設定内容を登録する (カスタム登録)

撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモード(C1～C4)として登録しておき、必要なときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます。また、メニューから直接設定を呼び出すこともできます。☞「登録されている設定を呼び出す」(P.56)

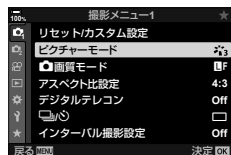
- 初期設定では、Pモードの設定が登録されています。

画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)

【ピクチャーモード】(P.104)の設定に、個別にコントラストやシャープネスなどの微調整をしておくことができます。調整したパラメータは仕上げ項目ごとに記憶されます。

1 ☑撮影メニュー1で、【ピクチャーモード】を選択し、OKボタンを押します。

- 撮影モードの設定に応じて選択できるピクチャーモードが表示されます。



2 十字ボタンの△▽で項目を選択し、OKボタンを押します。

- 各項目でさらに▶ボタンを押すと、選択したピクチャーモードに応じて詳細設定ができます。詳細設定ができないピクチャーモードもあります。
- 【標準】以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。



- メニューに表示されるピクチャーモードの選択肢を少なくすることができます。
☞ ☑カスタムメニュー 01 【ピクチャーモード表示】(P.185)

静止画撮影で記録する画像サイズを選択する (画質モード)

☞「静止画撮影で記録する画像サイズを選択する(画質モード)」(P.98)

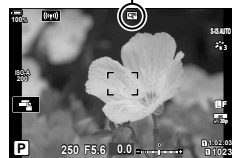
- JPEG画像の画像サイズと圧縮比の組み合わせ、【M】、【S】のピクセルサイズは変更することができます。【画質設定】、【ピクセルサイズ】☞「JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ(画質設定)」(P.234)

被写体を拡大して記録する (デジタルテレコン)

画像の中央部を切り出して、設定されている画質モードのサイズまで拡大して記録します。被写体を約2倍に拡大して記録できます。レンズの焦点距離以上の倍率で撮影できるため、レンズ交換ができないときや被写体に近づきにくいときなどに便利です。

- 1 撮影メニュー 1で[デジタルテレコン]を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 2 **[On]**を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 **MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。
 - **[On]**に設定すると、モニターの表示は2倍に拡大され、**2x**が表示されます。画像は拡大された状態で記録されます。

デジタルテレコン



- 多重露出撮影、デジタルシフト撮影、フィッシュアイ補正撮影では、使用できません。
- ムービーモードでは、**動画メニュー** **[設定ボタン/ダイヤルレバー]**の**[設定ボタン機能]** (P.114, 161)で、いずれかのボタンに**[ムービーテレコン]**を割り当てているときは使用できません。
- JPEGの画像では、実際に拡大した画像で記録されます。RAW画像では、表示した部分を示す枠が表示されます。画像再生時に拡大部分に枠が表示されます。
- 拡大中は、**AFターゲット**のサイズが大きくなり数も少なくなります。

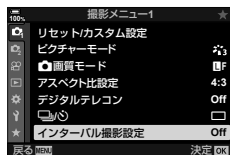


- **[デジタルテレコン]**の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。**[設定ボタン]**「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)

一定時間ごとに自動的に撮影する (インターバル撮影設定)

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマを1つのムービーとして記録することもできます。**P/A/S/M**モードでのみ設定できます。

- 1 **撮影メニュー**1で、**【インターバル撮影設定】**を選択し、**OK**ボタンを押します。



- 2 **[On]**を選択し、**▷**ボタンを押します。

- 3 以下の設定をして**OK**を押します。

コマ数	撮影するコマ数を設定します。
撮影開始待ち時間	インターバル撮影を開始して、最初のコマが撮影されるまでの待ち時間を設定します。
撮影間隔	撮影開始後の各コマの撮影間隔を設定します。
タイムラプス動画	静止画のみの記録か、撮影後に一連のコマでムービーを生成するかを設定できます。 [Off] ：各コマを静止画として記録します。 [On] ：静止画とともに、一連のコマで1つのムービーを生成して記録します。
タイムラプス動画設定	【タイムラプス動画】 で記録するムービーの 【ムービーサイズ】 と 【フレームレート】 を設定します。

- 4 **撮影メニュー**1に戻るまで、繰り返し**OK**ボタンを押します。


- **MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。
- 撮影画面に戻ると、画面に**100**が表示されます(アイコンには設定したコマ数が表示されます)。

インターバル撮影



- 5 撮影します。

- **100**が緑で表示され、残り撮影枚数を表示します。
- AF後、ピントが合わなくても撮影されます。ピント位置を固定したいときは**MF**で撮影してください。
- **【撮影確認】**(P.174)は0.5秒で動作します。
- 撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を1分31秒以上にすると、1分でモニターを消灯してカメラの電源がオフになります。撮影10秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、シャッターボタンを押しても復帰します。

- AF方式(P.62)が[C-AF]、[C-AF+TR]では[S-AF]に設定され、[C-AF MF]、[C-AF+TR MF]では[S-AF MF]に設定されます。
- AF方式を[**A**AF]にしている場合、最初にピント合わせを行い、撮影が開始してからはピントを固定して撮影します。
- インターバル撮影中は、タッチ操作は受け付けません。
- HDR撮影、ブラケット撮影、多重露出撮影、ライブND撮影とは併用できません。
- 撮影間隔より、フラッシュの充電時間が長いときは、フラッシュは発光しません。
- [コマ数]の設定が1000枚以上のときは、[タイムラプス動画]は[Off]になります。
- 撮影した静止画が正しく記録されていない場合は、タイムラプスムービーは生成されません。
- カード残量が不足した場合、タイムラプスムービーは記録されません。
- 撮影開始後に次の操作をするとインターバル撮影は、終了します。
モードダイヤル/MENUボタン/  ボタン/レンズ取り外しボタン/USBケーブルを接続
- 電源を切るとインターバル撮影を終了します。
- 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いください。
- [4K]で生成されたタイムラプスムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。

条件を少しずつ変化させて撮影する (ブラケット撮影)

露出の設定やホワイトバランスなど、撮影の設定を自動的に変更して複数枚の撮影を行います。ブラケットの種類によっては、いくつかのブラケット撮影を併用することができます。設定に迷うときや1枚ずつ設定を変更して撮影している余裕がないときに有効です。ブラケット撮影の設定を記憶させておき、ブラケット撮影をオンオフするだけで切り換えて使うことができます。

AE BKT (AEブラケット撮影)

1コマごとに露出を変えて撮影するAEブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすることに、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正露出、-補正、+補正の順番で撮影します。



- 撮影枚数は2枚 / 3枚 / 5枚 / 7枚から設定できます。
- 設定枚数の撮影が終了していないときは、**[BKT]**が緑で表示されます。
- **P**モードでは絞り値とシャッター速度、**A**モードではシャッター速度、**S**モードでは絞り値を、**M**モードではISO感度を制御して補正を行います。
- **M**モードで**[ISO感度]** (P.73, 89)が**[AUTO]**以外に設定されている場合は、シャッター速度を制御して補正を行います。
- 露出補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたAEブラケット撮影が行われます。
- **[露出ステップ]** (P.189)を変更すると、補正量も変化します。
- FLブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

WB BKT (WBブラケット撮影)

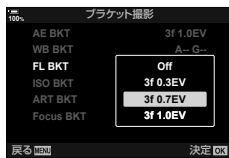
1回の撮影で、1つの補正方向に対して色合い(ホワイトバランス)を変えた3枚の画像を自動的に作成します。カメラの設定で撮影された画像、その画像から色合いを変更した画像の順番で記録されます。



- 補正する方向**A-B** (アンバー-青)、および**G-M** (緑-赤紫)のそれぞれのステップを2ステップ、4ステップ、6ステップから選択します。
- ホワイトバランスの補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたWBブラケット撮影が行われます。
- アートフィルターブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

FL BKT (FLブラケット撮影)

1コマごとにフラッシュの発光量を変えて撮影するフラッシュブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすることに、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正発光量、-発光量、+発光量の順番で3コマを撮影します。



- 設定枚数の撮影が終了していないときは、**[BKT]**が緑で表示されます。
- **[露出ステップ]** (P.189)を変更すると、補正量も変化します。
- AEブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

ISO BKT (ISOブラケット撮影)

撮影時のシャッター速度と絞り値を固定したまま、1コマごとにISO感度を変えて撮影するISOブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。1回の撮影で、ISO感度を設定したISO感度(オート設定時は適正ISO) -補正、+補正の順番で3コマを撮影します。



- **[ISO感度ステップ]** (P.189)を変更しても、補正量は変化しません。
- **[ISOオート設定]** (P.189)で設定した上限値とは関係なくブラケット撮影が行われます。
- 静音撮影時は、フラッシュの同調秒時は1/20秒になります。
- アートフィルターブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

ART BKT (アートフィルターブラケット撮影)

1回の撮影で複数の画像の仕上がり(ピクチャーモード)を設定します。メニューで表示される項目にチェック(✓)を入れて適用する設定を選びます。



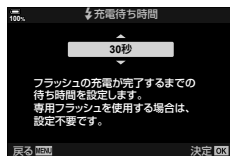
- AEブラケット撮影、FLブラケット撮影以外のブラケット撮影との併用はできません。

Focus BKT (フォーカスブラケット撮影)

1コマごとにピント位置を変えて撮影するフォーカスブラケット撮影の設定を行います。撮影開始時のピント位置から、遠くに向かってピントを移動させながら撮影します。【撮影枚数】で1回の撮影枚数を、【フォーカスステップ】でピント位置の間隔を設定できます。【フォーカスステップ】の設定値を小さくするとピント位置の間隔が狭くなり、大きくすると広がります。専用フラッシュ以外のフラッシュを使う場合に、【充電待ち時間】でフラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。

シャッターボタンを全押ししてすぐに指を離すと、設定した枚数まで撮影し続けます。途中で撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカスブラケット撮影はできません。
- フォーカスブラケット撮影中にズーム操作を行うと、撮影は終了します。
- ピント位置が∞に達すると撮影が終了します。
- フォーカスブラケット撮影は、静音シャッターで動作します。
- フラッシュ撮影をしたい場合は、【静音(♥)撮影時動作】(P.155)で、【フラッシュ】を【許可】に設定してください。
- 他のブラケット撮影との併用はできません。
- フラッシュの同調秒時は、1/50秒です。【ISO感度】が8000以上の場合、1/20秒になります。
- 【深度合成】撮影に対応したレンズで撮影したFocus BKT画像は、Olympus Workspaceで深度合成することができます。
- 【深度合成】撮影に対応したレンズについては、当社ホームページをご覧ください。



Focus BKT（深度合成）

ピント位置を自動的に変えて3～15コマ撮影して合成し、手前から奥まで広い範囲にピントが合った1枚のJPEG画像を作成します。

ピントを合わせた位置を中心に自動的にピント位置を変え、1回の撮影で3～15コマ撮影します。

- 合成に失敗した場合は、合成画像は生成されずに、設定した撮影枚数の画像のみが保存されます。
- シャッターボタンを全押しして撮影中に、ズーム操作を行うと、撮影は終了します。
- 合成画像は、画角が狭くなります。
- 画面に、合成後の画像に写る範囲を示す枠が表示されます。枠内に被写体が収まるように調整してください。
- **【表示罫線選択】**（P.187）で設定した罫線は表示されません。
- ピクチャーモードが**【eポートレート】**または**【アートフィルター】**に設定されているときは、**【Natural】**に設定されます。
- **【深度合成】**撮影に対応したレンズについては、当社ホームページをご覧ください。
- 他のブラケット撮影との併用はできません。



■ ブラケット撮影を設定する

- 1 撮影メニュー 2で、[ブラケット撮影]を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 2 [On]を選択してから十字ボタンの**▷**を押します。

- ブラケット撮影のメニュー画面が表示されます。



- 3 **△▽**ボタンで設定するブラケット撮影を選択し、**▷**ボタンを押します。

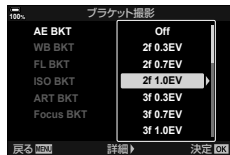
- それぞれのブラケット撮影の詳細設定に関するメニューが表示されます。



- 4 **△▽◀▷**ボタンで設定または[On]を選択します。

- **AE BKT**を選択したとき

撮影枚数で2枚(2f)を選択し、**▷**ボタンを押すと、基準コマに対して明るい補正か暗い補正かを設定するメニューが表示されます。**△▽**ボタンで設定を変更して**OK**ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



- **WB BKT**を選択したとき

色調整(A-B、G-M)の設定画面が表示されます。**◀▷**ボタンで色合いを選択し、**△▽**ボタンで補正量を設定します。設定を終えたら**OK**ボタンを押して前の画面に戻ります。



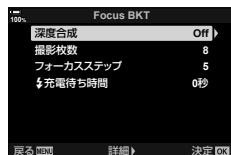
- **ART BKT**を選択したとき

[On]を選択し、**▷**ボタンを押すと、使用するアートフィルターやピクチャーモードの選択画面が表示されます。**△▽**ボタンで使用する項目を選択し、**OK**ボタンを押してチェックを入れます。設定を終えたら**MENU**ボタンを押して前の画面に戻ります。



• **Focus BKT**を選択したとき

[On]を選択し、▶ボタンを押すと、Focus BKT設定の画面が表示されます。△▽ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押すと、各項目の設定画面が表示されます。△▽ボタンで設定してⓂボタンを押すと、Focus BKT設定に戻ります。設定を終えたらⓂボタンを押してブラケット撮影のメニュー画面に戻ります。[深度合成]を使うときも[Focus BKT]設定画面で設定できます(P.147)。



5 項目または[On]を選択した状態でⓂボタンを押して、それぞれのブラケット撮影の設定を終了します。

6 [ブラケット撮影]が[On]の設定の状態ではⓂボタンを押します。

- このとき[Off]を選択し、Ⓜボタンを押したり、MENUボタンを押すと、ブラケット撮影の詳細設定を残したままで通常の撮影を行うことができます。



7 撮影します。

- ブラケット撮影を設定すると、画面に[BKT]が表示されます。

- ブラケット撮影では以下の機能は使用出来ません

HDR撮影／多重露出撮影／インターバル撮影／デジタルシフト撮影／
ハイレゾショット／フィッシュアイ補正撮影／ライブND撮影

- ブラケット撮影では、カメラのメモリーカードに設定枚数以上の空きがないと撮影できません。
- Bモードでは、AEブラケット撮影、FLブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影はできません。



- [BKT切換]の機能をボタンに割り当てておくことができます。機能をオンにしたり、使用するブラケット撮影の種類やその設定ができます。Ⓜ「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)

HDR (ハイダイナミックレンジ)撮影をする (HDR撮影)

露出を変えて撮影した複数枚の画像を、それぞれの画像の階調が失われている部分を補うように合成することで、階調を拡大したかのような画像にします。通常だと一方の階調が失われるような輝度差の大きい被写体でも黒つぶれや白とびを防いだ画像にすることができます。

- P/A/S/Mモードで使用できます。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2 撮影メニュー 2で[HDR撮影]を選択し、十字ボタンの▷を押します。



3 △▽ボタンで設定を変更し、OKボタンを押します。

- 撮影メニュー 2に戻ります。



HDR1	1回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をしてカメラ内で合成した画像を生成します。[HDR1]にすると自然な風合いの仕上がりに、[HDR2]にすると絵画のようなアート性を強くした仕上がりになります。
HDR2	<ul style="list-style-type: none"> • [ISO感度]は、200に固定されます。 • 設定できるシャッター速度は4秒までです。撮影は15秒まで動作します。 • ピクチャーモードは[Natural]に、カラー設定は[sRGB]に固定されます。 • HDR合成された画像はJPEGで記録されます。画質モードが[RAW]のときはRAW+JPEGで記録されます。
3f 2.0EV	1回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をします。合成画像の生成は行いません。パソコンなどでHDR合成のできるソフトウェアを使って合成してください。
5f 2.0EV	
7f 2.0EV	
3f 3.0EV	
5f 3.0EV	



4 MENUボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

- 撮影画面に戻ります。画面に[HDR]が表示されます。
- ドライブ機能が [連写H] に固定されます。



5 撮影します。

- シャッターボタンを押すと、自動的に設定した枚数の撮影を行います。
- [HDR1]および[HDR2]に設定したときは、撮影後自動的にカメラ内で画像が合成されます。
- P/A/Sモードでは露出補正ができます。
- Mモードでは、設定した絞り値とシャッター速度を基準にしてHDR撮影します。
- 三脚などでカメラを固定して撮影してください。
- 撮影中にモニターやファインダーに表示される画像は、HDR処理された画像とは異なります。
- [HDR1]および[HDR2]で撮影したときはシャッター速度を遅くして撮影すると、合成画像にノイズが目立つ場合があります。
- 以下の機能とは併用できません。
フラッシュ撮影／ブラケット撮影／多重露出撮影／インターバル撮影／
デジタルシフト撮影／ライブND撮影／フィッシュアイ補正撮影／ハイレゾショット



- [HDR撮影]の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。 [ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)] (P.114)

複数の画像を重ね合わせて撮影する

(多重露出撮影)

撮影した画像にもう一度撮影した画像を重ねて1つの画像に合成します。カードに保存されている画像を表示して重ねて撮影することもできます。

合成した画像は、撮影した画像の画質モードと同じ設定で保存されます。保存されている画像を表示して合成できるのは、RAWで記録されている画像のみです。

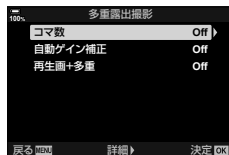
[**画質モード**]をRAWの設定で撮影すると、[再生画+多重]を繰り返し使うことで、3コマ以上の撮影画像を合成することもできます。

- P/A/S/MBモードで使用できます。

1 撮影メニュー 2で、[多重露出撮影]を選択し、**OK** ボタンを押します。

2 十字ボタンの△▽で項目を選択し、▷ボタンを押します。

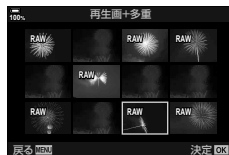
- △▽ボタンで設定を選択し、**OK** ボタンを押します。



コマ数	[Off] : 多重露出撮影をしません。 [2コマ] : 2コマの多重露出撮影をします。
自動ゲイン補正	[On] : 合成する各コマの明るさを1/2にして合成します。 [Off] : 各コマの明るさのまま合成します。
再生画+多重	[On] : カードに保存されているRAW画像と多重露出撮影します。 [Off] : 2コマ続けて撮影した画像を合成します。 • [再生画+多重]を設定するには[コマ数]を[2コマ]に設定してください。

3 [再生画+多重]を[On]に設定すると、合成する画像一覧が表示されます。

- △▽◀▶ボタンで画像を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 選択できる画像はRAW画像のみです。



4 多重露出設定画面で**OK** ボタンを押して、設定を確定します。



- 撮影メニューに戻ります。

5 **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。



- モニターにが表示されます。
- [再生画+多重]を設定したときは、選択した画像がモニターに半透過で表示されます。



6 撮影します。

- 1コマ目を撮影または**[再生画+多重]**に設定したときは、撮影画面に合成する画像が半透過で表示されます。
- 1コマ目を撮影するとが緑で表示されます。
- 通常の多重露出撮影では、2コマ目を撮影すると画像が合成されます。
- ボタンを押すと再度1コマ目の撮影ができます。
- **[再生画+多重]**のときは、同じ再生画像を使って繰り返し多重露出撮影ができます。

7 多重露出を終了するときは、**MENU**ボタンかボタンを押します。

- **MENU**ボタンを押したときは、メニューで**[コマ数]**を**[Off]**に設定します。
- 多重露出撮影を終了するとモニターのが消えます。
- 多重露出撮影を設定すると、スリープモードには入りません。
- 他のカメラで撮影された画像を使った合成はできません。
- ハイレゾショットのRAW画像は使用できません。
- **[再生画+多重]**を**[On]**に設定し、RAW形式の画像を選択するときに表示される画像は、撮影時の設定で現像されたものです。
- 撮影に関する設定は、多重露出撮影を解除してから行ってください。一部設定できない機能があります。
- 次の場合は1枚目以降の多重露出が自動的に解除されます。
電源をオフにする / ボタンを押す / **MENU**ボタンを押す / 撮影モードを変更する / 電池残量がなくなる / 各コネクタへのケーブルの挿入
- **[再生画+多重]**でRAW形式の画像を選択するとき、RAW+JPEGで記録した画像はJPEG画像が表示されます。
- Bモードの**[LIVE COMP]**（ライブコンポジット撮影）では使用できません。
- 多重露出撮影時は、以下の機能は使用できません。
HDR撮影 / ブラケット撮影 / インターバル撮影 / デジタルシフト撮影 /
ライブND撮影 / フィッシュアイ補正撮影 / ハイレゾショット
- **[画質モード]**をRAWの設定で撮影した画像は、再生モードで合成することもできます。

台形補正をする／遠近感を強調する (デジタルシフト撮影)

建物などを撮影したとき、レンズの焦点距離や距離の影響で台形に歪んで写るのを正しい形に補正したり、正しい形状を歪めて遠近感を強調した画像を撮影できます。画面で効果を見ながら、補正量を設定します。補正した画像は元の画像から切り出されるので、少し拡大されます。

- P/A/S/MBモードで使用できます。

1 撮影メニュー 2で[デジタルシフト撮影]を選択し、**OK**ボタンを押します。

2 [On]を選択し、**OK**ボタンを押します。

3 **MENU**ボタンを押し、メニューを終了します。

- デジタルシフト撮影の撮影画面が表示されます。画面にスライダーと**☒**が表示されます。

デジタルシフト撮影



4 画面を見ながら補正をして構図を決めます。

- フロントダイヤルで左右方向、リアダイヤルで上下方向の補正をします。
- 画面を見ながら補正をして構図を決めます。
- 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で画像の切り出す範囲を決めます。切り出しできる方向に Δ が表示されます。
- **OK**ボタンを長押しすると、設定がキャンセルされます。

5 絞りやシャッター速度などの撮影機能を設定するときは、**INFO**ボタンを押します。

- 通常の撮影画面に戻ります。
- デジタルシフトがオンになっている間は、画面に**☒**が表示されています。デジタルシフトの補正が設定されているときは緑色の表示になります。
- デジタルシフトの設定に戻るときは、繰り返し**INFO**ボタンを押して手順4の画面を表示します。

6 撮影します。

- 補正の度合いによっては、画像が粗くなります。また、切り出し時の倍率は大きくなり、切り出し位置の移動ができなくなります。
- 補正量によっては、切り出し範囲の移動ができない場合があります。
- 補正の度合いによっては、**AF**ターゲットが表示範囲内に収まらない場合があります。ピントの合った**AF**ターゲットが表示範囲の外にあるときは、画面に**☒**、**☑**、**☐**、**☐**が表示されます。
- 画質モードが[RAW]のときは、RAW+JPEGで記録されます。

- デジタルシフト撮影時は、以下の機能は使用できません。
コンボジット撮影／連写／ブラケット撮影／HDR撮影／多重露出撮影／
ライブND撮影／フィッシュアイ補正撮影／デジタルテレコン／ムービー撮影／
AF方式の【C-AF】、【C-AF MF】、【C-AF+TR】、【C-AF+TR MF】／ピクチャーモードの【eポートレート】
またはアートフィルター／カスタムセルフタイマー／ハイレゾショット撮影
- コンバーターレンズをお使いの場合は、意図どおりに補正できない場合があります。
- マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、【手ぶれ補正】で焦点距離設定をしてください(P.95)。
- 【手ぶれ補正】(P.95)で焦点距離を設定しているとき、または【レンズ情報登録】(P.237)で焦点距離が設定されたレンズを使用するときは、設定値に従って補正されます。



- 【デジタルシフト撮影】の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。【ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)】(P.114)

低振動撮影／静音撮影を設定する（低振動【】／静音【】撮影）


低振動撮影(P.78)と静音撮影(P.79)を設定すると、連写／セルフタイマー(P.76)で低振動撮影または静音撮影の項目を選択して撮影できます。

- 撮影メニュー 2で、【低振動【】/静音【】撮影】を選択し、 ボタンを押します。
- 十字ボタンの△▽で項目を選択し、▷ボタンを押します。
 - △▽ボタンで設定を選択し、 ボタンを押します。

低振動【】撮影	低振動撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。シャッター動作による微少なぶれを低減したいときに設定してください。低振動モードは連写やセルフタイマー撮影(P.76)にも有効です。低振動撮影を使わないときは【Off】にします。
静音【】撮影	静音撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。シャッター音が出せない環境下で撮影するときに設定してください。静音モードは連写やセルフタイマー撮影(P.76)にも有効です。静音撮影を使わないときは【Off】にします。
静音【】長秒時 ノイズ低減	【オート】に設定すると、静音撮影での長時間露光時に発生するノイズを低減します。ノイズ低減処理時に、シャッターの動作音がします。
静音【】撮影時動作	静音撮影時に【電子音】／【AFイルミネーター】／【フラッシュ】の動作の設定を許可するかどうかを設定します。 【許可】に設定すると各機能の設定に従って動作し、【禁止】に設定すると各機能の設定に関わらず静音撮影時に動作を禁止します。


ハイレゾショットを設定する


(ハイレゾショット)

ハイレゾショット(P.81)を設定すると、連写/セルフタイマー (P.76)でを選択して撮影できます。

1 撮影メニュー 2で、[ハイレゾショット]を選択し、ボタンを押します。

2 十字ボタンの△▽で項目を選択し、▷ボタンを押します。

- △▽ボタンで設定を選択し、ボタンを押します。

ハイレゾショット	シャッターボタンを全押ししてから実際にシャッターが切れるまでの時間(撮影開始までの時間)を設定します。シャッターボタンを押したときのカメラのぶれの影響を避けるときに設定します。 [Off] に設定するとハイレゾショット撮影はせず通常の撮影になります。
 充電待ち時間	ハイレゾショット撮影でフラッシュを使用するときの、フラッシュの充電を待つための間隔を設定します。専用外部フラッシュを使うときには、設定の必要はありません。
撮影方法	[三脚] ：カメラを三脚などで固定して撮影します。RAW画像は、80M (10368×7776)で記録されます。 <ul style="list-style-type: none">• フラッシュの同調秒時は、1/50秒です。• [ISO感度]の上限は、1600です。 [手持ち] ：カメラを手持ちで撮影します。 [三脚] の設定より1枚の撮影に少し時間がかかります。RAW画像は、50M (8160×6120)で記録されます。 <ul style="list-style-type: none">• フラッシュは発光しません。• [ISO感度]の上限は、6400です。

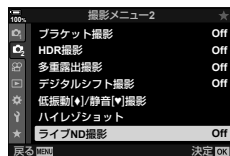
- ハイレゾショットは、電子シャッターで動作します。

明るい環境下でスローシャッター撮影をする（ライブND撮影）

複数枚の撮影をして合成をすることで、長秒時シャッターで撮影したような効果を得ることができます。

- **S**または**M
- **[LVシミュレーション]**による表示は、露出補正やシャッター速度の変更を行うと、一旦リセットされます。**

- 1 撮影メニュー 2で**[ライブND撮影]**を選択し、**(OK)** ボタンを押します。

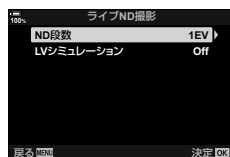


- 2 十字ボタンの**△▽**で**[On]**を選択し、**▷**ボタンを押します。



- 3 **△▽**ボタンで項目を選択し、**▷**ボタンを押します。

- **△▽**ボタンで設定を選択し、**(OK)** ボタンを押します。



ND段数	露出を落とす段数を設定します。1EVずつシャッター速度を遅く設定できます。 [ND2 (1EV)] / [ND4 (2EV)] / [ND8 (3EV)] / [ND16 (4EV)] / [ND32 (5EV)]
LVシミュレーション	シャッター速度の設定による画像の仕上がり具合をライブビューで確認することができます。 [On] : シャッター速度の設定に合わせた写り方で表示されます。 [Off] : 通常を表示します。

- 4 設定完了後すぐにライブND撮影を行う場合は**[On]**を、行わない場合は**[Off]**を選択して、**(OK)** ボタンを押します。

- 撮影メニュー 2の画面に戻ります。



5 MENUボタンを押してメニューを終了します。

- [ライブND撮影]が[On]の場合は、ライブND撮影が開始されます。
- ライブND撮影中は、画面にアイコンが表示されます。
- ライブND撮影を終了するとき、手順2の[ライブND撮影]の設定画面で[Off]を選択します。



6 画面で仕上がりを確認しながら、シャッター速度を設定します。

- リアダイヤルで設定します。
- シャッター速度の上限は、ND段数により次のようになります。

[ND2 (1EV)] : 1/30秒

[ND4 (2EV)] : 1/15秒

[ND8 (3EV)] : 1/8秒

[ND16 (4EV)] : 1/4秒

[ND32 (5EV)] : 1/2秒

- [LVシミュレーション]が[On]のときは、シャッター速度の設定に応じた写り方で画面に表示されます。



シャッター速度

7 撮影します。

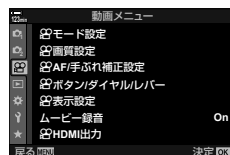
- [LVシミュレーション]で仕上がりに近い表示をするためには、設定しているシャッター速度と同じ時間がかかります。
- ライブND撮影中は、[ISO感度]が800までに制限されます。[ISO感度]が[AUTO]に設定されている場合でも上限は800までになります。
- ライブND撮影中は、ドライブの機能が▼□に設定されます。
- 以下の機能は併用できません。
HDR撮影／ハイレゾショット撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／
ブラケット撮影／インターバル撮影／ フリッカースキャン／フリッカーレス撮影／
フィッシュアイ補正撮影
- ライブND撮影は、撮像素子に届く光量を調節するNDフィルターとは異なるため、高輝度の被写体が露出オーバーで写ることがあります。



- [ライブND撮影]の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押す操作だけで[ライブND撮影]の[On]と[Off]を切り換えることができます。☞「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)
- [ライブND撮影]の機能を割り当てたボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、ND段数を変更できます。








動画メニューを使う












動画メニューでは、ムービー撮影の機能を設定します。



メニュー項目	説明	
ムービーモード設定	ムービー撮影に関する動作の設定を行います。	—
ムービーモード	ムービー撮影時の撮影モードを設定しておくことができます。	163
フリッカー スキャン	[On]にすると、LED照明による明るさのちらつきを抑えます。フロントダイヤル/リアダイヤルまたは十字ボタンの△▽で、フリッカーが軽減されるシャッター速度に設定します。	164
画質設定	ムービーの画質を設定します。	—
画質モード	画質モードの画像サイズやビットレートなどの組み合わせを設定します。	165
MISOオート設定	[上限値/基準値設定]: [ムービーモード] (ムービー露出モード) が [M] で [ISO感度] が [AUTO] のときの、ISO感度の上限値と基準値を設定します。 [MISOオート有効]: [ムービーモード] (ムービー露出モード) が [M] のときに、[ISO感度] の [AUTO] の設定が使えます。変化の仕方は [上限/基準値設定] で設定できます。	73
高感度ノイズ低減	高感度ムービー撮影時のノイズ低減レベルを選択します。	—
WBモード	ムービー撮影時のWBモードを設定できます。	92
全WBモード補正	ホワイトバランスの設定を一括で微調整します。 [All Set]: 全てのホワイトバランスの設定を微調整します。 [All Clear]: 設定した微調整をリセットします。	94
WBオート電球色 残し	[On]にすると、ホワイトバランスが [AUTO] のとき、ムービー撮影で電球色の色合いを残します。	92, 94
ピクチャーモード	[On]にすると、ムービー撮影専用のピクチャーモードを設定できるようになります。	104

メニュー項目	説明	🔒
🔗AF/手ぶれ補正設定	ムービー撮影時のピントの合わせ方や手ぶれ補正に関する設定を行います。	—
🔗AF方式	ムービー撮影のAF方式を選択します。	62, 89
🔗C-AF動作速度	[C-AF]や[C-AF+TR]で被写体にピントを合わせ続けているときの、ピント合わせの速度を設定します。	—
🔗C-AF追従感度	[🔗AF方式]が[C-AF]や[C-AF+TR]で被写体にピントを合わせ続けているときの、オートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が出入りしてピントが移動してしまうときなどに有効です。 <ul style="list-style-type: none"> • 3段階の感度が設定できます。 • +1に設定すると感度は上がります。前後に動いたり動きの速さが不規則に変化する被写体や、見えない位置から急に現れる被写体に対応するときに設定します。 • -1に設定すると感度は下がります。被写体との間の障害物にピントが移動してしまったり、被写体の動きが速くAFターゲットが外れてピントが背景に移動してしまうときに設定します。 	—
🔗手ぶれ補正	ムービー撮影の手ぶれ補正を設定します。	95
🔗手ぶれ補正強度	ムービー撮影時の手ぶれ補正の効きを調整します。 <p>[+1]：手持ちで構図を変えずに撮影したいときに適しています。</p> <p>[±0]：通常はこの設定でお使いください。</p> <p>[-1]：手持ちでパン/チルトしたり、動く被写体を追うような撮影をしたいときに適しています。</p>	—

メニュー項目	説明	
 ボタン/ダイヤル/レバー	ムービーモード時のボタン/ダイヤル/レバーの機能を設定しておくことができます。	—
 ボタン機能	ムービーモード時のボタンに機能を設定します。	114
 ダイヤル機能	ムービーモード時のリアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます。	166
 Fnレバー機能	ムービーモード時に Fn レバーで切り換える機能を設定します。 [mode1] を設定すると、 Fn レバーで、 [ダイヤル機能] で設定されている機能を切り換えます。 [mode2] を選択し、十字ボタンの ▶ を押すと、 Fn レバーで切り換える機能を選択できます(AF方式/AFターゲットモード/AFターゲット位置)。 [Fnレバー機能] (P.183)が [mode3] に設定されているときや、 [Fnレバー/電源レバー] (P.183)が [PW1] または [PW2] に設定されているときは無効です。	—
 シャッターボタン機能	ムービーモード時のシャッターボタンの機能を選択できます。 [☺] を設定すると、シャッターボタンで、AF操作を行います。静止画撮影はできません。 [REC] を設定すると、シャッターボタン全押しで、ムービー撮影の開始と停止を行います。 [REC] のときは、 ○ ボタンで録画の操作はできません。	—
 電動ズーム速度	電動ズームを搭載したレンズでズームするときの、ズームの動作速度を変更します。ゆっくりと被写体をアップにするなど、ムービーの一つの効果として使用することができます。 [低速] 、 [標準] 、 [高速] から選択できます。	—

メニュー項目	説明	
 表示設定	ムービーモード時の表示に関する設定を行います。	—
 Control表示	ムービーモード時のLVコントロール(P.223) / LVスーパーコンパネ(P.86)の表示/非表示を設定できます。表示しないときは項目を選択し、  ボタンを押してチェックを外します。	—
 Info表示	ムービー撮影画面での情報表示の内容を選択できます。表示しないときは項目を選択し、  ボタンを押してチェックを外します。	—
タイムコード設定	ムービーモード時に記録するタイムコードを設定します。記録時間との誤差を補正して記録するときは、 [タイムコードモード] を [DF] (ドロップフレーム)に、誤差を補正しないときは [NDF] (ノンドロップフレーム)に設定します。 タイムコードを録画中のみカウントするときは、 [カウントアップ方式] を [レックラン] に、電源OFF時を含む録画停止中もカウントするときは [フリーラン] に設定します。 [タイムコード値設定] で、タイムコードの開始時間を設定します。 [現在時刻] に設定すると、現在の時刻でフレームが00になります。00:00:00:00に設定するときは [リセット] を選択します。 [手動入力] でも設定できます。	—
 残量表示	ムービーモードおよびムービー撮影中の電池残量表示(%または分)を設定します。	—
 ビューアシスト	ピクチャーモードがムービー専用の [Flat] や [OM-Log400] に設定されているとき、モニターに表示する映像を見やすい画質に調整します。 [On] にすると、映像を見やすい色合いに調整して表示します。	—
ムービー録音	[Off] にすると、ムービー撮影中に音声を録音しません。	167
 HDMI出力	本機と外部機器をHDMI接続してムービーを撮影するときの出力設定を行います。	—
出力モード設定	出力映像モードを設定します。 [モニターモード] を設定すると、映像とカメラの情報を出力します。このときカメラ側には情報表示されません。 [記録モード] を設定すると、映像のみを出力します。このときカメラ側には情報表示されます。	—
RECトリガー	[On] にすると、接続した外部機器に、カメラからRECトリガーを通知します。	—
タイムコード	[On] にすると、接続した外部機器に、カメラからタイムコードを通知します。 • 下記の場合、タイムコードをトリガーとする外部機器の録画が停止する場合があります。 - アートムービーなど処理の重いムービーの撮影 - ファインダーとモニターの表示切り換え時など	—

静止画撮影の効果を使って撮影する

(P/A/S/Mモード(ムービー露出モード))

P/A/S/Mモードの効果を活かしたムービー撮影が可能です。

モードダイヤルをP/A/S/Mにして撮影しているときに有効です。

- 1 P/A/S/M動画メニューで、[P/A/S/Mモード設定]を選択し、[OK]ボタンを押します。
- 2 [P/A/S/Mモード] (ムービー露出モード)を選択し、十字ボタンの▷を押します。
- 3 △▽ボタンで設定を選択し、[OK]ボタンを押します。

P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値を自動的に設定します。 フロントダイヤルまたはリアダイヤルで露出補正を設定できます。
A	絞り値を設定することで、背景の描写に変化がつけられます。 フロントダイヤルで露出補正、リアダイヤルで絞り値を設定できます。
S	シャッター速度を設定することで、被写体の写り方に変化がつけられます。フロントダイヤルで露出補正、リアダイヤルでシャッター速度を設定できます。 設定可能なシャッター速度は1/24 ~ 1/32000秒です。
M	絞り値とシャッター速度を活かして自由に表現できます。 フロントダイヤルで絞り値を設定し、リアダイヤルでシャッター速度を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• シャッター速度は1/24 ~ 1/32000秒に設定できます。[P/A/S/M ISO感度]のマニュアル設定時は、200 ~ 6400です。• 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。差が±3以上になると表示が点滅します。• [P/A/S/M画質設定]の[P/A/S/M ISOオート設定] (P.159)が有効になります。

- 露光中のぶれ(被写体ぶれなど)が発生する撮影状況では、シャッター速度を高速側(速くする)にすることでぶれを軽減できる場合があります。
- シャッター速度の低速側は、ムービー画質のフレームレートの設定によって変わります。
- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。
- カメラの内部が高温になると、保護機能が動き自動的に撮影を中止します。

LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (フリッカースキャン)

LED照明の環境下では、撮影した画像にすじが写ることがあります。【フリッカースキャン】では、画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。

この機能は、【モード】(ムービー露出モード)が【S】または【M】のときに使用できます。

- 設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

1 【モード】(ムービー露出モード)を【S】または【M】に設定します(P.163)。

2 動画メニューで、【モード設定】を選択し、**OK** ボタンを押します。

3 【フリッカースキャン】を選択し、十字ボタンの**▷**を押します。

4 **△▽**ボタンで【On】を選択し、**OK**を押します。

5 **MENU**ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

- フリッカースキャン中は、画面に **Flicker Scan** が表示されます。



6 画面を見ながらシャッター速度を設定します。

- フロント/リアダイヤル、または**△▽**ボタンで設定できます。**△▽**ボタンを長押しすることもできます。
- フロントダイヤルでは、**★**カスタムメニュー **Et**の【露出ステップ】で設定した露出ステップでシャッター速度を変更できます。
- 画面に発生するすじが見えなくなるようにシャッター速度を調整してください。
- **INFO**ボタンを押すと画面が切り換わり、**Flicker Scan**が消えます。このとき、絞りや露出補正の設定ができます。フロント/リアダイヤルまたは、十字ボタンを使って設定してください。
- **INFO**ボタンを繰り返し押すと、フリッカースキャンの設定画面に戻ります。



シャッター速度

7 設定を終えたら撮影します。

- フリッカースキャンの画面では、ピーキング表示や、LVスーパーコンパネ、LVコントロールの表示はできません。表示するときは**INFO**ボタンを押して画面の情報表示を切り換えてください。



- 【フリッカースキャン】の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押すだけで機能をオンにすることができます。[設定]「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)

ムービーの画質を設定する (画質モード)

ムービーの画像サイズやビットレートなどの組み合わせを設定できます。設定後、ムービーの画質モード(P.99)で選択できます。

- 1 動画メニューで、[画質設定]を選択し、[OK]ボタンを押します。
- 2 [画質モード]を選択し、十字ボタンの▶を押します。
- 3 ▲▼ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押します。
 - ▲▼ボタンで設定を選択し、[OK]ボタンを押します。

画像サイズ	[C4K] (カスタムのみ) / [4K] / [FHD] (Full HD) / [HD] を設定できます。
ビットレート	[A-I] (All-Intra) / [SF] (Super Fine) / [F] (Fine) / [N] (Normal) を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 画像サイズで[C4K]、[C4K]を設定しているときは、ビットレートは選択できません。
フレームレート	[60p] / [50p] / [30p] / [25p] / [24p]を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 以下のときは、[60p] / [50p]は選択できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 画像サイズで[FHD] (Full HD)、ビットレートで[A-I] (All-Intra)を設定しているとき - 画像サイズで[C4K]または[4K]を設定しているとき • 画像サイズが[C4K]に設定されているときは、フレームレートは24pに固定されます。 • テレビでムービーを再生する場合、テレビとムービーのフレームレートが合っていないとなめらかに再生されません。ムービーを撮影する前に、各国/地域のテレビ映像信号に合わせてフレームレートを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> - NTSC地域：60p (30p) - PAL地域：50p (25p)
スロー/クイック効果	スロー/クイック効果を設定できます。 <p>選択できる設定は、設定しているフレームレートによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロー効果、クイック効果が制限される画質モードがあります。

フロント／リアダイヤルの機能を変える (ダイヤル機能)

ダイヤル (ムービー) モードのときのフロント／リアダイヤルに割り当てられているそれぞれの機能を変更することができます。撮影の状況や使い勝手に合わせて、フロントとリアのダイヤルの機能を入れ換えたり、他の機能を割り当てることができます。また、[Fn レバー機能] が [mode1] のときには、Fn レバーの位置によって機能が変わります。[ダイヤルモード] (ムービー露出モード) 別に設定することができます。

このメニューで設定するダイヤル機能は、ダイヤル (ムービー) モードのときに有効になります。P/A/S/M/B (静止画撮影) モードでは、カスタムメニューで設定するダイヤル機能が有効になります。



機能	働き	露出モード			
		P	A	S	M
シャッター速度	シャッター速度を設定します。	—	—	○	○
絞り	絞り値を設定します。	—	○	—	○
露出補正	露出補正を設定します。	○	○	○	○
ISO感度	ISO感度を設定します。	—	—	—	○
WBモード	ホワイトバランスを設定します。	○	○	○	○
CWB色温度	ホワイトバランスがCWB (カスタムWB) のときの色温度設定を変更します。	○	○	○	○
🔊VOL	録音の音量を調整します。	○	○	○	○
🔊VOL	ヘッドホンの音量を調整します。	○	○	○	○
Off	機能を設定しません。	○	○	○	○





- 1 動画メニューで [ダイヤルボタン/ダイヤルレバー] を選択し、十字ボタンの▷を押します。
- 2 △▽ボタンで [ダイヤル機能] を選択し、▷ボタンを押します。
- 3 設定する項目を選択し、▷ボタンを押します。
 - ◀▷ボタンでダイヤルを選択し、△▽ボタンで設定を変更します。
 - INFOボタンを押すと、レバー1とレバー2の間でカーソルの位置を切り換えられます。
 - 設定が完了したら、⊙ボタンを押します。


録音の設定をする

(ムービー録音)

録画時の音声の記録について設定します。カメラに外部レコーダーやマイクを接続して使うときの設定もできます。

- 1 設定メニューで、[ムービー録音]を選択し、 ボタンを押します。
- 2 [On]を選択し、十字ボタンの \triangleright を押します。
- 3 Δ ボタンで項目を選択し、 \triangleright ボタンを押します。
 - ・ Δ ボタンで設定を選択し、 ボタンを押します。

録音レベル調整	マイクの感度を設定します。内蔵のステレオマイク、外部マイクそれぞれの感度を設定できます。 [内蔵 ]：カメラのステレオマイクの設定をします。 [MIC ]：マイク端子に接続した外部マイクの設定をします。
 入力リミッター	マイクが拾う音量に制限をかけます。一定量より大きいときは自動的に音量を抑えることができます。
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。
録音レート	音声の記録フォーマットを設定します。 [96kHz/24bit]：高音質の音声フォーマット [48kHz/16bit]：標準の音声フォーマット
 プラグインパワー	コンデンサー型マイクのように通電が必要なマイクを使用するときに設定します。 [Off]：通電しません(一般的なダイナミック型マイク)。 [On]：通電します(コンデンサー型マイク)。
ヘッドホン音量	ヘッドホン端子に出力する音量を調整します。

- ・ ムービー撮影中の録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、[AF方式] (P.62)を[S-AF]、[MF]または[PreMF]にして撮影したり、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。
- ・ 以下の場合には録音できません。
 - ・ ハイスピードムービー撮影/スロー/クイック撮影/ピクチャーモードが AF^T (ジオラマ)のとき
- ・ ムービー録音が[Off]のときは、 が表示されます。
- ・ 音声は設定した[録音レート]に対応した機器以外では再生されません。

再生メニューを使う

再生メニュー

回転再生 (P.168)

編集 (P.168)

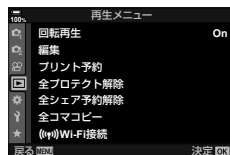
プリント予約 (P.132)

全プロテクト解除 (P.173)

全シェア予約解除 (P.173)

全コマコピー (P.173)

Wi-Fi接続 (P.245)



4

メニューの機能(再生メニュー)

縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する (回転再生)

設定が[On]のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。

撮影した画像を加工する (編集)

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。RAW画像は、ホワイトバランスや、アートフィルターを含むピクチャーモードなどの撮影時に使うような処理を加えることができます。JPEG画像は、トリミングやリサイズなどの簡単な加工ができます。

- 再生スロットに指定したカードが編集の対象になります。☞「記録先カードを設定する(カードスロット設定)」(P.235)
- 再生メニューで[編集]を選びOKボタンを押します。
 - 十字ボタンの△▽で[画像選択]を選びOKボタンを押します。
 - ◀▶ボタンで編集する画像を選択し、OKボタンを押します。
 - RAW画像の場合は[RAW編集]、JPEG画像の場合は[JPEG編集]が表示されます。RAW+JPEGで記録した画像は、メニューに両方が表示されますので、編集したい方のメニューを選びます。
 - [RAW編集]または[JPEG編集]を選択し、OKボタンを押します。

RAW編集	設定に合わせて編集したJPEG画像を作ります。	
	現設定	現在のカメラの設定を反映した処理をします。あらかじめカメラの設定をしておきます。露出補正など、一部の設定は反映されません。
	詳細設定1	◎ボタンを押して、画面上で処理の結果を確認しながら、設定を選択します。設定した内容を【詳細設定1】【詳細設定2】として残しておけます。
	詳細設定2	
ART BKT	アートフィルターの処理をしたJPEG画像を作ります。複数のアートフィルターを選択して同時に複数の画像を作れます。	
JPEG編集	【JPEG編集】では以下の内容が編集できます。	
	階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくします。
	赤目補正	フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。
	トリミング	画像をトリミングします。フロント/リアダイヤルでトリミングサイズ、十字ボタンでトリミング位置を指定します。
	アスペクト	アスペクト比が4:3 (基準)の画像を、【3:2】、【16:9】、【1:1】、または【3:4】に変更します。アスペクト比選択後、十字ボタンでトリミング位置を指定します。
	モノクロ作成	白黒に変換します。
	セピア作成	セピア色に変換します。
	鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。
	リサイズ	画像サイズを1280×960、640×480、または320×240に変換します。アスペクト比が4:3 (基準)以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。
eポートレート	なめらかな肌に補正します。顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。	

- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。
パソコンで編集した画像/カードの空き容量が不足している場合/他のカメラで撮影した画像

5 設定を終えたら◎ボタンを押します。

- 画像に処理が施されます。

6 再度OKボタンを押します。

- △▽ボタンで**【実行】**を選択し、OKボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。



- 同じ元画像で再度RAW編集するときは、**【再設定】**を選択し、OKボタンを押します。現像を終了するときは、**【中止】**を選択し、OKボタンを押します。
- 【再設定】**を選択したときは、画面に設定方法のメニューが表示されます。手順4から繰り返します。
- 編集したい画像を再生して編集をすることもできます。
ボタン → 編集したい画像を選択 → OKボタンを押してメニューを表示 → **【RAW編集】**または**【JPEG編集】**
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 【リサイズ】**では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- 【トリミング】** / **【アスペクト】**は、アスペクト比が4:3 (基準)の画像のみ編集できます。
- ピクチャーモードを**【ART】**に設定すると**【カラー設定】** (P.112)は、**【sRGB】**に固定されます。

画像を合成する

(画像合成)

記録されているRAW画像を重ねて合成して別の画像として保存します。2コマまたは3コマの合成ができます。

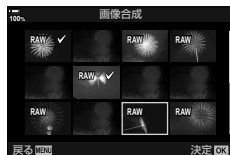
合成するそれぞれの画像の明るさ(ゲイン)を調整して、見え方を変えることができます。

- 合成後の画像は、カメラで設定されている画質モードで記録されます。設定が**【RAW】**のときは、**【2】**とRAWで保存されます(P.192)。
- 合成画像をRAW形式で保存すると、さらに他のRAW画像と合成することができ、4コマ以上の画像合成が可能になります。

- 再生メニューで**【編集】**を選びOKボタンを押します。
- 十字ボタンの△▽で**【画像合成】**を選びOKボタンを押します。
- 合成するコマ数を選択し、OKボタンを押します。

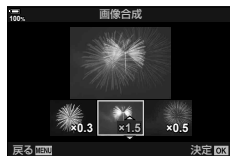
4 △▽◀▷ボタンで合成するRAW画像を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 選択したコマに✓が表示されます。✓を外すときは再度**OK**ボタンを押します。
- 手順3で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。



5 合成する各画像のゲインを選択します。

- ◀▷ボタンで画像を選択し、△▽ボタンで数値を変更します。
- ゲインは0.1～2.0まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。



6 **OK**ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

- **[実行]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

ムービーから静止画を作る (静止画切り出し)

ムービー内のフレームを選択し、静止画として保存します。

- 本機で撮影された画像サイズが**[4K]**のムービーでのみ可能です。

1 **▶**再生メニューで**[編集]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

2 十字ボタンの△▽で**[画像選択]**を選び**OK**ボタンを押します。

3 ◀▷ボタンでムービーを選択し、**OK**ボタンを押します。

4 **[ムービー編集]**を選び**OK**ボタンを押します。

5 △▽ボタンで**[静止画切り出し]**を選び**OK**ボタンを押します。

6 ◀▷ボタンで静止画として保存するコマを表示して**OK**ボタンを押します。

- 表示したコマが静止画として保存されます。
- △ボタンで2秒分コマ戻し、▽ボタンで2秒分コマ送りできます。

ムービーをトリミングする

(トリミング)

ムービーの削除したい範囲を指定して削除します。特定の部分を残したいときは、この操作を繰り返します。

- 本機で撮影されたムービーでのみ可能です。

1 再生メニューで**[編集]**を選択し、OKボタンを押します。

2 十字ボタンの△▽で**[画像選択]**を選びOKボタンを押します。

3 <▷ボタンでムービーを選択し、OKボタンを押します。

4 **[ムービー編集]**を選びOKボタンを押します。

5 △▽ボタンで**[トリミング]**を選びOKボタンを押します。

- トリミング後のデータ保存についての選択肢が表示されます。

[新規作成]：トリミングしたデータを新しいムービーコマとして保存します。

[上書き保存]：元のムービーコマに上書きして保存します。

[中止]：トリミングを中止します。

- 画像がプロテクトされている場合は、**[上書き保存]**は選択できません。

6 項目を選択し、OKボタンを押します。

- 編集状態に移ります。

7 トリミング編集をします。





- △ボタンでムービーコマの先頭に、▽ボタンで、ムービーコマの最後に移動できます。
- フロント／リアダイヤルで削除する部分の最初のコマを選択し、OKボタンを押します。
- フロント／リアダイヤルで削除する部分の最後のコマを選択し、OKボタンを押します。

8 **[実行]**を選択し、OKボタンを押します。

- 編集が反映されてデータが保存されます。
- 選択しなおすときは**[中止]**を選択し、OKボタンを押します。
- **[上書き保存]**を選択しているときは、同じムービーにさらにトリミングするかの確認が表示されます。引き続き編集するときは、**[続行]**を選択し、OKボタンを押します。





全てのプロテクトを解除する （全プロテクト解除）

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

- 1 再生メニューで[全プロテクト解除]を選択し、ボタンを押します。
 - カードスロット1と2の両方にカードが装着されている場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択して、ボタンを押します。
- 2 [実行]を選択し、ボタンを押します。




全ての転送予約を解除する （全シェア予約解除）

画像に設定されているシェア予約を解除します。


- 1 再生メニューで[全シェア予約解除]を選択し、ボタンを押します。
 - カードスロット1と2の両方にカードが装着されている場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択して、ボタンを押します。
- 2 [実行]を選択し、ボタンを押します。

全ての画像をコピーする （全コマコピー）

本機に装着されているカード（カードスロット1、2）間で、全コマコピーできます。

- 1 再生メニューで[全コマコピー]を選択してボタンを押します。
- 2 コピー設定を選択してボタンを押します。

①→②	カードスロット1に装着されているカードからカードスロット2に装着されているカードに全コマコピーします。
②→①	カードスロット2に装着されているカードからカードスロット1に装着されているカードに全コマコピーします。

- 3 [実行]を選択してボタンを押します。
 - コピー先のカードの空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。

セットアップメニューを使う

カメラの基本的な設定をします。表示する言語やモニター
の明るさの調整などがあります。カメラを使い始めるとき
に設定する項目を集めています。



メニュー項目	説明	🔗
カードセットアップ	カードの初期化や、カードに保存されている画像を一括で削除します。	175
日時設定	日時を設定します。	31
🗣️ (言語切り換え)	機能設定時に表示されるガイドやメニューの言語を選択します。	33
モニター調整	<p>モニターの明るさと色温度を調整します。色温度の調整は再生時のモニター表示に適用されます。十字ボタンの<D>で☷ (色温度)と☀️ (明るさ)を切り換え、△▽ボタンで設定値を選びます。</p> <p>INFOボタンを押すたびにモニター表示の彩度が[Natural]と[Vivid]で切り換わります。</p>	—
撮影確認	<p>撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。</p> <p>[0.3秒] ~ [20秒]：画像を表示する時間を指定します。 [Off]：記録中の画像は表示されません。 [Auto]：記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。</p>	—
Wi-Fi/Bluetooth設定	本機の無線機能を使って、Wi-Fi/Bluetooth®接続が可能なスマートフォンと接続するための設定をします。	176
バージョン	カメラや接続しているアクセサリーのファームウェアバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやソフトウェアをダウンロードする場合に確認してください。	—

カードを初期化する (カードセットアップ)

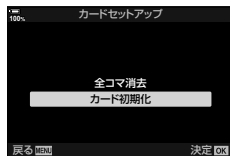
新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。

すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。▶「カードについて」(P.282)

1 ④セットアップメニューで、[カードセットアップ]を選択し、Ⓚボタンを押します。

- カードスロット1と2の両方にカードが装着されている場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択して、Ⓚボタンを押します。
- カードにデータが含まれている場合は、メニュー項目が表示されます。[カード初期化]を選択し、Ⓚボタンを押します。



2 [実行]を選択し、Ⓚボタンを押します。

- 初期化が実行されます。

全コマを消去する (カードセットアップ)

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。

1 ④セットアップメニューで、[カードセットアップ]を選択し、Ⓚボタンを押します。

- カードスロット1と2の両方にカードが装着されている場合は、カードスロット選択が表示されます。カードスロットを選択して、Ⓚボタンを押します。

2 [全コマ消去]を選択し、Ⓚボタンを押します。

3 [実行]を選択し、Ⓚボタンを押します。

- 全コマ消去が実行されます。



無線LAN接続のための設定をする (Wi-Fi/Bluetooth設定)

無線LANと接続するための設定をします。パソコンで画像を確認しながら撮影したり、移動中などにカメラの電源を入れずにスマートフォンで画像を確認することができます。設定や使い方など詳しい説明は「スマートフォンと接続する(Wi-Fi)」(P.243)および「パソコンと接続する(Wi-Fi)」(P.254)をお読みください。

Wi-Fi/Bluetooth	Wi-Fi/Bluetooth [®] 機能をオフにします。使用を許可されていない場所などで、設定はそのまま無線LAN、Bluetooth [®] の機能を停止します(P.253)。
接続パスワード設定	Wi-FiやBluetooth [®] の接続に使うパスワードを変更します。
バックグラウンド通信	カメラの電源がオフのときに、スマートフォンと無線接続するかどうかを設定します。
RAW+JPEGシェア予約	画質モードを[RAW+JPEG]に設定して記録した画像の場合、JPEG画像のみ、RAW画像のみ、または両方をシェア予約できません(P.131)。
Wi-Fi/Bluetooth設定リセット	[Wi-Fi/Bluetooth設定]の設定内容を初期化します。
Wi-Fi MACアドレス	無線LANを手動で設定する際に必要なカメラのMACアドレスを表示します。

マイメニューを使う

選んだメニュー項目を集めて、自分用のメニュータブに収録できます。マイメニューは、最大5タブ、1タブに最大7項目登録できます。登録した項目を解除したり、タブや項目の順序を入れ換えることもできます。

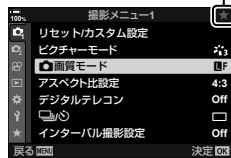
はじめてカメラを使うときには何も登録されていません。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

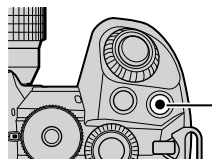
2 マイメニューに登録したい項目を選択します。

- 登録できる項目のときは、画面右上に★が表示されます。

登録できることを示す
アイコン

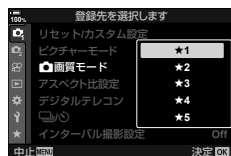


3 **MOVIE** (ムービー) ボタンを押します。



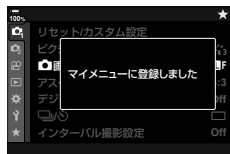
MOVIE (ムービー) ボタン

- 登録するマイメニューのページ選択画面が表示されます。十字ボタンの△▽で登録するページを選択します。

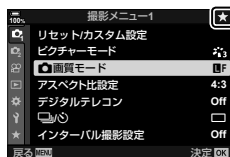


4 OK ボタンを押すと指定したページに登録されます。

- 登録を知らせるメッセージが表示されます。



- マイメニューに登録された項目は、★が黄色で表示されます。
- タブに7項目登録されると、空きのあるタブに変更されます。
- ★の付いた項目を選択してMENUボタンを押すと、マイメニューの登録から削除されます。【実行】を選択してOKボタンを押します。
- 登録された項目は、メニューの★(マイメニュー)タブに収録されます。



★ (マイメニュー)タブ

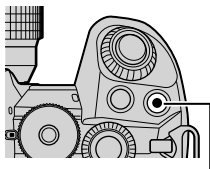
5 マイメニューを使うときは、メニューの★(マイメニュー)タブを選択します。

■ マイメニューの内容を整理する

マイメニューに登録した項目の順序を入れ換えたり、削除することができます。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2 編集したいマイメニューの項目を選択し、(ムービー)ボタンを押します。



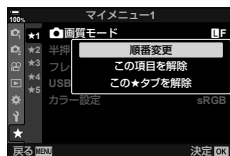
◎ (ムービー)ボタン

- 管理メニューが表示されます。

【順番変更】：項目順番やタブを移動します。十字ボタンの△▽<>で移動先を選択します。

【この項目を解除】：選択している項目を登録から解除します。【実行】を選択してOKボタンを押します。

【この★タブを解除】：選択した項目が登録されているタブ内の、全項目の登録を解除します。【実行】を選択してOKボタンを押します。

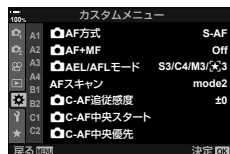


カスタムメニューを使う

★カスタムメニューを使って、機能の拡張やカメラのカスタマイズができます。

カスタムメニュー

A1/A2/A3/A4	AF/MF (P.179)
B1/B2	ボタン/ダイヤル/レバー (P.183)
C1/C2	リリース/連写/手ぶれ補正 (P.184)
D1/D2/D3/D4	表示/音/接続 (P.185)
E1/E2/E3	露出/ISO/BULB/測光 (P.189)
F	フラッシュ (P.191)
G	画質/WB/色 (P.192)
H1/H2	記録/消去 (P.193)
I	EVF (P.194)
J1/J2	その他 (P.196)











A1 AF/MF

MENU → ★ → A1







メニュー項目	説明	🔍
📷 AF方式	静止画撮影時のAFの方式を選択できます。	62, 89
📷 AF+MF	オートフォーカスでピントを合わせた後、レンズのフォーカスリングを操作してピントを調整することができます。	198
📷 AEL/AFLモード	シャッターボタンと AEL/AFL ボタンを操作したときの、オートフォーカスや測光の動作を設定します。	199
AFスキャン	AF動作時に、被写体にピントが合っていないときやコントラストがはっきりしていないときの、AFのスキャン動作*を設定します。 * 被写体にピントが大きく合っていないときやコントラストがはっきりしていないときに、至近~∞までの全域にわたってピント位置を探す動作 • この機能は、 [📷 AF方式] (P.62)が [C-AF] 、 [C-AF+TR] 、 [C-AF MF] 、 [C-AF+TR MF] で動作します。 • この機能は、静止画撮影の機能です。 [mode1] : AFスキャンを行いません。 [mode2] : AFスキャンを開始時に1回だけ行います [mode3] : AFスキャンを行います。	—
📷 C-AF追従感度	[📷 AF方式] が [C-AF] 、 [C-AF MF] 、 [C-AF+TR] または [C-AF+TR MF] のときの、被写体に対するオートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が出入りしてピントが移動してしまうときなどに有効です。	201

メニュー項目	説明	
 C-AF中央スタート	シングルターゲット以外の設定で [C-AF] 、 [C-AFMF] 、 [C-AF+TR] 、 [C-AF+TRMF] でオートフォーカスするとき、最初のオートフォーカスを選択エリアの中央で行います。その後は、選択エリア内でオートフォーカスを行います。広いエリアのAFターゲット設定と組み合わせることで、動きの激しい被写体をとらえやすくなります。	202
 C-AF中央優先	グループターゲット/カスタムターゲットの設定で [C-AF] または [C-AFMF] でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先でオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺のAFターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくなります。一般的な撮影では中央優先でお使いください。	203

A2 AF/MFMENU → * → **A2**



メニュー項目	説明	
 [:::]Mode表示設定	AFターゲットモードを設定するときの選択肢をカスタマイズします。使用しないターゲットモードを非表示にすることで、すばやく設定ができます。表示しないときは項目を選択し、  ボタンを押して  (チェック)を外します。	67, 69
AFターゲット表示	<p>オートフォーカスでピントがあったとき、ピントが合った位置に緑色のAFターゲットを表示します。このAFターゲットの表示についての設定します。</p> <p>[Off] : ピントが合ったときもAFターゲットを表示しません。</p> <p>[On1] : ピントが合ったとき、AFターゲットを表示してすぐに消えます。</p> <p>[On2] : ピントが合ったとき、シャッターボタンを半押ししている間は、AFターゲットを表示し続けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  (オールターゲット)で、  AF方式 (P.62)が [S-AF]、[S-AFMF]、[C-AF]、[C-AFMF]のいずれか、または  AF方式が[C-AF]のとき、AFターゲットはクラスター表示になります。ピントの合っている箇所のAFターゲットが表示されます。 	—
[:::]Home登録	ホームポジションとして使う「AF方式」、「AFターゲットモード」、「AFターゲット位置」を登録します。 [:::]Home登録画面 で  ボタンを押してチェックを入れます。	204



メニュー項目	説明	
[::]選択画面設定	AFターゲット選択の設定で使用するフロント/リアダイヤルや十字ボタンの役割を設定します。	205
[::]循環設定	AFターゲットの位置を動かすとき、上下左右の端でAFターゲットを循環させるかどうかを設定できます。また、AFターゲットを循環させるときに[] (オールターゲット)を経由するかも設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [AF方式]が[AF]または[AF MF]に設定されているときや、ムービーモードでは循環しません。 	206
[::]ターゲットモード設定	AFターゲットの位置を移動させるときの動きやAFターゲットの数をカスタマイズできます。	207
 [::]縦位置/横位置切換	カメラの姿勢を検知して、AFターゲット位置やAFターゲットモードの設定を自動的に切り換えます。	208

A3 AF/MF

MENU → * → A3

メニュー項目	説明	
AFターゲットパッド	[On]にすると、ファインダーをのぞきながらモニターをタッチして、AFターゲットの位置を変更できます。モニターをタッチしたまま指を動かすと、AFターゲットの位置が移動します。 <ul style="list-style-type: none"> • [On]にすると、モニターのダブルタッチで、ドラッグ操作の有効/無効の切り換えができます。 • [AFターゲットパッド]は、拡大枠画面(P.71)でも使用できます。 	—
AFリミッター	[On]にすると、AF動作範囲を制限します。	209
AFイルミネーター	[Off]にするとAF補助光を発光しません。静音撮影で使用するときは、[静音()撮影時動作]の設定が必要です(P.155)。	—
◎顔優先	顔優先AFや瞳優先AFの方式を選択できます。	90
AF微調節	位相差AF時のピント位置を±20ステップの範囲で微調節できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常はこの機能でピント位置を調整する必要はありません。また、調整により適切なピントで撮影できなくなる場合がありますのでご注意ください。 	210

メニュー項目	説明	🔍
星空AF設定	<p>[精度優先]：ピント合わせの精度を優先します。三脚でカメラを固定して撮影してください。</p> <p>[速度優先]：ピント合わせの速度を優先します。</p>	62
プリセットMF距離	プリセットMFのフォーカス位置を設定します。数値と単位 (m, ft) を設定します。距離は正確なものではなく目安です。	—
MFアシスト	マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、自動的に拡大表示したり、ピーキング表示することができます。	213
MFクラッチ	<p>レンズのMFクラッチの機能を無効にします。不用意にMFクラッチが操作されてオートフォーカスが動作しないなどの誤操作を防ぐことができます。</p> <p>[有効]：レンズのフォーカスリングの位置に従って動作します。</p> <p>[無効]：レンズのフォーカスリングの位置に関わらず、カメラのAF方式の設定に従って動作します。レンズのフォーカスリングをMF側にしても、MFはできません。</p>	284
フォーカスリング	フォーカスリングの回転方向とピントの移動方向を切り換えることができます。	—
BULB/TIME中MF	マニュアルフォーカス(MF)で露出中もピントの位置を変えられます。[Off]にすると、フォーカスリングの回転を無効にします。	214
レンズリセット	<p>[Off]にすると、電源をオフにしてもフォーカス位置をリセットしません。[On]のとき、電動ズームレンズはズームの位置もリセットします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [AF方式]が[PreMF] (P.62)の場合は、[Off]にしているでも電源をオフにするとフォーカス位置をリセットします。 	—

B1 ボタンダイヤルレバー

MENU → * → B1

メニュー項目	説明	🔍
📷 ボタン機能	あらかじめ割り当てられているボタンの機能を他の機能に変更します。	114
🔍 中央ボタン機能	マルチセレクターを押したときの動作を設定します。	215
🔍 方向キー機能	マルチセレクターを動かしたときの動作を設定します。	215
📷 ダイヤル機能	リアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます。	216
ダイヤル方向	シャッター速度や絞り値増減のダイヤル方向を切り換えます。プログラムシフトのダイヤル方向を切り換えます。	—
📷 Fnレバー機能	Fn レバーの機能を切り換えます。	217
Fnレバー / 電源レバー	Fn レバーをカメラの電源スイッチとして使用します。 [Fn] : Fn レバー機能の設定に従います。 [PW1] : Fn レバーの位置が1のときに電源オン、2のときに電源オフになります。 [PW2] : Fn レバーの位置が2のときに電源オン、1のときに電源オフになります。 [PW1]または[PW2]が設定されているときは、 ON/OFF レバー（電源レバー）、[📷 Fnレバー機能]、[🔍 Fnレバー機能]は無効です。	—

B2 ボタンダイヤルレバー

MENU → * → B2

メニュー項目	説明	🔍
📷 電動ズーム速度	電動ズームを搭載したレンズで、ズームリングを操作したときの、ズームの動作速度を変更します。ズーム動作が速くて狙った構図にしにくいなどのときに調節します。[低速]、[標準]、[高速]から選択できます。	—
🔍 再生時の🔍 ボタン機能	再生時の🔍 ボタンの機能を変更できます。 [🔍] : スマートフォンに転送したい画像に転送予約(シェア予約)をつけます。 [☑] : 複数の画像を選択できます。	—
🔍 🔍 ロック	[On]にすると、PBH (パワーバッテリーホルダー)の△▽◀▶と🔍 ボタンの操作を禁止します。	—
🔍 🔍 ロック	[On]にすると、🔍 ボタンの操作を禁止します。	14

① レリーズ/連写/手ぶれ補正













MENU → * → ①


メニュー項目	説明	🔍
レリーズ優先S	[On]に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができます。S-AF、C-AFそれぞれのAF方式で個別に設定できます(P.62)。	—
レリーズ優先C	<ul style="list-style-type: none"> AF方式が[AF]の場合は[レリーズ優先S]の設定で動作します。 この機能は、静止画撮影の機能です。 	—
📷L設定	連写速度や撮影枚数制限を[📷] / [📷]、[📷]のそれぞれに設定できます。また、プロキャプチャーの連写速度、プリ連写枚数、撮影枚数制限を設定できます。連写速度の数値は最大値の目安です。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は、静止画撮影の機能です。 	218
📷H設定		
フリッカー低減	蛍光灯などの照明の環境下で発生する画面のちらつき(フリッカー)を低減するための機能です。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は、静止画撮影の機能です。 [フリッカーレスLV]: ライブビュー表示の蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減します。[オート]で低減されないときは、地域の商用電源周波数に合わせて[50Hz]または[60Hz]に設定します。 [フリッカーレス撮影]: フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。	220


② レリーズ/連写/手ぶれ補正

MENU → * → ②

メニュー項目	説明	🔍
📷手ぶれ補正	静止画撮影時の手ぶれ補正を設定します。	95
連写中手ぶれ補正	連写中の優先機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> Pro Cap L (プロキャプチャーL)およびPro Cap H (プロキャプチャーH)では、[連写速度優先]に固定されます。 [連写速度優先]: 連写速度を優先します。連写中はセンサーを中央にリセットせずに撮影します。 [IS優先]: 手ぶれ補正を優先します。連写のコマごとにセンサーを中央にリセットし撮影します。連写速度が若干低下します。	—
半押し中手ぶれ補正	[Off]にすると、シャッターボタンの半押し中の手ぶれ補正機能が働きません。	—
レンズ手ぶれ補正優先	[On]にすると、他社製の手ぶれ補正機能付きレンズを使うときにレンズ側の機能を優先して動かせます。[📷手ぶれ補正]の[S-IS AUTO]は[S-IS]で動作します(P.95)。 <ul style="list-style-type: none"> レンズに手ぶれ補正切り換えスイッチがある場合、本機能は無効です。 	—


メニュー項目	説明	
 Control表示	ライブビュー時のLVコントロール(P.223)とLVスーパーコンパネ(P.88)の表示/非表示を設定できます。表示しないときは項目を選択し、  ボタンを押してチェックを外します。	222
 /Info表示設定	<p>INFO ボタンを押したときに表示する情報画面の表示/非表示を設定します。</p> <p>[]Info] : 再生情報画面の設定</p> <p>[]QInfo] : 拡大再生情報画面の設定</p> <p>[LV-Info] : 撮影情報画面の設定</p> <p>[LV OFF-Info] : 撮影情報画面表示の設定</p> <p>[]表示] : インデックス表示/カレンダー表示の設定</p>	224, 226
ピクチャーモード表示	ピクチャーモード(P.104)を選択するときに表示される項目を設定します。表示しないときは項目を選択し、  ボタンを押してチェックを外します。	—
 /  表示設定	連写/セルフタイマー機能(P.76)を選択するときに表示される項目を設定します。表示しないときは項目を選択し、  ボタンを押してチェックを外します。	—
マルチFn表示設定	マルチファンクション(P.122)を選択するときに表示される項目を設定します。表示しないときは項目を選択し、  ボタンを押してチェックを外します。	—


メニュー項目	説明	
LVブースト	<p>暗くで見えない環境でも見やすい明るさで表示することができます。Mモードやバルブ撮影、ライブコンポジット撮影など個別に設定できます。</p> <p>[Off]：露出設定を反映してライブビュー表示します。撮影結果をあらかじめ確認しながら撮影できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> バルブ/タイム撮影では設定できません。 <p>[On1]：露出設定を反映せずに見やすい明るさで表示します。実際に撮影される画像とは明るさが異なります。</p> <p>[On2]：[On1]よりさらに明るく表示します。星空の撮影で星を確認しながら撮影するときなどに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に撮影される画像とは明るさが異なります。また、被写体の動きが少し粗くなります。 十字ボタンの▷を押して、以下の機能を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> [LV画質優先]：画質を優先して表示します。 [LV表示速度優先]：表示速度を優先して表示します。 	—
アートLVモード	<p>[mode1]：常にフィルター効果を反映して表示します。</p> <p>[mode2]：シャッターボタンを半押し中、モニターのスムーズな表示を優先して表示します。アート効果の表示は低減されることがあります。</p>	—
フレームレート	<p>[標準]：通常のフレームレートで表示します。通常の撮影ではこの設定をお使いください。</p> <p>[高速]：被写体の動きが速くともなめらかに表示します。動きの速い被写体を追いやすくなります。撮影中にカメラ内部が高温になると、自動的に[標準]に変更されます。</p>	—
LV拡大設定	<p>[LV拡大モード]：[mode1]に設定しているときは、拡大ライブビュー中に半押しすると、拡大枠表示に戻ります。</p> <p>[mode2]に設定しているときは、拡大ライブビュー中に半押しすると、拡大AFを行います。</p> <p>[LVブースト]：[On]に設定すると、拡大ライブビュー中は見やすい明るさでライブビュー表示を行います。[Off]に設定すると、拡大前のライブビューの明るさを保持して拡大領域を表示します。逆光での撮影時に、ピントを確認するのに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> *カスタムメニュー D2の[LVブースト]が[Off]のとき、選択できます。 	—
再生拡大倍率設定	<p>画像を再生して拡大表示(クローズアップ再生)したとき、最初に表示される倍率の設定ができます。</p>	227










メニュー項目	説明	
プレビュー設定	<p>[ロック]：[On]に設定すると、ボタンを離しても設定された絞り込み状態を保持します。</p> <p>[LVブースト]：[On]にすると、絞りプレビュー (P.115) 中は見やすい明るさでライブビュー表示を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★カスタムメニュー D3の[LVブースト]が[Off]のときに選択できます。 	—


D3 表示/音/接続

MENU → ★ → **D3**


メニュー項目	説明	
ガイド線表示設定	<p>撮影時に表示するガイド線表示を設定します。</p> <p>[表示色]：表示する罫線の色や不透明度を設定します。2つの設定を記憶させておくことができます。</p> <p>[表示罫線選択]：表示する罫線の種類を選択します。以下の選択ができます。</p> <p>[方眼] / [黄金分割] / [三分割] / [目盛] / [対角線] / [動画罫線]</p> <ul style="list-style-type: none"> [動画罫線]は、撮影モードが静止画撮影のままでムービー撮影する際に撮影される範囲がわかるように16:9の画面サイズで罫線を表示します。[映画画質モード]の設定によっては、17:9で表示されます。 <p>[EVF反映]：[表示罫線選択]で設定されたガイド線表示を、ファインダー表示に反映するかどうかを設定します。★カスタムメニュー 1の[EVFガイド線表示設定] (P.195)は無効になります。</p>	—
ピーキング表示	<p>輪廓のはっきりしている部分に色を付けて強調して表示します。マニュアルフォーカスでピント合わせをするなどのときに、ピントが合っているかどうかを確認しやすくなります。</p> <p>[ピーキング色]：ピーキング表示の色を設定します。</p> <p>[ピーキングレベル]：ピーキング表示の強度を設定します。</p> <p>[ピーキング背景の輝度調整]：ピーキング表示が見分けやすいように背景の明るさを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ピーキング背景の輝度調整]が[On]のときは、撮影される画像とは異なった明るさでライブビュー表示されます。 	—
ヒストグラム警告設定	<p>[ハイライト表示]：ハイライト表示の下限値を設定します。</p> <p>[シャドウ表示]：シャドウ表示の上限値を設定します。</p>	224
モードガイド表示	<p>[On]にすると、モードダイヤルを切り換えたときにモードについてのガイドを表示します。</p>	39
自分撮りアシスト	<p>[On]にすると、モニターを反転して自分撮り位置にしたとき、ライブビュー表示を左右反転して表示します。</p>	227



メニュー項目	説明	
電子音	<p>[On]: AFで被写体に合焦したとき、ピピッと音が鳴ります。 [C-AF]では、最初の合焦時のみ発音します。</p> <p>[Off]: AFで被写体に合焦したとき、ピピッと音は鳴りません。</p>	—
HDMI	<p>[出力サイズ]: HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。</p> <p>[HDMIコントロール]: [On]にするとHDMIコントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。撮影した画像をテレビで再生するときに使えます。[On]に設定中は、再生以外のカメラ操作はできません。</p> <p>[出力フレームレート]: HDMIケーブルでテレビに接続する場合に、[50p優先] (PAL)で接続するか、[60p優先] (NTSC)で接続するかを選択します。</p>	228
USB接続モード	カメラをUSBケーブルでパソコンや周辺機器と接続するときの動作を設定します。	229, 273, 275, 276

メニュー項目	説明	
露出ステップ	シャッター速度、絞り値、露出補正值などの露出設定時の設定値の変更ステップを選択します。	—
ISO感度ステップ	ISO感度設定時の設定値の変更ステップを選択します。	—
 ISOオート設定	<p>静止画撮影時、ISO感度が[AUTO]のときの動作を設定します。</p> <p>[上限/基準値設定]：ISO感度を[AUTO]に設定したときの上限値と基準値を設定します。[上限値]で、ISO感度の上限を設定します。[基準値]で、通常使用するISO感度を設定します。設定の上限は6400です。</p> <p>以下の撮影では、ISO感度の上限設定は自動的に変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライブND撮影：ISO800 ・ハイレゾショット撮影([撮影方法]が[三脚]のとき)：ISO1600 ・ピクチャーモードが[ドラマチックトーン]または[ウォーターカラー]のとき：ISO1600 <p>[低速限界設定]：P/Aモードで、自動でISO感度を上げるシャッター速度を設定します。</p> <p>[オート]にするとカメラが自動的に設定します。</p>	—
 ISOオート有効	<p>ISO感度の[AUTO]を有効にする撮影モードを設定します。</p> <p>[P/A/S]：P/A/Sモードでのみ ISO感度の[AUTO]を有効にします。[AUTO]に設定した状態でM/Bモードに切り換えたときは、 ISO感度は200に設定されます。</p> <p>[AII]：P/A/S/Mモードで ISO感度の[AUTO]を有効にします。[AUTO]に設定した状態でBモードに切り換えたときは、 ISO感度は200に設定されます。</p>	—
 高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。	—
 低感度画像処理	<p>ISO感度が低い設定で撮影した画像にかける、画像処理の方法を設定します。</p> <p>[連写優先]：連写継続枚数に影響を与えないように画像処理をします。</p> <p>[解像優先]：解像を優先した画像処理をします。</p>	—

メニュー項目	説明	
長秒時ノイズ低減	<p>長時間露光時に発生するノイズを低減します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。 連写設定時は自動的に[Off]になります。 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。 <p>.....</p> <p>[オート]: 長秒時、カメラ内部温度上昇時に、ノイズ低減処理を行います。</p> <p>.....</p> <p>[On]: 常にノイズ低減処理を行います。</p> <p>.....</p> <p>[Off]: ノイズ低減処理を行いません。</p>	—

露出/ISO/BULB/測光

MENU → * → 


メニュー項目	説明	
BULB/TIME リミッター	バルブ撮影、タイム撮影の最長時間を設定します。	50
COMPリミッター	コンポジット撮影の最長時間を設定します。	52
BULB/TIME輝度 設定	B(バルブ)モードで撮影時のモニターの明るさを設定します。	—
ライブBULB設定	撮影中の画面表示の間隔を設定します。更新回数には制限があります。[Off]にすると表示しません。	230
ライブTIME設定		230
コンポジット撮影 設定	コンポジット撮影時に基準となる露出時間を設定します。	231
 フリッカー スキャン	LED照明による明るさのちらつきを抑えます。	232

メニュー項目	説明	🔍
測光	撮影シーンに応じて測光方式を変更できます。	75
AEL測光モード	<p>AEL/AFL ボタンを使って、AEロックをするときの測光方式を設定します。シャッターボタンの半押しとAEL/AFL ボタンによるAEロックを使い分けることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、静止画撮影の機能です。 <p>.....</p> <p>[オート] : [測光] (P.75) の設定で測光します。</p>	—
[::]連動スポット測光	<p>[スポット]、[スポットハイライト]、[スポットシャドウ] のそれぞれのスポット測光位置をAFターゲットに連動させるかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [☉顔優先] は [顔優先Off] になります。 AFターゲットモードが、[・] (シングルターゲット)、[・]s (スモールターゲット) のときに機能します (P.67)。 拡大AF時は、拡大枠を表示した位置に連動します (P.71)。 この機能は、静止画撮影の機能です。 	—
露出基準調整	適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。	233

E フラッシュ

メニュー項目	説明	🔍
⚡同調速度	フラッシュ発光時の高速側のシャッター速度に対して制限値を設定します。	234
⚡低速制限	フラッシュ発光時の低速側のシャッター速度に対して制限値を設定します。	234
🔦+🔦連動	[On] にすると、フラッシュ補正值に露出補正值が加算されます。	66, 103
⚡+WB連動	<p>フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。</p> <p>[Off] : ホワイトバランスの設定に従って動作します。</p> <p>.....</p> <p>[Auto] : ホワイトバランスは[オート]に変更されます。</p> <p>[WB🔦] : ホワイトバランスは[WB🔦] (フラッシュ撮影用WB)に変更されます。</p>	—
⚡RCモード撮影	フラッシュとRCモード機能付き専用フラッシュを使ってワイヤレスフラッシュ撮影ができます。	286




メニュー項目	説明		
画質設定	<p>JPEGの画質モードを変更できます。3種類の画像サイズと3種類の圧縮率の組み合わせから選択します。</p> <p>1) 十字ボタンの◀▶で【◀-1】～【◀-4】の画像サイズと圧縮率を選択し、△▽ボタンで値を変更します。</p> <p>2) Ⓞボタンを押すと確定されます。</p>	 <p>画質設定</p> <p>戻る 決定</p> <p>画像サイズ 圧縮率</p>	98, 140, 234
ピクセルサイズ	<p>画像サイズ【M】、【S】のピクセルサイズを設定できます。</p> <p>1) 【Middle】または【Small】を選択し、十字ボタンの▶を押します。</p> <p>2) ピクセルサイズを変更して、Ⓞボタンを押すと設定が確定します。</p>	 <p>ピクセルサイズ</p> <p>Middle 3200×2400</p> <p>Small 1280×960</p> <p>戻る 詳細▶ 決定</p>	98, 140, 234, 314
シェーディング補正	<p>[On]に設定すると、レンズの特性による画面周辺の暗さを補正し、明るくします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テレコンバーターやエクステンションチューブを装着しているときは補正されません。 • 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。 	—	
WBモード	<p>静止画撮影時のホワイトバランスの設定をします。それぞれの設定を微調整しておくこともできます。</p>	92	
全WBモード補正	<p>ホワイトバランスの設定を一括で微調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • この機能は、静止画撮影の機能です。 <p>[All Set] : 全てのホワイトバランスの設定を微調整します。</p> <p>[All Clear] : 設定した微調整をリセットします。</p>	94	
WBオート電球色残し	<p>[On]にすると、ホワイトバランスが【AUTO】のとき、電球色の色味を残します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • この機能は、静止画撮影の機能です。 	92, 94	
カラー設定	<p>撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。</p>	112	

メニュー項目	説明	
カードスロット設定	静止画やムービーの記録先カードを設定します。	235
ファイルネーム	<p>[オート]：カードを入れ替えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p> <p>[リセット]：新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p>	—
ファイルネーム編集	<p>画像につくファイル名を変更できます。以下の部分が編集できます。</p> <p>sRGB：Pmdd0000.jpg ————— Pmdd AdobeRGB：_mdd0000.jpg ————— mdd</p> <p>• [Off]を選択すると、初期設定の文字が使われます。</p>	—
dpi設定	プリントするときの解像度を設定します。	—
著作権情報*	<p>最大63文字の撮影者／著作権者の名称を画像に付加します。</p> <p>[著作権情報記録]：[On]を選択すると撮影者／著作権者の名称をExif情報に付加します。</p> <p>[撮影者入力]：撮影者の名称を入力します。</p> <p>[著作権者入力]：著作権者の名称を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①の中から文字を選択し、[OK]ボタンを押します。選択した文字は②に表示されます。 手順①を繰り返し、すべてを入力したら[END]を選択し[OK]ボタンを押します。 <p>• 文字を消去するには、INFOボタンを押し、カーソルを②に移動してから、消去したい文字を選んで[DEL]ボタンを押します。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>* [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。</p>	—
レンズ情報登録	通信ができないレンズの情報を最大10本まで登録できます。	237

メニュー項目	説明	🔍
ワンブッシュ消去	[On]に設定すると、再生画面で🔍ボタンを押したとき、すぐに画像が消去されます。	—
RAW+JPEG消去	[1コマ消去]を行う場合に、RAW+JPEGで記録した画像の消去方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [全コマ消去] (P.175)や選択コマ消去の場合は、常にRAWとJPEGの両方が消去されます。 [JPEG]：JPEGのみ消去します。 [RAW]：RAWのみ消去します。 [RAW+JPEG]：RAWとJPEGの両方を消去します。	98, 130, 140
実行優先設定	カーソルの初期位置を[実行]または[中止]にするかを選択できます。	—

1 EVF

メニュー項目	説明	🔍
EVF自動切換設定	[Off]：ファインダーに目を近づけても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには O ボタンを押します。 [On1]：ファインダーに目を近づけると自動的に表示を切り換えます。 O ボタンを長押しすると[EVF自動切換設定]の設定画面を表示します。 [On2]：ファインダーに目を近づけると自動的に表示を切り換えます。モニターを開いているときは、表示は切り換わりません。 O ボタンを長押しすると[EVF自動切換設定]の設定画面を表示します。	36
EVF調整	ファインダー表示の明るさや色合いを調整します。 [EVF自動調光]が[On]のときは自動で明るさを調整します。また、情報表示の濃さも自動的に調整されます。	—
EVF表示スタイル	ファインダー内の表示スタイルを変更できます。	238
Info表示設定	ファインダー表示中、INFOボタンを押して表示する情報表示の内容を設定します。[EVF表示スタイル]が[スタイル1]、[スタイル2]のときに有効です。	239

メニュー項目	説明	
EVFガイド線表示設定	<p>★カスタムメニュー  [ガイド線表示設定]の[EVF反映]が[Off]のときに、[EVF表示スタイル]を[スタイル1]または[スタイル2]に設定した場合は、ファインダーに表示される罫線と罫線の色を選択できます。[方眼]、[黄金分割]、[三分割]、[目盛]、[対角線]、[動画罫線]から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [動画罫線]は、撮影モードが静止画撮影のままでもムービー撮影する際に撮影される範囲がわかるように16:9の画面サイズで罫線を表示します。[画質モード]の設定によっては、17:9で表示されます。 	—
半押し中水準器表示	<p>[EVF表示スタイル] (P.238)が[スタイル1]または[スタイル2]の設定のときに、シャッターボタンを半押ししているときだけファインダーに水準器を表示します。</p> <p>[On]：シャッターボタンを半押し中、ファインダーに水準器を表示します。露出バーの位置に、水平方向の傾きを表示します。</p> <p>[OFF]：水準器を表示しません。</p>	—
OVFシミュレーション	<p>[On]にすると、ファインダー表示のダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれや白とびを抑えて光学ファインダーのような見えを再現します。逆光などの条件でも、被写体を容易に確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [OVFシミュレーション]を開始すると、ファインダー内にが表示されます。 • 露出やホワイトバランス、ピクチャーモードのアートフィルターなどの撮影の設定は表示に反映されません。 	—

11 その他



MENU → * → 11

メニュー項目	説明	🔍
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。	293
ボタン長押し時間調整	ボタンに割り当てられている機能が動作するまでの、ボタン長押し時間を設定します。	239
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 [リセット]：工場出荷時の調整値に戻ります。 [キャリブレーション]：現在のカメラの状態位置をゼロ点とします。	—
タッチパネル設定	モニターに触れてカメラを操作することができます。[Off]にするとタッチパネルの操作を禁止します。	—
メニューカーソル保持	[記憶する]に設定すると、メニューを表示したときに、前回操作したときのカーソル位置から表示します。カーソル位置は電源をオフにしても保持されます。	—
フィッシュアイ補正撮影	フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正します。	240

12 その他

MENU → * → 12

メニュー項目	説明	🔍
電池設定	[使用順序設定]：優先的に使用する電池を設定します。[本体側優先]に設定すると、本体の電池を優先して使用します。[PBH側優先]に設定すると、PBH（パワーバッテリーホルダー）の電池を優先して使用します。 [ステータス表示]：カメラに入っている電池の状態を表示します。	—
バックライト時間	一定時間カメラを操作しないとき、モニターのバックライトの明るさを落とす設定をします。バックライトを減光することで電池の消費を抑えることができます。 • [Hold] / [8秒] / [30秒] / [1分]から選択できます。 [Hold]に設定したときは、モニターは減光しません。	—
スリープ時間	一定時間カメラを操作しないとき、スリープ状態に移行する設定をします。スリープ状態では、カメラの動作を停止してモニターも消灯します。 • [Off] / [1分] / [3分] / [5分]から選択できます。 • [Off]に設定したときは、スリープ状態には移行しません。 • シャッターボタン半押し、ボタン、マルチセレクターを動かすと再び動作し始めます。 • 以下の動作中は、スリープ状態に移行しません。 多重露出撮影中 / HDMI機器接続中 / スマートフォン接続中 / パソコン接続中 (Wi-Fi、USB)	30


メニュー項目	説明	
自動電源Off	<p>カメラがスリープ状態に移行した後、さらに一定時間経過すると自動的に電源が切れます。ここでは、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Off] / [5分] / [30分] / [1時間] / [4時間] から選択できます。 • [Off] に設定したときは自動的に電源を切りません。 • 自動的に電源オフになった後、カメラを動作させるときは、ON/OFFレバーで電源を入れなおしてください。 	30
低消費電力撮影	<p>[On] にすると、モニターのライブビュー表示がオフのときに短時間で省電力状態に移行します。通常より短い[バックライト時間]と[スリープ時間]の設定ができます。低消費電力で動作しているときは、モニターにが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 以下の動作中は、低消費電力撮影は動きません。 ライブビュー撮影中／ファインダー点灯中／ 多重露出撮影中／インターバル撮影中／ HDMI機器接続中／スマートフォン接続中／ パソコン接続中(Wi-Fi、USB) 	—
認証マーク表示	認証マークを表示します。	—

MENU → * → A1 →  AF+MF

オートフォーカスでピントを合わせたまま、レンズのフォーカスリングを操作してピントを調整することができる設定です。合焦後にピント位置を調整したり、オートフォーカスを中断してマニュアルフォーカスをすることができます。

- AF方式によって動作が異なります。
- 初期設定では、**[Off]**になっています。



On	<p>AF設定時に、MF操作を有効にします。[S-AF]、[C-AF]、[C-AF+TR]、[AF]にMFが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [S-AF MF]に設定すると、S-AFで合焦後、シャッターボタンを半押ししたままマニュアルフォーカスでピント位置の調整ができます。また、AF動作中にフォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。露光中や[連写L]での連写中のマニュアルフォーカスも可能です。 • [C-AF MF]または[C-AF+TR MF]に設定すると、C-AFまたはC-AF+TRで動作中、フォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押しし直してください。露光中や[連写L]での連写中のマニュアルフォーカスも可能です。 • [AF MF]に設定すると、AFのAF開始前やAF合焦後に、マニュアルフォーカスでピント位置の調整ができます。
Off	AF設定時に、MF操作を無効にします。

- AF動作を他のボタンに割り当てているときも、同様の動作をします。☑ *カスタムメニュー **A1**  **モード** (P.199)
- フォーカスリングを動かしてAFを中断する動作は、M.ZUIKO PRO (マイクロフォーサーズPROレンズ)でのみ可能です。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。
- 撮影モードが**B**では、露光中のマニュアルフォーカスは、**[BULB/TIME中MF]**の設定で動作します。

AEL/AFLボタンを使ってピント合わせや測光を行う (AEL/AFLモード)

MENU → * → A1 → [AEL/AFLモード]

シャッターボタンと**AEL/AFL**ボタンを操作したときの、オートフォーカスや測光の動作を設定します。通常は、シャッターボタンの半押しでオートフォーカスや露出の固定をしますが、被写体や撮影環境に合わせて変えることができます。

S-AF	
C-AF	シャッターボタンや AEL/AFL ボタンを押したときのAF動作や測光を設定します(P.200)。
MF	
 AF	
半押しAF	シャッターボタン半押しでAF動作を許可するかどうかを設定します。 [有効]： AEL/AFL ボタンでAF動作を開始する設定のとき、シャッターボタンの半押しでもAF動作を開始します。 [C-AF] の設定のときは、後で押したボタンに、AF動作を引き継ぎます。 [MF] または  AFでは無効になります。 [無効]： AEL/AFL ボタンでAF動作する設定のときは、シャッターボタンの操作ではAF動作をしません。
顔優先AF	顔が検出されているときにピント合わせを行う位置を、シャッターボタンと AEL/AFL ボタンで別々に設定します。 [On]のときは、検出されている顔や瞳の位置でピント合わせを行います。 [Off]のときは、顔が検出されていても設定したAFターゲットの位置でピント合わせを行います。

それぞれの設定と【半押しAF】を組み合わせたとときの動作は以下の通りです。

- 【半押しAF】 1：有効、2：無効

AEL/AFL設定		シャッターボタンの働き				AEL/AFLボタンの働き	
		半押ししたとき		全押ししたとき		押している間	
		AF動作	測光	AF動作	測光	AF動作	測光
S-AF	mode1	S-AF動作	固定	—	—	—	固定
	mode2	S-AF動作	—	—	固定	—	固定
	mode3	1：S-AF動作 2：—	固定	—	—	S-AF動作	—
C-AF	mode1	C-AF開始	固定	停止	—	—	固定
	mode2	C-AF開始	—	停止	固定	—	固定
	mode3	1：C-AF開始 2：—	固定	停止	—	C-AF開始	—
	mode4	1：C-AF開始 2：—	—	停止	固定	C-AF開始	—
MF	mode1	—	固定	—	—	—	固定
	mode2	—	—	—	固定	—	固定
	mode3	—	固定	—	—	S-AF動作	—
☒AF*	mode1	☒AF動作	固定	—	—	—	固定
	mode2	—	固定	—	—	☒AF動作	—
	mode3	—	固定	—	—	☒AF開始/ 終了	—

* 【☒AF】は、【星空AF設定】(P.182)と組み合わせると動作をご確認ください。

C-AF動作時のピント合わせの感度を設定する

(C-AF追従感度)

MENU → * → A1 → [C-AF追従感度]

[AF方式]が[C-AF]、[C-AF MF]、[C-AF+TR]または[C-AF+TR MF]のときの、被写体に対するオートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が入り出してピントが移動してしまうときなどに有効です。

- 5段階の感度が設定できます。
- +側に設定するほど感度は上がります。見えない位置から急に現れる被写体、すばやく遠ざかる被写体など、前後に急加速、急停止する被写体に対応するときは+側に設定します。
- -側に設定するほど感度は下がります。被写体との間の障害物にピントが移動してしまったり、被写体がAFターゲットから外れてピントが背景に移動してしまうときは-側に設定します。

- 1 *カスタムメニュー A1で、 [C-AF追従感度] を選択し、 ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの△▽で数値を選択し、 ボタンを押します。

- *カスタムメニュー A1の画面に戻ります。



- 3 MENUボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

C-AF動作時のピント合わせ開始位置を設定する

(C-AF中央スタート)

MENU → * → A1 → [C-AF中央スタート]

シングルターゲット以外の設定で[C-AF]、[C-AF MF]、[C-AF+TR]または[C-AF+TR MF]でオートフォーカスするとき、最初のオートフォーカスを選択エリアの中央で行います。その後は、選択エリア内でオートフォーカスをします。広いエリアのAFターゲット設定と組み合わせることで、動きの激しい被写体をとらえやすくなります。

- 1 *カスタムメニュー A1で、[C-AF中央スタート]を選択し、 ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの△▽で[C-AF中央スタート]を有効にするAFターゲットモードを選択し、 ボタンを押します。

- チェックボックスに✓ (チェック)が表示されます。チェックを解除するときは再度 ボタンを押します。



- 3 MENUボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

- [C-AF中央優先] (P.203)が設定されているときは、無効になります。

C-AF動作時に中央優先でピント合わせをする

(📷C-AF中央優先)

MENU → * → A1 → [📷C-AF中央優先]

グループターゲットの設定で[C-AF]または[C-AF MF]でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺のAFターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくなります。一般的な撮影では中央優先でお使いください。

- 1 *カスタムメニュー A1で、[📷C-AF中央優先]を選択し、Ⓜ️ ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの△▽で[📷C-AF中央優先]を有効にするAFターゲットモードを選択し、Ⓜ️ ボタンを押します。

- チェックボックスに✓ (チェック)が表示されます。チェックを解除するときは再度Ⓜ️ ボタンを押します。



- 3 MENUボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

AF機能のホームポジションを設定する ([:::]Home登録)

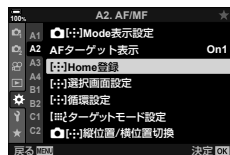
MENU → * → A2 → [:::]Home登録

[:::]Homeで使うホームポジションを設定します。[:::]Homeは、ボタン操作一つでAF機能をあらかじめ登録したホームポジションに設定する機能です。このときのホームポジションを設定します。[:::]Homeは、[カメラボタン機能]でボタンに割り当てて使います(P.114)。また、[中央ボタン機能]で、マルチセレクターを割り当てておくこともできます(P.215)。 [:::]縦位置/横位置切換 (P.208)が設定されているときは、縦位置/横位置それぞれのホームポジションを記憶させておくことができます。登録中のホームポジションに設定されている場合、AFターゲット選択の画面でが表示されます。

- この機能は、静止画撮影の機能です。

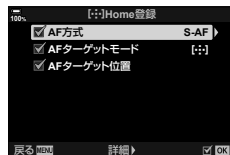
AF方式	ホームポジションのAF方式を設定します。[]AF]および[]AFMF]はHome登録できません。
AFターゲットモード	ホームポジションのAFターゲットモードを設定します。 []:::]Mode表示設定] (P.180)で表示設定されている項目から選択できます。
AFターゲット位置	ホームポジションのAFターゲットの位置を設定します。

- 1 *カスタムメニュー A2で、[:::]Home登録]を選択し、 ボタンを押します。



- 2 ホームポジションとして使用する項目を選択し ボタンを押します。

- チェックボックスに (チェック)が付きます。チェックが付いた項目はホームポジションとして使用されます。



- 3 十字ボタンの を押して、選択した項目の詳細設定をします。

- ホームポジションに登録する設定を選択します。
- []:::]縦位置/横位置切換]が設定されているときは、各項目を選択した上で、横位置、縦位置(左/右)を選択し、 ボタンを押して、それぞれの設定をします。



- 4 各項目の設定をしたら ボタンを押して設定を確定します。

- [:::]Home登録画面に戻ります。

- 5 各項目の設定を終えたら、MENU ボタンを繰り返し押し続けてメニューを終了します。

AFターゲット選択設定時の操作方法を設定する

([::]選択画面設定)

MENU → * → A2 → [::]選択画面設定

AFターゲット選択の設定で使用するフロント／リアダイヤルや十字ボタンの役割を設定します。使い方や好みに合わせて、機能の設定に使う操作部を割り当てておくことができます。2つの組み合わせを用意することができます。

- この機能は、静止画撮影とムービー撮影の両方で機能します。
- [セット2]を使うときは、[::]選択画面設定]のメニューでチェックボックスに✓ (チェック)を付けます。AFターゲット選択画面で**INFO**ボタンを押すと、[セット2]に切り換わります。

設定できる操作部

フロントダイヤル、リアダイヤル、十字ボタンの△▽、十字ボタンの◀▶

割り当てられる機能

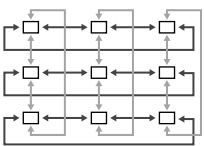
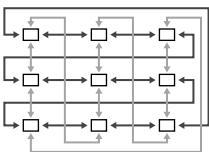
[◀Pos変更]：AFターゲットの位置(P.70)を設定します。

[::]Mode変更]：オール／スモール／グループなどのターゲットモード(P.67)を変更します。

[☉変更]：顔優先／瞳優先AF (P.90)の設定をします。

MENU → * → A2 → [:~:]循環設定

AFターゲットの位置を移動するとき、上下左右の端でAFターゲットを循環させるかどうかを設定できます。AFターゲットを循環させるときに、[ALL]（オールターゲット）を経由するかも設定できます。

4 メニューの機能（カスタムメニュー） [:~:]循環選択	<p>[Off]：AFターゲットは循環しません。上下左右の端でAFターゲットは止まります。</p> <p>[循環1]：マルチセレクターを押してAFターゲットを一番端まで移動させた状態で、さらに同じ方向に押すと、同じ行または同じ列の反対側のAFターゲット位置に移動します。</p> <p>[循環2]：マルチセレクターを押してAFターゲットを一番端まで移動させた状態で、さらに同じ方向に押すと、次の行または次の列の反対側のAFターゲット位置に移動します。</p> <div style="text-align: right;">  <p>循環1のイメージ</p>  <p>循環2のイメージ</p> </div>
[ALL]経由	<p>[しない]：[ALL]（オールターゲット）を経由しないで循環します。</p> <p>[する]：[:~:]循環選択で[循環1]または[循環2]を選択しているとき、反対側の端のAFターゲットに移動する前に[ALL]（オールターゲット）を経由します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ON][:~:]Mode表示設定で[ALL]（オールターゲット）を非表示にしている場合は、[ALL]経由が[しない]に固定されます。

- ムービー撮影やフォーカスモードで[AF]または[AF MF]を選択している場合は、[:~:]循環選択が[Off]に固定されます。

AFターゲットをカスタマイズする ([AF]ターゲットモード設定)

MENU → * → A2 → [AF]ターゲットモード設定

AFターゲットの位置を移動させるときの動きやAFターゲットの数をカスタマイズできます。グループターゲットよりも範囲を広くしたり、動きが予想できる被写体に合わせて範囲を設定したい場合に有効です。また、AFターゲットの位置の移動量を設定できるので、位置の設定をするときの手間を少なくできます。4種類のカスタム設定を記憶させておくことができます。

- 使用するときには、**[AF]Mode表示設定** (P.180) で使用するカスタムターゲットに (チェック) を付けます。
- この機能は、静止画撮影の機能です。

サイズ	AFターゲットの範囲を設定できます。横方向／縦方向のサイズを設定します。それぞれ1 / 3 / 5 / 7 / 9 / 11点の範囲で設定できます。
移動ステップ	AFターゲットを移動するときのステップ量を設定します。横および縦方向のステップを1～3ステップの間でそれぞれ設定できます。

AFターゲットの設定を横位置/縦位置で変える

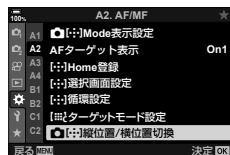
([::]縦位置/横位置切換)

MENU → * → A2 → [[::]縦位置/横位置切換]

カメラの姿勢を検知して、AFターゲット位置やAFターゲットモードの設定を自動的に切り換えます。カメラの向きを変えると構図も変わるのでピントを合わせる位置も変わります。AFターゲットモードやAFターゲットの位置を向きに合わせて記憶させておくことができます。この機能が有効になっていると、[[::]Home登録] (P.204)のホームポジションも横位置、縦位置それぞれで設定することができます。

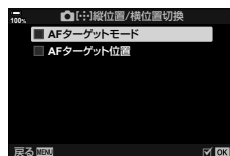
AFターゲットモード	オール/スモール/グループなどのターゲットモードを、横位置/縦位置それぞれで記憶します。
AFターゲット位置	AFターゲットの位置を横および縦それぞれで設定します。

- 1 *カスタムメニュー A2で、 [::]縦位置/横位置切換]を選択して、十字ボタンの▷を押します。



- 2 姿勢で切り換える機能を選択し、OK ボタンを押します。

- 選択した機能に✓ (チェック)が付きます。



- 3 各項目の設定をしたら繰り返しMENUボタンを押します。

- MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- 4 カメラを横位置、縦位置それぞれの状態にしてAFターゲットモードやAFターゲットの位置を設定します。

- 横位置、縦位置(右回転、左回転)それぞれの状態での設定を記憶しておけます。

オートフォーカス時のレンズの動作範囲を設定する (AFリミッター)

MENU → * → A3 → [AFリミッター]

オートフォーカス動作するときの動作範囲を設定します。オートフォーカス中に、被写体との間に障害物が入ってピントが大きく外れてしまうような撮影状況で有効です。フェンスや窓越しの撮影などで、ピントがフェンスや窓に合ってしまうのを防ぐことができます。

距離設定	距離範囲の設定をします。3種類の設定を記憶させ、使い分けることができます。数値は目安としてお使いください。
レリーズ優先	[AFリミッター]が[On]に設定されていてピントを合わせるができなくても、シャッターを切ることができます。



- [AFリミッター]の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。ボタンを押しながらダイヤルを回して3種類の設定を切り換えることができます。☞「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)
- 下記の場合、AFリミッターは無効です。
 - レンズ側のフォーカスリミッターが有効
 - フォーカスブラケット使用中
 - ムービーモードおよびムービー記録中
 - フォーカスモードが[AF]または[AF MF]

AFによるピント位置を微調整する

(AF微調節)

MENU → * → A3 → [AF微調節]

位相差AFでピントを合わせるときの、ピント位置を微調整できます。±20ステップの範囲で調整できます。

- 通常はこの機能でピント位置を調整する必要はありません。また、調整により適切なピントで撮影できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- [S-AF]、[S-AF MF]では機能しません。
- この機能は、静止画撮影の機能です。

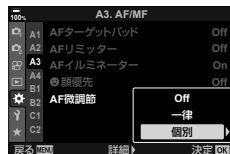
Off	登録されている調整値を使用しません。
一律	全てのレンズで一律に調整します。
個別	レンズごとに調整を行い、調整値をカメラに登録します。登録できるレンズは最大20本です。一つのレンズで画面上のエリア別に調整することもできます。ズームレンズの場合は、望遠側、広角側それぞれの調整値を登録できます。

- 1 *カスタムメニュー A3で、[AF微調節]を選択して、十字ボタンの▷を押します。



- 2 [一律]または[個別]を選択し、▷ボタンを押します。

- [一律]を選択したときは手順5へ進みます。
- 使用しないときは[Off]を選択して、OKボタンを押します。



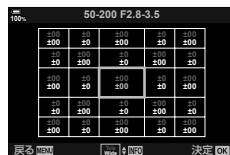
- 3 [レンズデータ新規登録]を選択し、OKボタンを押します。

- 調整するエリアを選択する画面が表示されます。



- 4 Δ▽◀▶ボタンで調整するエリアを選択し、OKボタンを押します。

- ズームレンズの場合は、INFOボタンを押して望遠側/広角側を切り換えます。



5 △▽ボタンで調整値を設定してⓄボタンを押します。

- 調整値が登録されます。[一律]を選んだときは、手順2の画面に戻ります。
- [個別]を選んだときは、手順3の画面に戻ります。調整値が登録されてレンズの名称が画面に追加されます。
- フロントダイヤルで画面を拡大して確認することができます。
- Ⓞボタンを押す前にシャッターボタンを押して試し撮りをして確かめることができます。
- 同じレンズで別の調整値を登録するときは、▷ボタンを押して手順4を繰り返します。

6 同じレンズでエリア別に調整値を登録するときは、△▽ボタンでレンズの名称を選択して▷ボタンを押します。

- 手順4の画面に戻るなのでこの操作を繰り返します。



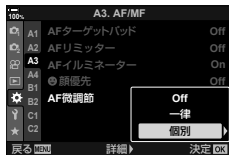
7 登録を終了するときは、MENUボタンを繰り返し押し続けてメニューを終了します。

■ 登録情報を削除する

1 *カスタムメニュー A3で、[AF微調節]を選択して、十字ボタンの▷を押します。



2 △▽ボタンで[個別]を選択し、▷ボタンを押します。



3 △▽ボタンで削除するレンズ名を選択し、▷ボタンを押します。



4 △▽ボタンで[削除]を選択し、▷ボタンを押します。

- 確認の画面が表示されます。



5 ▲▼ボタンで[実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 手順3の画面に戻ります。登録名が消えていることを確認してください。



- 登録情報を残したまま調整を使用しないときは、**[AF微調節]**を**[Off]**に設定してください。



- 同じレンズで複数の登録をすることができます。

■ 登録された調整値を使う

個別登録リストのメニューを表示して、使用する登録情報に✔ (チェック)をつけます。

マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する (MFアシスト)

MENU → * → A4 → [MFアシスト]

MF（マニュアルフォーカス）でピント合わせをするときの操作を補助する機能です。レンズのフォーカスリングを回したとき、自動的に画面を拡大したり、ピントの山の部分に色をつけて見分けやすく表示します。

- この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。

拡大	画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめAFターゲットで決めることができます。☑️ 「ピント合わせの位置を自分で決める(AFターゲット位置)」(P.70)
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。☑️ *カスタムメニュー D3 [ピーキング表示] (P.187)

- 拡大表示中に、フロント/リアダイヤルを回すと、拡大倍率が変更できます。
- [ピーキング]は、ボタン操作で表示することもできます。ボタンを押すたびに表示を切り換えることができます。【ボタン機能】(P.114)でいずれかのボタンに機能を割り当てておきます。
- ピーキング表示中は、**INFO**ボタンを押して、色や強度を変更することができます。
- ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。
- ムービー録画中や、AF方式が[C-AF MF]、[C-AF+TR MF]に設定されているときは、拡大表示しません。

ピントを操作しながら撮影する (BULB/TIME中MF)

MENU → * → A4 → [BULB/TIME中MF]

撮影モードがB (バルブ)のとき、露光中にマニュアルでピント位置を変更することができます。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。

- 1 *カスタムメニュー A4で、[BULB/TIME中MF]を選択し、OKボタンを押します。




- 2 十字ボタンの△▽で設定を変更します。
[Off]：露光中、手動でのピント位置の操作はできません。
[On]：露光中に手動でピント位置を操作できます。
- 3 OKボタンを押して設定を確定します。
 - *カスタムメニュー A4の画面に戻ります。
- 4 MENUボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

マルチセレクターを押したときの動作を設定する (中央ボタン機能)

MENU → * → B1 → [中央ボタン機能]

マルチセレクターを押したときの動作を設定します。マルチセレクターをボタンとして押したときに、機能が動作するように割り当てることができます。

Off	機能を割り当てません。マルチセレクターを押しても何も機能しません。
[::]選択 (AFターゲット選択)	マルチセレクターを押すと、AFターゲット位置やAFターゲットモード、顔優先AFの設定ができます。 * カスタムメニュー A2 の [::]選択画面設定 (P.205) の設定に従って十字ボタンやフロント/リアダイヤルが使えます。 • この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。
[::]Home (AFホームポジション)	[ ボタン機能] の [::]Home (P.116) と同じ働きをします。 • この機能は静止画撮影でのみ機能します。

マルチセレクターを動かしたときの動作を設定する (方向キー機能)

MENU → * → B1 → [方向キー機能]

マルチセレクターを動かしたときの動作を設定します。通常は、操作すると直接AFターゲットの位置を移動することができますが、誤操作を防ぐために機能をオフにしておくこともできます。

- この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。

Off	マルチセレクターを操作しても何も機能しません。
[::] (AFターゲット位置)	マルチセレクターを操作すると、AFターゲット位置の設定ができます (P.70)。

フロント／リアダイヤルの機能を変える (📷ダイヤル機能)

MENU → * → B1 → [📷ダイヤル機能]

フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更できます。**Fn**レバーの位置によって切り換える機能も変更できます(P.217)。メニュー表示中や画像再生時の操作についても変更できます。

- この機能は、静止画撮影の機能です。📷(ムービー)モードでは、📷動画メニュー [📷ボタン/ダイヤル/レバー]の[📷ダイヤル機能](P.161)が有効になります。

撮影モードや▶(再生)モードで割り当てられる機能は以下の通りです。

割り当てられる機能	働き	撮影モード				
		P	A	S	M	B
Ps	プログラムシフト(P.43)を設定します。	○	—	—	—	—
シャッター速度	シャッター速度を設定します。	—	—	○	○	○*
絞り	絞り値を設定します。	—	○	—	○	○
露出補正	露出補正を設定します。	○	○	○	○	○
フラッシュ補正	フラッシュ補正を設定します。	○	○	○	○	○
ISO感度	ISO感度を設定します。	○	○	○	○	○
WBモード	ホワイトバランスを設定します。	○	○	○	○	○
CWB色温度	ホワイトバランスがCWB(カスタムWB)のときの色温度設定を変更します。	○	○	○	○	○
Off	機能を設定しません。	○	○	○	○	○
↕/Value	メニュー表示中にカーソル、設定値、選択肢を上下に移動させます。	—				
↔	メニュー表示中にカーソルを左右に移動させます。					
📷Q (インデックス/拡大)	画像再生中、画像を拡大、インデックス表示します。	—				
コマ送り/戻し	画像再生中、次の画像を表示、前の画像を表示します。					

* BULB、TIME、LIVE COMPを切り換えます。

MENU → * → B1 → [📷 Fnレバー機能]

Fnレバーの機能を変更します。

- この機能は、静止画撮影の機能です。P/A/S/MB（静止画撮影）モードのときに有効になります。📷（ムービー）モードでは、📷動画メニュー [📷ボタン/ダイヤル/レバー]の [📷Fnレバー機能]（P.161）が有効になります。

mode1	Fnレバーの位置に応じて、フロント/リアダイヤルの機能を切り換えます。 [📷ダイヤル機能]（P.216）の設定に従います。
mode2	Fnレバー1、2のそれぞれの位置で設定した[AF方式]、[AFターゲットモード]、[AFターゲット位置]に変更します。 • 十字ボタンの▶で切り換える対象を選択します。
mode3	Fnレバーの位置に応じて撮影モードを切り換えます。モードダイヤルを切り換えることなく、撮影モードを📷（ムービー）に切り換えます。 • [📷Fnレバー機能]の設定は無効になります。
Off	Fnレバー機能を使いません。

- この機能は、*カスタムメニュー B1の[Fnレバー/電源レバー]（P.183）が[PW1]または[PW2]に設定されているときは使用できません。

連写時の速度や枚数の上限を設定する (📷L設定 / 📷H設定)

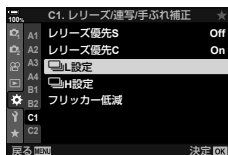
MENU → * → [📷] → [📷L設定] / [📷H設定]

連続撮影をするときの、連写速度と撮影枚数などの上限を設定します。シャッターボタンを全押ししていても、設定した枚数に達すると自動的に撮影が終了します。

📷L (連写L)と📷H (連写H)、それぞれのメニューで下記の設定を行います。

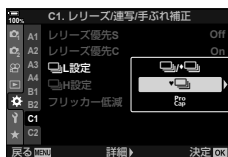
<p>📷L設定 (連写L設定)</p>	<p>📷L (連写L)、📷L (低振動連写L)、📷L (静音連写L)の連写速度と連続撮影枚数の上限が設定できます。また、Pro Cap L (プロキャプチャーL)の詳細設定ができます(P.79)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 📷Lまたは📷Lのとき [連写速度] : 1 ~ 10fps [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) 📷Lのとき [連写速度] : 1 ~ 10、15、18fps [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) Pro Cap Lのとき [連写速度] : 10/15/18fps [プリ連写枚数] : 0 ~ 35枚 [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) プリ連写枚数を含みます。
<p>📷H設定 (連写H設定)</p>	<p>📷H (連写H)、📷H (静音連写H)の連写速度と連続撮影枚数の上限が設定できます。また、Pro Cap H (プロキャプチャーH)の詳細設定ができます(P.79)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 📷Hのとき [連写速度] : 10 ~ 15fps [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) 📷Hのとき [連写速度] : 15/20/30/60fps [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) Pro Cap Hのとき [連写速度] : 15/20/30/60fps [プリ連写枚数] : 0 ~ 35枚 [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) プリ連写枚数を含みます。

- 1 ✱カスタムメニュー **C1**で、**[L設定]**または**[H設定]**を選択し、**OK**ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの△▽で項目を選択し、▷ボタンを押します。

- それぞれの設定画面が表示されます。



- 3 **[連写速度]**を設定します。

- △▽ボタンで**[連写速度]**を選択し、▷ボタンを押します。
- △▽ボタンで設定を変更し、**OK**ボタンを押して確定します。



- 4 **[プリ連写枚数]**を設定します。

- 手順2で**[Pcap]**を選択したときのみ表示されます。
- △▽ボタンで**[プリ連写枚数]**を選択し、▷ボタンを押します。
- △▽ボタンで設定を変更し、**OK**ボタンを押して確定します。



プロキャプチャーの
設定画面

- 5 **[枚数リミッター]**を設定します。

- △▽ボタンで**[枚数リミッター]**を選択し、▷ボタンを押します。
- 撮影枚数を制限しない場合は**[Off]**を選択します。
- 撮影枚数を制限するときは、数値を選択し、▷ボタンを押すと、撮影枚数の設定画面が表示されます。◀▷ボタンで桁を選択し、△▽ボタンで数値を変更できます。
- プロキャプチャー撮影時は、制限する撮影枚数にプリ連写枚数も含まれます。🔒「リリースタイムラグを防いで撮影する(プロキャプチャー撮影)」(P.79)
- 設定を変更後、**OK**ボタンを押して確定します。



- 6 **OK**ボタンを押します。

- ✱カスタムメニュー **C1**の画面に戻ります。

- 7 **MENU**ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

蛍光灯による明るさのちらつきを抑えて撮影する

(フリッカー低減)

MENU → * → **C1** → [フリッカー低減]

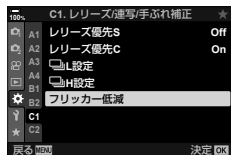
蛍光灯などの商用電源照明の環境下では、ライブビューの画面表示がちらついて見えたり、高速シャッター速度で連写した場合に露出がばらつくことがあります。このような影響を低減するための機能です。

■ 撮影時の画面表示のちらつきを抑える(フリッカーレスLV)

蛍光灯などの照明の環境下で発生する画面のちらつき(フリッカー)を抑えて表示します。画面がちらついて見えにくいなどのときに有効です。

オート	フリッカーを自動で検出して低減します。
50Hz	商用電源が50Hzの地域での照明のちらつきを低減します。
60Hz	商用電源が60Hzの地域での照明のちらつきを低減します。
Off	フリッカーの低減をしません。 • [フリッカーレス撮影] (P.221)が[On]のときは選択できません。

- 1 *カスタムメニュー **C1**で、[フリッカー低減]を選択し、**OK** ボタンを押します。



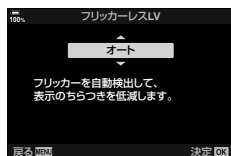
- 2 十字ボタンの△▽で[フリッカーレスLV]を選択し、▷ボタンを押します。

• [フリッカーレスLV]の設定画面が表示されます。



- 3 △▽ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

• [フリッカー低減]の設定画面に戻ります。

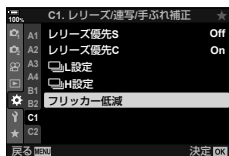


- 4 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

■ シャッターが切れるタイミングを設定する(フリッカーレス撮影)

照明のフリッカーのある環境下で撮影したときなど、明るさがばらついて写ることがあります。フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。この機能は、機械式シャッターによる撮影で有効な機能です。

- 1 **★カスタムメニュー C1**で、**[フリッカー低減]**を選択し、**OK**ボタンを押します。



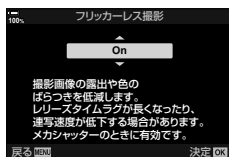
- 2 十字ボタンの**△▽**で**[フリッカーレス撮影]**を選択し、**▷**ボタンを押します。

- **[フリッカーレス撮影]**の設定画面が表示されます。



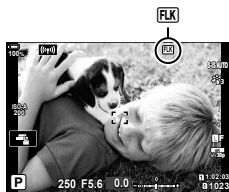
- 3 **△▽**ボタンで**[On]**または**[Off]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

- **[フリッカー低減]**の設定画面に戻ります。





- 4 **MENU**ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。




- **[On]**に設定すると、画面に**FLK**が表示されます。





- 静音撮影やハイレゾショット撮影、プロキャプチャー撮影などの電子シャッターによる撮影時は動作しません。
- 環境によってはフリッカーが検出できないことがあります。その場合は、通常のタイミングでシャッターが切れます。
- シャッター速度が遅いときは、通常のタイミングで撮影されます。
- シャッターが切れる際にタイムラグが生じたり、連写速度が低下する場合があります。


MENU →  → **D1** → [ Control表示]

撮影モードで機能を設定する各操作画面の表示、非表示を設定します。機能設定パネルにはLVコントロールとLVスーパーコンパネがあり、**INFO**ボタンで切り換えができますが、使わないパネルを非表示にできます。

1 カスタムメニュー **D1**で、[ Control表示]を選択し、ボタンを押します。





2 ボタンで項目を選択してボタンを押します。



- チェックボックスに (チェック)が付きます。チェックがついた項目は表示されます。




3 **MENU**ボタンを繰り返し押しして、メニューを終了します。

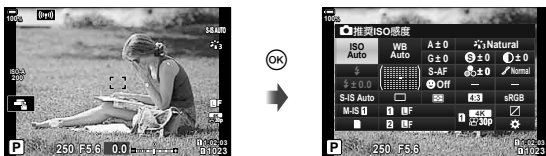
- ムービーモードの場合は、[ 表示設定]の[ Control表示]で設定します(P.162)。

機能設定パネルを切り換えて使う

- 静止画撮影の初期設定では、LVコントロールは非表示に設定されています。LVコントロールとLVスーパーコンパネを切り換える場合は、あらかじめ[ Control表示]で[LVコントロール]と[LVスーパーコンパネ]の両方に (チェック)をつけてください。

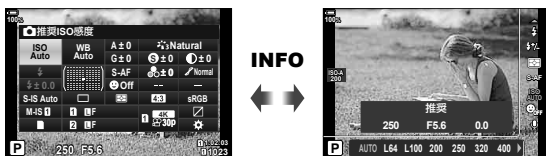
1 **P/A/S/M/B**モードで、モニターがライブビュー表示のときにボタンを押します。

- LVスーパーコンパネが表示されます。



2 INFOボタンを押すと、LVコントロールを表示します。

- **INFO**ボタンを押すたびに表示される機能設定パネルが切り換わります。



3 設定を終えたら、**OK**ボタンを押すと機能設定パネルが消えます。

- 次回、**OK**ボタンを押したときは、最後に表示した機能設定パネルが表示されます。
- LVコントロール表示のとき、表示された機能設定が**INFO**ボタンを押して詳細設定できる機能のときは、**INFO**ボタンを押して機能パネルを切り換えることができません。他の機能を選択してから**INFO**ボタンを押してください。

■ LVコントロール



使用可能な設定機能

手ぶれ補正*	P.95	📷モード(ムービー露出モード)*	P.163
ピクチャーモード*	P.104, 140	フラッシュモード	P.84
ホワイトバランス*	P.92	フラッシュ補正	P.103
連写/セルフタイマー	P.76, 96	測光方式	P.75
アスペクト比	P.96	AF方式*	P.62
画質モード*		ISO感度*	P.73, 89
静止画	P.98	顔優先*	P.90
ムービー	P.99	ムービー録音*	P.167

* ムービーモードで使える機能

- 撮影モードによっては選択できない機能があります。
- [**Control表示**]で操作画面の[LVコントロール]を設定すると、**P/A/S/M/B**/モードでもライブコントロールを使えます(P.222)。

1 **OK**ボタンを押してLVコントロールを表示します。

- 再度**OK**ボタンを押すとLVコントロールの表示が消えます。

2 十字ボタンの Δ / ∇ でカーソルを設定したい機能に移動し、 \leftarrow / \rightarrow ボタンで設定を選択し**OK**ボタンを押します。

- 何も操作せずに約8秒経過すると設定が確定します。

INFOボタンによる情報表示の設定をする (Info表示設定)

MENU → * → [D1] → [Info表示設定]

Info (再生情報表示)

[Info]で以下の再生情報表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時にINFOボタンを繰り返し押し表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。



ヒストグラム表示



ハイライト&シャドウ表示



ライトボックス表示

ハイライト&シャドウ表示

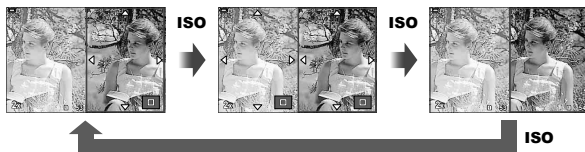
画像の明るさの上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青で表示します。

*カスタムメニュー [D3] 【ヒストグラム警告設定】 (P.187)


ライトボックス表示

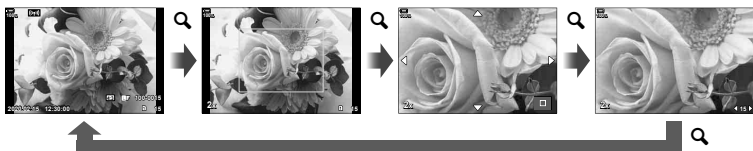
2枚の画像を並べて表示して比較できます。⊕ボタンを押すと、基準の画像を切り換えることができます。

- 右の画面で基準にする画像を選びます。フロントダイヤルで画像を選んで⊕ボタンを押すと、その画像が左の画面に移動します。左の画面の画像と比較する画像を右の画面で選びます。基準とする画面を変えるときは、右の画面で選んで⊕ボタンを押します。
- リアダイヤルを回すと拡大倍率を変更できます。
拡大中は、ISOボタンを押して十字ボタンの△▽◀▶で拡大範囲をスクロール、フロントダイヤルで画像の選択ができます。




■ Info (再生拡大情報表示)

[ Info]で再生拡大情報表示画面を設定できます。あらかじめボタン機能(P.114)で[Q] (拡大)をボタンに割り当てておくと、画像再生時にQ ボタンを繰り返し押し、設定した画面表示を切り換えることができます。初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。



■ LV-Info (撮影情報表示)

撮影時のライブビュー画面に表示される情報表示の選択をします。[]「情報表示を切り換える」(P.37)

[LV-Info]でハイライト&シャドウ表示画面を追加するには、[カスタム表示1]または[カスタム表示2]で十字ボタンの▷を押してチェックをつけます。追加した画面は、撮影時にINFO ボタンを繰り返し押しと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。

[LV-Info]で[表示Off]を選択したときは、▷ ボタンを押すと、シャッターボタン半押し中の情報表示の設定が選べます。

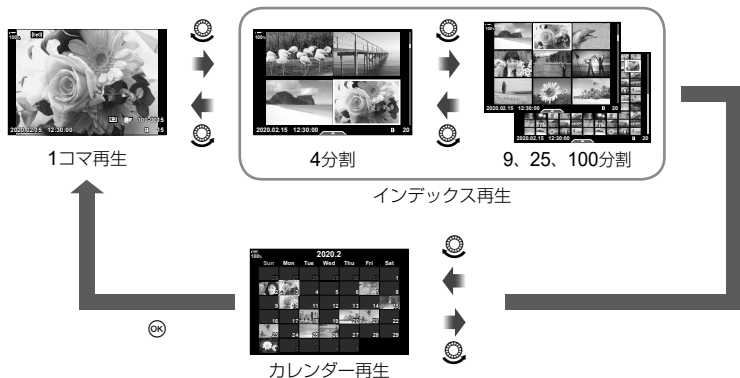
On	シャッターボタン半押し中は情報表示をします。
Off	シャッターボタン半押し中も情報表示をしません。

■ LV OFF-Info (撮影情報表示)

ファインダー撮影時の撮影情報画面の表示を設定します(P.38)。

■ 表示(インデックス/カレンダー表示)

【表示】で、インデックス表示画面の分割数を変更したり、初期設定で表示されている画面を非表示にできます。チェックを入れた画面は画像再生時にリアダイヤルを回して選択します。



画像再生時の拡大倍率を設定する (再生拡大倍率設定)

MENU → * → D2 → [再生拡大倍率設定]

画像を再生して拡大表示(クローズアップ再生)したとき、最初に表示される倍率の設定ができます。

前回倍率	前回、拡大再生したときに最後に表示した倍率で表示します。
等倍	拡大再生したとき、等倍で表示します。等倍表示にすると、モニターに 1x が表示されます。
×2 / ×3 / ×5 / ×7 / ×10 / ×14	拡大再生したとき、選択した倍率で表示します。

自分撮りに合わせた表示をする (自分撮りアシスト)

MENU → * → D3 → [自分撮りアシスト]

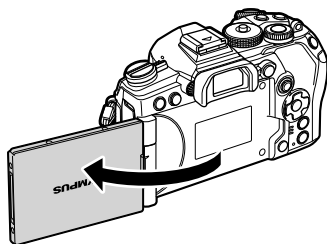
モニターを反転して自分撮りをするとき、撮影しやすいようにライブビュー表示を変更します。

- この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。

On	モニターを反転して自分撮り位置にしたとき、左右反転して表示します。
Off	モニターを自分撮り位置にしても、表示は切り換わりません。

1 *カスタムメニュー **D3** の [自分撮りアシスト] を [On] にします。

2 モニターを反転させます。

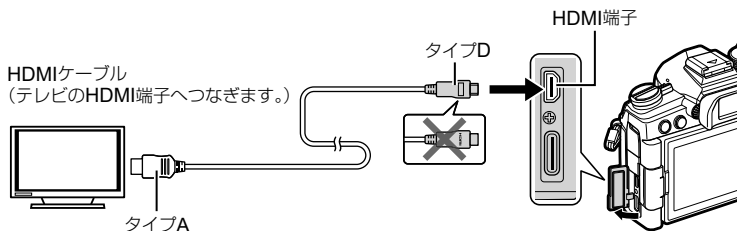


カメラの画像をテレビで見る

(HDMI)

MENU → * → D4 → [HDMI]

別売のケーブルを使ってテレビに接続して画像を再生します。また、撮影でも使用できます。HDMIケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで見ることができます。



テレビとカメラを接続してテレビの入力を切り換えます。

- **[HDMIコントロール]** (P.280)が**[On]**のときは、HDMIケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。
- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

C4K	4Kデジタルシネマ画質(4096×2160)で出力します。
4K優先	4K画質(3840×2160)優先で出力します。
1080p優先	フルハイビジョン形式(1080p)優先で出力します。
720p優先	ハイビジョン形式(720p)優先で出力します。
480p/576p	480p/576p形式で出力します。

- 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- パソコンとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。
- **[出力モード設定]**を**[記録モード]** (P.162)にしていると、ムービー撮影状態のときに設定されているムービー画質モードで出力します。設定されている画質モードにテレビが対応していない場合は、画像は表示されません。
- 静止画撮影状態のときは信号形式を**[4K優先]**または**[C4K]**にしても、1080p優先で出力されます。

テレビのリモコンを使う

HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続したとき、テレビのリモコンで操作することができます。🔗 「テレビのリモコンで操作する(HDMIコントロール)」(P.280) カメラのモニター表示は消灯します。

- テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては使用できない機能があります。

USBケーブル接続時の動作を設定する (USB接続モード)

MENU → ⚙️ → [D4] → [USB接続モード]

カメラをUSBケーブルでパソコンや周辺機器と接続するときの動作を設定します。

オート	USBケーブルを接続するたびに接続方法を設定するメニューが表示されます。
ストレージ	カメラをパソコン用の外部メモリーのように使います。カード内のデータをパソコンに移すことができます。
MTP	Windowsの標準のソフトウェアを使った画像の取り込みや閲覧をすることができます(P.272)。
🖥️ PC RAW	パソコンの操作(Olympus Workspace)で、カメラの画像処理エンジンを使って画像処理を行うので、高速に処理できます。カメラ内のカードに保存されているRAW画像も編集することができます。あらかじめパソコンにインストールした最新のOLYMPUS Workspaceを起動してください(P.272)。 <ul style="list-style-type: none"> • カメラの電池残量が不足している場合や他のカメラで撮影した画像はRAW編集できません。
🖥️ 📷 コントロール	OLYMPUS Captureを使って撮影しながら画像をパソコンに転送したり、パソコンからカメラをコントロールすることができます。詳しくは「パソコンと接続する(USB)」(P.272)をお読みください。
USB PD	USB接続した外部機器から給電してカメラを動作できます。詳しくは「USB外部電源を使う(USB PD)」(P.276)をお読みください。

ライブバルブ撮影時の表示の更新時間を設定する (ライブBULB設定)

MENU → * → [設定] → [ライブBULB設定]

B (バルブ)モードでライブバルブ撮影をしているとき、露光中の画像を表示する時間間隔を設定します。ライブバルブで撮影中、設定した時間間隔で表示を更新するため、撮影結果を確認しながら撮影できます。

- **[BULB]**および**[LIVE BULB]**では、**MENU**ボタンを押すと直接、**[ライブBULB設定]**の設定画面を表示します。

ライブタイム撮影時の表示の更新時間を設定する (ライブTIME設定)

MENU → * → [設定] → [ライブTIME設定]

B (バルブ)モードでライブタイム撮影をしているとき、露光中の画像を表示する時間間隔を設定します。ライブタイムで撮影中に設定した時間間隔で表示を更新するため、撮影結果を確認しながら撮影できます。

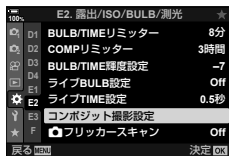
- **[TIME]**および**[LIVE TIME]**では、**MENU**ボタンを押すと直接、**[ライブTIME設定]**の設定画面を表示します。

コンポジット撮影時のシャッター速度を設定する (コンポジット撮影設定)

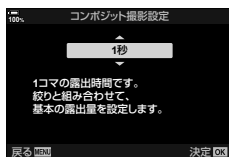
MENU → * → E2 → [コンポジット撮影設定]

ライブコンポジット撮影の1コマの露出時間は、あらかじめメニューで設定しておくことができます。

- 1 *カスタムメニュー E2で、[コンポジット撮影設定]を選択し、OKボタンを押します。



- 2 十字ボタンの△▽で設定を変更します。
 - 露出時間は、1/2秒～60秒の間で設定できます。



- 3 OKボタンを押して設定を確定します。
 - *カスタムメニュー E2の画面に戻ります。
- 4 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- 最長の撮影時間は*カスタムメニュー E2の[COMPリミッター]で設定できます(P.190)。初期設定では[3時間]になっています。
- この機能は、静止画撮影のBモードで使用する機能です。コンポジット撮影については、P.52をあわせてお読みください。
- [LIVE COMP]では、MENUボタンを押すと直接、[コンポジット撮影設定]の設定画面を表示します。

LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (📷フリッカースキャン)

MENU → * → E2 → [📷フリッカースキャン]

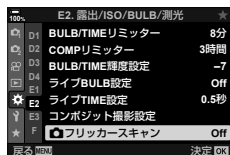
LED照明の環境下では、撮影した画像にすじが写ることがあります。[📷フリッカースキャン]では、画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。

- この機能は、静止画撮影の機能です。
- 撮影モードが**S**または**M**で、静音撮影、ハイレゾショット撮影、プロキャプチャー撮影のときに使用できます。
- 設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

1 撮影モードとドライブ機能の設定をします。

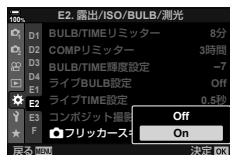
- 撮影モードを、**S**または**M**に設定します。
- ドライブ機能を、以下のいずれかに設定します。
 - 静音撮影 (▼□、▼□L、▼□H、▼□2s、▼□2s、▼□c)
 - ハイレゾショット (📷)
 - プロキャプチャー撮影 (Pro CapL、Pro CapH)

2 *カスタムメニュー E2で、[📷フリッカースキャン]を選択し、OKボタンを押します。



3 十字ボタンの△▽で[On]を選択し、OKボタンを押します。

- メニュー画面に戻ります。



4 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- 撮影画面に戻ります。画面に[Flicker Scan]が表示されます。



5 画面を見ながらシャッター速度を設定します。

- フロント/リアダイヤル、または△▽ボタンで設定できます。△▽ボタンを長押しすることもできます。
- フロントダイヤルでは、✳カスタムメニュー ③の【露出ステップ】で設定した露出ステップでシャッター速度を変更できます。
- 画面に発生するすじが見えなくなるようにシャッター速度を調整してください。
- **INFO**ボタンを押すと画面が切り換わり、**Flicker Scan**が消えます。このとき、絞りや露出補正の設定ができます。フロント/リアダイヤルまたは、十字ボタンを使って設定してください。
- **INFO**ボタンを繰り返し押すと、フリッカースキャンの設定画面に戻ります。

6 設定を終えたら撮影します。

- フリッカースキャンの画面では、ピーキング表示や、LVスーパーコンパネ、LVコントロールの表示はできません。表示するときは**INFO**ボタンを押して画面の情報表示を切り換えてください。



- 【フリッカースキャン】の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。③「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)

露出の基準を微調整する

(露出基準調整)

MENU → ✳ → ③ → 【露出基準調整】

露出の基準を微調整することができます。カメラの自動露出の結果を常にプラス方向、マイナス方向にずらして撮りたいときに設定します。

- この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。
- 通常はこの機能で調整する必要はありません。必要な場合のみ設定してください。通常の撮影で露出の補正を目的とするときは、露出補正を行ってください(P.66)。
- 調整した方向(プラス/マイナス)の露出補正の範囲が狭くなります。
- 以下の測光方式で個別に設定できます。

測光方式	調整値
(デジタルESP測光)	-1EV ~ +1EV、1/6EVステップ
(中央重点平均測光)	
(スポット測光)	

フラッシュ発光時のシャッター速度 (⚡同調速度/⚡低速制限)

MENU → **☆** → **Ⓜ** → [⚡同調速度] / [⚡低速制限]

フラッシュが発光するときのシャッター速度の条件を設定できます。

- この機能は、静止画撮影の機能です。

撮影モード	フラッシュ発光シャッター速度	上限	下限
P	カメラが自動的に設定	[⚡同調速度] 設定	[⚡低速制限] 設定
A			制限無し
S	シャッター速度設定による		
M			

JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ (画質設定)

MENU → **☆** → **Ⓜ** → [画質設定]

画像サイズと圧縮率を組み合わせ、JPEGの画質モードを設定できます。

- この機能は、静止画撮影の機能です。




画像サイズ		圧縮率			用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	
L (Large)	5184×3888*	L SF*	L F*	L N*	プリントサイズに 合わせて選択
M (Middle)	3200×2400* 1920×1440	M SF	M F	M N*	
S (Small)	1280×960 1024×768	S SF	S F	S N	小さいプリントや ホームページ用









* 初期設定


記録先カードを設定する (カードスロット設定)

MENU → * → → [カードスロット設定]







カードスロット1、2の両方にカードが装着されているときの、静止画とムービーの記録先を設定します。

- 1 *カスタムメニュー  の[カードスロット設定]を選択して、 ボタンを押します。
- 2 十字ボタンの△▽で項目を選択して▷を押します。
 - △▽ボタンで設定を選択して ボタンを押します。

 記録設定	静止画の記録方法を指定します。  「撮影データの記録方法を設定する( 記録設定)」(P.97)
 記録スロット	静止画の記録先カードを設定します。  記録設定]が[標準]または[自動切換]に設定されているときに有効です。
 記録スロット	ムービーの記録先カードを設定します。
 スロット	 記録設定]が[振り分け↓]、[振り分け↑]、[同一書き込み↓]または[同一書き込み↑]に設定されているときの、静止画を再生するカードを選択します。
記録フォルダ指定	カードの保存先フォルダを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• カードを1枚のみ使用している場合でも設定できます。

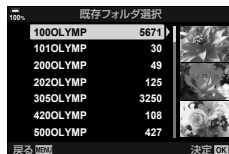
-  記録スロット]、[記録フォルダ指定]以外の項目の設定をするときは、静止画撮影モードに行ってください。



-  ボタンを使って再生するカードを切り換えることができます。画像再生中に、 ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回してスロットを選択します。このとき、 スロット]の設定は変更されません。
-  記録設定]が[自動切換]に設定されているときは、1枚目のカードの最後と2枚目のカードの先頭は、自動的に切り換えて再生します。
- ムービー撮影モードでは、 スロット]は 記録スロット]に固定されます。

記録フォルダ指定

- 1 [記録フォルダ指定]を選択して▶を押します。
- 2 [指定する]を選択して▶を押します。
- 3 フォルダを選択して、**OK** ボタンを押します。
 - [新規作成]を選択した場合は、3桁のフォルダ番号を指定して、**OK** ボタンを押します。
 - [既存フォルダ選択]を選択した場合は、△▽ボタンで既存フォルダを選択して、**OK** ボタンを押します。フォルダ内の最初の2コマと最後の1コマが表示されます。



MENU → * → [Fn] → [レンズ情報登録]

マイクロフォーサーズ、フォーサーズ規格以外のレンズの情報を最大10本まで登録できます。この設定は、手ぶれ補正やデジタルシフト撮影の焦点距離情報としても使用します。

- この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。

- 1 *カスタムメニュー [Fn] の [レンズ情報登録] で、[レンズ情報新規登録] を選びます。
- 2 [レンズ名] を選び、レンズ名を入力します。最後に [END] を選び [OK] ボタンを押します。
- 3 [焦点距離] を十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で設定します。
- 4 [絞り値] を $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで設定します。
- 5 [登録] を選んで、[OK] ボタンを押します。

- 登録されたレンズがレンズ情報登録画面に表示されます。
- 非通信レンズを装着した際には、✔ (チェック) が付いたレンズの情報が用いられます。
✔ を付けたいレンズを選び、[OK] ボタンを押します。



- [レンズ情報登録] の機能をボタンに割り当てておくことができます。レンズ交換時などに、登録されているレンズ情報の選択ができます。☞ 「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)

ファインダー内表示のスタイルを選ぶ (EVF表示スタイル)

MENU → * → [] → [EVF表示スタイル]

スタイル1/2：フィルムカメラのファインダーのような表示スタイルにします。

スタイル3：モニターと同じ表示をします。

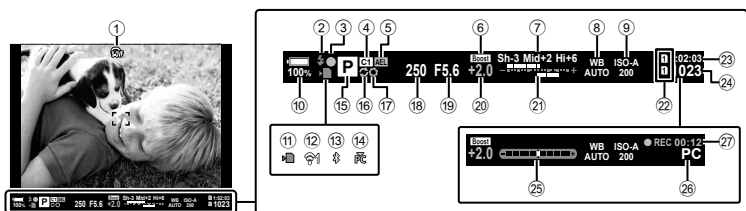


スタイル1 / スタイル2



スタイル3

■ ファインダー撮影時のファインダー内表示(スタイル1 / スタイル2)



- | | | | |
|--------------------|-----------------|-------------------|--------------|
| ① OVFシミュレーション*1 |P.195 | ⑮ 撮影モード |P.39-58 |
| ② フラッシュ |P.82 | ⑯ プロキャプチャー画像取り込み中 |P.79 |
| (点滅：充電中、点灯：充電完了) | | ⑰ プレビュー |P.115 |
| ③ 合焦マーク |P.40 | ⑱ シャッター速度 |P.42-48 |
| ④ カスタムモード |P.55, 140 | ⑲ 絞り値 |P.42-48 |
| ⑤ AEロック |P.75, 199 | ⑳ 露出補正值 |P.66 |
| ⑥ LVブースト |P.186 | ㉑ 上：フラッシュ補正 |P.103 |
| ⑦ ハイライト&シャドウコントロール |P.113 | 下：露出補正 |P.66 |
| ⑧ WBモード |P.92 | ㉒ カードスロット設定 | |
| ⑨ ISO感度 |P.73, 89 | 上：記録スロット |P.235 |
| ⑩ 電池残量 |P.30 | 下：記録設定 |P.97 |
| ⑪ カード書き込み中 |P.19, 25 | ㉓ 録画可能時間 |P.315 |
| ⑫ 無線LAN接続状態 |P.243, 254 | ⑳ 撮影可能枚数 |P.314 |
| ⑬ Bluetooth®接続中 |P.244 | ㉕ 水準器*2 |P.38 |
| ⑭ パソコン接続中(Wi-Fi) |P.254 | ㉖ パソコン接続中(USB) *3 |P.272 |
| | | ㉗ 録画時間(録画中) |P.57 |

*1 OVFシミュレーションアイコンはファインダー内のみの表示です。[] * カスタムメニュー [] [OVFシミュレーション] (P.195)

*2 シャッターボタンを半押し中に表示されます。[] * カスタムメニュー [] [半押し中水準器表示] (P.195)

*3 [] [コントロール]で画像の保存先がパソコンのみの場合に表示されます(P.273)。

ファインダーの情報表示を設定する (Info表示設定)

MENU → * → [Info表示設定]

ファインダー表示でもモニターの表示と同様に**INFO**ボタンで、ヒストグラムや水準器表示の画面の切り換えができます。ファインダー表示中、**INFO**ボタンを押して表示する情報表示の内容を設定します。この機能は、そのときに表示する内容を設定します。【EVF表示スタイル】が【スタイル1】、【スタイル2】のときに有効です。

- この機能は、静止画撮影の機能です。☺ (ムービー)モードでは、【Info表示】が有効になります(P.162)。

基本情報表示	撮影の機能設定状態を示すアイコンなどを表示します。
カスタム表示1 / カスタム表示2	基本情報表示に加えて以下の内容の表示/非表示を選択します。 【ヒストグラム表示】：ヒストグラムを重ねて表示します。 【ハイライト&シャドウ】：ハイライトやシャドウ部を着色して表示します。 【水準器】：水準器を表示します。

- チェックボックスに✓ (チェック)を付けた項目が表示されます。
- 【カスタム表示1】または【カスタム表示2】を選択したときは、十字ボタンの▷を押して情報表示の設定が選べます。

ボタン長押し操作のときの操作時間を設定する (ボタン長押し時間調整)

MENU → * → [ボタン長押し時間調整]

各機能で設定値のリセットなどで実行する、ボタンの長押し操作の操作時間の設定をします。使い勝手に合わせて機能別に設定できます。

- この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。

時間調整できる機能

- LV拡大枠/拡大表示
- LV拡大枠位置
- ☺ (ムービーテレコン拡大枠表示)
- ☺ 拡大枠(ムービーテレコン拡大枠位置)
- 露出補正值
- ☺ 設定値(フラッシュ補正)
- ☺ 設定値(ハイライト&シャドウコントロール)
- ☺ 設定値(カラークリエーター)
- AFターゲット位置
- EVF自動切替設定
- 再生拡大枠/拡大表示
- デジタルシフト
- デジタルシフト設定値
- ☺ ロック(タッチパネル)
- BKT撮影
- フリッカースキャン

フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正する (フィッシュアイ補正撮影)

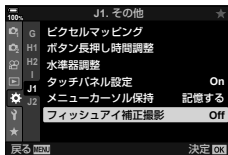
MENU → * → [1] → [フィッシュアイ補正撮影]

フィッシュアイレンズを使ったときの画面の歪みを補正して、超広角レンズを使ったような撮影ができます。3つの補正のレベルから選べます。また、水中撮影時に発生する歪みを同時に補正する設定もあります。

- P/A/S/M/Bモードで使用できます。
- 対応するフィッシュアイレンズを装着した場合のみ設定できます。
M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm f1.8 Fisheye PRO (2019年11月現在)

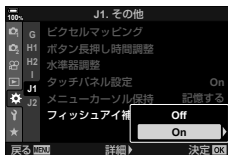
画角	レンズによる歪みを補正した上で画面にけられがない範囲で切り出します。3つの切り出す範囲を選択できます。
水中補正	[画角]による補正に加えて、水中で撮影する際の画角に補正します。

1 *カスタムメニュー [1]で、[フィッシュアイ補正撮影]を選択し、[OK]ボタンを押します。



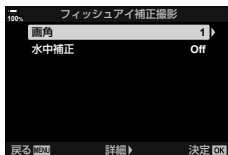
2 十字ボタンの△▽で[On]を選択し、▶ボタンを押します。

- [画角]および[水中補正]のメニューが表示されます。



3 △▽ボタンで設定を変更し、▶ボタンを押します。

- △▽ボタンで設定を変更し、[OK]ボタンを押します。
- 水中撮影以外では、[水中補正]は[Off]に設定してください。
- [フィッシュアイ補正撮影]のメニュー画面に戻ります。



4 繰り返し[OK]ボタンを押して、*カスタムメニュー [1]の画面に戻ります。

- [フィッシュアイ補正撮影]が[On]になっていることを確認し、MENUボタンを押して、メニューを終了します。
- フィッシュアイ補正撮影がオンになっている間は画面に [1]と選択した画角が表示されます。



5 撮影します。

- 画質モードが[RAW]のときは、RAW+JPEGで記録されます。RAW画像は補正なしで記録されます。
- フィッシュアイ補正撮影中は、ピーキング表示はできません。
- AFターゲットは、シングルターゲット/スモールターゲットのみになります。
- フィッシュアイ補正撮影時は、以下の機能は使用できません。

コンポジット撮影/連写/ブラケット撮影/HDR撮影/多重露出撮影/ライブND撮影/デジタルシフト撮影/デジタルテレコン/ムービー撮影/AF方式の[C-AF]、[C-AF MF]、[C-AF+TR]、[C-AF+TR MF] /ピクチャーモードの[eポートレート] またはアートフィルター/カスタムセルフタイマー/ハイレゾショット撮影



- [フィッシュアイ補正撮影]の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。🔗 「ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)」(P.114)

5 外部機器と接続する

このカメラは、パソコンやスマートフォンなどの外部機器と接続することによって、いろいろな使い方ができます。

Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いのときのご注意

使用が禁止されている国や地域、場所では、無線LANおよびBluetooth®を停止させてください。

このカメラは無線LANおよびBluetooth®を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがあります。

国や地域により、位置情報を政府への申請なしに取得をすることは違法になる場合があります。そのため、あらかじめ、当社販売エリアにより位置情報を表示できないよう設定している場合があります。

国外へ持ち出す際には、持ち出す国や地域によって、定められた法律があります。あらかじめご確認の上、必ずそれに従ってください。当社では一切の責任は負えません。

飛行機内などWi-Fiの使用を禁止されている場所では、機能を停止してください。

🔒 「Wi-Fi/Bluetooth®機能を停止する」(P.253, 269)

- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 送受信アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- バッグなどにカメラを入れて運ぶ場合、バッグの素材やその他の内容物によってカメラの電波が遮蔽され、スマートフォンと通信できない場合があります。
- Wi-Fi接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。
- カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていると、一部の無線LAN機能が使用できません。

スマートフォンと接続する(Wi-Fi)

このカメラとスマートフォンを直接Wi-Fi接続します。

アプリのインストール

カメラとスマートフォンをWi-Fi接続するためには、OLYMPUS Image Share (OI.Share)を使います。

OLYMPUS Image Shareでできること

- カメラ内の画像をスマートフォンへ転送(P.249)
- スマートフォンからリモート撮影(P.251)
- カメラの設定をスマートフォンに保存
- カメラのファームウェアのアップデート

下記アドレスからダウンロードできます。

<http://app.olympus-imaging.com/oishare/>

OI.Shareの他に、ログの閲覧や画像の加工のためのアプリがあります。

- **OLYMPUS Image Track (OI.Track)**

スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送するだけで、撮影した画像にGPSタグを追加することができます(P.252)。

下記アドレスからダウンロードできます。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

- **OLYMPUS Image Palette (OI.Palette)**

スマートフォンに転送した画像は、OLYMPUS Image Palette (OI.Palette)を使って編集や加工ができます。アートフィルターやカラークリエーターによる編集やトリミングなどの加工ができます。

下記アドレスからダウンロードできます。

<http://app.olympus-imaging.com/oipalette/>

スマートフォンとの接続設定をする (Wi-Fi/Bluetooth設定)

カメラとスマートフォンをWi-Fi接続するための設定をします。接続の設定には、Ol.Share (P.243)が必要です。Wi-FiとBluetooth®の接続設定を同時に行います。あらかじめ、使用するスマートフォンにインストールしておいてください。

■ 接続の準備をする(Wi-Fi/Bluetooth)

カメラのWi-FiとBluetooth®の機能を起動します。初期設定ではオンになっているので、そのときは必要ありません。接続の準備ができていたら、画面に📶が表示されます。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2 ȳセットアップメニューで[Wi-Fi/Bluetooth設定]を選択し、十字ボタンの▷を押します。



3 △▽ボタンで[Wi-Fi/Bluetooth]を選択し、▷ボタンを押します。



4 △▽ボタンで[On]を選択し、Ⓚボタンを押します。

- [Wi-Fi/Bluetooth設定]の設定画面に戻ります。



5 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- 画面に📶が表示されます。



■ カメラとスマートフォンで接続設定をする

はじめてスマートフォンとカメラを接続する場合は、初期設定が必要です。

- 接続設定は、スマートフォンのOSの設定画面で行わず、アプリ(OI.Share)の画面に従って行ってください。

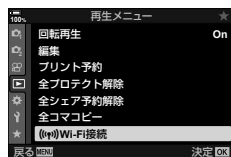
- 1 あらかじめスマートフォンにインストールした専用アプリOI.Shareを起動しておきます。



- 2 カメラの**MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

- 3 再生メニューで[(Wi-Fi)]**Wi-Fi接続**を選択し、十字ボタンの▶を押します。

- [(Wi-Fi)]**Wi-Fi接続**の画面が表示されます。
- セットアップメニューの**[Wi-Fi/Bluetooth設定]**で**[Wi-Fi/Bluetooth]**が**[On]**に設定されていないと、この項目は選択できません。



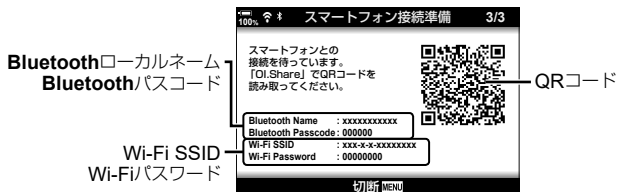
- 4 △▽ボタンで**[スマートフォン接続]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

- モニターに接続のガイドが表示されます。



- 5 ガイドを見ながら**OK**ボタンを押します。

- 下の画面が出るまで進みます。



- モニターに**Bluetooth**ローカルネームとそのパスコード、Wi-Fi SSIDとそのパスワード、QRコードが表示されます。

6 スマートフォンのOi.Shareの画面下部のカメラのアイコンをタップします。

- [かんたん接続設定]のタブが表示されます。



7 Oi.Shareに表示されるガイドに従ってQRコードを読み取り、接続設定を進めます。

- Oi.Shareに完了メッセージが表示されると、接続設定は完了です。
- QRコードを読み取れない場合は、Oi.Shareに表示されるガイドに従って手動で設定する必要があります。
 - **Bluetooth** : Oi.Shareに表示される**Bluetooth**設定画面でカメラのモニターに表示されているローカルネームを選択し、パスコードを入力します。
 - **Wi-Fi** : Oi.Shareに表示されるWi-Fi設定画面で、カメラのモニターに表示されているSSIDとパスワードを入力して接続します。
- 接続すると、画面に📶が表示されます。



8 スマートフォンと接続できたら、スマートフォンのOi.Shareの画面で、[写真転送]をタップするとカメラのカードの画像が表示されます。

- 接続を終了するときには、カメラの**MENU**ボタンを押すか、モニター画面の[切断]にタッチします。
- Oi.Shareでカメラの電源をオフにして、接続を終了することもできます。



- カメラが発行する接続のためのパスワードは、変更することができます(P.270)。

電源オフ時の無線接続設定をする (バックグラウンド通信)

カメラの電源をオフにしているときの、スマートフォンとの接続についての設定をします。この機能が働いていると、カメラの電源を入れなくても、スマートフォンからカメラにアクセスできたり、カメラ内の画像を自動的にスマートフォンに転送することができます。

- カメラが以下の準備ができているときに動作します。
 - [Wi-Fi/Bluetooth設定]の[Wi-Fi/Bluetooth]の設定が[On]になっている (P.244)
 - スマートフォンとの接続設定が完了している (P.245)
 - カードが正しく差し込まれている
- [バックグラウンド通信]が[On] (有効)に設定されていると、カメラの電源をオフにする際にカメラ内部で通信のための処理を行います。そのため、直後の電源オン動作では通常以上に時間が掛かることがあります。

毎回確認	ON/OFF レバーでカメラの電源を切るときに、電源が切れている間もスマートフォンとの無線接続を有効にするかどうかを確認する画面が表示されます。
Off	カメラの電源をオフにしているとき、スマートフォンとの無線接続を無効にします。
On	カメラの電源をオフにしているときもスマートフォンとの無線接続を有効にします。カメラ内の画像をスマートフォンに転送したり、スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧できます。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

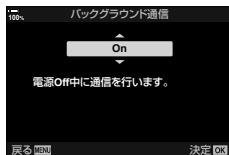
2 設定メニューで[Wi-Fi/Bluetooth設定]を選択し、十字ボタンの▷を押します。



3 △▽ボタンで[バックグラウンド通信]を選択し、▷ボタンを押します。



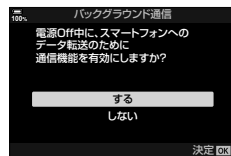
4 △▽ボタンで項目を選択し、OKボタンを押します。



5 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

[毎回確認]を設定したとき

[バックグラウンド通信]を[毎回確認]に設定すると、カメラの電源オフ時に次の確認画面が表示されます。十字ボタンの△▽で、項目を選択しⓄボタンを押します。



する	スマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラの電源がオフになります。
しない	スマートフォンとの無線接続を無効にして、カメラの電源がオフになります。

- 確認画面の表示中に約1分経過すると、スマートフォンとの無線接続が無効になり、カメラの電源がオフになります。
- バックグラウンド通信中でも、以下の場合は無線接続が自動で無効になります。一度カメラの電源をオンにすると、再度有効になります。
 - スマートフォンとの通信がないまま12時間経過したとき
 - カードを抜き差ししたとき
 - 電池交換をしたとき

スマートフォンに画像を転送する

カメラ内の画像やムービーをスマートフォンに転送するには、以下の方法があります。

- スマートフォンで画像を選択して転送する。
- あらかじめ画像にシェア予約を設定しておいて、カメラの電源がオフのときに自動的に転送する。🔗「画像の転送予約をする(シェア予約)」(P.130)

ここではそれぞれの方法を説明します。

■ OI.Shareを使って転送する

カメラ内の画像をスマートフォンで確認しながら選択して転送します。

1 OI.Shareを使って、カメラとスマートフォンを接続します(P.245)。

2 OI.Shareで[写真転送]をタップします。

- カメラ内の画像が一覧で表示されます。
- 表示するスロットは、OI.Shareから選択できます。



3 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップします。



■ シェア予約を使って自動転送する

カメラでシェア予約を設定した画像を、カメラの電源をオフにしたときに自動的にスマートフォンへ転送します。

1 画像にシェア予約を設定する。

- 画像を再生してシェア予約をします。詳しくは、「画像の転送予約をする(シェア予約)」(P.130)をお読みください。

2 カメラの電源オフ時の設定をする。

- **[バックグラウンド通信]**の設定をします。詳しくは、「電源オフ時の無線接続設定をする(バックグラウンド通信)」(P.247)をお読みください。

MENUボタン → **i** (セットアップ)メニュー → **[Wi-Fi/Bluetooth設定]** → **[バックグラウンド通信]** → **[On]**または**[毎回確認]**を選択して**Ⓞ**ボタンを押します。

3 カメラの電源をオフにする

- シェア予約した画像、ムービーが自動的にスマートフォンに転送されます。スマートフォンがiOSの場合、あらかじめスマートフォンで**OI.Share**を起動しておきます。
- **[バックグラウンド通信]**を**[毎回確認]**に設定したときは、確認画面が表示されます(P.248)。[する]を選択して**Ⓞ**ボタンを押します。
- シェア予約できるコマは、各スロットそれぞれ200コマです。
- スマートフォンがiOSの場合、ご家庭のルーターなど他のアクセスポイントに接続されていると自動で接続されません。その場合は、**OI.Share**の写真転送機能をご利用ください。
- スマートフォンによっては、スマートフォンがスリープ状態では画像の転送が停止する場合があります。その場合は、スマートフォンがスリープ状態にならないようにしてお使いください。

スマートフォンからリモート撮影する

OI.Shareを使って、スマートフォンからカメラを操作してリモート撮影ができます。

- 使用できる撮影機能に一部制限があります。

1 OI.Shareを使って、カメラとスマートフォンを接続します(P.245)。

2 OI.Shareで[リモコン]をタップします。

- リモコン画面が表示されます。



3 シャッターボタンをタップして撮影します。





- 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。



シャッターボタン

画像に位置情報をつける

スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送することで、GPSログを記録していた間に撮影した写真にGPSタグを追加できます。

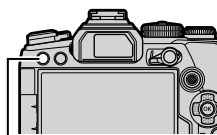
- 1 カメラで撮影を始める前に、スマートフォンでOI.Track (P.243)を起動してGPSログの記録を開始します。
 - GPSログ記録開始前に、時刻を同期するためにカメラを一度OI.Trackに接続し、OI.Trackの設定画面で日時の同期を行う必要があります。
 - GPSログ記録中は、電話や他のアプリの使用はできませんが、OI.Trackは終了させないでください。
- 2 カメラで撮影が終わったら、OI.TrackでGPSログの記録を終了します。
- 3 カメラのモニター画面でをタッチして、スマートフォンと接続します。
 - 再生メニューのWi-Fi接続からも接続できます(P.245)。
- 4 OI.TrackでGPSログをカメラに転送します。
 - カメラに転送されたGPSログを元に、手順1の後に撮影した画像に位置情報が付与されます。
 - 位置情報が付与された画像には、が表示されます。
 - 位置情報付与機能はGPS機能を搭載したスマートフォンでのみ使用できます。
 - ムービーには位置情報は付与されません。

スマートフォン接続の終了と停止

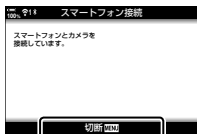
スマートフォンとの通信を切断します。このカメラでは、スマートフォンとの接続にWi-Fi機能およびBluetooth®機能を使っています。国や地域によっては使用できない場合があります。その場合は通信機能を停止してください。

■ 接続中の通信を停止する

- 1 Ol.Shareまたは、Ol.Trackの設定画面の【電源オフ】をスライドします。
 - またはカメラの**MENU**ボタンを押すか、モニター画面の【切断】にタッチします。



MENUボタン



切断



- 2 電源オフ中の自動転送が設定されているときは、【バックグラウンド通信】をオフにします。
 - **MENU**ボタン → **i** (セットアップ)メニュー → 【Wi-Fi/Bluetooth設定】 → 【バックグラウンド通信】 → 【Off】

■ Wi-Fi/Bluetooth®機能を停止する

- 1 **MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。
- 2 **i**セットアップメニューで【Wi-Fi/Bluetooth設定】を選択し、十字ボタンの▷を押します。
- 3 **△▽**ボタンで【Wi-Fi/Bluetooth】を選択し、**▷**ボタンを押します。
- 4 **△▽**ボタンで【Off】を選択して、**⊙**ボタンを押します。



パソコンと接続する(Wi-Fi)

カメラとパソコンをWi-Fi接続します。パソコンが接続している家庭内LANなどのネットワークにルーターを経由してWi-Fi接続することができます。

ソフトウェアのインストール

カメラとパソコンをWi-Fi接続するためには、OLYMPUS Captureを使います。

OLYMPUS Capture

パソコンが接続しているネットワークにWi-Fi接続しているカメラから、パソコンに撮影データを自動的に転送して画像の確認ができます。ソフトウェアの詳細やダウンロードについては、以下をご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

<http://app.olympus-imaging.com/olympuscapture/>

画面の指示に従ってインストールしてください。ソフトウェアの動作環境、インストール方法は上記URLのホームページでご確認ください。

WindowsOSのパソコンで、Wi-Fiでパソコンと接続するための準備

WindowsOSのパソコンで、アクセスポイント接続したカメラを認識できない場合は、以下の手順でカメラを手動で認識させてください。

■ Windows 8およびWindows 10をお使いの場合

1 パソコンのデスクトップの[スタート]をクリックしてスタートメニューの画面を表示します。

2 設定(設定)をクリックして、[Windowsの設定]の画面を表示します。



3 [デバイス]をクリックして、[Bluetoothとその他のデバイス]の画面を表示します。



4 [Bluetooth またはその他のデバイスを追加する]をクリックします。

5 [+その他すべて]をクリックします。

- [デバイスを追加する]の画面が表示され、しばらく待つと[E-M1 Mark III]が表示されます。

6 [E-M1 Mark III]をクリックします。

- 準備が完了したメッセージが表示されたら、[完了]をクリックして終了します。

■ Windows 7をお使いの場合

1 エクスプローラーを開いて、ネットワークを表示します。

- エクスプローラーに[E-M1 Mark III]が表示されます。

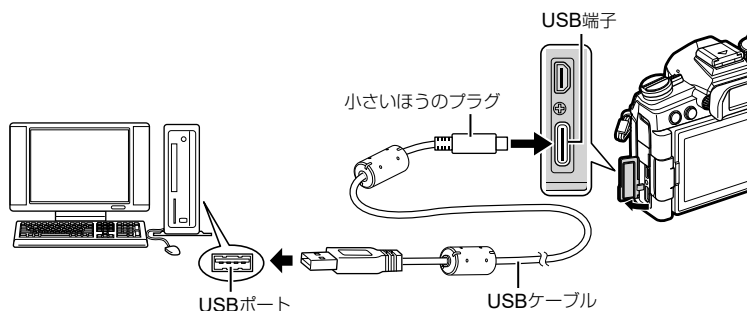
2 [E-M1 Mark III]を右クリックして、[インストール]を選択します。

- 正しく登録されたら、画面にメッセージが表示されます。
- デバイスマネージャーで、デバイスが登録されていることを確認してください。

接続するパソコンをカメラに登録する (新規ペアリング)

接続を許可するカメラとパソコンをお互いに登録します。カメラ側は、接続するパソコンの情報を4台まで登録できます。パソコンの登録は、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続して行います。この設定は、カメラが接続するパソコンごとに1回だけ必要です。

- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。



- USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 2 カメラの電源を入れます。

- カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 画面が表示されないときは、**★カスタムメニュー D4**の[USB接続モード] (P.188)を[オート]に設定してください。
- 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

- 3 十字ボタンの△▽で[コントロール]を選択し、**OK**ボタンを押します。



4 パソコンにインストールしたOLYMPUS Captureを起動します。

- ソフトウェアが起動すると、使用する接続方法を確認する画面がパソコンに表示されます。



5 [新規ペアリング]右側の[+]をクリックします。

- 接続画面のまま変化がない場合は、カメラを接続しなおしてください。



- カメラに登録するパソコンの名前を入力します。初期状態では、パソコンの「コンピューター名」が表示されます。
- カメラに登録できる名前は、半角英数字で最大15文字までです。

6 OLYMPUS Captureの画面の[設定]をクリックします。

- 完了のメッセージが表示されたら、メッセージに従ってカメラを取り外してください。



設定

- 複数のパソコンと接続する場合は、それぞれのパソコンでこの操作を行ってください。
- カメラが記憶しているパソコンの登録情報は、OLYMPUS Captureから確認したり削除することができます。

カメラに登録したパソコンが接続しているネットワークにWi-Fi接続するための設定をします。

カメラとパソコンをWi-Fi接続するために、カメラとルーターまたはアクセスポイントに接続するための設定をします。カメラに複数のアクセスポイントの設定を記憶させておき、選択して使うことができます。[[Wi-Fi]]接続の設定には以下の方法があります。

WPSで接続	自動設定機能を使って接続します(P.260)。 WPSに対応したルーターやWi-Fiアクセスポイントをお使いのときは、機器のWPS用ボタンを押すだけで接続設定ができます。 [PBC方式] ：WPS用ボタンの操作のみで設定します。アクセスポイントのWPS用ボタンを押して自動的に接続させます。 [PIN方式] ：個人暗証番号認証モードで設定します。カメラに表示されるPINコードをアクセスポイントに登録します。
アクセスポイント一覧から接続	アクセスポイントを検索して接続先を選択します(P.264)。 接続可能なアクセスポイントを検索して、パスワードを入力して接続します。
手動設定で接続	手動設定で接続します(P.262)。 SSIDなどアクセスポイントの情報を手動で設定し、接続します。

- WPSを使うには、お使いのルーターやアクセスポイントがWPSに対応している必要があります。
- WPSでPINコード方式で設定するときには、アクセスポイントと接続できる管理用パソコンが必要です。
- 手動設定には、接続するWi-Fiネットワークの情報が必要です。
- 以下のルーター、アクセスポイントに接続できます。
 - 規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac
 - 周波数帯域：2.4GHz、5GHz
 - セキュリティ：WPA2
- 一度接続したアクセスポイントの情報は、カメラ内に8件まで記憶されます。2回目以降の接続では、一度接続したことのあるアクセスポイントに自動的に接続できます。
- カメラ内に記憶しているアクセスポイントが8件を超えると、最も長い間使われていない情報が上書きされます。
- MACアドレスが同じアクセスポイントの情報は、カメラでは上書きされて記憶されます。
- ご使用のルーター、アクセスポイントの操作については各機器の取扱説明書をお読みください。
- 撮影メニュー1の[リセット/カスタム設定](P.139)で[リセット]を[フル]で実行しても、アクセスポイントの情報はリセットされません。設定アップメニューの[Wi-Fi/Bluetooth設定](P.271)の[Wi-Fi/Bluetooth設定リセット]で行います。

■ カメラのWi-Fi機能をオンにする(Wi-Fi/Bluetooth設定)

ネットワークの設定の前にカメラのWi-Fi機能を有効にしておく必要があります。初期設定ではオンになっているので、そのときは必要ありません。P.260からお読みください。

1 **MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

2 **Y**セットアップメニューで**[Wi-Fi/Bluetooth設定]**を選択し、十字ボタンの**▷**を押します。



3 **△▽**ボタンで**[Wi-Fi/Bluetooth]**を選択し、**▷**ボタンを押します。



4 **△▽**ボタンで**[On]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

- **[Wi-Fi/Bluetooth設定]**の画面に戻ります。



5 **MENU**ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

■ 自動接続を使う(WPSで接続)

カメラとルーターまたはアクセスポイントのWPS機能を使って接続設定をします。

1 カメラの**MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

2 再生メニューで[(Wi-Fi)]**Wi-Fi接続**を選択し、十字ボタンの**▶**を押します。

- [(Wi-Fi)]**Wi-Fi接続**の画面が表示されます。
- セットアップメニューの**[Wi-Fi/Bluetooth設定]**で**[Wi-Fi/Bluetooth]**が**[On]**に設定されていないと、この項目は設定できません。

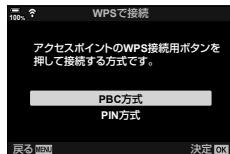
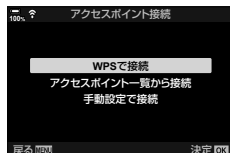
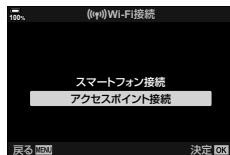
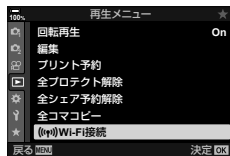
3 ボタンで**[アクセスポイント接続]**を選択し、ボタンを押します。

- **[アクセスポイント接続]**のメニューが表示されます。

4 ボタンで**[WPSで接続]**を選択し、ボタンを押します。

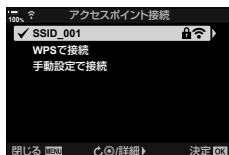
5 ボタンで設定に使う方式を選択し、ボタンを押します。

- **[PBC方式]**を選択したときは、アクセスポイントのWPS用ボタンを押してください。
- カメラのボタンを押すと接続を開始します。
- 接続開始してから完了までに時間がかかる場合があります。
- **[PIN方式]**を選択したときは、カメラのモニターに表示されるPINコードをアクセスポイントに設定してください。アクセスポイント側で準備ができれば、ボタンを押します。



6 アクセスポイントに接続ができれば、アクセスポイントの登録画面が表示され、接続しているアクセスポイントの名前に✔が表示されます。

- 事前に登録したパソコンが複数あるときは、アクセスポイントの一覧画面が表示される前に、接続するパソコンの選択画面が表示されます。△▽ボタンで接続するパソコンを選択してⓄボタンを押してください。
- 選択したパソコンからのみ、カメラと接続できます。別のパソコンを選択する場合は、一度Wi-Fi接続を切断してください。
- 接続に失敗するとモニターにメッセージが表示されたあと、手順5の画面が表示されます。もう一度操作を行ってください。



7 Ⓞボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- 通常の撮影画面に戻ります。モニターにWi-Fiアイコンが表示されます。



5

■ 手動で接続する(手動で接続)

ネットワークの情報を手動で設定します。以下の内容を設定します。

SSID	アクセスポイントのSSIDを入力します。
セキュリティ	ワイヤレスネットワークの暗号化の方式を選択します。
パスワード	暗号化されたワイヤレスネットワークに接続するためのパスワードを設定します。
IPアドレス割当	ネットワーク内のDHCPサーバーからのIPアドレスの自動取得を行うかどうかを設定します。
IPアドレス	カメラのIPアドレスを固定して使用するときに設定します。接続するネットワークの設定に合わせます。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS	

1 カメラの**MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

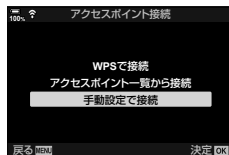
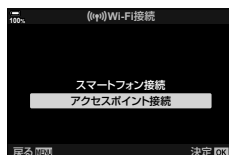
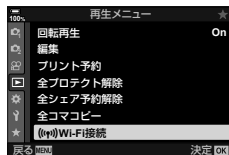
2 再生メニューで[[Wi-Fi接続]]を選択し、十字ボタンの \triangleright を押します。

- [[Wi-Fi接続]]の画面が表示されます。
- \uparrow セットアップメニューの[Wi-Fi/Bluetooth設定]で[Wi-Fi/Bluetooth]が[On]に設定されていないと、この項目は選択できません。

3 Δ ∇ ボタンで[アクセスポイント接続]を選択し、 \odot ボタンを押します。

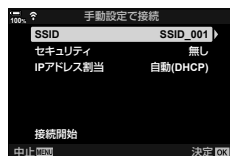
- [アクセスポイント接続]のメニューが表示されます。

4 Δ ∇ ボタンで[手動設定で接続]を選択し、 \odot ボタンを押します。



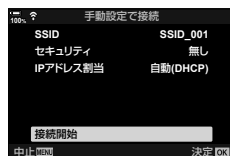
5 △▽ボタンで各項目を選択し、Ⓞボタンを押します。

- それぞれの項目の設定をします。



SSID	接続先のSSIDを入力します。
セキュリティ	暗号化の方式を選択します。【無し】か【WPA2】を選択します。
パスワード	【セキュリティ】で【WPA2】を選択した場合は、ネットワークパスワードを入力します。
IPアドレス割当	【自動(DHCP)】か【手動】かを選択します。IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントを使用している環境で、IPアドレスが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	【IPアドレス割当】で【手動】を選択した場合は、値を入力します。
DNS	

6 △▽ボタンで【接続開始】を選択し、Ⓞボタンを押します。




7 アクセスポイントに接続ができれば、アクセスポイントの登録画面が表示され、接続しているアクセスポイントの名前に✔が表示されます。

- 事前に登録したパソコンが複数あるときは、アクセスポイントの一覧画面が表示される前に、接続するパソコンの選択画面が表示されます。△▽ボタンで接続するパソコンを選択してⓄボタンを押してください。
- 選択したパソコンのみ、カメラと接続できます。別のパソコンを選択する場合は、一度Wi-Fi接続を切断してください。
- 接続に失敗するとモニターにメッセージが表示されたあと、手順6の画面が表示されます。もう一度操作を行ってください。



8 OK ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- 通常の撮影画面に戻ります。モニターに  が表示されます。




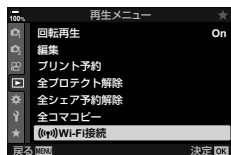
■ アクセスポイントを検索して接続する(アクセスポイント一覧から接続)

接続できるアクセスポイントをカメラが検索して、その中から選択して接続します。

1 カメラの**MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

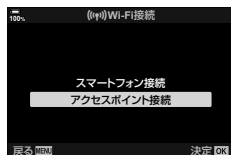
2 再生メニューで[(Wi-Fi)Wi-Fi接続]を選択し、十字ボタンの▷を押します。

- [(Wi-Fi)Wi-Fi接続]の画面が表示されます。
- セットアップメニューの[Wi-Fi/Bluetooth設定]で[Wi-Fi/Bluetooth]が[On]に設定されていないと、この項目は選択できません。



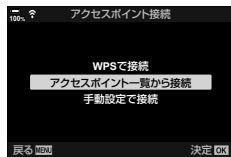
3 ボタンで[アクセスポイント接続]を選択し、OKボタンを押します。

- [アクセスポイント接続]のメニューが表示されます。






4 ボタンで[アクセスポイント一覧から接続]を選択し、OKボタンを押します。

- 接続できるアクセスポイントが表示されます。



5 ボタンで接続するアクセスポイントを選択し、OKボタンを押します。

- セキュリティパスワードが必要なアクセスポイントのときは、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して  ボタンを押します。
- アクセスポイントを選択して  ボタンを押すと、[詳細設定]が選択できます。IPアドレスなどを手動で設定する場合に使います。
-  ボタンを押すと、アクセスポイントを再検索して一覧を更新します。



6 アクセスポイントに接続ができれば、アクセスポイントの登録画面が表示され、接続しているアクセスポイントの名前に✔が表示されます。

- アクセスポイントが暗号化されているときは🔒が表示されます。
- 事前に登録したパソコンが複数あるときは、アクセスポイントの一覧画面が表示される前に、接続するパソコンの選択画面が表示されます。△▽ボタンで接続するパソコンを選択して、Ⓞボタンを押してください。
- 選択したパソコンのみ、カメラと接続できます。別のパソコンを選択する場合は、一度Wi-Fi接続を切断してください。
- 接続に失敗するとモニターにメッセージが表示されたあと、手順5の画面が表示されます。もう一度操作を行ってください。



7 Ⓞボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- 通常の撮影画面に戻ります。モニターに📶が表示されます。



📄 2回目以降に接続するときは

- [Wi-Fi] から[アクセスポイント接続]を選択すると、一度接続したアクセスポイントに自動的に接続されます。ネットワークパスワードの入力は不要です。
- アクセスポイントが複数表示されたときは、最近使用したアクセスポイントから優先して接続します。
- アクセスポイントに接続したら、アクセスポイントの一覧画面が表示されます。接続しているアクセスポイント名に✔が付きます。
- 他のアクセスポイントに接続する場合は、表示されているほかのアクセスポイントを選択してⓄボタンを押します。
- 接続するパソコンが複数登録されているときは、アクセスポイントの一覧画面が表示される前に選択画面が表示されます。△▽ボタンで接続するパソコンを選択して、Ⓞボタンを押します。

撮影しながらパソコンに画像を転送する

カメラと接続したネットワークのパソコンに撮影をしながら画像を転送します。「接続するパソコンをカメラに登録する(新規ペアリング)」(P.256)に従って、カメラとパソコンを接続しておきます。

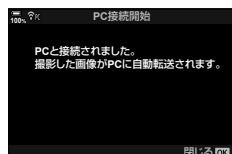
1 カメラを接続したいパソコンでOLYMPUS Captureを起動します。

- 接続方法を入力する画面が表示されたら、**【Wi-Fi接続】**をクリックします。
- カメラを認識すると画面に**【カメラが接続されました。】**と表示されます。



Wi-Fi接続

- カメラが正しくパソコンと接続できたら、カメラで右の画面が表示されます。



2 OLYMPUS Captureで、撮影画像の自動転送の設定をします。

- カメラのスロット1、2それぞれに記録される画像、またはムービーからどの種類のデータを自動転送するかを設定します。
- 転送されるデータのパソコン内での保存先を設定します。




OLYMPUS Captureの
コントロールウィンドウ

3 カメラで撮影をします。

- 撮影された画像はカードに記録されると共にパソコンへ転送されます。
- 画像転送中は、画面にアイコン(PC)が表示されます。
- パソコンと接続後に、撮影された画像やムービーのみ転送されます。カメラのWi-Fi起動前に撮影したデータは転送されません。

画像転送中




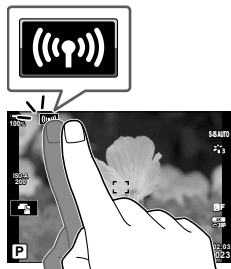
- アクセスポイント接続中は、以下の制限があります。
 - カメラはスリープ状態にはなりません。
 - インターバル撮影はできません。
 - 画像再生のときに使える操作に一部制限があります。
- パソコンやアクセスポイントから切断されたときは、**[PC接続終了]**の画面が表示されます。接続しなおすと、未転送のデータを転送できます。未転送のデータがあるときに以下の操作を行うと、残りのデータは転送されません。
 - カメラでWi-Fi切断の操作を行ったとき
 - カメラの電源をオフにしたとき
 - 転送中のカードスロットからカードを抜いたとき
- 未転送のデータは、1スロットにつき3000件まで保持されます。
- OLYMPUS Captureで**[カメラコントロールモードのカメラを検出できませんでした。]**と表示される場合は、以下の点をご確認ください。
 - カメラに接続するパソコンの登録ができていない
 - アクセスポイントに接続したときに、選択したパソコンが間違っている
 - WindowsOSのパソコンで、デバイスが登録されていない  「WindowsOSのパソコンで、Wi-Fiでパソコンと接続するための準備」(P.255)

アクセスポイントとの接続を終了する

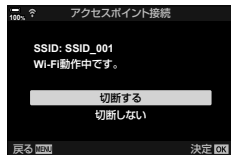
Wi-Fi通信を切断します。国や地域によっては使用できない場合もあるので、そのときは通信機能を停止してください。


■ 接続中の通信を停止する


1 カメラのモニター画面のにタッチします。






- 切断の確認画面が表示されます。
- 画面には、接続中のアクセスポイントのSSIDが表示されます。



2 十字ボタンの△▽で[切断する]を選択し、ボタンを押します。

- 接続が切断され撮影画面に戻ります。
- 転送が終わっていないデータがあるときは、確認画面が表示されます。切断するときは、[実行]を選択してボタンを押します。

3 再度、接続するときは、画面のにタッチするか、再生メニューの[[Wi-Fi接続]]で[アクセスポイント接続]を選択してボタンを押します。

- 登録済みのアクセスポイントと接続するときは自動的に検索して接続します。
- 他のアクセスポイントへ接続先を切り換えるときは、手順2で[切断しない]を選択してボタンを押します。「アクセスポイントを検索して接続する(アクセスポイント一覧から接続)」(P.264)の設定と同様に接続可能なアクセスポイントに表示されるの中から接続先を選択して各項目の設定をしてください。
- データ転送中にカメラの電源をオフにすると、Wi-Fi通信をすぐに切断して電源をオフにするか、データの転送後に電源をオフにするかを選べます。

■ Wi-Fi/Bluetooth®機能を停止する

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2 ȷセットアップメニューで[Wi-Fi/Bluetooth設定]を選択し、十字ボタンの▷を押します。

- [Wi-Fi/Bluetooth設定]の画面が表示されます。

3 △▽ボタンで[Wi-Fi/Bluetooth]を選択し、▷ボタンを押します。

4 △▽ボタンで[Off]を選択して、ⓧボタンを押します。



設定を変更する

カメラとスマートフォンのWi-Fi接続に使うパスワードの変更や、パソコンとのWi-Fi接続の設定のリセットをします。これらの設定は、カメラのリセット操作では、リセットできないので、この設定でリセットする必要があります。

パスワードを変更する (接続パスワード設定)

カメラとスマートフォンとのWi-FiやBluetooth®の接続のためのパスワードを再発行します。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2 Yセットアップメニューで[Wi-Fi/Bluetooth設定]を選択し、十字ボタンの▷を押します。

- [Wi-Fi/Bluetooth設定]の画面が表示されます。



3 △▽ボタンで[接続パスワード設定]を選択し、▷ボタンを押します。

- 画面にパスワードが表示されます。



4 ◎ (ムービー)ボタンを押します。

- ボタンを押すたびにパスワードが変更されます。
- Wi-Fi接続のパスワードとBluetooth®接続のパスコードの両方が変更されます。
- ◎ボタンを押すと、[接続パスワード設定]の画面を終了します。

5 再度OKボタンを押して[Wi-Fi/Bluetooth設定]の画面を終了します。

- MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。
- パスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください(P.244)。

Wi-Fi/Bluetooth®設定を初期化する (Wi-Fi/Bluetooth設定リセット)

Wi-FiやBluetooth®接続の設定をリセットします。アクセスポイントに関する設定やカメラと接続するパソコンの登録情報まで全てリセットされます。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2 Yセットアップメニューで[Wi-Fi/Bluetooth設定]を選択し、十字ボタンの▷を押します。

- [Wi-Fi/Bluetooth設定]の画面が表示されます。



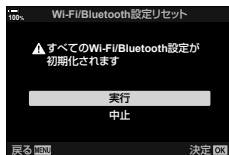
3 Δ▽ボタンで[Wi-Fi/Bluetooth設定リセット]を選択し、▷ボタンを押します。

- [Wi-Fi/Bluetooth設定リセット]の画面が表示されます。



4 Δ▽ボタンで[実行]を選択し、OKボタンを押します。

- 設定がリセットされて[Wi-Fi/Bluetooth設定]の画面に戻ります。
- Wi-Fi接続のパスワードとBluetooth®接続のパスワードもリセットされます。



5 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

パソコンと接続する(USB)

カメラとパソコンをUSBケーブルで直接接続します。

接続できるパソコンについて

付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続します。

- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン/工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン/自作パソコン
- 接続できるパソコンの環境は以下の通りです。

Windows : Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10

Mac : OS X v10.9 - v10.11, macOS v10.12 - v10.14

ソフトウェアのインストール

カメラとパソコンを直接USB接続して使うときには、以下のソフトウェアをインストールしてください。

OLYMPUS Capture

カメラで撮影しながら、撮影データをパソコンに自動的に転送して確認したり、パソコンからカメラのコントロールができます。ソフトウェアの詳細やダウンロードについては、以下をご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

<http://app.olympus-imaging.com/olympuscapture/>

画面の指示に従ってインストールしてください。ソフトウェアの動作環境、インストール方法は上記URLのホームページでご確認ください。

Olympus Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集、管理を行うためのアプリケーションソフトウェアです。Olympus Workspace (Ver1.1以降)のRAW編集で、カメラのエンジンを使って高速処理ができるようになりました。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては以下をご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

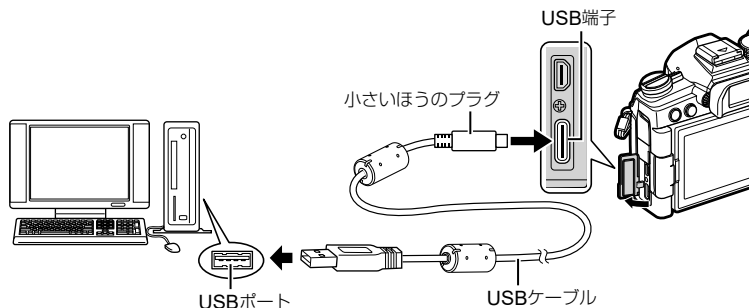
<https://support.olympus-imaging.com/owdownload/>

画面の指示に従ってインストールしてください。ソフトウェアの動作環境、インストール方法は上記URLのホームページでご確認ください。

撮影しながらパソコンに画像を転送する（コントロール）


カメラと直接USB接続したパソコンに、撮影をしながら画像を転送します。カメラで撮影するほかに、パソコンからカメラをコントロールしながら撮影することができます。



- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。



- USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 2 カメラの電源を入れます。

- カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 画面が表示されないときは、カスタムメニュー **D4**の【USB接続モード】（P.188）を【オート】に設定してください。
- 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

- 3 十字ボタンの△▽でコントロールを選択し、ボタンを押します。



- 4 あらかじめパソコンにインストールしたOLYMPUS Captureを起動します。


- 接続方法を入力する画面が表示されたら【USB接続】をクリックします。



USB接続

- 5 OLYMPUS Captureで画像の取り込み設定をします。
 - 転送されるデータのパソコン内での保存先を設定します。
- 6 カメラまたはパソコンを使って撮影をします。
 - 撮影された画像は、設定に従ってパソコンに転送されます。
 - パソコンからカメラの撮影モードの変更はできません。
 - パソコンからカード内の画像の削除はできません。
 - カメラとパソコンの両方でライブビュー表示をしているときは、カメラ側の表示のフレームレートが低くなる場合があります。
 - ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。
 - 以下の操作が行われたときは、パソコンとの接続状態は終了します。
 - OLYMPUS Captureを終了したとき
 - カードの抜き差しをしたとき
 - カメラの電源をオフにしたとき

カメラをパソコンに接続し高速にRAW編集する（□PC RAW）

- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。
- 2 カメラの電源を入れます。
 - カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
 - 画面が表示されないときは、**★**カスタムメニュー **D4**の[USB接続モード]（P.188）を[オート]に設定してください。
 - 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。
- 3 十字ボタンの△▽で[□PC RAW]を選択し、**OK**ボタンを押します。
 
 The image shows a camera's LCD screen with a menu titled 'USB'. The menu items are: 'ストレージ', 'MTP', '□PC RAW' (which is highlighted with a grey bar), 'コントロール', 'USB PD', and '終了'. At the bottom right of the screen, there is a '決定 OK' button.
- 4 あらかじめパソコンにインストールしたOlympus Workspaceを起動します。
 - [USB RAW 編集]アイコンをクリックします。
- 5 現像したい画像が入っている場所を選択します。
 - 接続したカメラに挿入しているSDカードまたは、パソコンのフォルダから選択することができます。
 - 選択した場所内のRAW画像のうち、接続中の機種で撮影された画像のみが選択可能です。
 - 場所を選択したら、[OK]をクリックします。

6 RAW編集をします。

- カメラで設定可能な撮影パラメータを変更してRAW編集が行えます。
- 保存フォーマットはJPEGとなります。
- USB RAW編集に移行した際は、これまでの編集ウィンドウで設定されていた編集内容は引き継がれません。
- 2台のカメラを同時に接続してUSB RAW編集をすることはできません。

パソコンに画像を取り込んで保存する (ストレージ / MTP)

カメラを外付けハードディスクなどと同じようにストレージとしてパソコンに接続します。カードのデータを転送できます。

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

2 カメラの電源を入れます。

- カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 画面が表示されないときは、★カスタムメニュー 04の[USB接続モード] (P.188) を[オート]に設定してください。
- 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

3 △▽を押して[ストレージ]または[MTP]を選択します。OKボタンを押します。

[ストレージ]: パソコンにカードリーダーとして接続します。

[MTP]: パソコンにポータブルデバイスとして接続します。



4 カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。

- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン /
工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン / 自作パソコン
- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- パソコンに認識されない場合は、一度USBケーブルを抜いてから、再度パソコンに接続してください。

USB外部電源を使う(USB PD)

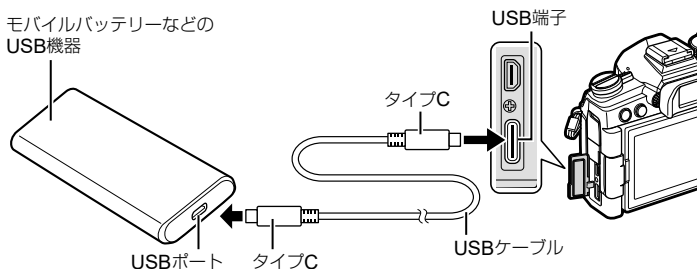
USB PD規格に準拠したモバイルバッテリーやUSB-ACアダプターなどのUSB機器から給電して、カメラを動作させることができます。以下の条件の機器が使用できます。

規格：USB PD規格準拠

出力：9V 3A、15V 2A、15V 3A

- 電池残量が10%以下のときは使用できません。
- 別売のパワーバッテリーホルダー (HLD-9)をカメラ本体に接続している状態では、USB機器によるカメラ本体への給電はできません(P.22)。

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとUSB機器をUSBケーブルで接続します。



- 付属品のUSBケーブル(CB-USB11)ではUSB給電(USB-PD)を利用できません。
- USB機器との接続方法は機器によって異なります。使用する機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB機器によってはUSB給電(USB-PD)を使用できない場合があります。使用するUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

2 カメラの電源を入れます。

- カメラのモニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 画面が表示されないときは、**★**カスタムメニュー **D4**の[USB接続モード] (P.188)を[オート]に設定してください。
- 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをUSB機器に接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

3 十字ボタンの△▽で[USB PD]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 接続したUSB機器からの給電でカメラが動作します。



外部モニター（テレビ）と接続する（HDMI）

カメラとテレビをHDMIケーブルで直接接続して、画像を表示できます。再生画像をテレビに表示して、大勢で楽しむことができます。テレビに接続しているときは、テレビのリモコンで表示の操作をすることもできます。特別なアプリは必要ありません。



ムービー撮影のためにHDMIケーブルで外部モニターやレコーダーと接続して使うこともできます。

- HDMIケーブルは、市販品を別途ご用意ください。また、HDMI正規認証のHDMIケーブルをお使いください。

カメラの画像やムービーをテレビで見る (HDMI)

カメラをハイビジョン対応のテレビにHDMIケーブルで直接接続して、画像をテレビに表示します。テレビに接続しているときは、リモコンで表示の操作をすることもできます。

■ HDMIの出力信号を設定する

テレビに出力する信号の設定をします。テレビの性能やお使いの地域に合わせてムービーサイズやフレームレートを設定できます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

出力サイズ	HDMI端子に出力する映像信号の形式を設定します。 [C4K]：4Kデジタルシネマ画質(4096×2160)で出力します。 [4K優先]：4K画質(3840×2160)優先で出力します。 [1080p優先]：フルハイビジョン形式(1080p)優先で出力します。 [720p優先]：ハイビジョン形式(720p)優先で出力します。 [480p/576p]：480p/576p形式で出力します。
HDMIコントロール	再生モードのとき、テレビのリモコンを使ってカメラの操作ができます(P.280)。 [Off] または [On] を選択します。 [On] に設定中は、再生以外のカメラ操作はできません。
出力フレームレート	NTSC地域(60p優先)かPAL地域(50p優先)に合わせて出力する信号のフレームレートを選択します。

- HDMI接続中に、**[HDMIコントロール]**および**[出力フレームレート]**の設定は変更できません。
- 記録されている音声フォーマットに対応している機器以外では、音声は再生されません。
- **[HDMIコントロール]**で対応可能な機能は、接続するテレビによって異なります。テレビの取扱説明書をご確認ください。

1 **MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

2 **★**カスタムメニュー **D4** (表示/音/接続)のメニューを表示します。



3 十字ボタンの△▽で**[HDMI]**を選択し、▷ボタンを押します。



- 4 △▽ボタンで設定する項目を選択し、▷ボタンを押します。



- 5 △▽ボタンで項目を選択し、Ⓚボタンを押します。
・必要に応じて手順4と5を繰り返します。

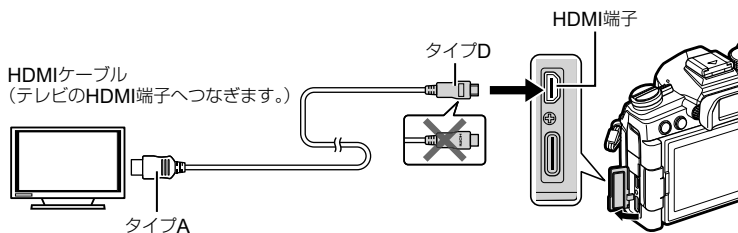


- 6 MENUボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

■ カメラをテレビに接続する

HDMIケーブルでカメラとテレビを接続します。

- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとテレビをHDMIケーブルで接続します。



- 2 テレビの入力を切り換えてカメラの電源を入れます。

- ・ テレビにカメラのモニターの映像が表示されます。撮影した画像を見るときは、▶ボタンを押します。
- ・ **[HDMIコントロール]** (P.280)が**[On]**のときは、HDMIケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。
- ・ テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- ・ テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- ・ パソコンとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。
- ・ 動画メニューで**[ⓀHDMI出力]** (P.162)の**[出力モード設定]**が**[記録モード]**のときは、設定されているムービー画質モードで出力します。設定されている画質モードにテレビが対応していない場合は、画像は表示されません。
- ・ 静止画撮影状態のときは信号形式を**[4K優先]**または**[C4K]**にしても、1080p優先で出力されます。

テレビのリモコンで操作する (HDMIコントロール)

カメラをテレビにHDMIケーブルで直接接続しているときは、リモコンで表示の操作をすることもできます。

- テレビがHDMIコントロールに対応している必要があります。テレビの取扱説明書をご確認ください。

On	再生モードのとき、テレビのリモコンを使ってカメラの操作ができます。[On]に設定されていると、再生以外のカメラ操作はできません。
Off	テレビのリモコンでカメラの操作はできません。情報表示は、テレビの画面にのみ表示されます。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2 **★**カスタムメニュー **D4** (表示/音/接続)で[HDMI]を選択し、十字ボタンの**▷**を押します。



3 **△▽**ボタンで[HDMIコントロール]を選択し、**▷**ボタンを押します。



4 **△▽**ボタンで[On]を選択し、**Ⓚ**ボタンを押します。



5 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

6 カメラとテレビをHDMIケーブルで接続します。

- テレビのリモコンを操作します。テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1コマ再生で、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては使用できない機能があります。
- テレビに表示中は、カメラのモニター表示は消灯します。

6 ご注意

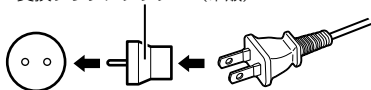
電池／充電器についてのご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使います。当社純正の充電電池以外は使えません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - パソコンとの接続時。
 - 無線LAN/Bluetooth[®]機能を有効にする。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に付属の充電器で充電を行ってください。
- 長期間(1ヶ月以上)カメラを使わない場合、カメラから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- 付属の充電器による充電電池の充電時間は、通常約2時間(目安)です。
- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。
- 指定以外の電池を使った場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「使用上のご注意」(P.322)に従って廃棄してください。

海外での使用について

- 充電器は、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター（市販）が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター（市販）は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

変換プラグアダプター（市販）



- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

6

ご注意

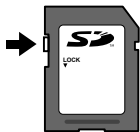
カードについて

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード（市販）です。使用できるカードの最新情報は当社ホームページをご確認ください。



SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



- 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている場合は、再生の一部の機能などで制限があります。

交換レンズについて

撮影シーン、目的に合わせてレンズを交換します。M.ZUIKO DIGITAL という商品名、または右のマークのついている「マイクロフォーサーズシステム専用」の交換レンズが使えます。



また、フォーサーズシステムのレンズやOMシステムのレンズを使うこともできます。その場合は別売のアダプターが必要です。

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- ほこりの多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けしないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

■ レンズとカメラの組み合わせ

レンズ	カメラ	装着	AF	測光
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	マイクロフォーサーズマウント規格カメラ	可	可	可
フォーサーズマウント規格レンズ		マウントアダプター装着で可	可*1	可
OMシステムレンズ		装着で可	不可	可*2

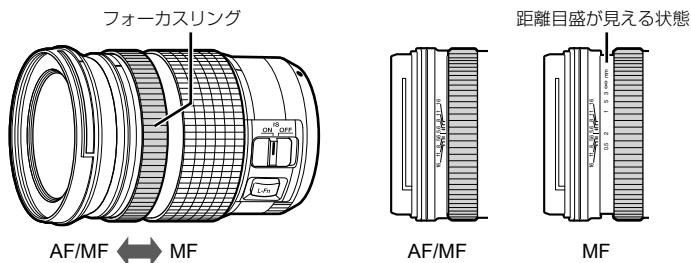
*1 星空AFやムービー撮影中のAFは動作しません。

*2 正確な測光はできません。

MFクラッチを搭載したレンズについて

MFクラッチ(マニュアルフォーカスクラッチ)機構を搭載したレンズでは、フォーカスリングの位置を変えることによって、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- お使いになる前に、フォーカスリングの状態を確認してください。
- フォーカスリングをAF/MFの位置(レンズ先端側)にするとオートフォーカスになり、MFの位置(カメラボディ側)にするとカメラのAF方式の設定に関わらずマニュアルフォーカスになります。



- ✳カスタムメニュー **M4** の【MFクラッチ】(P.182)を【無効】にした場合、フォーカスリングをMFの位置にしてもマニュアルフォーカス操作することはできません。

別売品を使う

専用外部フラッシュ

別売の専用外部フラッシュを使うとカメラでフラッシュの発光モードを設定して撮影することができます。フラッシュの機能や操作については、それぞれのフラッシュの取扱説明書をお読みください。

発光量やマクロ撮影など、目的に合わせて選べます。専用外部フラッシュは、カメラとの通信機能により、TTL-AUTO、スーパーFP発光など多彩な調光モードが使えます。カメラのホットシューに取り付ける以外にも、専用のブラケットケーブル(別売)とフラッシュブラケットを使って撮影することもできます。また、このカメラは以下のワイヤレスフラッシュシステムに対応しています。

電波通信ワイヤレスフラッシュ：CMD、 \downarrow CMD、RCV、X-RCVモード

電波通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。フラッシュの設置方法の自由度がひろがります。対応したフラッシュ同士または、電波コマンダー/レシーバーを使って非対応のフラッシュをコントロールすることもできます。

ワイヤレスRCフラッシュ：RCモード

光通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます(P.103)。

■ 専用フラッシュの機能比較

型名	調光モード	GN (ガイドナンバー) (ISO100時)	対応ワイヤレスシステム
FL-700WR	TTL-AUTO、MANUAL、 FP TTL AUTO、 FP MANUAL、MULTI、 RC、SL MANUAL	GN42 (75mm<150mm>*1時) GN21 (12mm<24mm>*1時)	CMD、 \downarrow CMD、RCV、 X-RCV、RC
FL-900R	TTL-AUTO、 AUTO、MANUAL、 FP TTL AUTO、	GN58 (100mm<200mm>*1時) GN27 (12mm<24mm>*1時)	RC
FL-600R	FP MANUAL、MULTI、 RC、SL AUTO、 SL MANUAL	GN36 (42.5mm<85mm>*1時) GN20 (12mm<24mm>*1時)	RC
STF-8	TTL-AUTO、 MANUAL、RC*2	GN8.5	RC*2
FL-LM3	カメラ設定による	GN9.1 (12mm<24mm>*1時)	RC*2

*1 カバーできるレンズ焦点距離(<>)の数値は35mmフィルムカメラ換算)

*2 コマンダー (発信側)としてのみ働きます。

ワイヤレスRCフラッシュ撮影

ワイヤレスRCフラッシュ対応の専用フラッシュを使うとワイヤレスフラッシュ撮影ができます。カメラに装着したフラッシュで他のフラッシュをリモート制御します。カメラに装着したフラッシュと3つのグループのフラッシュを別々に発光制御できます。カメラとリモート操作するフラッシュの双方をRCモードに設定する必要があります(P.285)。

■ RCモードの設定をする

1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定して、配置します。

- 専用外部フラッシュの電源を入れ**MODE**ボタンを押して、RCモードにします。
- 専用外部フラッシュのチャンネルとグループを設定します。

2 ☆カスタムメニュー **F** の[**RCモード撮影**] (P.191)を[On]にし、**OK**ボタンを押します。

- 撮影画面に戻ります。
- 画面に**RC**が表示されます。

3 **OK**ボタンを押します。

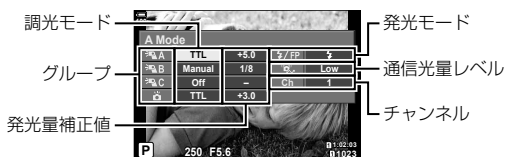
- RCモード用スーパーコンパネが表示されます。
- RCモードに設定されているときでも、**INFO**ボタンを押すと通常のスーパーコンパネを表示できます。表示は**INFO**ボタンを押すたびに切り換わります。



RCモード用
スーパーコンパネ

4 発光の設定をします。

- 十字ボタンの△▽◀▶で項目を選択し、フロントダイヤルで設定を選択します。



グループ	コントロールするグループを示しています。グループ別に同時に複数のフラッシュをコントロールできます。☑はカメラに装着したフラッシュの設定です。
調光モード	調光モードを選択します。
発光量補正值	発光量の補正值を選択します。発光モードをMANUALにしたときは発光量の選択をします。
通信光量レベル	通信をするためのフラッシュ光の強さを選択します。遠距離の場合は【HI】を選択します。全てのグループに共通の設定です。
発光モード/発光量	⚡(通常の発光)かFP(スーパーFP発光)かを選択します。スーパーFP発光では、同調速度以上のシャッター速度でもフラッシュが使用できます。全てのグループに共通の設定です。
チャンネル	通信に使用するチャンネルを選択します。周囲に光るものなどが混信するときは、チャンネルを変更してください。

5 カメラに装着したフラッシュの設定を【TTL AUTO】にします。

- FL-LM3をお使いのときは、カメラの設定のみです。

■ フラッシュを設置する

1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定します。

- 専用外部フラッシュの電源を入れ**MODE**ボタンを押して、RCモードに設定しておきます。
- 専用外部フラッシュで制御するグループを設定して、通信のチャンネルをカメラの設定と合わせます。

2 フラッシュを配置します。

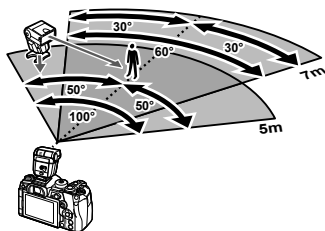
- ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。

3 カメラとフラッシュの充電完了を確認してから撮影します。

■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

図は設置範囲の目安です。カメラ側に装着したフラッシュや周辺環境により異なります。

FL-LM3装着時



- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台を推奨します。
- 4秒を超える後幕シンクロ撮影や低振動モードの場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 低振動撮影時および静音撮影時の撮影待ち時間は4秒に制限されます。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。カメラ側フラッシュをディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

市販のフラッシュについて

ホットシューか外部フラッシュ端子にシンクロコードを接続して使います。外部フラッシュ端子を使わないときは必ずキャップを取り付けてください。

市販のフラッシュをカメラのホットシューに接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。

- X端子に約250V以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 当社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。
- 撮影モードを**M**にして、シャッター速度をフラッシュの同調速度以下にして、**[ISO感度]**を**[AUTO]**以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラのISO感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は35mmフィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

主なアクセサリーについて

■ リモートケーブル(RM-CB2)

マクロ撮影やバルブ撮影時などでシャッターボタン押下げによるカメラの振動を避けたいときに使います。カメラのリモートケーブル端子(P.15)に接続して使用します。

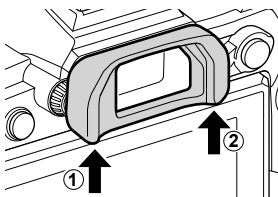
■ コンバーターレンズ

レンズに取り付けることで、手軽に魚眼撮影やマクロ撮影ができます。組み合わせ可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

■ アイカップ(EP-13)

大型のアイカップに交換することができます。

取り外し



システムチャート

電源



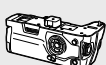
BLH-1
リチウムイオン電池



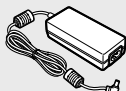
BCH-1
リチウムイオン
充電器



F-5AC
USB-ACアダプター

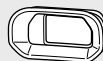


HLD-9
パワーバッテリー
ホルダー



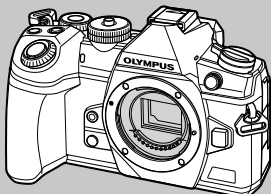
AC-5
ACアダプター

ファインダー



EP-13
アイカップ

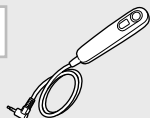
E-M1 Mark III



リモコン/レリーズ

RM-CB2

リモートケーブル



ケース/ストラップ

ショルダーストラップ/
カメラケース

接続ケーブル

USBケーブル/
HDMIケーブル*1

メモリーカード

SD/SDHC/
SDXC

ヘッドホン

マイク

ソフトウェア

Olympus Workspace
画像管理・編集ソフトウェア

□ : E-M1 Mark III対応製品

■ : 市販製品

最新情報は当社ホームページをご確認ください。

*1 HDMIケーブルは市販製品をお求めください。

*2 アダプターと組み合わせて使用できるレンズには制限があります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

*3 取り付け可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

レンズ



マイクロフォーサーズシステムレンズ群



MMF-2/MMF-3*2
フォーサーズアダプター



フォーサーズシステム
レンズ群

コンバーター レンズ*3

FCON-P01
フィッシュアイ

WCON-P01
ワイド

MCON-P01
マクロ

MCON-P02
マクロ

フラッシュ



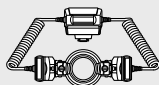
FL-LM3
エレクトロニックフラッシュ



FL-900R
エレクトロニックフラッシュ



FL-700WR
エレクトロニックフラッシュ



STF-8
マクロフラッシュ



FC-WR
電波式ワイヤレスコマンダー



FR-WR
電波式ワイヤレスレシーバー

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源をオフにして、電池を取り外します。

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使った場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- 市販のレンズブローアードでほこりを吹き払います。レンズはレンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カメラの保管

- 長期間、カメラを使わないときは、電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- ボディキャップ、リアキャップはゴミやほこりを落としてから装着してください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。また、必ず前後のレンズキャップを取り付けて保管してください。
- 使用後は清掃して保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確認してください。

撮像素子のクリーニングとチェック

このカメラは撮像素子にゴミが付着しない構造にするとともに、撮像素子前面に付着したゴミやほこりを超音波振動により、払い落とす機能を備えています(ダストリダクション機能)。ダストリダクション機能は、カメラの電源をオンにしたときに働きます。また撮像素子と画像処理回路のチェックを行うピクセルマッピングを動かせる際にも同時に作動します。カメラの電源をオンにするときはダストリダクションが働きますので、カメラをできるだけ正位置にしてください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

1 **★**カスタムメニュー **11**の[ピクセルマッピング] (P.196)を選択します。

2 十字ボタンの▷を押して、Ⓜ️ボタンを押します。

- ピクセルマッピング実行中の[処理中]バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。
- 誤って処理中にカメラの電源をオフにしてしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書に従ったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の製造打ち切り後、7年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間(製造打ち切り後7年間は目安に保有いたします)等に応じ、当社の判断で、本製品の修理または同等品への交換(製品交換)のいずれかにて対応させていただきます。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

こんなときは？

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

- 充電器で電池を充電してください。

低温下であり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラが自動的に電源オフになっていた

- 【低消費電力撮影】(P.197)を【On】にすると、設定した時間何も操作しないとスリープモードになります。シャッターボタンを半押しすると復帰します。
- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。🔋 ⚙️ カスタムメニュー ② 【スリープ時間】(P.196)
さらに、スリープモード中に設定した時間が経過するとカメラの電源がオフになります。🔋 ⚙️ カスタムメニュー ② 【自動電源Off】(P.197)

フラッシュが充電中である

- モニターの⚡マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待つてからシャッターボタンを押してください。

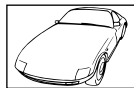
ピント合わせができなかった

- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません(モニターの合焦マークが点滅します)。被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

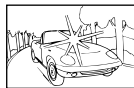
オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

合焦マーク点滅
このようなものには
ピントが合いません。



コントラストがはっきりしない被写体

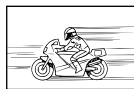


画面中央に極端に明るいものがある場合

合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。



遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの



被写体がAFターゲット内にはない

長秒時ノイズ低減が作動している

- ・夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。【長秒時ノイズ低減】は【Off】に設定することもできます。
☞ *カスタムメニュー 国 【長秒時ノイズ低減】 (P.190)

AFターゲットの数が少なくなった

【デジタルテレコン】 (P.141)、【アスペクト】 (P.96)、グループターゲット (P.67) の設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- ・お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。☞ 「初期設定をする」 (P.31)

カメラから電池を抜いていた

- ・電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります(当社試験条件による)。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

設定した機能が元に戻ってしまう

カスタムモード(C1～C4)を使用しているときに設定を変更しても、撮影モードを変更したりカメラの電源を切ると、登録されている設定内容に戻ります。☞撮影メニュー1の【リセット/カスタム設定】の【カスタム保持設定】を【保持する】にすると、カスタムモードを呼び出した状態で設定を変更したとき、変更した内容を自動で登録することができます。☞「カスタムモード呼び出し時に変更した設定を自動で登録する」 (P.55)

撮影した画像が全体的に白っぽい


逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。レンズフードを使って光源から直接レンズに光があたらないようにします。レンズフードでも効果が無い場合は手などをかざして光を遮ってみましょう。☞「交換レンズについて」 (P.283)

被写体でない明るい点が写り込む

撮像素子のドット抜けの可能性があります。【ピクセルマッピング】を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。☞「画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング」 (P.293)

メニューで選べない機能がある

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります。

- ・現在の撮影モードで設定できない項目の場合
- ・設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合
【】 (P.76)と【長秒時ノイズ低減】 (P.190)の組み合わせなど

被写体が歪んで写る

以下の機能では電子シャッターを使います。

ムービー撮影(P.57) / 静音撮影(P.79) / プロキャプチャー撮影(P.79) /
ハイレゾショット(P.81) / フォーカスブラケット撮影(P.146) /
深度合成(P.147) / ライブND撮影(P.157)

動きの速い被写体の撮影やカメラを激しく動かした撮影をすると画像に歪みが出ます。カメラを激しく動かした撮影は避けるか、通常の連写で撮影してください。











画像にすじが写る

電子シャッターを使った以下の機能では、蛍光灯やLED照明の光源下では、フリッカーなどにより画像にすじが写ることがあります。

ムービー撮影(P.57) / 静音撮影(P.79) / プロキャプチャー撮影(P.79) /
ハイレゾショット(P.81) / フォーカスブラケット撮影(P.146) /
深度合成(P.147) / ライブND撮影(P.157)

シャッター速度を遅くして撮影すると軽減できる場合があります。また、フリッカーキャン
ションを使って撮影すると軽減される場合があります。[設定] *カスタムメニュー [F2] [📷フリッ
カースキャン] (P.232)、[動画メニュー] [📷モード設定]の[📷フリッカーキャン]
(P.164)

エラーコード

モニター表示	原因	対処方法
 カードを認識できません	カードが入っていません。または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 ①このカードは使用できません	カードスロット1のカードに問題があります。	もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 ②このカードは使用できません	カードスロット2のカードに問題があります。	
 ①書き込み禁止になっています	カードスロット1のカードが書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください(P.282)。
 ②書き込み禁止になっています	カードスロット2のカードが書き込み禁止になっています。	
 ①撮影可能枚数が0です	カードスロット1のカードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。 ＊カスタムメニュー ④の【カードスロット設定】(P.235)で、【  記録設定】が【振り分け】、【同一書き込み】の場合は、設定を変更してください。
 ②撮影可能枚数が0です	カードスロット2のカードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	
 ①カード残量がありません	カードスロット1のカードに十分な空き容量がありません。	
 ②カード残量がありません	カードスロット2のカードに十分な空き容量がありません。	

モニター表示	原因	対処方法
 ①画像が記録されていません	カードスロット1のカードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。
 ②画像が記録されていません	カードスロット2のカードに記録画像がないため画像が再生できません。	
 ①この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。 それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 ②この画像は再生できません		
 ①この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
 ②この画像は編集できません		
日時を設定してください	日時が未設定です。	日時を設定してください(P.31)。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。	カメラの電源をオフにして、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。 しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。
		
 電池残量がありません	電池残量がありません。	充電してください。
 接続されていません	カメラがパソコンやHDMI機器に正しく接続されていません。	正しく接続しなおしてください。
ズームリングを回し 繰り出してください	沈胴式レンズの、レンズが沈胴したままになっています。	レンズを繰り出してください。
レンズの状態を確認してください	レンズとの間でエラーが発生しています。	カメラの電源をオフにして、レンズとの接続状態を確認してから電源を入れなおしてください。

機能と初期設定一覧

*1: [カスタム登録]が登録可能な機能

*3: [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

*2: [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能

LVコントロール / LVスーパーコンパネ

撮影モード	機能	初期設定	*1	*2	*3	👉
P/A/S/M/B	ISO感度	Auto	✓	✓	✓	73, 89
	フラッシュ		✓	✓	✓	84, 103
	フラッシュ補正	±0	✓	✓	✓	103
	マニュアル発光量	FULL (フラッシュを [MANUAL]に設定時)	✓	✓	✓	103
	手ぶれ補正	S-IS Auto	✓	✓	✓	95
	手ぶれ補正	M-IS	✓	✓	✓	95
	ホワイトバランス	Auto ([WBオート電球色残し]は [On])	✓	✓	✓	92
	WB補正A	±0	✓	✓	—	94
	WB補正G	±0	✓	✓	—	
	色温度	5400K ([WBモード]を[CWB] に設定時)	✓	✓	—	92
	AFターゲット選択	中央/シングル(1点)	✓	✓	✓	67
	AF方式	S-AF	✓	✓	✓	62, 89
	顔優先	顔優先Off	✓	✓	—	90
			✓	✓	✓	96
	測光		✓	✓	✓	75
	記録設定	標準	✓	✓	—	97
	画質モード	① F (ハイレゾショット設定時: F+RAW)	✓	✓	✓	98
		② F (ハイレゾショット設定時: F+RAW)	✓	✓	✓	
	画質モード		✓	✓	✓	99
	ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓	104
	シャープネス	±0	✓	✓	—	108
	コントラスト	±0	✓	✓	—	108
	彩度	±0	✓	✓	—	109
	階調	階調標準	✓	✓	—	109
効果	— ([ピクチャーモード] を[i-Finish]に設定時: Standard)	✓	✓	—	111	
フィルター効果	— ([ピクチャーモード]を[モノ トーン]に設定時: N:無し)	✓	✓	✓	110	
調色	— ([ピクチャーモード]を[モノ トーン]に設定時: N:無し)	✓	✓	✓	111	
アスペクト	4:3	✓	✓	✓	96	
カラー設定	sRGB	✓	✓	✓	112	

撮影モード	機能	初期設定	*1	*2	*3	
P/A/S/M/B	ハイライト&シャドウコントロール	<input checked="" type="checkbox"/> (±0)	✓	✓	✓	113
	ムービー録音	On	✓	✓	✓	167
(ムービー)	ISO感度	モード] (ムービー露出モード)を[P] / [A] / [S]に設定時: Auto (固定) モード] (ムービー露出モード)を[M]に設定時: 200	—	✓	✓	73, 89
	フラッシュ	発光禁止(固定)	—	—	—	—
	フラッシュ補正	±0 (固定)	—	—	—	—
	手ぶれ補正	S-IS Auto	✓	✓	✓	95
	手ぶれ補正	M-IS	✓	✓	✓	95
	ホワイトバランス	Auto ([WBオート電球色残し]は[On])	—	✓	✓	92
	WB補正A	±0	—	✓	—	94
	WB補正G	±0	—	✓	—	
	色温度	5400K ([WBモード]を[CWB]に設定時)	—	✓	—	92
	AFターゲット選択	中央/グループ(9点)	✓	✓	✓	67
	AF方式	C-AF	✓	✓	✓	62, 89
	顔優先	顔優先Off	✓	✓	—	90
	/	<input type="checkbox"/> (固定)	—	—	—	—
	測光	(固定)	—	—	—	—
	記録設定	標準	✓	✓	—	97
	画質モード	① F	✓	✓	✓	98
		② F	✓	✓	✓	
	画質モード	C4K	✓	✓	✓	99
	ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓	104
	シャープネス	±0	✓	✓	—	108
	コントラスト	±0	✓	✓	—	108
	彩度	±0	✓	✓	—	109
	階調	階調標準	✓	✓	—	109
アスペクト	16:9 (固定) [画質モード]をC4Kに設定時: 17:9	—	—	—	—	
カラー設定	sRGB (固定)	—	—	—	—	
ハイライト&シャドウコントロール	<input checked="" type="checkbox"/> (±0)	✓	✓	✓	113	
モード	P	—	✓	—	163	
ムービー録音	On	✓	✓	✓	167	

撮影モード	機能	初期設定	*1	*2	*3	
RCモード	A グループA	TTL	✓	✓	✓	286
	B グループB	Off	✓	✓	✓	
	C グループC	Off	✓	✓	✓	
	カメラ側フラッシュ	Off	✓	✓	✓	
	発光量補正值	±0 (TTL、Auto時)	✓	✓	✓	
	発光量	1/1 (Manual時)	✓	✓	✓	
	/FP	(通常発光)	✓	✓	✓	
	レベル	Low	✓	✓	✓	
チャンネル	1	✓	✓	✓		

撮影メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
	リセット/ カスタム設定	リセット	—	✓	—	55, 139	
		カスタム登録					撮影モード: P 画質モード: F+RAW
		カスタム保持設定					保持しない
		カスタム呼出					—
	ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓	104, 140	
	画質モード	F (ハイレゾショット 設定時: F+RAW)	✓	✓	✓	98, 140	
	アスペクト比設定	4:3	✓	✓	✓	96	
	デジタルテレコン	Off	✓	✓	✓	141	
		<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓	76	
	インターバル撮影設定	Off	—	✓	✓	142	
	コマ数	99					
	撮影開始待ち時間	00:00:01					
	撮影間隔	00:00:01					
	タイムラプス動画	Off					
	タイムラプス 動画設定	ムービー サイズ フルHD					
		フレーム レート 10fps					

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍
📷 2	ブラケット撮影		Off	✓	✓	✓	144, 145, 146
	AE BKT		3f 1.0EV				
	WB BKT	A-B	Off				
		G-M					
	FL BKT		Off				
	ISO BKT		Off				
	ART BKT		Off				
	Focus BKT		Off				
	深度合成		Off				
	撮影枚数		[深度合成]を[Off]に設定時：99 [深度合成]を[On]に設定時：8				
フォーカスステップ		5					
🔋充電待ち時間		0秒	✓	✓	—		
HDR撮影			Off	✓	✓	✓	150
多重露出撮影	コマ数		Off	—	✓	✓	152
	自動ゲイン補正		Off				
	再生画+多重		Off				
デジタルシフト撮影			Off	✓	✓	✓	154
低振動[◆]/ 静音[♥]撮影	低振動[◆]撮影		[◆]0秒	✓	✓	—	155
	静音[♥]撮影		[♥]0秒				
	静音[♥]長秒時ノイズ低減		Off				
	静音[♥]撮影時動作		—	✓	✓	—	
	電子音		禁止				
	AFイルミネーター		禁止				
フラッシュ		禁止					
ハイレゾ ショット	ハイレゾショット		📷0秒	✓	✓	—	156
	🔋充電待ち時間		0秒				
	撮影方法		手持ち				
ライブND撮影			Off	✓	✓	✓	157
ND段数		ND8 (3EV)	✓	✓	—		
LVシミュレーション		On	✓	✓	—		

動画メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍		
📷	📷モード設定	📷モード	P	—	✓	—	159, 163	
		📷フリッカースキャン	Off	—	✓	✓	159, 164	
📷	📷画質設定	📷画質モード	MOV📷4K 30p	✓	✓	✓	159, 165	
		📷MISOオート設定					73, 159	
		上限/基準設定	上限値：6400		✓	✓		✓
			基準値：200					
		📷MISOオート有効		Off	—	✓	—	
		📷高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓	159	
		📷WBモード	オート	—	✓	✓	92, 159	
		📷全WBモード補正	A±0、G±0	—	✓	—	94, 159	
		📷WBオート電球色残し	On	—	✓	✓	94, 159	
		📷ピクチャーモード	Off	✓	✓	—	104, 159	
📷AF/手ぶれ補正設定	📷AF方式	C-AF	✓	✓	✓	62, 89, 160		
	📷C-AF動作速度	±0	✓	✓	✓	160		
	📷C-AF追従感度	±0	✓	✓	✓	160		
	📷手ぶれ補正	M-IS📷	✓	✓	✓	95, 160		
	📷手ぶれ補正強度	±0	✓	✓	✓	160		

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍			
🔍	🔍 ボタンダイヤル/レバー					161			
	🔍 ボタン機能		露出補正	—	✓	—	114, 161		
			REC						
			ISO切換						
			AEL/AFL						
			ISO感度						
			[::]						
			[::] (電動ズーム)						
			[::] (WBモード)						
			ピーキング						
			拡大						
			ISO感度						
			AEL/AFL						
			ダイレクト機能						
			電動ズーム						
		WBモード							
		AF停止							
	🔍	ダイヤル機能	P レバー 1		: 露出補正	—	✓	—	161
					: 露出補正				
			レバー 2		:				
					:				
		A	レバー 1		: 露出補正	—	✓	—	
					: 絞り				
		レバー 2		:					
				:					
S		レバー 1		: 露出補正	—	✓	—		
				: シャッター速度					
		レバー 2		:					
				:					
M	レバー 1		: 絞り	—	✓	—			
			: シャッター速度						
	レバー 2		:						
			: ISO感度						
🔍	Fnレバー機能		mode2	—	✓	—	161		
	mode2		AF方式 / AFターゲット モード / AFターゲット 位置						
🔍	シャッターボタン機能			—	✓	—	161		
🔍	電動ズーム速度		標準	—	✓	—	161		

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍
🔍	🔍表示設定						162
	🔍Control表示		LVコントロール、 LVスーパーコンパネ	—	✓	—	
	🔍Info表示		カスタム表示1	—	✓	—	
	タイムコード 設定	タイムコードモード	DF	—	✓	—	
		カウントアップ方式	レックラン	—	✓	—	
		タイムコード値設定	0:00:00	—	✓	—	
	🔍残量表示		min	—	✓	—	
	🔍ビューアシスト		Off	—	✓	—	
	ムービー録音		On	✓	✓	✓	167
	録音レベル 調整	内蔵🔇	±0	—	✓	—	
		MIC🔇	±0	—	✓	—	
🔇入力ミッター		On	—	✓	—		
風切り音低減		Off	—	✓	—		
録音レート		48kHz/16bit	✓	✓	—		
🔇プラグインパワー		Off	—	✓	—		
ヘッドホン音量		8	✓	✓	—		
🔍HDMI出力	出力モード設定		モニターモード	—	✓	—	162
	RECトリガー		Off	✓	✓	—	
	タイムコード		On	✓	✓	—	

▶ 再生メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
▶	回転再生		On	✓	✓	✓	168	
	編集	画像選択	RAW編集	—	—	—	—	169
			JPEG編集	—	—	—	—	169
			ムービー編集	—	—	—	—	171
			録音	—	—	—	—	134
		画像合成	—	—	—	—	170	
	プリント予約		—	—	—	—	132	
	全プロテクト解除		—	—	—	—	173	
	全シェア予約解除		—	—	—	—	173	
	全コマコピー		—	—	—	—	173	
	📶Wi-Fi接続		—	—	—	—	245, 260, 262, 264	

① セットアップメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
①	カードセットアップ		—	—	—	—	175	
	日時設定	日時	—	—	—	—	31	
		タイムゾーン	—	—	—	—		
			English	—	—	—	33, 174	
	モニター調整		±0、 ±0、Natural	✓	✓	✓	174	
	撮影確認		Off	✓	✓	—	174	
	Wi-Fi/ Bluetooth設定	Wi-Fi/Bluetooth		On	—	✓	—	176, 244, 253, 269
		接続パスワード設定		—	—	—	—	176, 270
		バックグラウンド通信		Off	—	✓	—	176, 247
		RAW+JPEGシェア 予約		JPEG	—	✓	—	131, 176
		Wi-Fi/Bluetooth設定 リセット		—	—	—	—	176, 271
		Wi-Fi MACアドレス		—	—	—	—	176
バージョン		—	—	—	—	174		

7

資料

✳ カスタムメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
✳	AF/MF							
		AF方式	S-AF	✓	✓	✓	62, 89, 179	
		AF+MF		Off	✓	✓	✓	198
		AEL/AFL モード	S-AF	mode3	✓	✓	✓	179, 199
			C-AF	mode4				
			MF	mode3				
			AF	mode3				
	半押しAF		有効	✓	✓	✓		
	顔優先AF		: On : On	✓	✓	✓		
	AFスキャン		mode2	✓	✓	✓	179	
C-AF追従感度		±0	✓	✓	✓	201		
C-AF中央スタート		(オールターゲット)	✓	✓	✓	202		
C-AF中央優先		5点/9点/25点	✓	✓	✓	203		

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔊	
⚙️	A2	📷 [::]Mode表示設定	オール、スモール、グループ5点/9点/25点	✓	✓	✓	180	
		AFターゲット表示	On1	✓	✓	✓	180	
		[::]Home登録	AFターゲットモード(🔊)、AFターゲット位置	—	✓	✓	204	
		[::]選択画面設定	セット1	✓	✓	✓	205	
		🔄	[::]Mode変更					
		🔄	[::]Mode変更					
		↕	📍Pos変更					
		↕	📍Pos変更					
		[::]循環設定	[::]循環選択	Off	✓	✓	✓	206
			🔊経路	しない	✓	✓	✓	
	[::]ターゲットモード設定		1×1 / 縦横1Step	✓	✓	—	207	
	📷 [::]縦位置/横位置切換		Off	✓	✓	—	208	
	A3	AFターゲットパッド		Off	✓	✓	✓	181
		AFリミッター		Off	✓	✓	✓	181
		距離設定	セット1	✓	✓	✓		
		リリース優先	On	✓	✓	✓		
		AFイルミネーター		On	✓	✓	✓	181
		👤顔優先		Off	✓	✓	—	90, 181
	AF微調節*		Off	✓	✓	✓	181	
A4	星空AF設定		速度優先	✓	✓	✓	182	
	プリセットMF距離		999.9 m	✓	✓	✓	182	
	MFアシスト	拡大	Off	✓	✓	—	182,	
		ピーキング	Off	✓	✓	—	213	
	MFクラッチ		有効	✓	✓	✓	182	
	フォーカスリング		C	✓	✓	✓	182	
	BULB/TIME中MF		On	✓	✓	✓	182, 214	
	レンズリセット		On	✓	✓	✓	182	

* 記憶されている情報は、【リセット】(フル/標準)でも消去されません。

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3			
	ボタンダイヤルレバー								
	B1	ボタン機能		露出補正	✓	✓	—	114, 183	
				REC					
				切換					
				AEL/AFL					
				ISO感度					
				[::]					
				[::] (フラッシュ)					
				[::] (/☺)					
				ワンタッチWB					
				プレビュー					
				ISO感度					
				AEL/AFL					
				[::]					
				[::] (フラッシュ)					
		[::] (/☺)							
		AF停止							
		中央ボタン機能	Off	✓	✓	—	183, 215		
		方向キー機能	[::]	✓	✓	—	183, 215		
	ダイヤル機能	P	レバー 1	: 露出補正 : Ps	✓	✓	—	183	
			レバー 2	: ISO感度 : WBモード					
			A	レバー 1					: 露出補正 : 絞り
				レバー 2					: ISO感度 : WBモード
			S	レバー 1					: 露出補正 : シャッター速度
				レバー 2					: ISO感度 : WBモード
		M/B	レバー 1	: 絞り : シャッター速度					
			レバー 2	: 露出補正 : ISO感度					
		Menu	: ◀▶ : ◆/Value	—	✓	—			
			: コマ送り/戻し : Q						
ダイヤル方向		露出設定	ダイヤル1	✓	✓	—	183		
		Ps設定	ダイヤル1						

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
⚙️	B1	📷 Fnレバー機能	mode2	—	✓	—	183, 217	
		mode2	AF方式/AFターゲットモード/AFターゲット位置					
	Fnレバー /電源レバー		Fn	—	✓	—	183	
	B2	📷 電動ズーム速度	標準	✓	✓	—	183	
		▶️📷 ボタン機能	☑️	—	✓	—	183	
		🔒📷 ロック	Off	✓	✓	—	183	
🔒📷 ロック		Off	✓	✓	—	183		
レリーズ/連写/手ぶれ補正								
G1	レリーズ優先S		Off	✓	✓	✓	184	
	レリーズ優先C		On	✓	✓	✓	184	
	📷 L設定							184, 218
	📷 / 📷	連写速度	10fps	✓	✓	✓		
		枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		
	♥️📷	連写速度	18fps	✓	✓	✓		
		枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		
	Pro Cap	連写速度	18fps	✓	✓	✓		
		プリ連写枚数	8枚	✓	✓	✓		
		枚数リミッター	25枚	✓	✓	✓		
	📷 H設定							184, 218
	📷	連写速度	15fps	✓	✓	✓		
		枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		
	♥️📷	連写速度	60fps	✓	✓	✓		
		枚数リミッター	Off	✓	✓	✓		
	Pro Cap	連写速度	60fps	✓	✓	✓		
		プリ連写枚数	14枚	✓	✓	✓		
		枚数リミッター	25枚	✓	✓	✓		
	フリッカー低減	フリッカーレスLV	オート	✓	✓	—	184, 220	
		フリッカーレス撮影	Off	✓	✓	—		
C2	📷 手ぶれ補正		S-IS AUTO	✓	✓	✓	95, 184	
	連写中手ぶれ補正		連写速度優先	✓	✓	—	184	
	半押し中手ぶれ補正		On	—	✓	—	184	
	レンズ手ぶれ補正優先		Off	✓	✓	✓	184	

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
	D4	電子音	On	✓	✓	✓	188	
		HDMI	出力サイズ	1080p優先	—	✓	—	188, 228
			HDMIコントロール	Off	—	✓	—	
			出力フレームレート	60p優先	—	—	—	
	USB接続モード	オート	—	✓	✓	188		
露出/ISO/BULB/測光								
E1	露出ステップ		1/3EV	✓	✓	✓	189	
	ISO感度ステップ		1/3EV	✓	✓	✓	189	
	 ISOオート設定	上限/基準値設定	上限値：6400 基準値：200	✓	✓	✓	189	
		低速限界設定	オート	✓	✓	✓		
	 ISOオート有効		All	✓	✓	—	189	
	 高感度ノイズ低減		標準	✓	✓	✓	189	
	 低感度画像処理		連写優先	✓	✓	✓	189	
	長秒時ノイズ低減		オート	✓	✓	✓	190	
E2	BULB/TIMEリミッター		8分	✓	✓	✓	190	
	COMPリミッター		3時間	✓	✓	✓	190	
	BULB/TIME輝度設定		-7	✓	✓	—	190	
	ライブBULB設定		Off	✓	✓	—	190, 230	
	ライブTIME設定		0.5秒	✓	✓	—	190, 230	
	コンポジット撮影設定		1秒	✓	✓	—	52, 190, 231	
	 フリッカースキャン		Off	✓	✓	✓	190, 232	
E3	測光			✓	✓	✓	75, 191	
	AEL測光モード		オート	✓	✓	✓	191	
	[::]連動スポット測光		スポット/ スポットハイライト/ スポットシャドウ	✓	✓	✓	191	
	露出基準調整		±0	✓	✓	—	191	
			±0					
		±0						
フラッシュ								
F	 同調速度		1/250	✓	✓	✓	191, 234	
	 低速制限		1/60	✓	✓	✓	191, 234	
	 +  連動		Off	✓	✓	✓	191	
	 + WB連動		Off	✓	✓	—	191	
	 RCモード撮影		Off	✓	✓	✓	191, 286	

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
⚙️	画質/WB/色							
	G	画質設定		◀-1 : 🟩SF ◀-2 : 🟩F ◀-3 : 🟩N ◀-4 : 🟩N	✓	✓	✓	192, 234
		ピクセル サイズ	Middle	3200×2400	✓	✓	✓	192, 234
			Small	1280×960				
		シェーディング補正		Off	✓	✓	✓	192
		📷WBモード		オート	✓	✓	✓	92, 192
		📷全WBモード補正		A±0、G±0	✓	✓	—	192
		📷WBオート 電球色残し		On	✓	✓	✓	192
		カラー設定		sRGB	✓	✓	✓	112, 192
	記録/消去							
H1	カードスロ ット設定	📷記録設定	標準	✓	✓	—	97, 193, 235	
		📷記録スロット	①	✓	✓	—		
		📷記録スロット	①	✓	✓	—		
		▶スロット	①	✓	✓	—		
		記録フォルダ指定	指定しない	✓	✓	—		
	ファイルネーム		リセット	✓	✓	—	193	
	ファイルネーム編集		Off	✓	✓	—	193	
	dpi設定		350dpi	✓	✓	—	193	
	著作権情報*	著作権情報記録	Off	✓	✓	—	193	
		撮影者入力	—	—	—	—		
著作権者入力		—	—	—	—			
レンズ情報登録*		Off	—	✓	—	193, 237		
H2	ワンタッチ消去		Off	✓	✓	✓	194	
	RAW+JPEG消去		RAW+JPEG	✓	✓	✓	194	
	実行優先設定		中止優先	✓	✓	✓	194	
EVF								
I	EVF自動切換設定		On1	—	✓	—	194	
	EVF調整	EVF自動調光	On	✓	✓	—	194	
		EVF調整	🟩±0、🟩±0					
	EVF表示スタイル		スタイル3	—	✓	—	194, 238	
	📄Info表示設定		基本情報表示、カスタム表示1、カスタム表示2	✓	✓	—	194	
	EVFガイド線 表示設定	表示色	プリセット1	✓	✓	—	195	
		表示罫線選択	Off	✓	✓	—		
	📄半押し中水準器表示		On	✓	✓	—	195	
	OVFシミュレーション		Off	✓	✓	✓	195	

* 記憶されている情報は、[リセット]（フル/標準）でも消去されません。

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
	その他							
	J1	ピクセルマッピング		—	—	—	196, 293	
		ボタン長押し 時間調整	LV拡大枠/拡大表示	0.7秒	✓	✓	—	196
			LV拡大枠位置	0.7秒	✓	✓	—	
			 拡大枠	0.7秒	✓	✓	—	
			露出補正值	0.7秒	✓	✓	—	
			 設定値	0.7秒	✓	✓	—	
			 設定値	0.7秒	✓	✓	—	
			 設定値	0.7秒	✓	✓	—	
			AFターゲット位置	0.7秒	✓	✓	—	
			EVF自動切換設定	0.7秒	✓	✓	—	
			再生拡大枠/ 拡大表示	0.7秒	✓	✓	—	
			デジタルシフト	0.7秒	✓	✓	—	
			デジタルシフト 設定値	0.7秒	✓	✓	—	
			 ロック	0.7秒	✓	✓	—	
			BKT撮影	0.7秒	✓	✓	—	
		フリッカー スキャン	0.7秒	✓	✓	—		
		水準器調整	—	—	✓	—	196	
		タッチパネル設定	On	—	✓	—	196	
		メニューカーソル保持	記憶する	✓	✓	—	196	
		フィッシュアイ補正撮影	Off	✓	✓	—	196, 240	
	J2	電池設定	使用順序設定	PBH側優先	✓	✓	—	196
			ステータス表示	—	—	—	—	
		バックライト時間	Hold	✓	✓	✓	196	
		スリープ時間	1分	✓	✓	✓	196	
		自動電源Off	4時間	✓	✓	✓	197	
		低消費電力撮影	Off	✓	✓	—	197	
	バックライト時間	8秒	✓	✓	—			
	スリープ時間	10秒	✓	✓	—			
	認証マーク表示	—	—	—	—	197		

画質設定と記録枚数／記録時間

静止画撮影枚数

SDカード16GB、アスペクト比設定4:3の場合

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル 形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能 枚数	
80M F+RAW	(三脚) 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	(三脚) 約181.4	(三脚) 80	
	10368×7776	1/4	JPEG			
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI			
60M F+RAW	(三脚) 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	(三脚) 約168.2	(三脚) 87	
	(手持ち) 8160×6120					
	8160×6120	1/4	JPEG	(手持ち) 約121.3	(手持ち) 120	
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI			
25M F+RAW	(三脚) 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	(三脚) 約157.5	(三脚) 94	
	(手持ち) 8160×6120					
	5760×4320	1/4	JPEG	(手持ち) 約110.6	(手持ち) 133	
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI			
80M F	10368×7776	1/4	JPEG	約34.9	394	
60M F	8160×6120	1/4	JPEG	約21.7	634	
25M F	5760×4320	1/4	JPEG	約10.9	1261	
RAW	5184×3888	ロスレス圧縮	ORF	約21.7	690	
L SF		1/2.7	JPEG	約13.1	1054	
L F		1/4		約8.9	1550	
L N		1/8		約4.6	3013	
M SF	1/2.7	約5.1		2697		
M F	3200×2400	1/4	JPEG	約3.6	3906	
M N		1/8		約1.9	7397	
M SF	1920×1440	1/2.7		JPEG	約2.0	6975
M F		1/4			約1.4	9765
M N		1/8	約0.9		16836	

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル 形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能 枚数
■SF	1280×960	1/2.7	JPEG	約1.0	13562
■F		1/4		約0.8	18083
■N		1/8		約0.5	28721
■SF	1024×768	1/2.7		約0.8	18779
■F		1/4		約0.6	24413
■N		1/8		約0.3	61032

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は9999までです。

ムービー総記録時間


SDHCカード32GBの場合

ムービーサイズ	圧縮方式	フレームレート	最大録画可能時間
C4K	—	24p	約17分
4K	—	30p/25p/24p	約39分
FHD	A-I	30p/25p/24p	約20分
	SF	60p/50p/30p/25p/24p	約1時間14分
	F		約2時間2分
N	約3時間11分		
HD	A-I	60p/50p/30p/25p/24p	約39分
	SF		約2時間19分
	F		約3時間55分
	N		約5時間5分

- 設定可能な最大フレームレート時。フレームレートの組み合わせや撮影シーンによって、実際に記録されるビットレートは異なります。
- 動画1ファイルは4GBに制限されます。4GBを超えた場合、新しいファイルが作成され記録を続行します。
- 1回の撮影は最長29分に制限されます。

仕様

■ カメラ

型式	
型式	マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ
使用レンズ	M.ZUIKO DIGITAL・マイクロフォーサーズシステムレンズ
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント
35 mmフィルムカメラ 換算焦点距離	レンズ焦点距離の約2倍
撮像素子	
型式	4/3型Live MOSセンサー
総画素数	約2177万画素
カメラ部有効画素数	約2037万画素
画面サイズ	17.4 mm (H) × 13.0 mm (V)
アスペクト比	1.33 (4:3)
ファインダー	
形式	電子ビューファインダー、アイセンサー有り
画素数	約236万ドット
視野率	100%
アイポイント	約21 mm (-1m ⁻¹ 時)
ライブビュー	
センサー	Live MOSセンサー使用
視野率	100%
モニター	
型式	3.0 型TFTカラー液晶、可動式、タッチパネル
総画素数	約104万ドット(アスペクト比 3 : 2)
シャッター	
型式	電子制御式フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/8000 ~ 60秒、バルブ撮影、タイム撮影
フラッシュ同調速度	1/250秒以下
オートフォーカス	
型式	ハイスピードイメージャ AF
測距点	121点
測距点選択	自動選択・任意選択
露出制御	
測光方式	TTL測光方式(イメージャ測光) デジタルESP測光/中央重点平均測光/スポット測光
測光範囲	EV -2 ~ 20 (F2.8レンズ、ISO100相当)
撮影モード	P : プログラムAE (プログラムシフト可能) / A : 絞り優先AE / S : シャッター優先AE / M : マニュアル / B : バルブ(バルブ、タイム、 コンボジット) / C1~C4 : カスタムモード /  : ムービー
ISO感度	L64、L100、200 ~ 25600 (1/3、1ステップ)
露出補正	±5.0EV (1/3、1/2、1EVステップ)

ホワイトバランス	
設定方式	オート/プリセット(7種) / カスタムWB / ワンタッチWB (4件登録可)
記録	
記録媒体	SD / SDHC / SDXC UHS-II対応(スロット1のみ)
記録方式	デジタル記録、JPEG (DCF2.0)、RAWデータ
対応規格	Exif 2.3、DPOF
静止画音声	Waveフォーマットに準拠
ムービー	MPEG-4 AVC/H.264に準拠
音声	ステレオリニアPCM/16bit、サンプリング周波数48kHz ステレオリニアPCM/24bit、サンプリング周波数96kHz
再生	
表示形式	1コマ表示 / 拡大表示 / インデックス表示 / カレンダー表示
ドライブ関係	
ドライブモード	1コマ撮影/連写 / 低振動撮影 / 静音撮影 / プロキャプチャー / セルフタイマー / ハイレゾショット
連写性能	最高15コマ/秒(連写 $\frac{1}{2}$ 時) 最高60コマ/秒(静音 $\frac{1}{2}$ / プロキャプチャー $\frac{1}{2}$ 時)
セルフタイマー	12秒後撮影 / 2秒後撮影 / カスタム
省電力機能	スリープモード移行: 1分、電源OFF: 4時間 (カスタマイズ可)
外部フラッシュ	
調光方式	TTL-AUTO (TTLプリ発光式) / MANUAL
同調速度	1/250秒以下
無線LAN	
対応規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412-2472MHz (1~13ch) 5180-5320MHz (36/40/44/48/52/56/60/64ch) 5500-5700MHz (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/ 140ch)
Bluetooth®	
対応規格	Bluetooth Version 4.2 BLE
外部コネクタ	
USB端子(タイプC) / HDMIマイクロコネクタ(タイプD) / 外部フラッシュ端子 / リモートケーブル端子(ϕ 2.5ミニジャック) / マイク端子(ϕ 3.5ステレオミニジャック) / ヘッドホン端子(ϕ 3.5ステレオミニジャック)	
電源	
電池	リチウムイオン電池 1個
大きさ・質量	
大きさ	約134.1 mm (幅) × 90.9 mm (高さ) × 68.9 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約580 g (電池/カードを含む)
動作環境	
温度	-10℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)
湿度	30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)
防滴性能	保護等級1級(IPX1): 当社の防滴レンズと組み合わせたときに防滴性能を発揮します。

■ リチウムイオン電池

MODEL NO.	BLH-1
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	1720 mAh
充放電回数	約500回(使用する条件により異なります。)
使用周囲温度	0℃～40℃ (充電)
大きさ	約45 mm (幅)×20 mm (高さ)×53 mm (奥行き)
質量	約74 g

■ リチウムイオン充電器

MODEL NO.	BCH-1
定格入力	AC100 V～240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC8.4 V、1100 mA
充電時間	約2時間(常温)
使用周囲温度	0℃～40℃ (動作時) / -20℃～60℃ (保存時)
大きさ	約71 mm (幅)×29 mm (高さ)×96 mm (奥行き)
質量(電源コード含まず)	約85 g

- 付属の電源コードは本機専用のケーブルですので他の機器に使用しないでください。また、他の機器のケーブルをこのカメラに使用しないでください。

- 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

8 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この内容をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⚠ 危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高压容器で加熱しない
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
- 端子を金属類で接続しない
- 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 高温になる場所で使用・放置しない
直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

充電器が、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- 充電器を布などで覆った状態で使用しない
- 充電器を分解・改造しない
- 充電器は指定の電源電圧で使用する

⚠ 警告

製品の取扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- ファインダーでの撮影時は、定期的に休憩をとる
目の疲労や気分が悪くなったり、乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。
必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。

疲労感、不快感などの異常を感じたときには、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

- フラッシュやLED (AFイルミネーター含む) を人(特に乳幼児)に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供の手の届く場所に放置しない
以下のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器以外は使用しない
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

- 通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない

充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- 水や海水などの液体で濡らさない
- 濡れた手で触ったり持ったりしない
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 膨れた電池を無理に機器に取り付けない
発熱、破裂、発火の原因となります。
- 落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 充電器や機器に接続時、無理に接続しない
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高压容器などに入れない
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない
発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
- 液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける
火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 発熱、発火、爆発の可能性があるため、低温環境下でリチウムイオン電池を使用しないでください。

充電器の取扱いについて

- コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持つ
電源プラグを持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線LAN / Bluetooth®機能について

- 心臓ペースメーカーを装着している方から15cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。必ず無線LAN / Bluetooth®機能もオフにしてください(P.253, 269)。
- 航空機内では電源を切る
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。必ず無線LAN / Bluetooth®機能もオフにしてください(P.253, 269)。
- 付近のレーダーシステムの動作に影響を与えないように使用する

⚠ 注意

製品の取扱いについて

- 臭異、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け屋外で行ってください。)
- 濡れた手でカメラを操作しない
故障・感電の原因となることがあります。

- カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- 長期間保管する場合は、涼しいところに保管してください。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 当社製リチウムイオン充電電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

充電器の取扱いについて

- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。

電源コードの取扱いについて

- 付属の電源コードは、本製品専用のコードですので、他の機器に使用しないでください。また、他の機器のコードを本製品に使用しないでください。

交換レンズの取り扱いについて

- レンズまたは光学ビューファインダー(外付け)で直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害を起こすことがあります。
- 使用しないときはレンズキャップを付けて保管する
太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。

以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。


- 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
- 砂、ほこり、ちりの多い場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起すことがあります。
- ファインダーを直射日光や強い光源に向けて放置しないでください。焼きつきを起すことがあります。
- カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。
ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。
使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- SD/SDHC/SDXCカード以外は、絶対にカメラに入れないでください。

その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

- 大切なデータは万一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- 水につけたり水をかけたりしないでください。
- 落下したり強い力を加えないでください。
- 各カバーの開け閉めや電池の交換時は、本機の水分を十分拭き取ってから行ってください。
- レンズの可動部で保持しないでください。
- レンズ面に直接触れないでください。
- 電気回路接点部に直接触れないでください。
- 急激な温度変化をかけないでください。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。

以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。

- ズーム動作を繰り返す。
- 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
- 長時間、モニターで画像を表示する。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起す原因となります。
充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。

- 一般に電池は低温になるに従って一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
 - 海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
 - 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄りの充電式電池リサイクル協力店をお持ちください。
 - 詳しくは一般社団法人JBRC ホームページ(<https://www.jbrc.com>)をご覧ください。
- 

Li-ion
- モニターは強く押さないでください。
画面上にじみが残ったり、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定省電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

無線LAN機能

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS/OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m以下です。

2.4DS/OF4

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

W52

W53

W56

Bluetooth®機能

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するその他変調方式を採用しており、与干渉距離は、10 m以下です。

2.4 XX 1

無線LAN/Bluetooth®機能の使用について

本製品を購入した地域以外での無線LAN/Bluetooth®機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任は負えません。

電波法令により、W52、W53の帯域を利用した無線LAN機能の屋外使用は禁止されています。W52、W53を利用した無線LAN機能は屋内でのみご使用ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。本装置は、VCCI協会の運用規程に基づく技術基準に適合した文言、又はマークを画面に電子的に表示していません。表示の操作方法は、取扱説明書の【認証マーク表示】(P.197)に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、ACアダプター（ACアダプター対応機種のみ）は、必ず、当製品指定のものをお使いください。

指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Mac, OS X, macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

ApicalロゴはApical Limitedの登録商標です。



Micro Four Thirds / Four ThirdsおよびMicro Four Thirds / Four Thirdsロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、オリンパス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、以下のURLのウェブサイトに必要な応じて準備されたsoftware notice PDFファイル内に見出すことができます。

<http://www.olympus.co.jp/en/support/imgsdigicamera/download/notice/notice.cfm>

9 ファームアップによる追加・変更

カメラのファームウェアのアップデートにより、以下の機能が追加・変更されます。

ファームウェア Ver1.2の追加・変更機能	🔍
動画RAWデータ出力	326
マニュアルフォーカス時のフォーカス距離指標表示	328
SET機能/CALL機能を搭載しているレンズ装着時のモニター表示	328
初期設定	329

ファームウェア Ver1.2の追加・変更機能

動画RAWデータ出力

動画メニュー（MENU → 🔍 → [🔍HDMI出力] → [出力モード設定]）で[RAWモード]が追加されました。

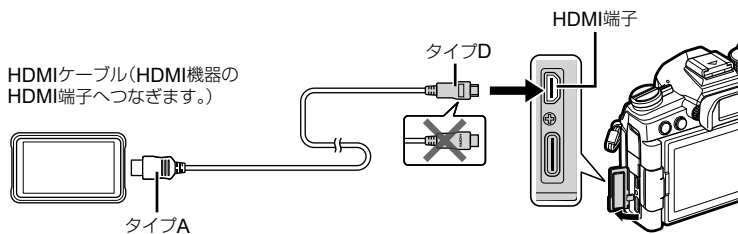
メニュー項目	説明	🔍
🔍HDMI出力	本機と外部機器をHDMI接続してムービーを撮影するときの出力設定を行います。	—
出力モード設定	<p>出力映像モードを設定します。【モニターモード】を設定すると、映像とカメラの情報を出力します。このときカメラ側には情報表示されません。</p> <p>【記録モード】を設定すると、映像のみを出力します。このときカメラ側には情報表示されます。</p> <p>【RAWモード】を設定すると、対応するHDMI接続機器に映像をRAW形式で出力します。カメラ内のカードには記録されません。画像サイズや音声の設定はカメラの設定に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【RAWモード】に対応するHDMI接続機器については、当社ホームページをご覧ください。 【RAWモード】を設定すると、露出補正やホワイトバランスなどの撮影の設定が反映されていない未加工の状態のデータを記録できます。 【RAWモード】で出力中は、カメラのモニターにHDMIが表示されます。 	—



メニュー項目	説明	🔒
出力モード設定	<ul style="list-style-type: none"> • [RAWモード]で出力中の映像は、カメラのモニターには表示されません。映像はHDMI接続機器のモニターでご確認ください。 • [RAWモード]で出力した映像の記録フォーマットはProResRAWです。 • [RAWモード]を設定し、対応するHDMI接続機器に映像を出力するとき、[🔍ピクチャーモード]は[On]に、[ピクチャーモード]は[🔍OM-Log400]に設定されます。 • [RAWモード]設定時は、以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> - [🔍画質モード]：[C4K]または[4K]のみ設定できます。ハイスピードムービー撮影とスロー/クイック撮影はできません。 - [🔍手ぶれ補正]：[M-IS Off]または[M-IS2]のみ設定できます。 - [デジタルテレコン]は[Off]に設定されます。 - フォーサーズレンズ装着時の[🔍AF方式]：[MF]または[PreMF]のみ設定できます。 	—

■ カメラとHDMI機器を接続する


HDMIケーブルでカメラとHDMI機器を接続します。



- HDMI機器の設定については、ご使用のHDMI機器の取扱説明書をご覧ください。

マニュアルフォーカス時のフォーカス距離指標表示

カスタムメニュー (MENU → * → A4 → [MFアシスト]) で [フォーカス距離指標] が追加されました。

拡大	画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめAFターゲットで決めることができます。☞ [ピント合わせの位置を自分で決める (AFターゲット位置)] (P.70)
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。☞ * カスタムメニュー D3 [ピーキング表示] (P.187)
フォーカス距離指標	マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回すと、フォーカスの移動方向や位置の目安を表示し、ピント合わせを補助します。 

- フォーカスクラッチ機構を搭載した他社レンズでは、ピントの移動方向とフォーカス距離指標の表示が反対になる場合があります。その場合は [フォーカスリング] (P.182) の設定を変更してください。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカス距離指標は表示されません。

SET機能/CALL機能を搭載しているレンズ装着時のモニター表示

SET機能でピント位置を記憶したときに **SET●** が、CALL機能でピント位置を呼び出したときに **CALL●** がカメラのモニターに表示されます。

SET機能/CALL機能の詳細については、ご使用のレンズの取扱説明書をご覧ください。



初期設定

新機能の初期設定および初期設定が変更された機能は以下の通りです。

*1：[カスタム登録]が登録可能な機能

*2：[リセット]（フル）で初期設定に戻る機能

*3：[リセット]（標準）で初期設定に戻る機能

※ カスタムメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
✳	A4	MFアシスト	拡大	Off	✓	✓	—
			ピーキング	Off	✓	✓	—
			フォーカス距離 指標	Off	✓	✓	—



索引

アイコン

ボタン機能.....	183
Info	185, 225
Info	185, 224
RCモード.....	286
+WB連動	191
低速制限	234
同調速度.....	234
/Info表示設定	185, 224
(インデックス再生/ カレンダー再生).....	127, 135, 226
/ (ドライブ).....	76, 96
/Info表示設定.....	185
H設定.....	184, 218
L設定	184, 218
[::]Mode表示設定	67, 69, 180
[::]縦位置/横位置切換	208
(1コマ消去).....	130
[::]Home登録	180, 204
[::]循環設定.....	206
[::]選択画面設定	205
[::]連動スポット測光.....	191
(言語切り換え).....	33, 174
(カメラコントロール).....	256, 273
(画像選択).....	131
ロック.....	183
(顔優先AF).....	90, 181
顔優先設定	120
Q (クローズアップ再生).....	127
Info表示設定.....	194
半押し中水準器表示.....	195
[::]ターゲットモード設定.....	207
+WB連動.....	191
中央ボタン機能.....	215
方向キー機能.....	215
ロック.....	183
AF	62
PC RAW	229, 274

英数

A (絞り優先撮影).....	44
ACアダプター.....	23
AdobeRGB	112
AEL/AFLモード.....	199
AEL測光モード.....	191
AEロック	75, 199
AF+MF.....	198
AFイルミネーター (AF補助光).....	181
AFスキャン.....	179
AFターゲット位置.....	70
AFターゲット選択.....	67, 70
AFターゲットパッド.....	181
AFターゲット表示.....	180
AFターゲットモード.....	67
AF微調節	181, 210
AF方式 静止画.....	62, 89
ムービー.....	160
AFリミッター	209
ART (アートフィルター).....	104
BKT (ブラケット撮影).....	144
Bluetooth [®] 接続.....	244, 271
BULB.....	50
BULB/TIME輝度設定.....	190
BULB/TIME中MF	182, 214
BULB/TIMEリミッター.....	190
C-AF	62
C-AF+TR.....	62
C-AF中央スタート.....	180, 202
C-AF中央優先.....	180, 203
C-AF追従感度.....	179, 201
COMPリミッター.....	190
Control表示 静止画.....	185, 222
ムービー.....	162
dpi設定	193
DPOF.....	132
EVFガイド線表示設定	195

EVF自動切換設定	194	OLYMPUS Capture	254, 266, 272
EVF調整	194	Olympus Workspace	272
EVF表示スタイル	238	OVFシミュレーション	195
Exif情報	193	P (プログラム撮影)	42
Fnレバー機能		PreMF	62
静止画	217	Ps (プログラムシフト)	43
ムービー	161	RAW	98
Fnレバー/電源レバー	183	RAW+JPEG消去	130, 194
GPSログ	252	RAW+JPEGシェア予約	131, 176
HDMI	188, 228, 277, 278	RAW編集	168
HDMIコントロール	280	RCモード(⚡RCモード撮影)	286
HDMI出力	162	S (シャッター優先撮影)	46
HDR撮影	150	S-AF	62
Home登録([:]:Home登録)	180, 204	SDカード	282
INFO	37, 125, 223, 224	フォーマット(初期化)	175
Info表示設定		sRGB	112
 /Info表示設定	185, 224	TIME	50
 Info表示設定	194	USB PD	276
ISOオート設定		USB接続	20, 272, 276
静止画	73, 189	USB接続モード	188
ムービー	159	WBオート電球色残し	
ISOオート有効		静止画	92, 94
静止画	189	ムービー	159
ムービー	73, 159	WBモード	
ISO感度	73, 89	静止画	92
ISO感度ステップ	189	ムービー	159
LIVE BULB	50, 230	Wi-Fi/Bluetooth設定	176, 244, 259
LIVE TIME	50, 230	Wi-Fi/Bluetooth設定リセット	271
LV-Info	185, 225	Wi-Fi接続	243, 258
LV OFF-Info	185, 225		
LV拡大設定	186	あ	
LVコントロール	222, 223	アートLVモード	186
LVスーパーコンパネ	86, 88	アートフィルター	104
LVブースト	186	アイカップ	289
M (マニュアル撮影)	48	アクセサリ	289
MFアシスト	213	アスペクト比設定	96
MF切換	116	圧縮率	98, 192, 234, 314
MFクラッチ	182, 284	アプリ	243
MF (マニュアルフォーカス)	62, 198	位置情報	242, 252
OI.Palette	243	インストール	243, 254
OI.Share	243	インターバル撮影	142
OI.Track	243	インターバル撮影設定	142

インデックス再生	127, 135, 226
音声録音	
静止画	134
ムービー	167

か

カード	24, 97, 235, 282
カードスロット	25
カードスロット設定	235
カードセットアップ	175
階調	109
回転	128
回転再生	168
ガイド線表示設定	187
顔優先AF	90, 199
顔優先設定	120
拡大枠AF	71
画質設定	234
静止画	192
ムービー	159, 165
画質モード	
静止画	98, 140
ムービー	99, 165
カスタムセルフタイマー	78
カスタム登録	54, 140
カスタムメニュー	179, 306
カスタムモード(C1/C2/C3/C4)	54
カスタム呼出	56
画像合成	170
画像サイズ	98, 192, 234, 314
画像転送	249, 266
画像編集	168
カメラコントロール	273
画面表示	34
再生時	124
カラークリエーター	106
カラー設定	112, 192
カレンダー再生	127, 135, 226
記録スロット	235
記録設定	97, 235
記録フォルダ指定	236
クイック撮影	102

クローズアップ再生	127
ケーブルクリップ	17
言語切り換え	33, 174
言語設定(●●)	31, 33, 174
効果	111
高感度ノイズ低減	
静止画	189
ムービー	159
交換レンズ	283
合焦音(電子音)	188
コピー	
1コマコピー	129
全コマコピー	173
コンティニユアスAF	62
コントラスト	108
コンボジット撮影設定	52, 231

さ

再生	
静止画	126
ムービー	126, 128
再生拡大倍率設定	227
再生スロット	235
再生メニュー	168, 305
彩度	109
撮影	
静止画	39
ムービー	57
撮影確認	174
撮影可能枚数	314
撮影メニュー	139, 301
撮影モード	39
シェア予約	130
シェーディング補正	192
実行優先設定	194
自動電源Off	197
視度調整	36
自分撮りアシスト	227
絞り優先撮影(A 絞り優先撮影)	44
シャープネス	108
シャッター優先撮影 (S シャッター優先撮影)	46

充電	18, 20
消去	
1コマ消去	130
全コマ消去	175
選択コマ消去	131
初期化	175
シングルAF	62
深度合成	147
水準器	38
水準器調整	196
水準器表示	118
スーパーコンパネ	86, 88, 299
スーパースポットAF (拡大枠AF)	71
ストレージ	275
スリープ時間	30, 196
スロー撮影	102
静音撮影	79, 155
静音操作	59
静止画切り出し	171
接続	
スマートフォン	243
パソコン	254, 272
セットアップメニュー	174, 306
セルフタイマー	76, 78, 96
全WBモード補正	94
静止画	192
ムービー	159
全シェア予約解除	173
全プロテクト解除	173
専用フラッシュ	285
測光	75, 90
ソフトウェア	254

た

タイムコード設定	162
タイム撮影	50
タイムラプス動画	142
ダイヤル機能	
静止画	216
ムービー	161, 166
ダイヤル方向	183
多重露出撮影	152

タッチAF	41
タッチパネル	41, 135
タッチパネル設定	196
縦横比設定(アスペクト比設定)	96
試し撮り撮影	116
中央ボタン機能	215
長時間露出(BULB/TIME)	50
調色	111
長秒時ノイズ低減	190
著作権情報	193
追尾AF	62
低感度画像処理	189
低消費電力撮影	197
低振動撮影	78, 155
低速制限	191, 234
デジタルシフト撮影	154
デジタルテレコン	141
手ぶれ補正	95
テレビ	228, 277
電源スイッチ	30, 183
電源レバー	30, 183
電子音	188
電池残量表示	30
電池設定	196
電動ズーム	119
電動ズーム速度	
静止画	183
ムービー	161
動画メニュー	159, 303
同調速度	191, 234
トリミング	
静止画	169
ムービー	172

な

日時設定	31, 174
認証マーク表示	197

は

バージョン	174
パートカラー	107
ハイダイナミックレンジ(HDR)撮影	150

ハイライト&シャドウコントロール.....	113
ハイレゾショット.....	81, 156
バックグラウンド通信.....	247
バックライト時間.....	196
バルブ撮影.....	50
パワーバッテリーホルダー.....	22
半押し中水準器表示.....	195
半押し中手ぶれ補正.....	184
ピーキング.....	118, 213
ピーキング表示.....	187
ピクセルサイズ.....	192, 234, 314
ピクセルマッピング.....	293
ピクチャーモード.....	104, 140
ピクチャーモード表示.....	185
ヒストグラム警告設定.....	187
ヒストグラム表示.....	37, 224
ビットレート.....	100, 165
瞳優先AF.....	90
ファイル形式.....	98, 314
ファイルサイズ.....	314
ファイルネーム.....	193
ファイルネーム編集.....	193
フィッシュアイ補正撮影.....	240
フィルター効果.....	110
フォーカスモード(AF方式).....	62, 89
フォーカスリング.....	182
フォーカスリングロック.....	120
フォーマット.....	175
ブラケット撮影.....	144
フラッシュ.....	82, 285
フラッシュ低速制限.....	191, 234
フラッシュ同調速度.....	191, 234
フラッシュ補正.....	103
プリセットMF.....	62, 65, 119
プリセットMF距離.....	182
フリッカーキャン	
静止画.....	232
ムービー.....	164
フリッカー低減.....	184, 220
フリッカーレスLV.....	220
フリッカーレス撮影.....	221

フレームレート	
静止画.....	186
ムービー.....	100, 165, 315
プレビュー.....	115
プレビュー設定.....	187
プロキャプチャー撮影.....	79
プログラム撮影(Pプログラム撮影).....	42
プログラムシフト.....	43
方向キー機能.....	215
保護(プロテクト).....	129
星空AF.....	62
星空AF設定.....	182
補助光(AFイルミネーター).....	181
ボタン機能.....	114
静止画.....	183
ムービー.....	161
ボタン長押し時間調整.....	196
ホワイトバランス.....	92
ホワイトバランス補正.....	94
本体充電.....	20

ま

マイメニュー.....	177
マニュアル撮影(Mマニュアル撮影).....	48
マニュアルフォーカス(MF).....	62
マニュアルフォーカスクラッチ (MFクラッチ).....	284
マルチFn.....	122
マルチFn表示設定.....	185
マルチファンクション.....	122
ムービーサイズ.....	100, 165, 315
ムービー再生.....	126, 128
ムービー撮影.....	57
ムービーテレコン.....	121, 123
ムービー録音.....	167
ムービー露出モード.....	163
無線LAN接続.....	243, 254
メニュー.....	137, 299
メニューカーソル保持.....	196
モードガイド表示.....	187
モニター調整.....	174

や

ユーザー登録..... 9

ら

ライトボックス表示..... 224

ライブBULB設定..... 190, 230

ライブND撮影..... 157

ライブTIME設定..... 190, 230

ライブコントロール
(LVコントロール)..... 223

ライブコンポジット撮影..... 52

リセット..... 139

リモート撮影..... 251

レバー機能

静止画..... 217

ムービー..... 161

レリーズ優先C..... 184

レリーズ優先S..... 184

連写..... 76, 96

連写中手ぶれ補正..... 184

レンズ情報登録..... 237

レンズ手ぶれ補正優先..... 184

レンズリセット..... 182

連動スポット測光..... 191

録音

静止画..... 134

ムービー..... 167

録画可能時間..... 315

露出基準調整..... 191

露出ステップ..... 189

露出補正..... 66

わ

ワイヤレスRCフラッシュ..... 286

ワンタッチWB..... 92, 93, 116

ワンプッシュ消去..... 194

発行日 2020.02.

OLYMPUS

オリンパス株式会社

● インターネットでの情報入手

<https://olympus-imaging.jp/>

製品仕様、パソコン接続、OS 対応、Q&A などの各種最新情報は、
オリンパスホームページで簡単にご確認いただけます。
上記 URL より [サポート / ダウンロード] のページへお進みください。

● 電話でのお問合せ（オリンパスカスタマーサポートセンター）



0570-073-000

ナビダイヤル

* 携帯電話・PHS からのご利用になれます。

FAX 042-642-7486

* 調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間：平日および土曜・日曜・祝日 10:00 ~ 18:00

* 年末年始、システムメンテナンス日はお休みさせていただきます。

※記載内容は変更されることがあります。